

川西市高齢者保健福祉計画
・第9期介護保険事業計画
(認知症対策アクションプラン)
の策定にかかる
調査資料

令和6年3月

兵庫県川西市

目次

| | |
|--------------------------------------|-----|
| 川西市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 1 |
| I アンケートの概要..... | 3 |
| II アンケート調査結果..... | 4 |
| III 健康リスクの状況..... | 102 |
| 在宅介護実態調査 | 115 |
| I アンケートの概要..... | 117 |
| II アンケート調査結果..... | 118 |
| 介護サービス事業所へのアンケート及び意見交換会 | 155 |
| I アンケートの概要..... | 156 |
| II アンケート調査結果..... | 157 |
| III 意見交換会実施結果..... | 167 |
| 認知症対策アクションプランに係る聴き取り等 | 171 |
| I 聴き取りの概要..... | 172 |
| II 聴き取り実施結果..... | 172 |

川西市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

Ⅰ アンケートの概要

1. 調査の目的

要介護状態になる前のリスクや社会参加を把握し地域の抱える課題を特定することなどを目的として実施しました。

2. 実施概要

調査対象者 : 令和4年12月1日時点で要介護認定を受けていない一般高齢者・総合事業対象者・要支援認定者
対象数 : 4,000人
調査期間 : 令和5年1月24日～令和5年2月10日まで
調査方法 : 郵送による配布回収

3. 回収結果

| 調査対象者数（配布数） | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-------------|--------|-------|
| 4,000件 | 2,676件 | 66.9% |

4. 報告書の見方

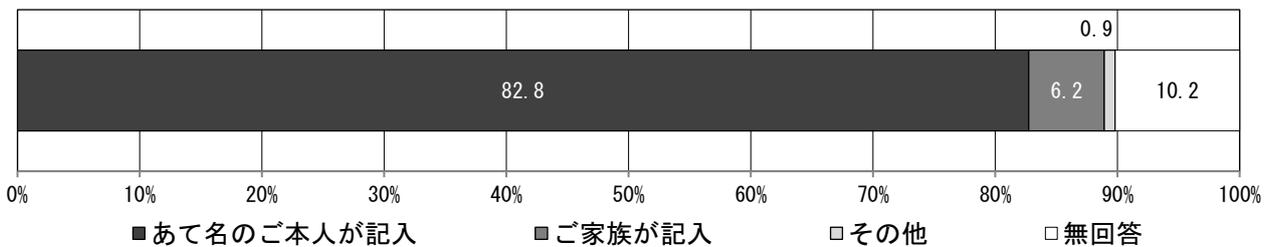
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者の総数（あるいは回答者を限定する設問の限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

II アンケート調査結果

調査票を記入されたのはどなたですか。【単数回答】

「あて名のご本人が記入」が82.8%を占めています。

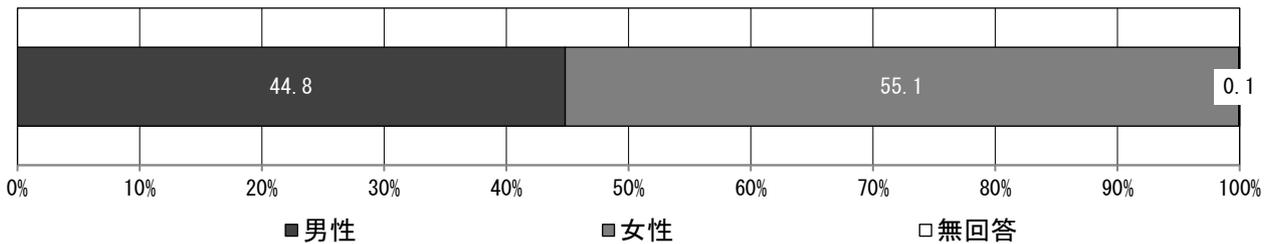
n=2,676



性別

「男性」が44.8%、「女性」が55.1%となっています。

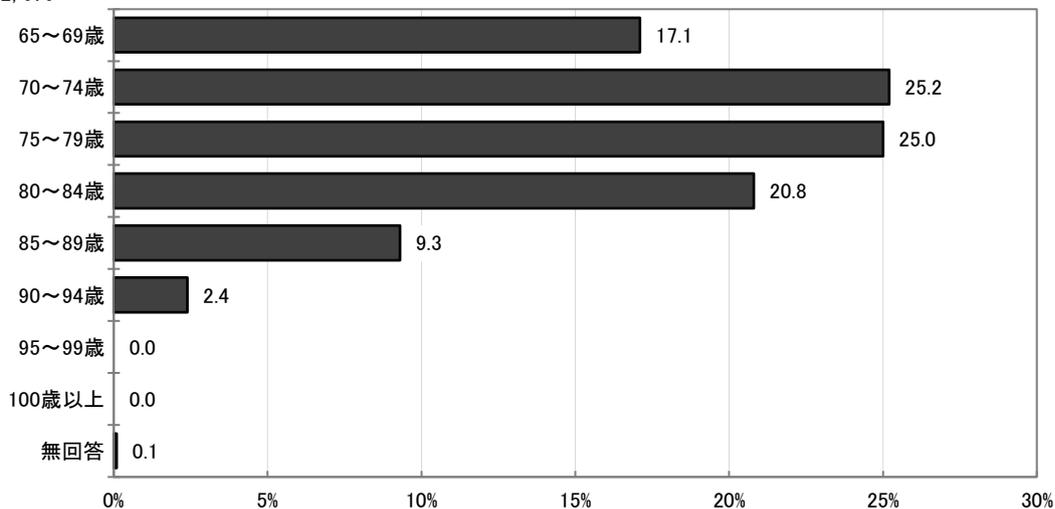
n=2,676



年齢

「70～74歳」が25.2%で最も高く、次いで「75～79歳」が25.0%、「80～84歳」が20.8%が続いています。

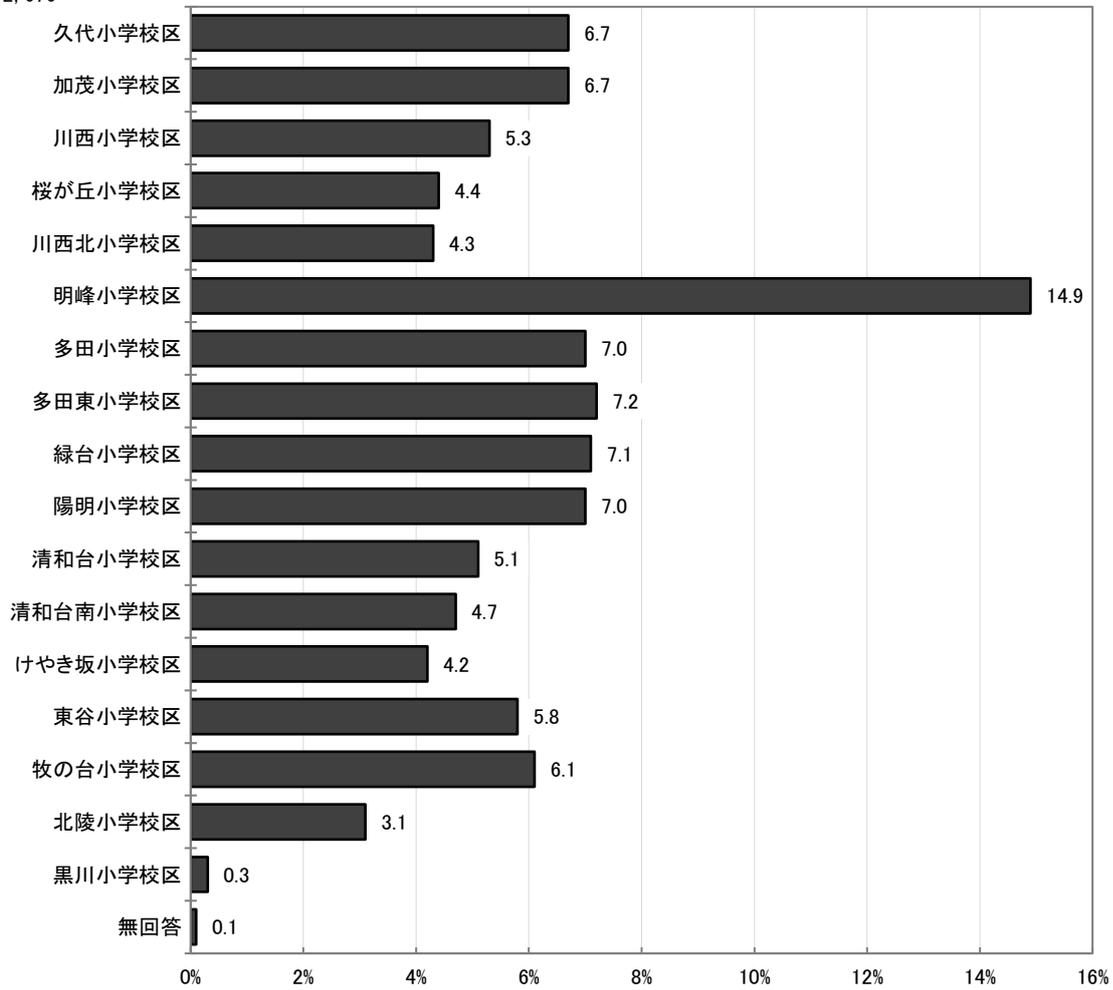
n=2,676



小学校区

「明峰小学校区」が 14.9%で最も高く、次いで「多田東小学校区」が 7.2%、「緑台小学校区」が 7.1%で続いています。

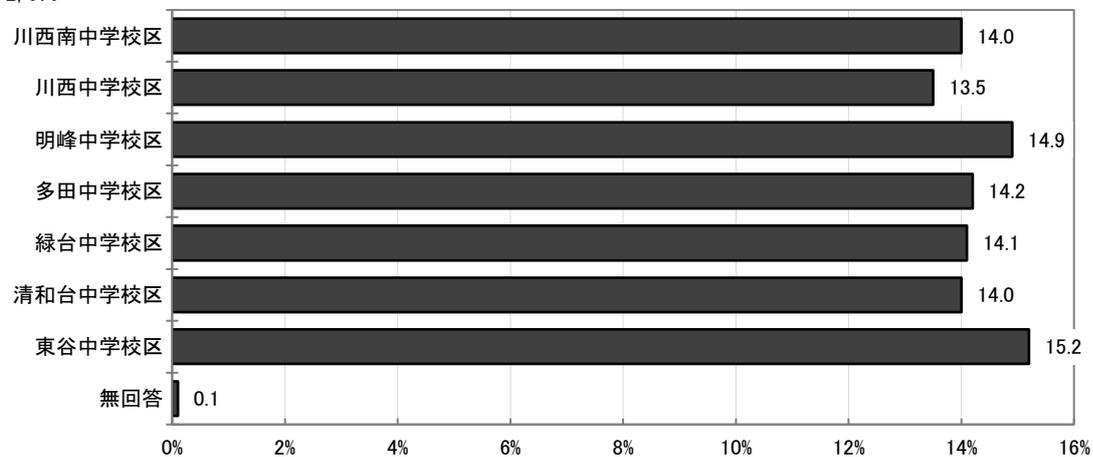
n=2,676



中学校区

「東谷中学校区」が 15.2%で最も高く、次いで「明峰中学校区」が 14.9%、「多田中学校区」が 14.2%で続いています。

n=2,676

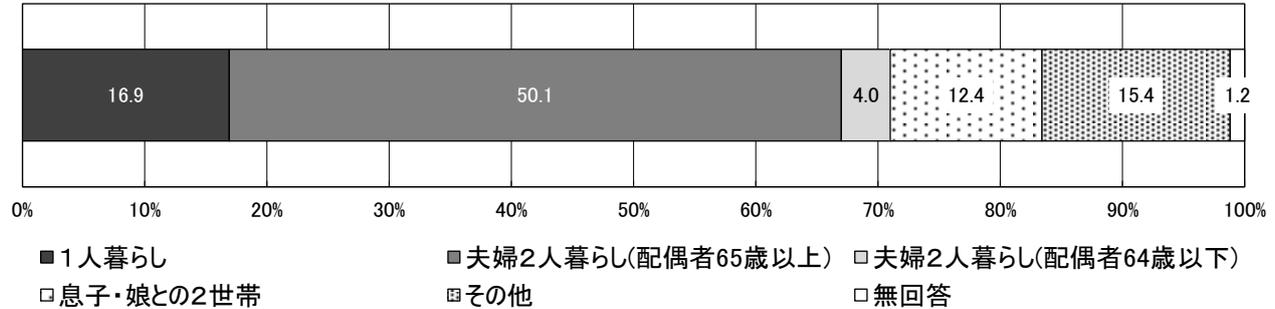


1. あなたのご家族や生活状況について

問1 (1) 家族の構成をお教えてください【単数回答】

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が50.1%で突出しています。「1人暮らし」が16.9%、「その他」が15.4%が続いています。

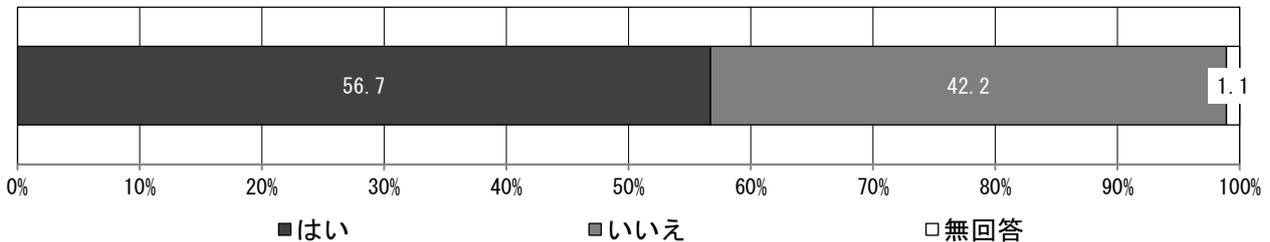
n=2,676



問1 (2) あなたは、近居(おおむね30分以内程度で行き来できる範囲)の状況にある家族や親せきの方がいらっしゃいますか【単数回答】

「はい」が56.7%を占めています。

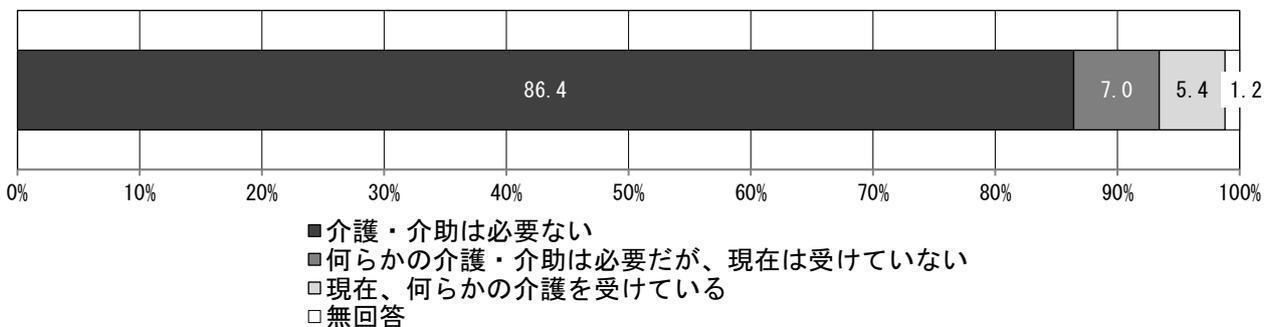
n=2,676



問1 (3) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか【単数回答】

「介護・介助は必要ない」が86.4%を占めています。

n=2,676

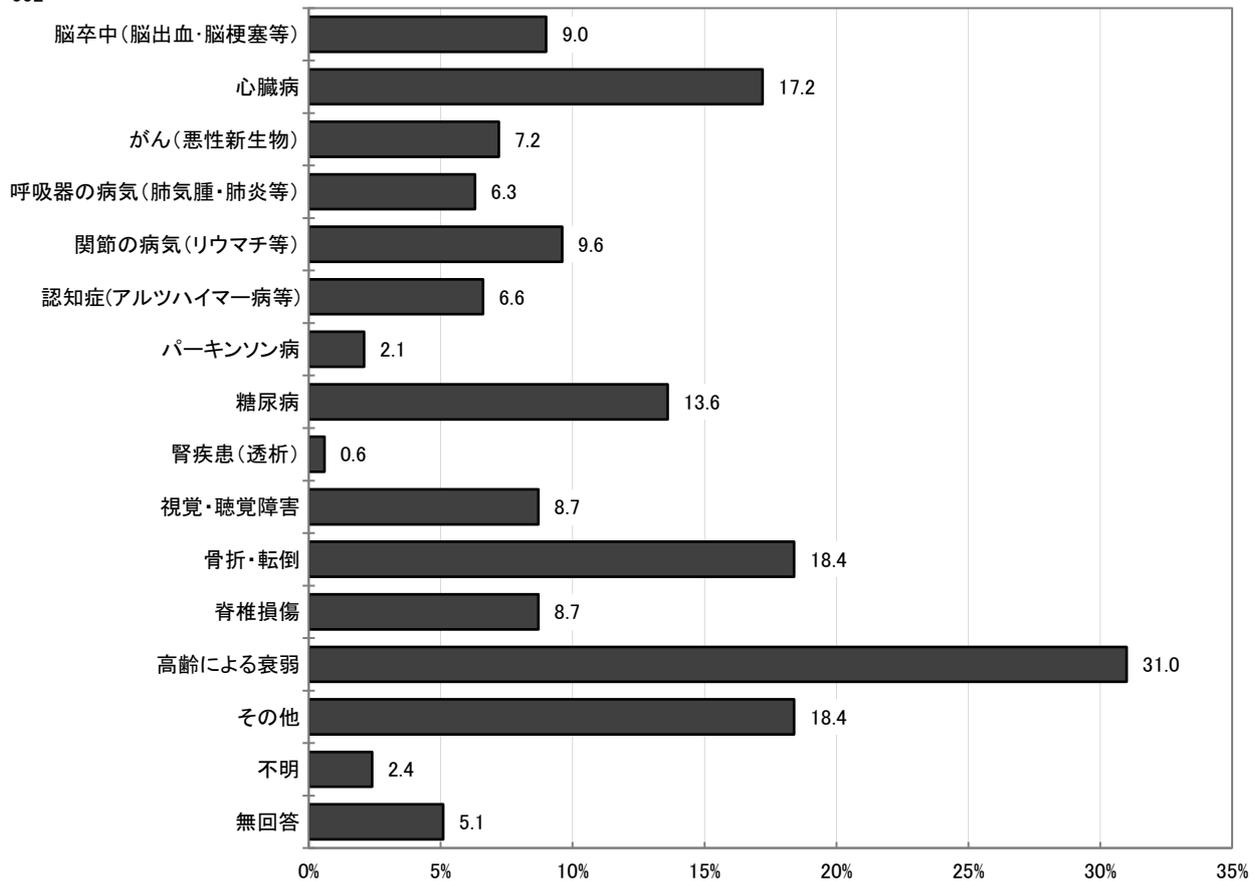


【問1(3)において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方】

問1(4) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか【複数回答】

「高齢による衰弱」が31.0%で突出しています。「骨折・転倒」「その他」が18.4%が続いています。

n=332



《介護・介助が必要になった主な原因》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「がん（悪性新生物）」「糖尿病」「視覚・聴覚障害」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「関節の病気（リウマチ等）」「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=332 | 男性 n=148 | 女性 n=184 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 9.0 | 11.5 | 7.1 |
| 心臓病 | 17.2 | 19.6 | 15.2 |
| がん(悪性新生物) | 7.2 | 10.1 | 4.9 |
| 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) | 6.3 | 6.1 | 6.5 |
| 関節の病気(リウマチ等) | 9.6 | 6.8 | 12.0 |
| 認知症(アルツハイマー病等) | 6.6 | 6.1 | 7.1 |
| パーキンソン病 | 2.1 | 2.0 | 2.2 |
| 糖尿病 | 13.6 | 16.2 | 11.4 |
| 腎疾患(透析) | 0.6 | 1.4 | - |
| 視覚・聴覚障害 | 8.7 | 12.2 | 6.0 |
| 骨折・転倒 | 18.4 | 15.5 | 20.7 |
| 脊椎損傷 | 8.7 | 10.8 | 7.1 |
| 高齢による衰弱 | 31.0 | 34.5 | 28.3 |
| その他 | 18.4 | 14.9 | 21.2 |
| 不明 | 2.4 | 2.7 | 2.2 |
| 無回答 | 5.1 | 5.4 | 4.9 |

《介護・介助が必要になった主な原因》×《年齢別》

『65歳以上70歳未満』では「がん（悪性新生物）」、『75歳以上80歳未満』では「脳卒中」、『80歳以上85歳未満』『85歳以上』では「心臓病」「高齢による衰弱」、『85歳以上』では「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

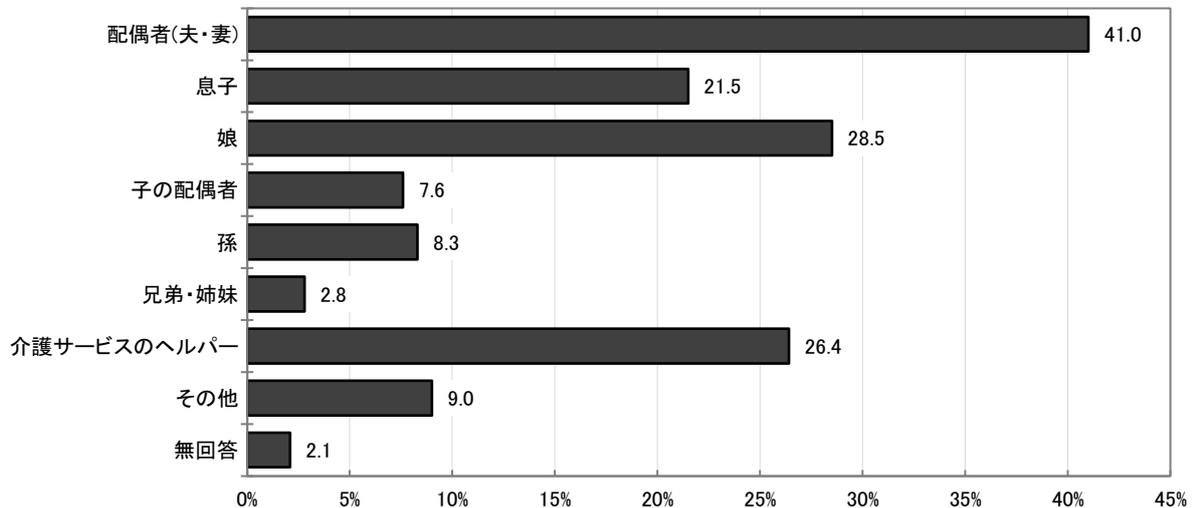
| | 全体 n=332 | 65歳以上 70歳未満 n=19 | 70歳以上 75歳未満 n=34 | 75歳以上 80歳未満 n=63 | 80歳以上 85歳未満 n=105 | 85歳以上 n=111 |
|-----------------|-------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|----------------|
| 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 9.0 | 5.3 | 8.8 | 15.9 | 10.5 | 4.5 |
| 心臓病 | 17.2 | 10.5 | 8.8 | 11.1 | 21.9 | 19.8 |
| がん(悪性新生物) | 7.2 | 21.1 | 2.9 | 11.1 | 5.7 | 5.4 |
| 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) | 6.3 | 10.5 | 2.9 | 7.9 | 6.7 | 5.4 |
| 関節の病気(リウマチ等) | 9.6 | - | 8.8 | 14.3 | 12.4 | 6.3 |
| 認知症(アルツハイマー病等) | 6.6 | - | 2.9 | 6.3 | 7.6 | 8.1 |
| パーキンソン病 | 2.1 | - | - | 3.2 | 2.9 | 1.8 |
| 糖尿病 | 13.6 | - | 11.8 | 12.7 | 14.3 | 16.2 |
| 腎疾患(透析) | 0.6 | - | - | - | 1.9 | - |
| 視覚・聴覚障害 | 8.7 | 5.3 | 11.8 | 7.9 | 9.5 | 8.1 |
| 骨折・転倒 | 18.4 | 10.5 | 5.9 | 17.5 | 16.2 | 26.1 |
| 脊椎損傷 | 8.7 | 5.3 | 5.9 | 9.5 | 11.4 | 7.2 |
| 高齢による衰弱 | 31.0 | 15.8 | 23.5 | 19.0 | 34.3 | 39.6 |
| その他 | 18.4 | 21.1 | 38.2 | 22.2 | 7.6 | 19.8 |
| 不明 | 2.4 | 5.3 | 8.8 | 1.6 | 1.0 | 1.8 |
| 無回答 | 5.1 | 10.5 | 2.9 | 1.6 | 7.6 | 4.5 |

【問1(3)において「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方】

問1(5) 主にどなたの介護、介助を受けていますか【複数回答】

「配偶者(夫・妻)」が41.0%で最も高くなっています。次いで「娘」が28.5%、「介護サービスのヘルパー」が26.4%が続いています。

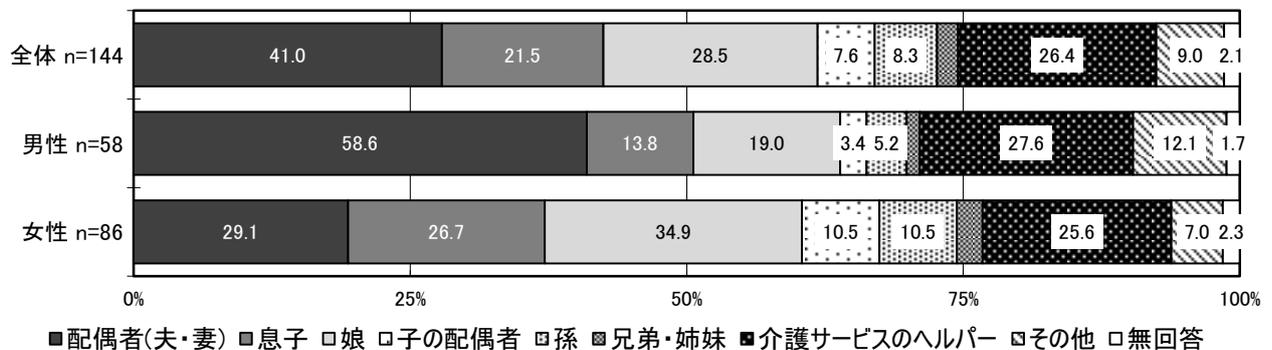
n=144



《主にどなたの介護、介助を受けていますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「配偶者」の割合が高くなっています。

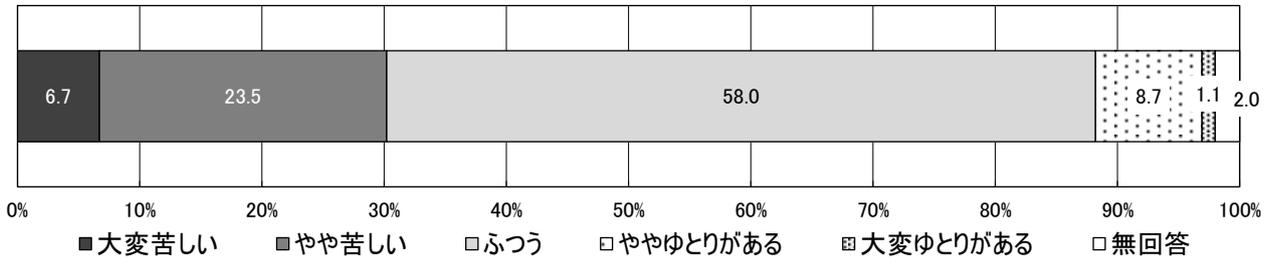
『女性』は『男性』に比べて「息子」「娘」「子の配偶者」「孫」の割合が高くなっています。



問1（6） 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか【単数回答】

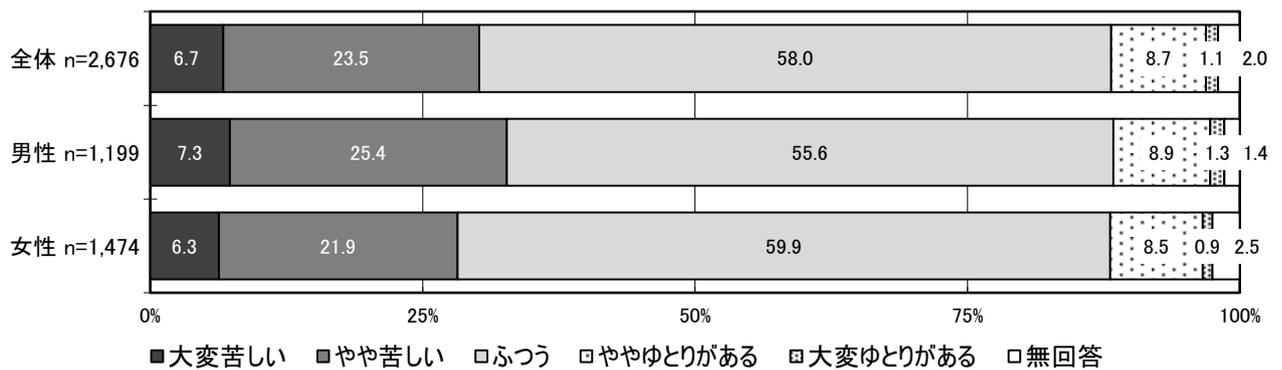
「ふつう」が58.0%で突出しています。「やや苦しい」が23.5%、「ややゆとりがある」が8.7%で続いています。

n=2,676



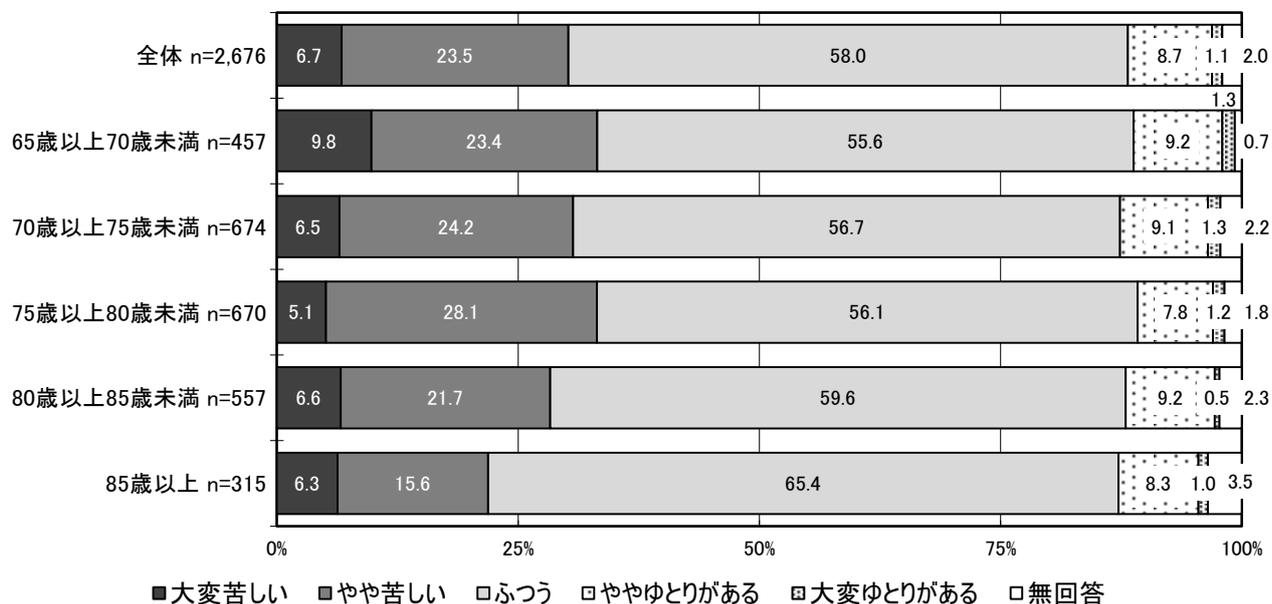
《現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか》 × 《性別》

『男性』は『女性』に比べて「苦しい」（「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合）が高くなっています。



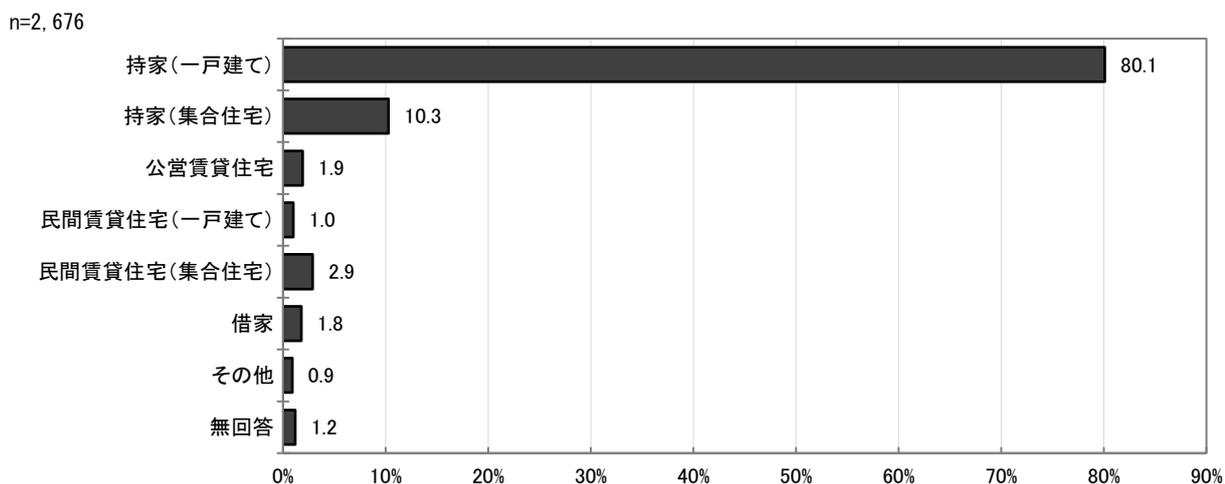
《現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか》 × 《年齢別》

『65歳以上70歳未満』『75歳以上80歳未満』では他の年齢層と比べて「苦しい」（「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合）が高くなっています。



問1 (7) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか【単数回答】

「持家（一戸建て）」が80.1%で突出しています。「持家（集合住宅）」が10.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が2.9%が続いています。

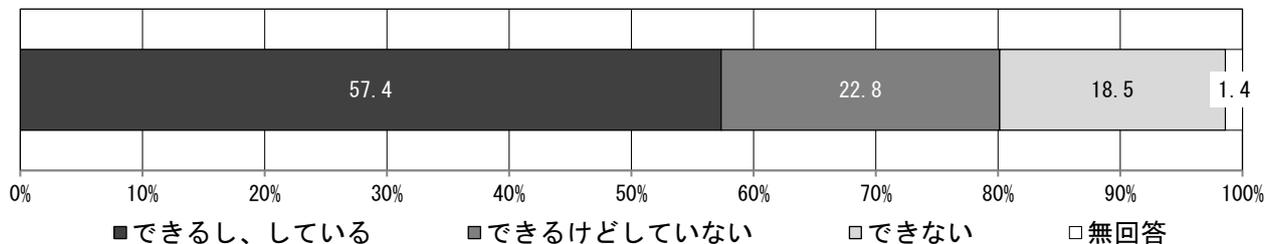


2. からだを動かすことについて

問2（1） 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか【単数回答】

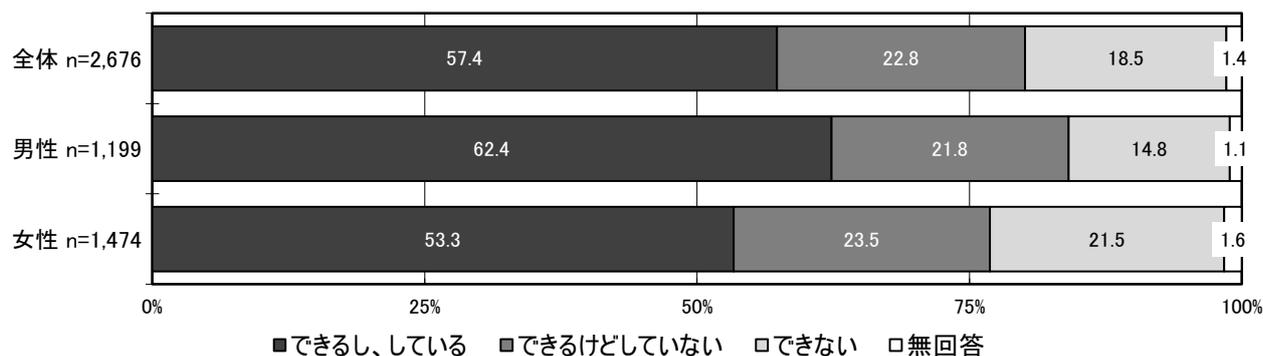
「できるし、している」が57.4%を占めています。

n=2,676



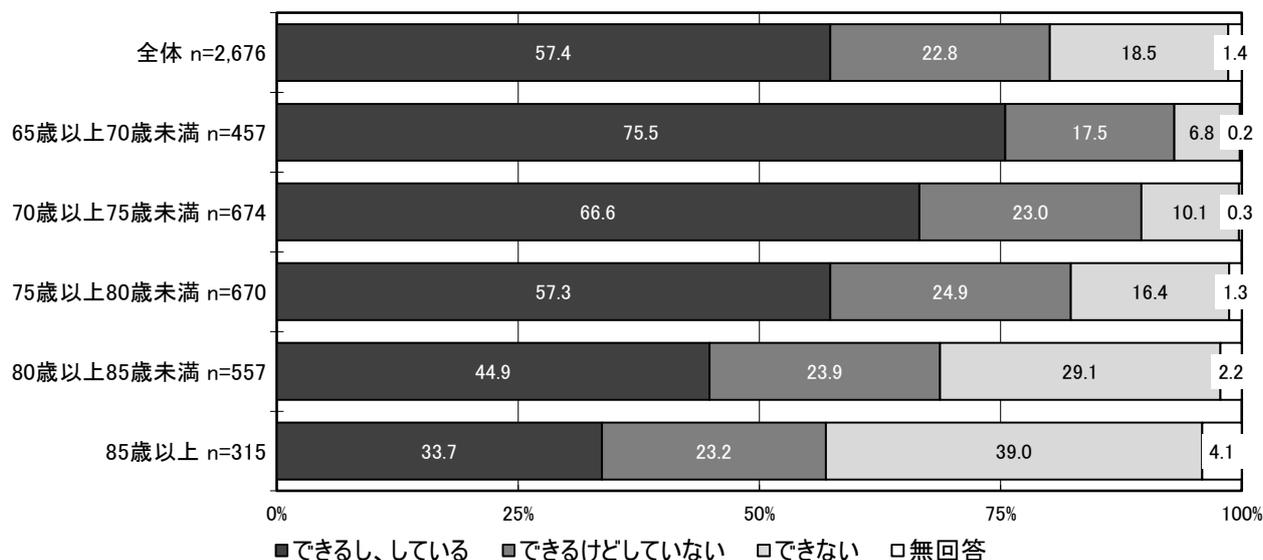
《階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか》×《性別》

『女性』は『男性』に比べて「できない」の割合が高くなっています。



《階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか》×《年齢別》

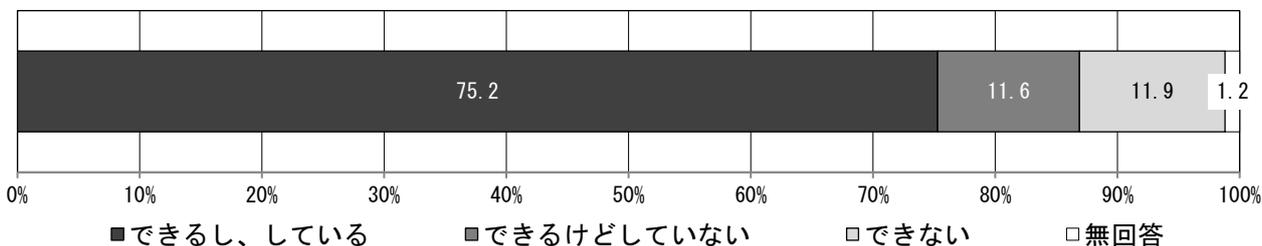
年齢が上がるにつれて「できない」の割合が高くなっています。



問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか【単数回答】

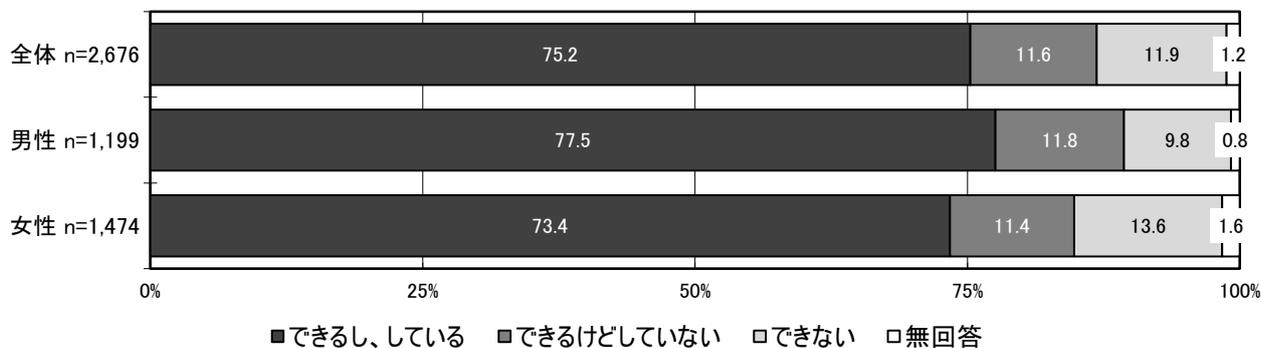
「できるし、している」が75.2%を占めています。

n=2,676



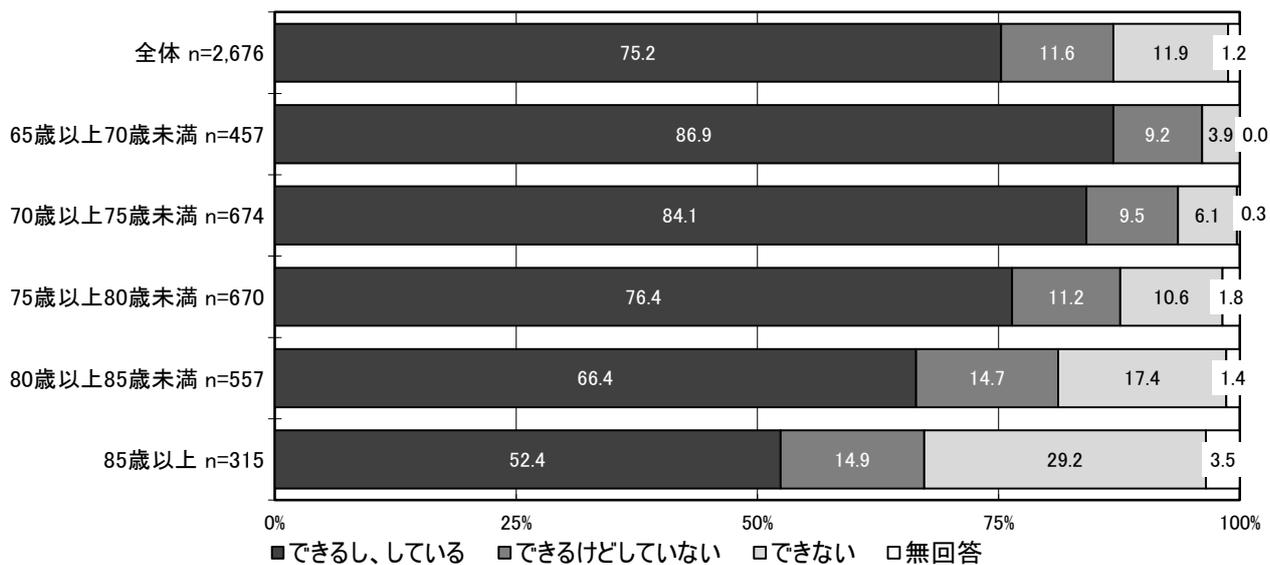
《椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか》 × 《性別》

『女性』は『男性』に比べて「できない」の割合が高くなっています。



《椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか》 × 《年齢別》

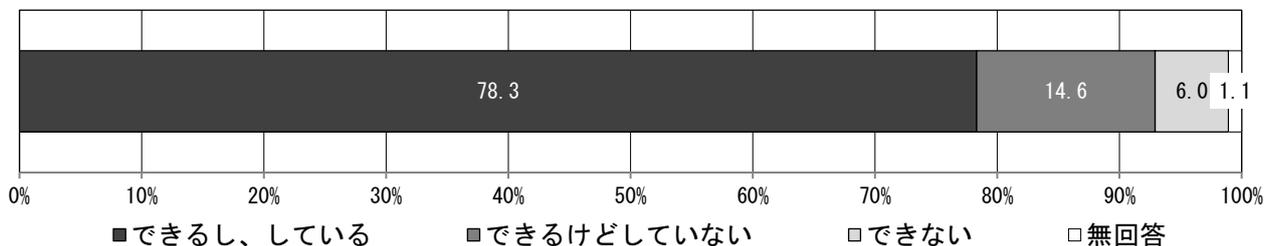
年齢が上がるにつれて「できない」の割合が高くなっています。



問2（3） 15分位続けて歩いていますか【単数回答】

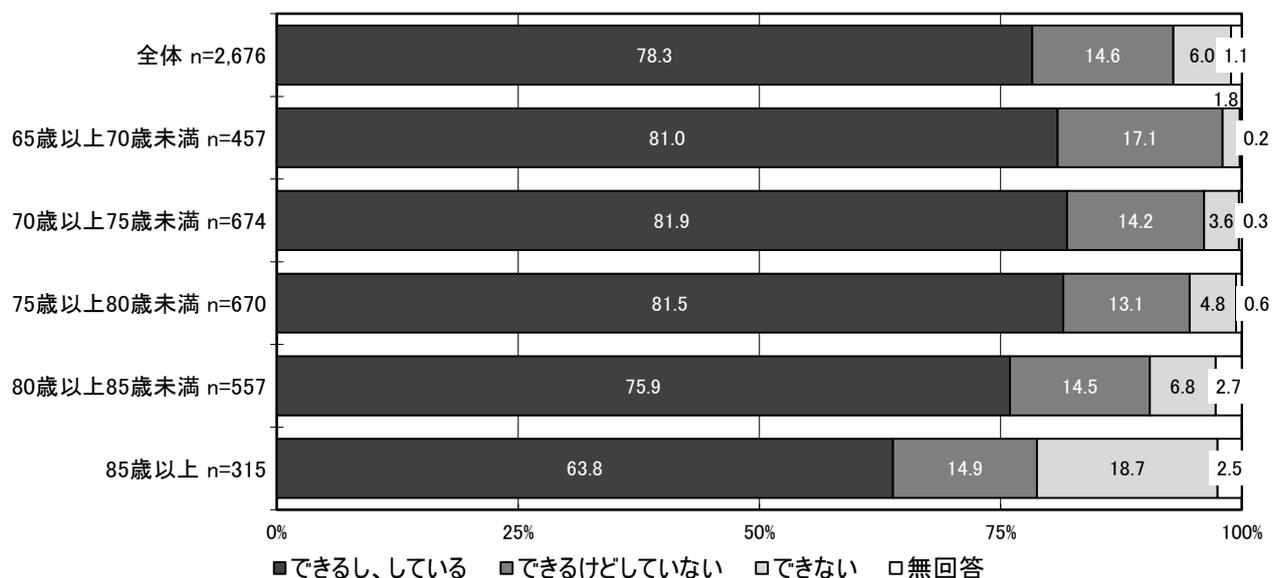
「できるし、している」が78.3%を占めています。

n=2,676



《15分位続けて歩いていますか》 × 《年齢別》

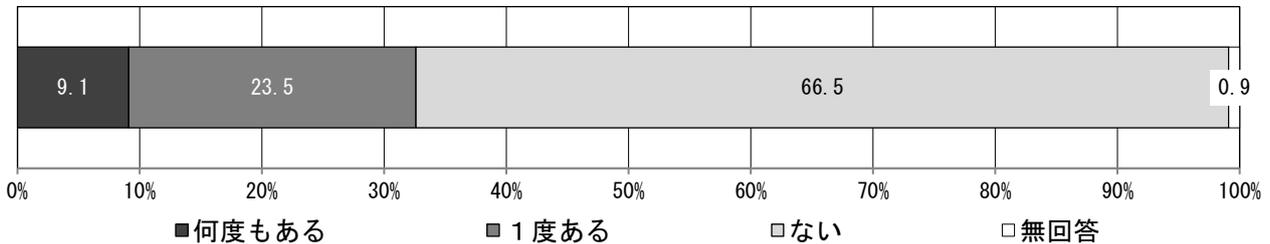
『85歳以上』では「できない」の割合が高くなっています。



問2（4） 過去1年間に転んだ経験がありますか【単数回答】

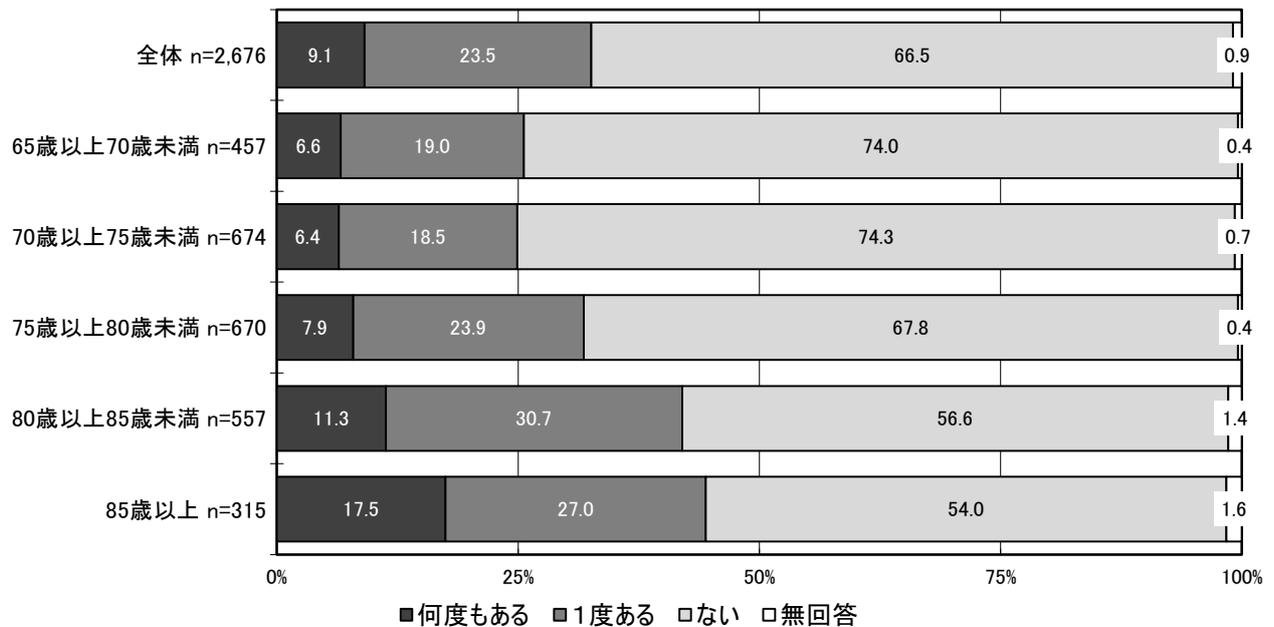
「ない」が66.5%を占めています。

n=2,676



《過去1年間に転んだ経験がありますか》×《年齢別》

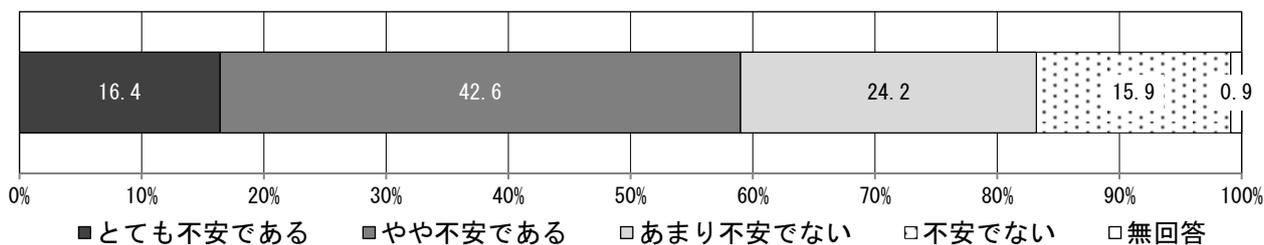
年齢が上がるにつれて「ある」（「何度もある」「1度ある」を合わせた割合）が高くなっています。



問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか【単数回答】

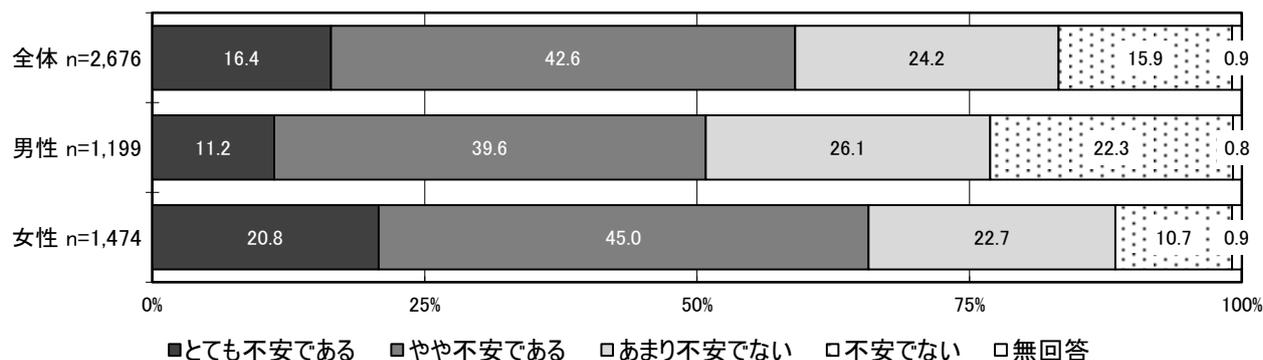
「やや不安である」が42.6%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が24.2%、「とても不安である」が16.4%が続いています。

n=2,676



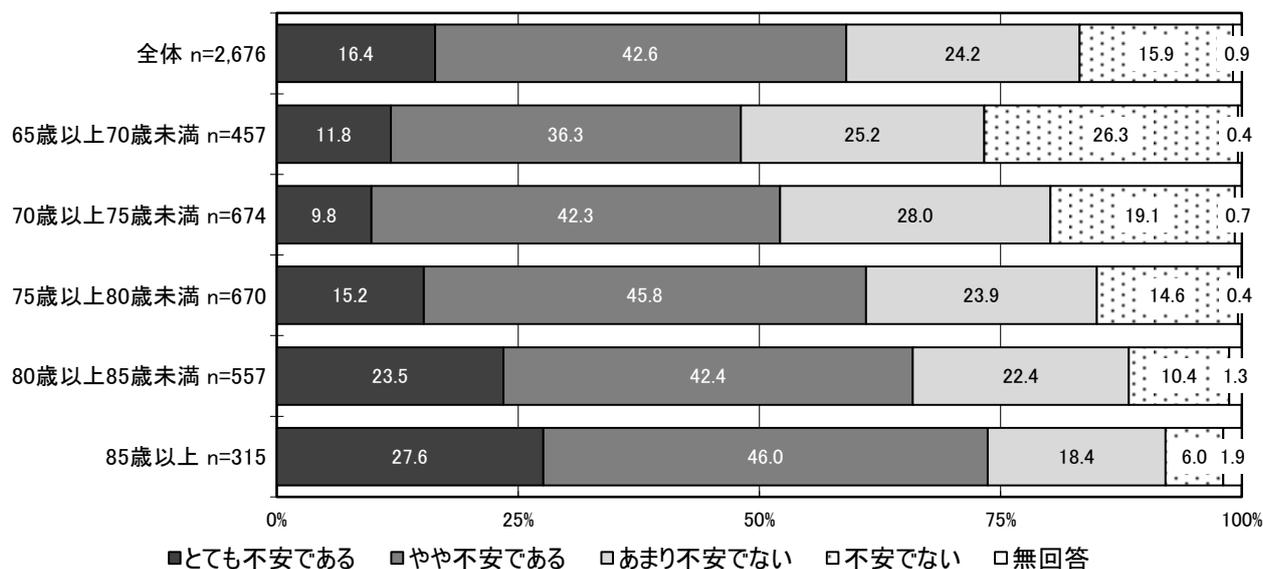
《転倒に対する不安は大きいですか》×《性別》

『女性』は『男性』に比べて「不安である」（「とても不安である」「やや不安である」を合わせた割合）が高くなっています。



《転倒に対する不安は大きいですか》×《年齢別》

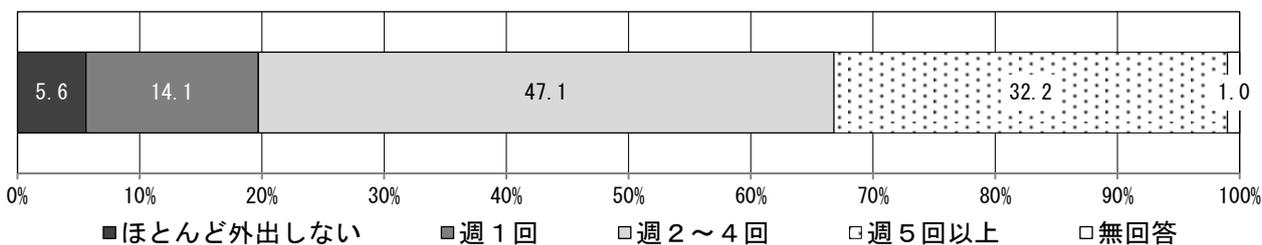
年齢が上がるにつれて「不安である」（「とても不安である」「やや不安である」を合わせた割合）が高くなっています。



問2(6) 週に1回以上は外出していますか【単数回答】

「週2～4回」が47.1%で最も高く、次いで「週5回以上」が32.2%、「週1回」が14.1%が続いています。

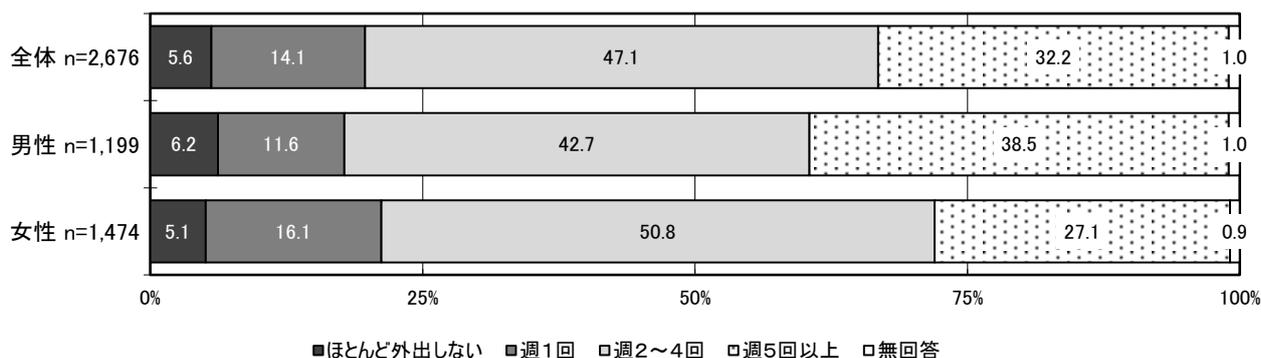
n=2,676



《週に1回以上は外出していますか》×《性別》

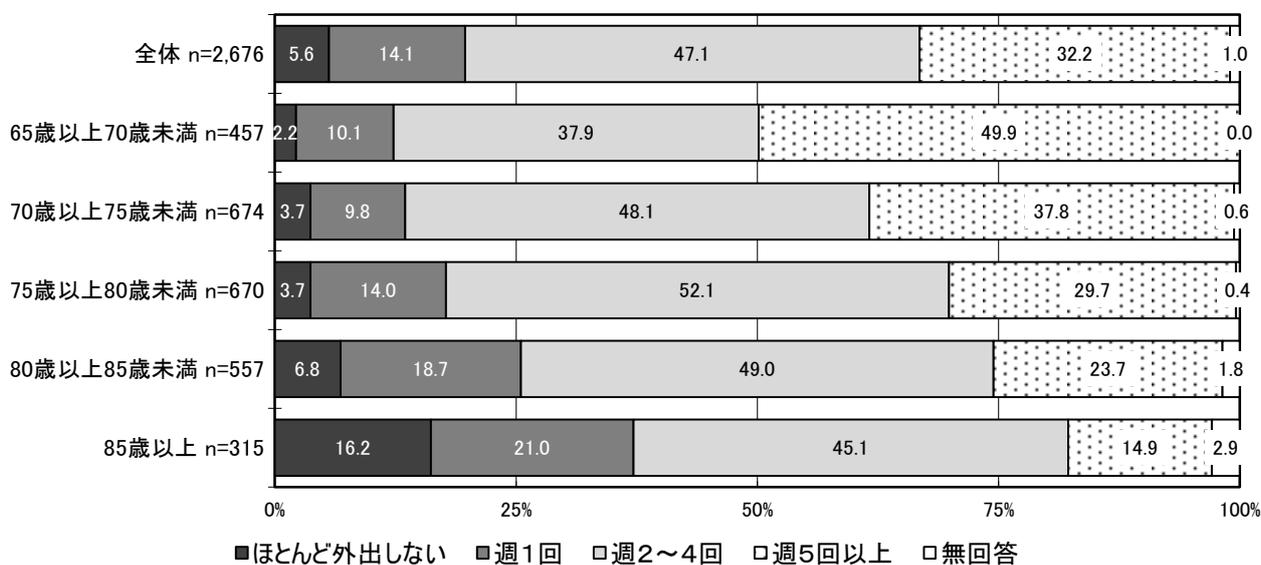
『男性』は『女性』に比べて「週5回以上」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「週1回」「週2～4回」の割合が高くなっています。



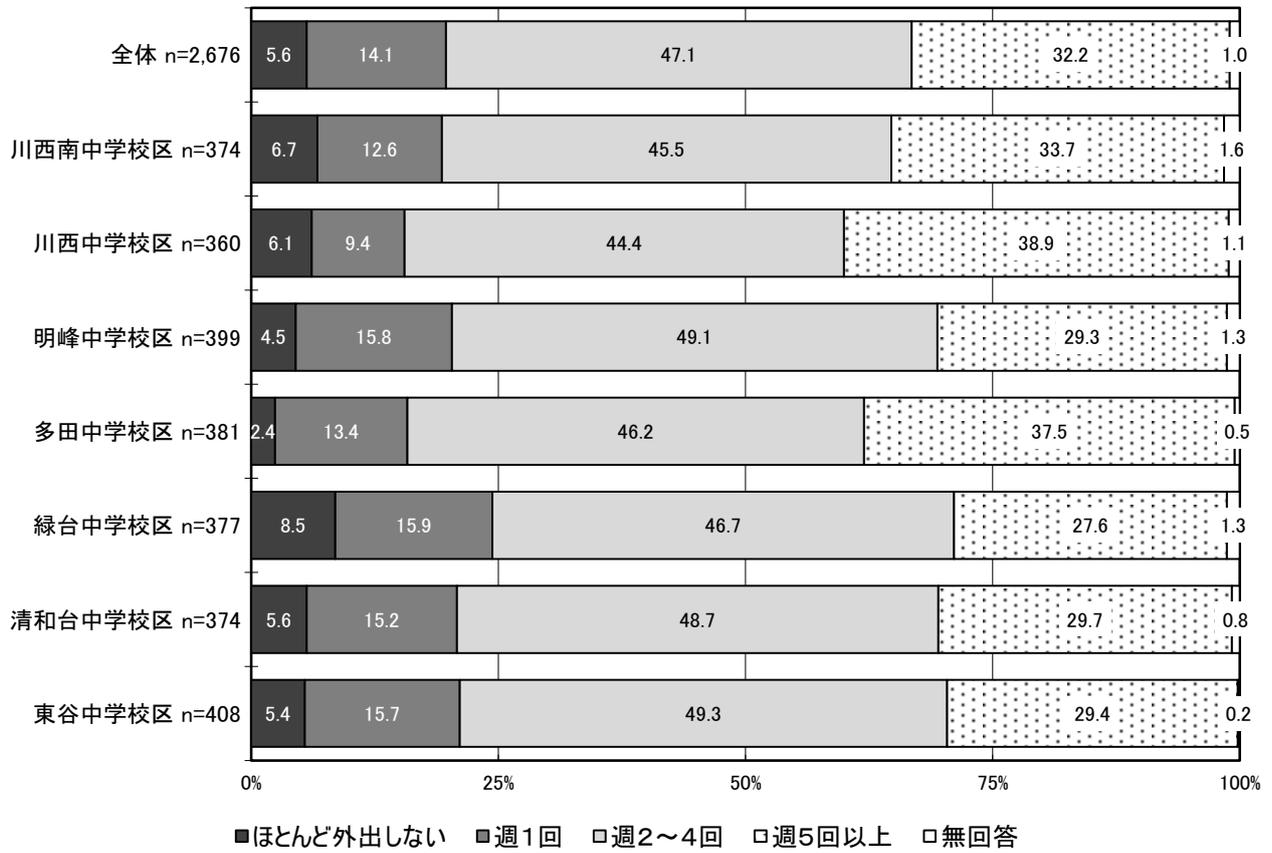
《週に1回以上は外出していますか》×《年齢別》

年齢が上がるにつれて「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。



《週に1回以上は外出していますか》×《地区別》

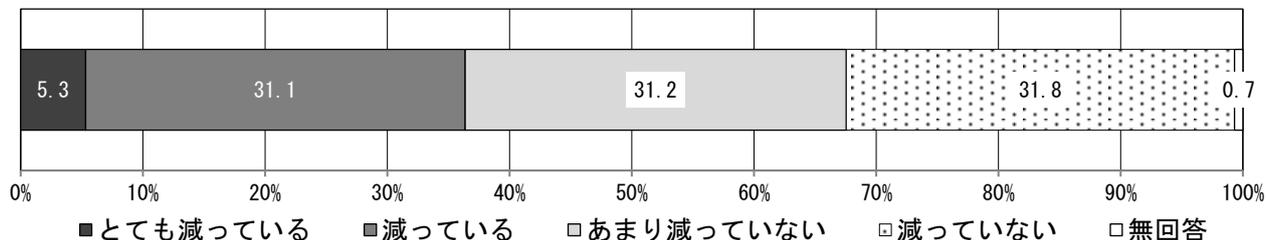
『川西中学校区』『多田中学校区』では「週5回以上」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか【単数回答】

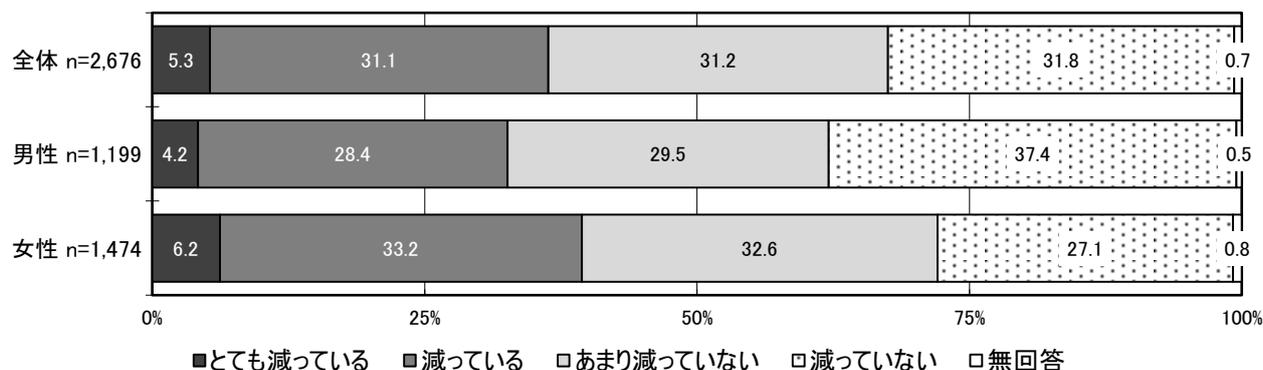
「減っていない」が31.8%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が31.2%、「減っている」が31.1%で続いています。

n=2,676



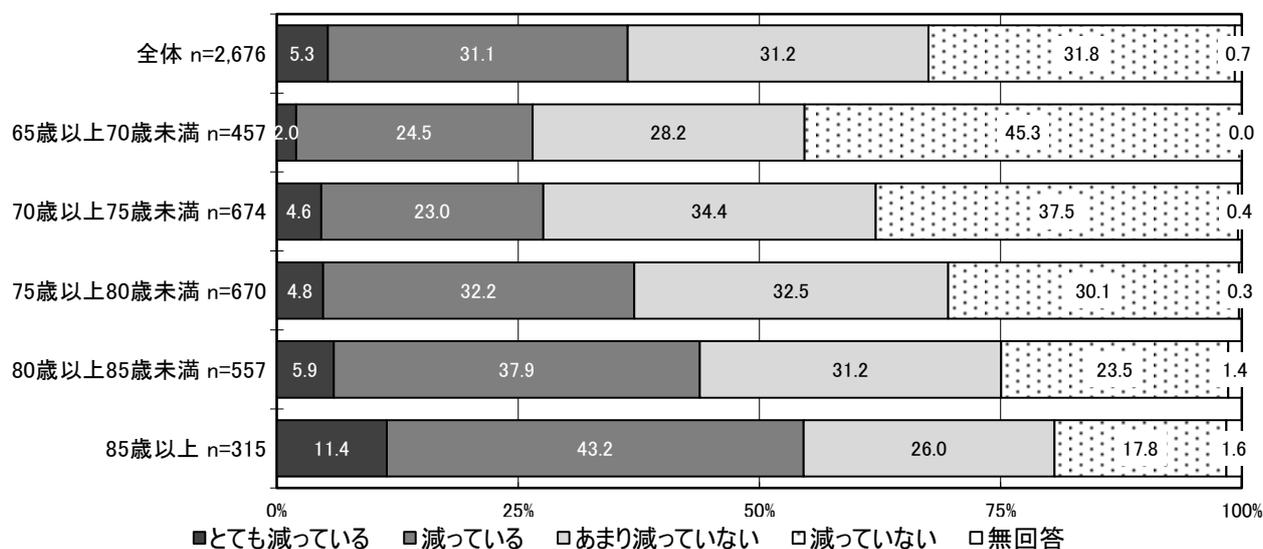
《昨年と比べて外出の回数が減っていますか》×《性別》

『女性』は『男性』に比べて「減っている」（「とても減っている」「減っている」を合わせた割合）が高くなっています。



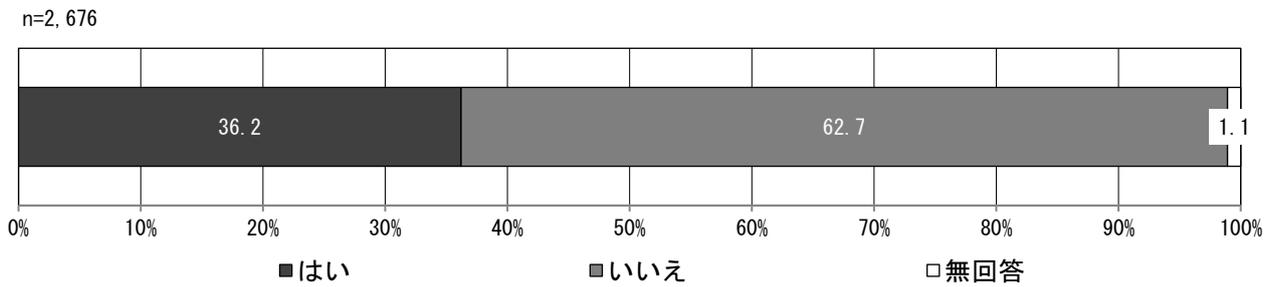
《昨年と比べて外出の回数が減っていますか》×《年齢別》

年齢が上がるにつれて「減っている」（「とても減っている」「減っている」を合わせた割合）が高くなっています。



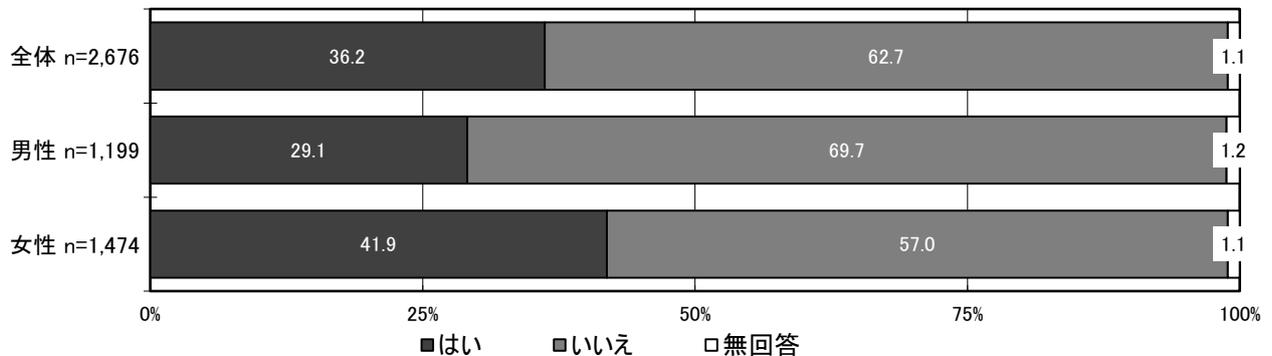
問2(8) 外出を控えていますか【単数回答】

「いいえ」が62.7%を占めています。



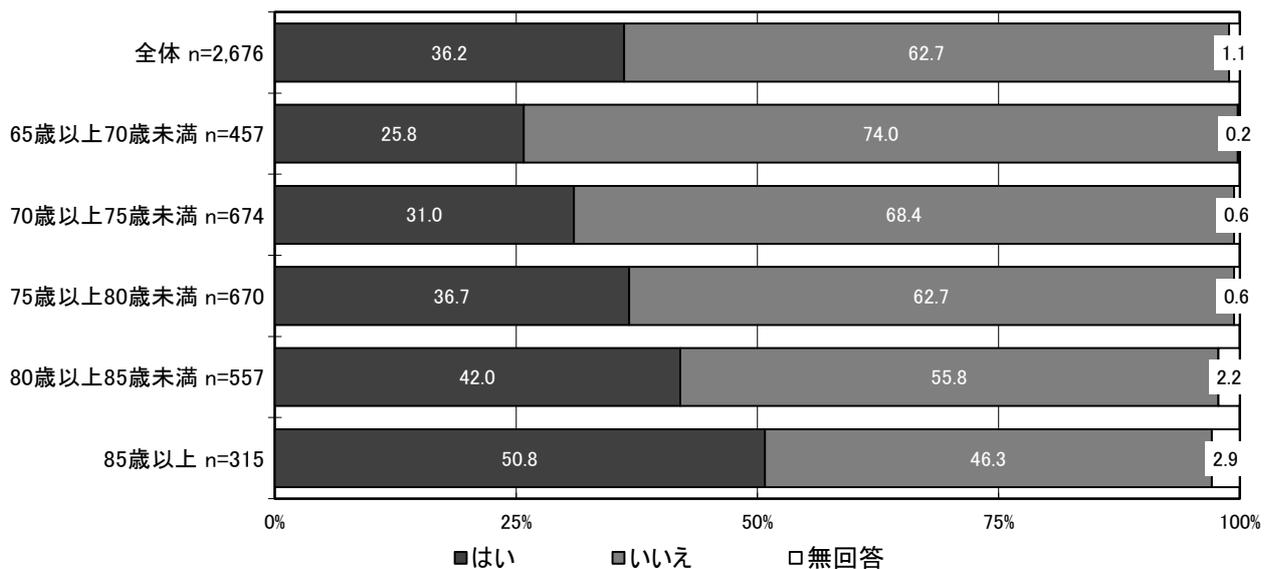
《外出を控えていますか》×《性別》

『女性』は『男性』に比べて「はい」の割合が高くなっています。



《外出を控えていますか》×《年齢別》

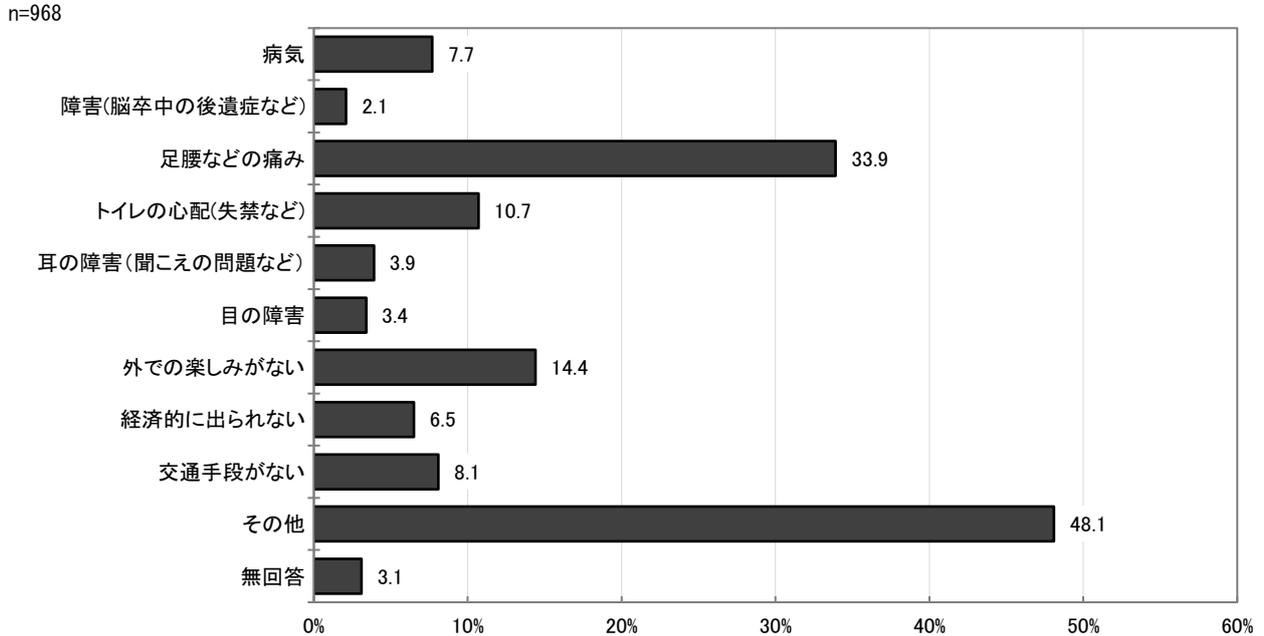
年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



【問2（8）において「はい（外出を控えている）」と回答した方】

問2（9） 外出を控えている理由は、次のどれですか【複数回答】

「その他」が48.1%で最も高くなっています。次いで「足腰などの痛み」が33.9%、「外での楽しみがない」が14.4%が続いています。



《外出を控えている理由》×《年齢別》

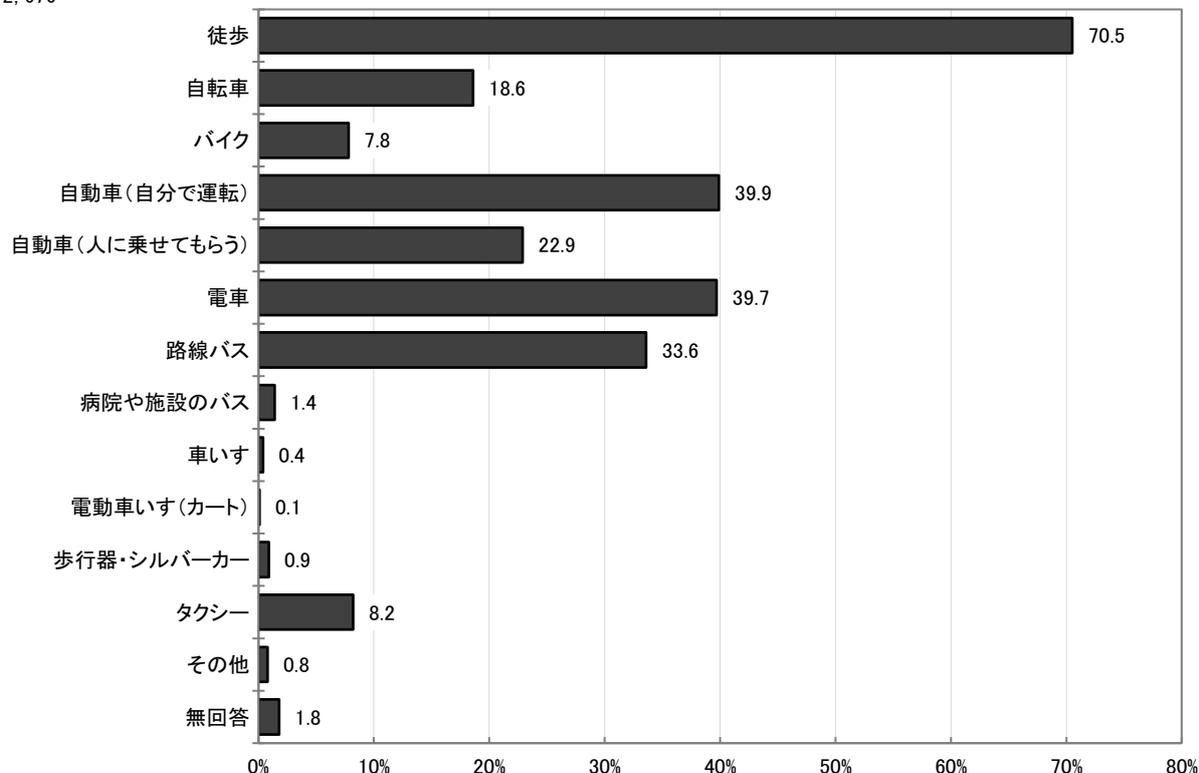
『80歳以上 85歳未満』『85歳以上』では「足腰などの痛み」「交通手段がない」が他の年齢層と比べて高くなっています。

| | 全体 n=968 | 65歳以上 70歳未満 n=118 | 70歳以上 75歳未満 n=209 | 75歳以上 80歳未満 n=246 | 80歳以上 85歳未満 n=234 | 85歳以上 n=160 |
|----------------|-------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 病気 | 7.7 | 10.2 | 7.7 | 6.5 | 7.7 | 8.1 |
| 障害(脳卒中の後遺症など) | 2.1 | 1.7 | 1.4 | 0.8 | 3.8 | 2.5 |
| 足腰などの痛み | 33.9 | 17.8 | 21.5 | 29.7 | 47.9 | 48.1 |
| トイレの心配(失禁など) | 10.7 | 6.8 | 4.8 | 8.9 | 15.4 | 17.5 |
| 耳の障害(聞こえの問題など) | 3.9 | 0.8 | 1.0 | 2.4 | 4.7 | 11.3 |
| 目の障害 | 3.4 | 1.7 | 1.4 | 2.4 | 6.0 | 5.0 |
| 外での楽しみがない | 14.4 | 15.3 | 16.3 | 11.8 | 14.5 | 14.4 |
| 経済的に出られない | 6.5 | 5.9 | 6.7 | 7.7 | 6.0 | 5.6 |
| 交通手段がない | 8.1 | 3.4 | 3.8 | 6.9 | 11.5 | 13.8 |
| その他 | 48.1 | 57.6 | 60.8 | 52.8 | 38.0 | 32.5 |
| 無回答 | 3.1 | 5.1 | 3.8 | 3.7 | 2.1 | 1.3 |

問2 (10) 外出する際の移動手段は何ですか【複数回答】

「徒歩」が70.5%で突出しています。「自動車（自分で運転）」が39.9%、「電車」が39.7%で続いています。

n=2,676



《外出する際の移動手段は何ですか》 × 《性別》

『男性』は『女性』に比べて「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 徒歩 | 70.5 | 70.7 | 70.3 |
| 自転車 | 18.6 | 22.5 | 15.5 |
| バイク | 7.8 | 8.9 | 6.9 |
| 自動車(自分で運転) | 39.9 | 58.2 | 25.0 |
| 自動車(人に乗せてもらう) | 22.9 | 12.3 | 31.6 |
| 電車 | 39.7 | 39.2 | 40.2 |
| 路線バス | 33.6 | 29.0 | 37.4 |
| 病院や施設のバス | 1.4 | 1.1 | 1.6 |
| 車いす | 0.4 | 0.3 | 0.4 |
| 電動車いす(カート) | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| 歩行器・シルバーカー | 0.9 | 0.6 | 1.2 |
| タクシー | 8.2 | 6.8 | 9.4 |
| その他 | 0.8 | 0.6 | 0.9 |
| 無回答 | 1.8 | 2.2 | 1.4 |

《外出する際の移動手段は何ですか》×《年齢別》

『65歳以上70歳未満』では「自動車（自分で運転）」「電車」、『85歳以上』では「路線バス」「タクシー」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|---------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 徒歩 | 70.5 | 68.9 | 72.0 | 73.1 | 70.4 | 64.1 |
| 自転車 | 18.6 | 22.8 | 22.4 | 17.3 | 17.1 | 10.2 |
| バイク | 7.8 | 10.7 | 11.6 | 7.2 | 4.8 | 2.2 |
| 自動車(自分で運転) | 39.9 | 59.3 | 49.0 | 38.1 | 30.0 | 14.0 |
| 自動車(人に乗せてもらう) | 22.9 | 21.0 | 22.4 | 23.3 | 24.1 | 24.1 |
| 電車 | 39.7 | 45.1 | 41.7 | 39.6 | 37.3 | 32.7 |
| 路線バス | 33.6 | 28.7 | 27.4 | 36.7 | 37.7 | 40.3 |
| 病院や施設のバス | 1.4 | 0.4 | 0.6 | 0.9 | 2.3 | 3.8 |
| 車いす | 0.4 | - | 0.1 | 0.3 | 0.5 | 1.3 |
| 電動車いす(カート) | 0.1 | - | - | - | 0.4 | 0.3 |
| 歩行器・シルバーカー | 0.9 | 0.2 | - | 0.3 | 2.0 | 3.2 |
| タクシー | 8.2 | 3.5 | 3.4 | 6.1 | 14.0 | 19.4 |
| その他 | 0.8 | - | - | 0.3 | 2.0 | 2.5 |
| 無回答 | 1.8 | 1.3 | 1.6 | 1.2 | 2.5 | 2.5 |

《外出する際の移動手段は何ですか》×《地区別》

『川西中学校区』では「徒歩」、『川西南中学校区』では「自転車」、『清和台中学校区』では「路線バス」、『東谷中学校区』では「電車」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

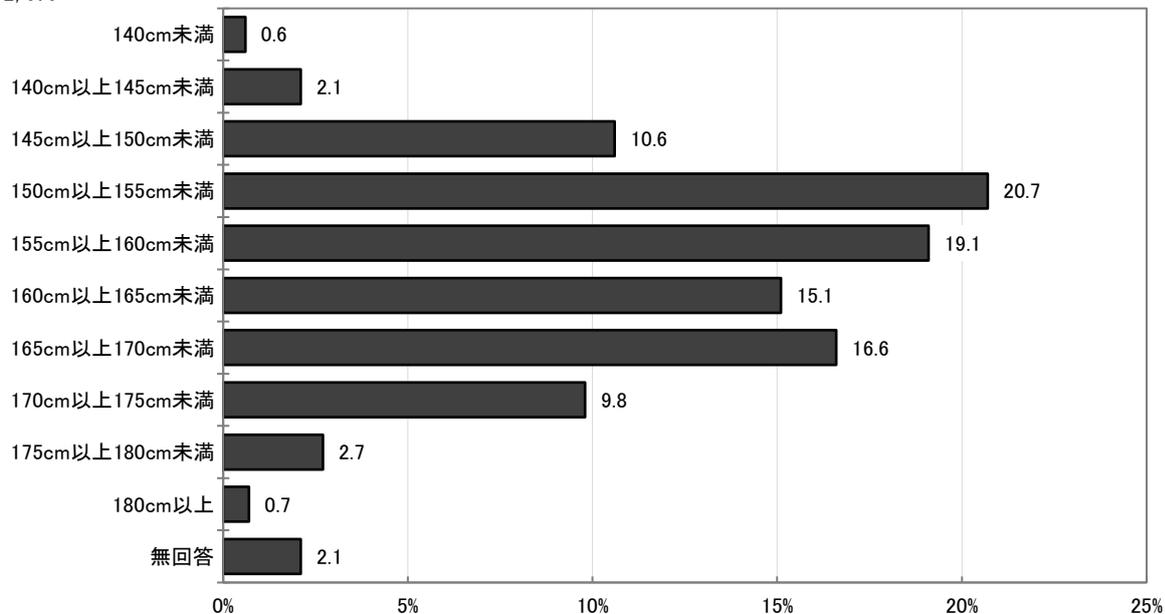
| | 全体 n=2,676 | 川西南 中学校区 n=374 | 川西 中学校区 n=360 | 明峰 中学校区 n=399 | 多田 中学校区 n=381 | 緑台 中学校区 n=377 | 清和台 中学校区 n=374 | 東谷 中学校区 n=408 |
|---------------|---------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| 徒歩 | 70.5 | 72.5 | 80.8 | 66.4 | 73.0 | 67.4 | 60.2 | 73.5 |
| 自転車 | 18.6 | 41.4 | 30.3 | 5.0 | 23.6 | 10.9 | 12.6 | 8.8 |
| バイク | 7.8 | 9.6 | 5.8 | 10.0 | 7.3 | 8.5 | 4.5 | 8.6 |
| 自動車(自分で運転) | 39.9 | 29.1 | 26.4 | 45.9 | 38.3 | 42.4 | 47.9 | 47.8 |
| 自動車(人に乗せてもらう) | 22.9 | 19.3 | 16.9 | 26.3 | 21.5 | 24.9 | 24.1 | 26.7 |
| 電車 | 39.7 | 30.7 | 45.0 | 29.6 | 44.6 | 43.0 | 32.1 | 52.9 |
| 路線バス | 33.6 | 35.0 | 18.1 | 52.6 | 15.5 | 37.7 | 59.6 | 16.9 |
| 病院や施設のバス | 1.4 | 2.9 | 1.4 | 1.0 | 2.1 | 1.3 | 0.5 | 0.5 |
| 車いす | 0.4 | - | 0.8 | 0.8 | - | 0.3 | - | 0.7 |
| 電動車いす(カート) | 0.1 | 0.3 | - | - | - | - | 0.3 | 0.2 |
| 歩行器・シルバーカー | 0.9 | 2.1 | 1.4 | 0.5 | 0.8 | 0.5 | 1.1 | - |
| タクシー | 8.2 | 8.0 | 9.7 | 6.8 | 7.3 | 12.2 | 5.1 | 8.3 |
| その他 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 1.0 | 0.5 | 0.8 | 1.0 |
| 無回答 | 1.8 | 2.1 | 1.4 | 2.5 | 0.8 | 2.4 | 1.9 | 1.2 |

3. 食べることについて

問3 (1) 身長は何 cm ですか

「150cm 以上 155cm 未満」が 20.7% で最も高くなっています。次いで「155cm 以上 160cm 未満」が 19.1%、「165cm 以上 170cm 未満」が 16.6% で続いています。

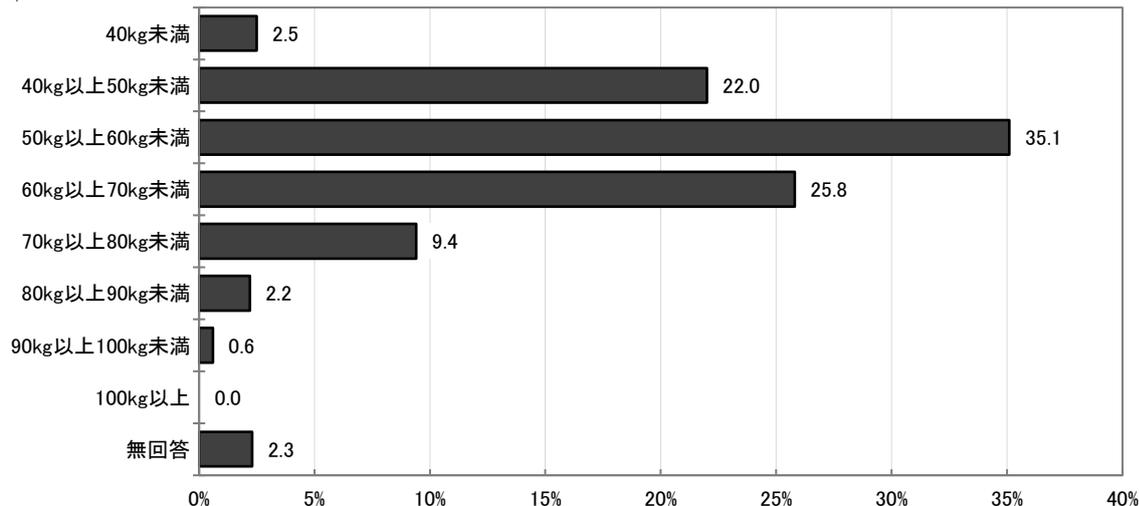
n=2,676



問3 (1) 体重は何 kg ですか

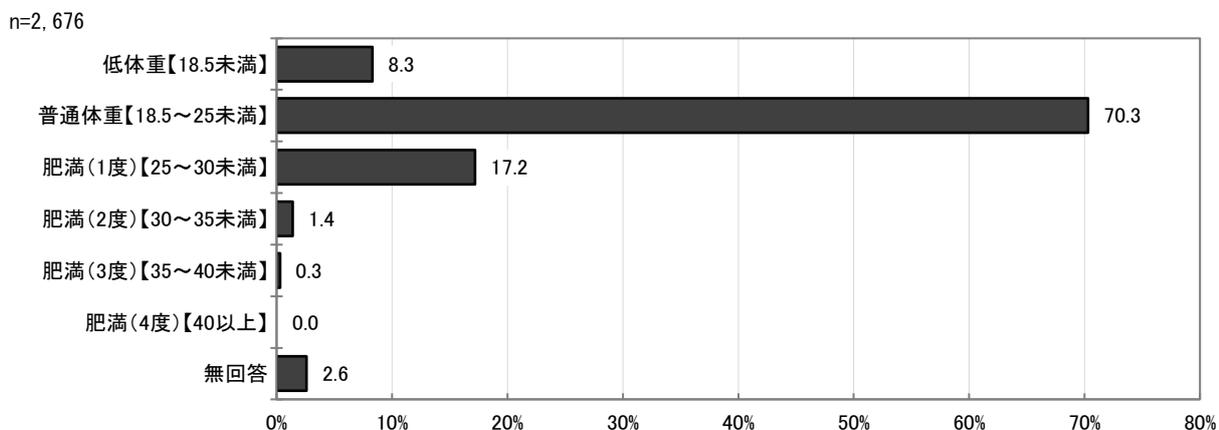
「50kg 以上 60kg 未満」が 35.1% で最も高くなっています。次いで「60kg 以上 70kg 未満」が 25.8%、「40kg 以上 50kg 未満」が 22.0% で続いています。

n=2,676



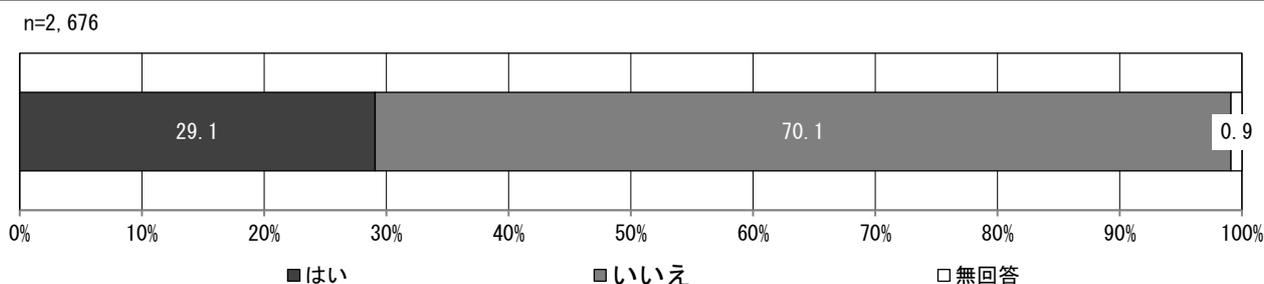
BMI（算出）

「普通体重【18.5～25未満】」が70.3%で突出しています。「肥満（1度）【25～30未満】」が17.2%、「低体重【18.5未満】」が8.3%が続いています。



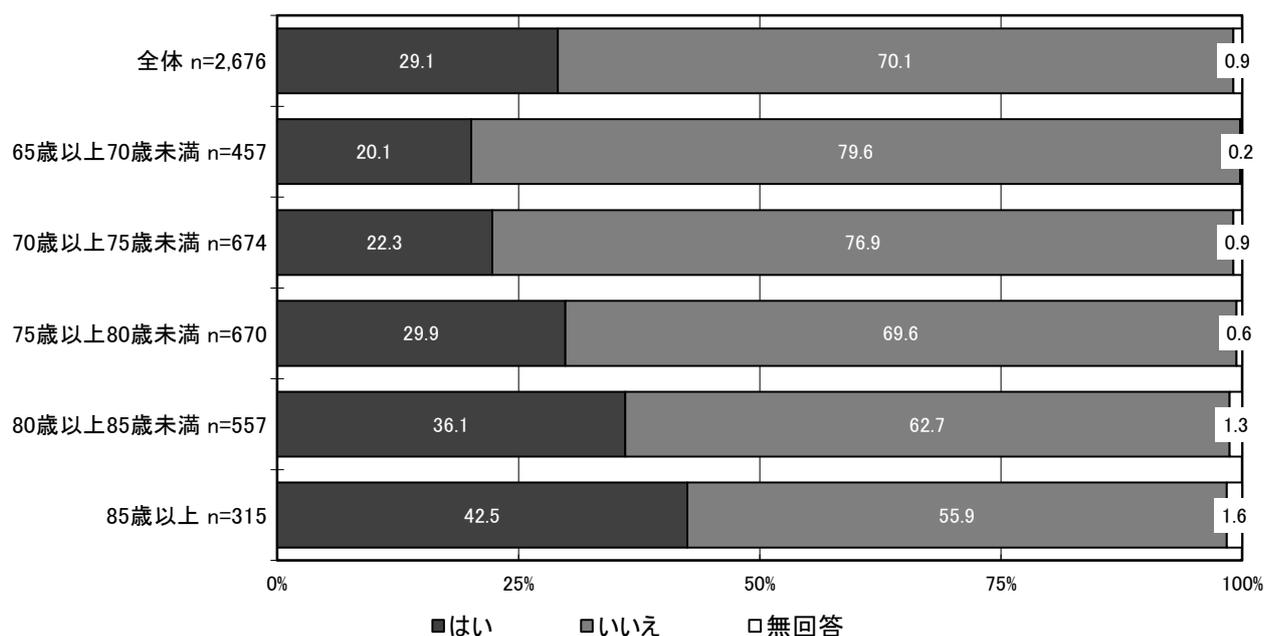
問3（2） 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか【単数回答】

「いいえ」が70.1%を占めています。



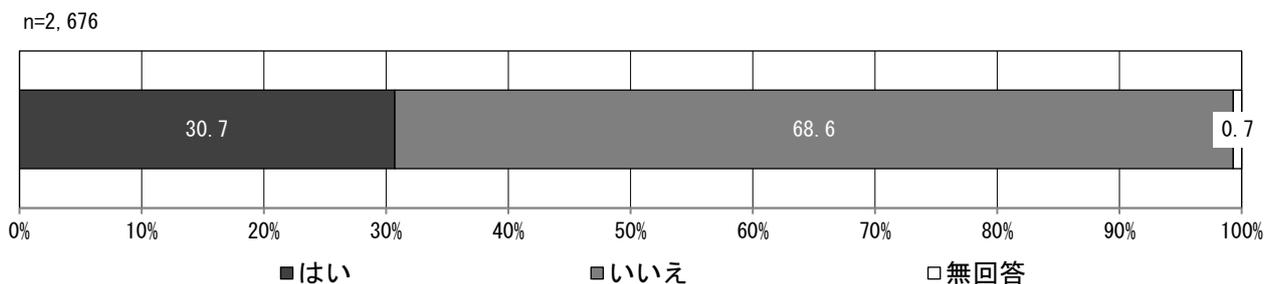
《半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか》×《年齢別》

年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



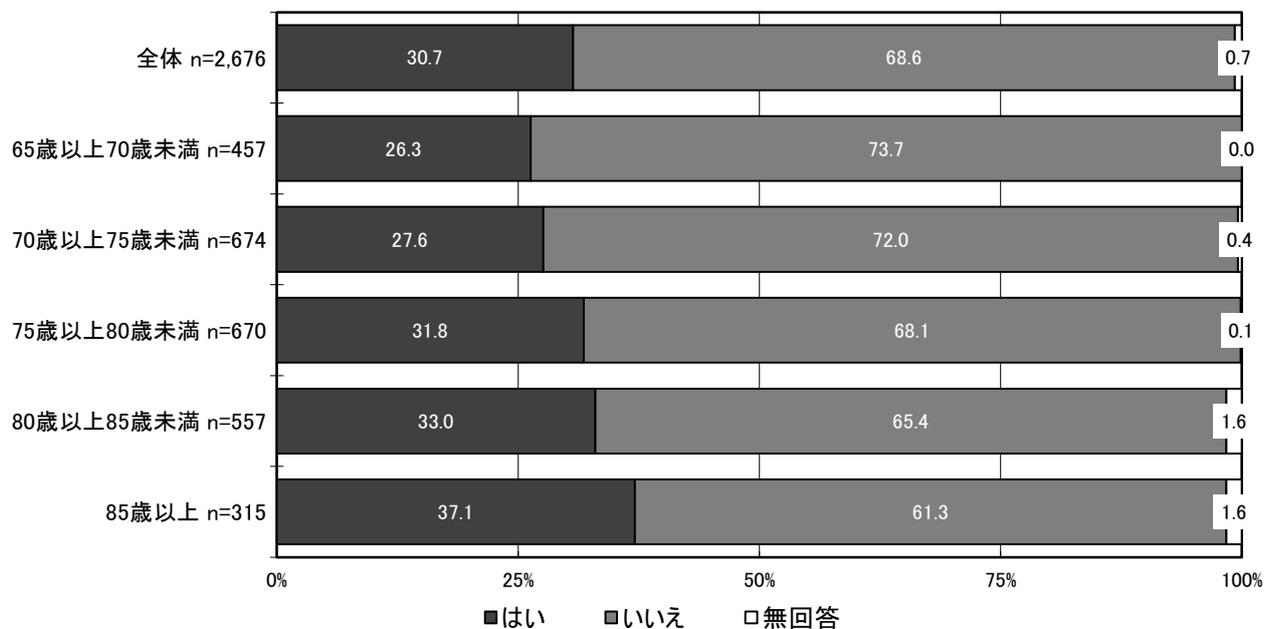
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか【単数回答】

「いいえ」が68.6%を占めています。



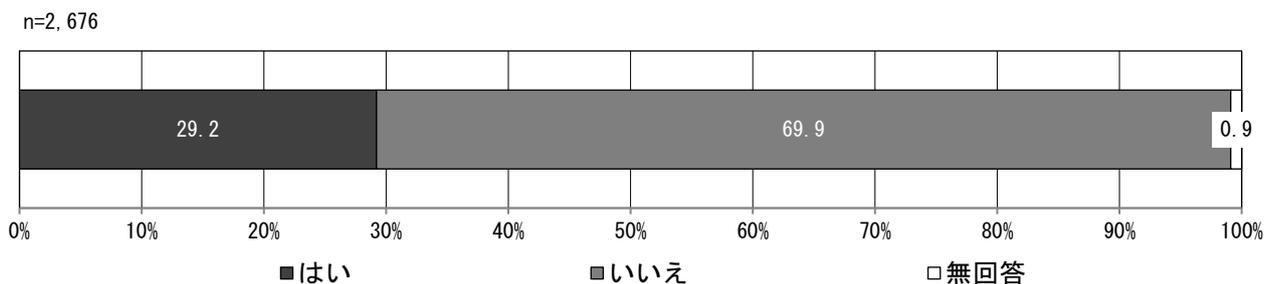
《お茶や汁物等でむせることがありますか》×《年齢別》

年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



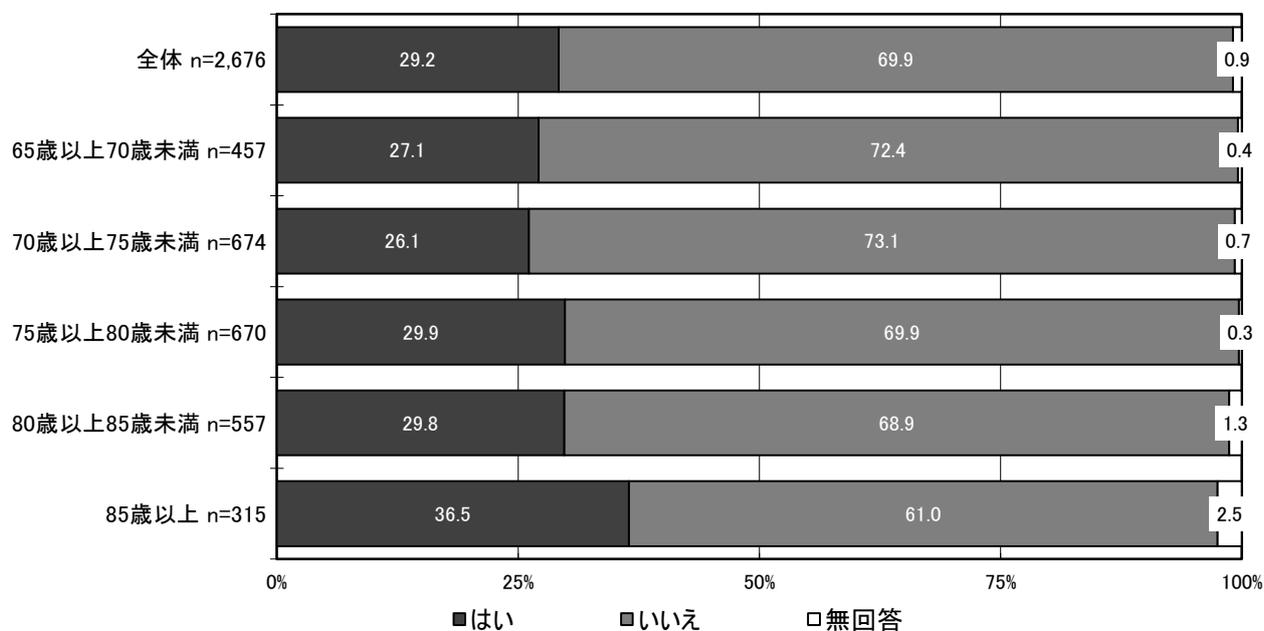
問3（4） 口の渇きが気になりますか【単数回答】

「いいえ」が69.9%を占めています。



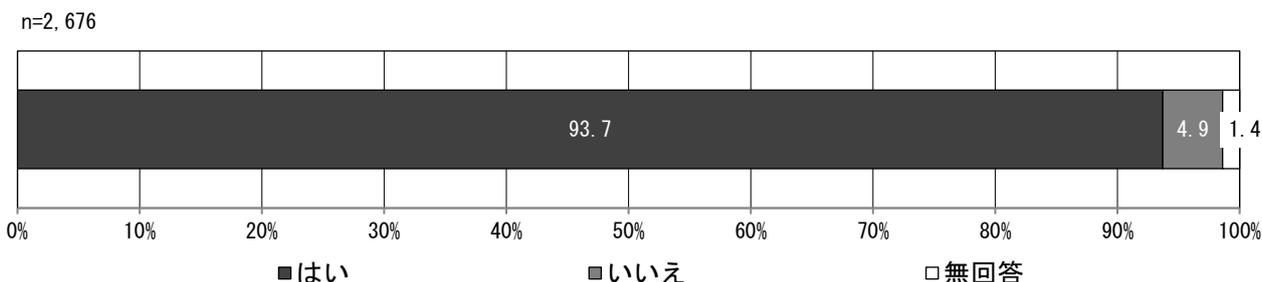
《口の渇きが気になりますか》 × 《年齢別》

『85歳以上』では「はい」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



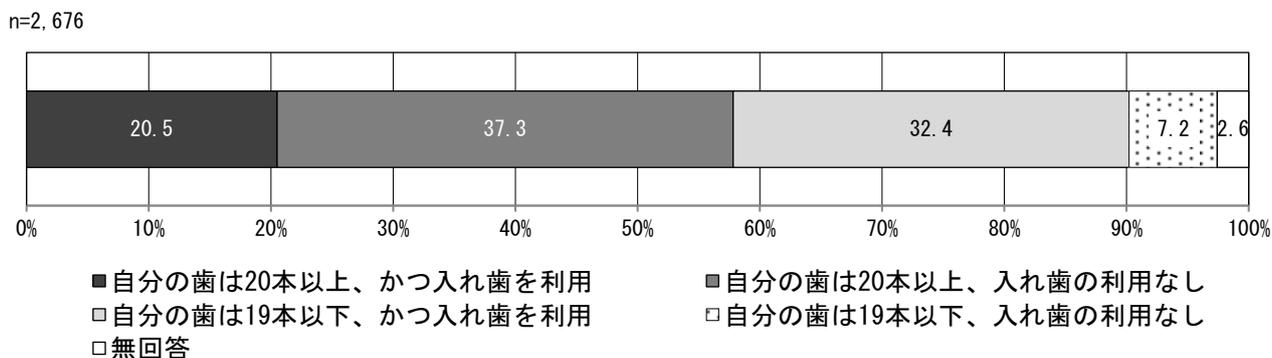
問3 (5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか【単数回答】

「はい」が93.7%を占めています。



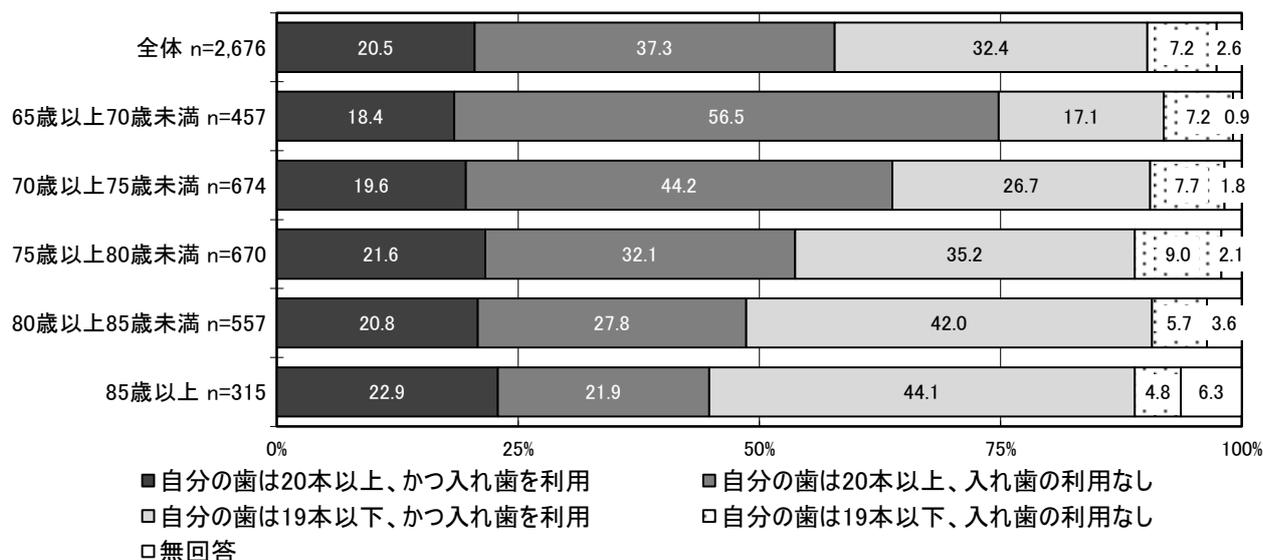
問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください【単数回答】

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.3%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が20.5%で続いています。



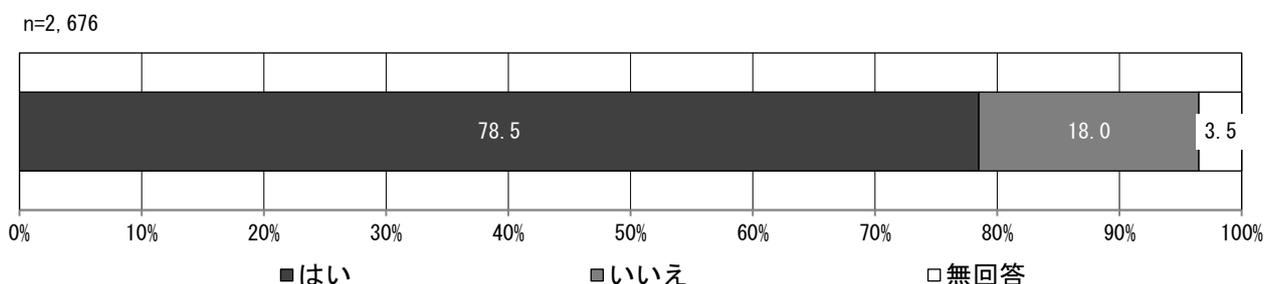
《歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください》×《年齢別》

年齢が上がるにつれて「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



問3（7） 噛み合わせは良いですか【単数回答】

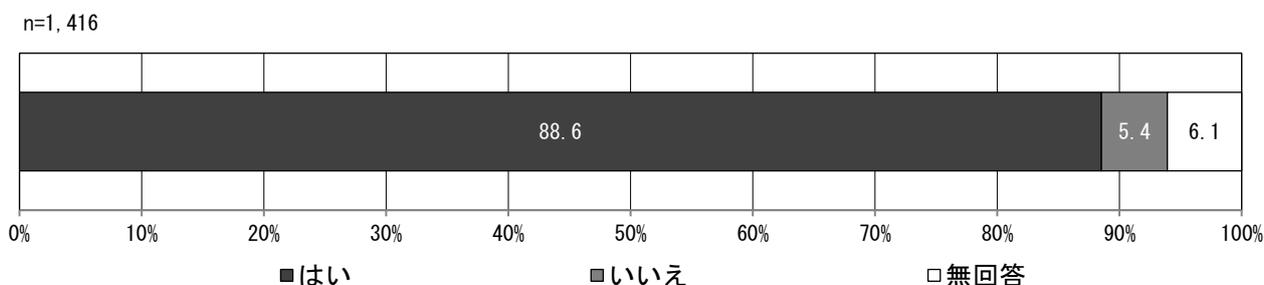
「はい」が78.5%を占めています。



【問3（6）において「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方】

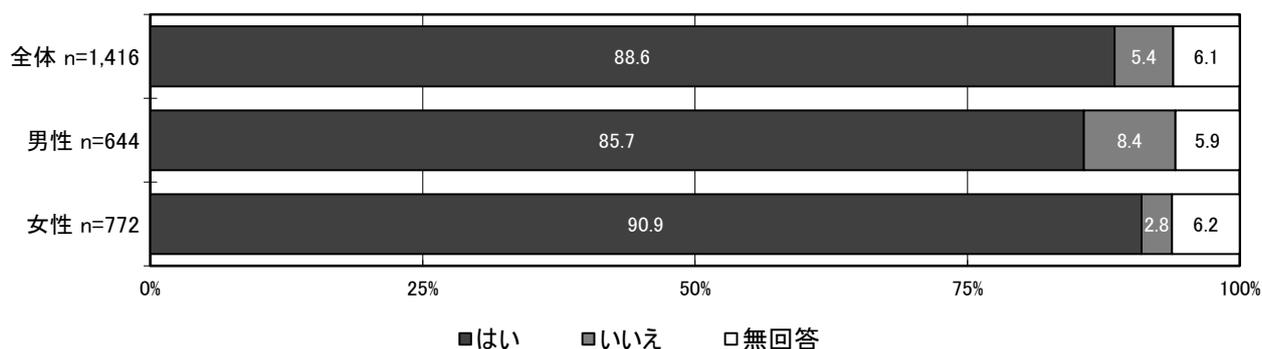
問3（8） 毎日入れ歯の手入れをしていますか【単数回答】

「はい」が88.6%を占めています。



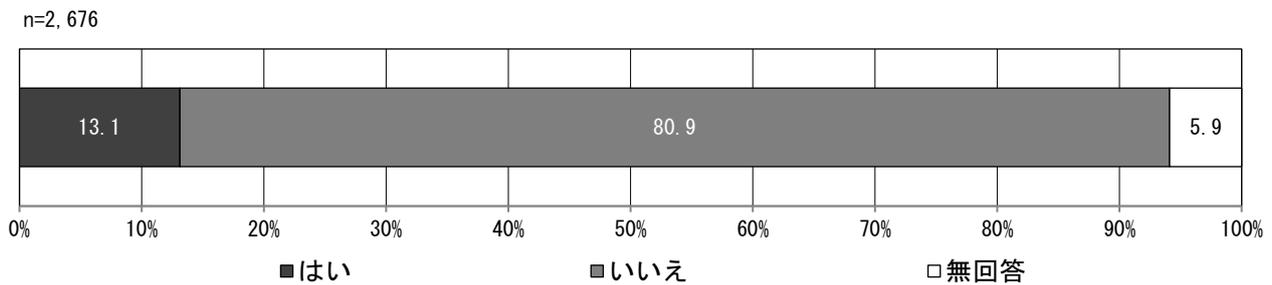
《毎日入れ歯の手入れをしていますか》×《性別》

『女性』は『男性』に比べて「はい」の割合が高くなっています。



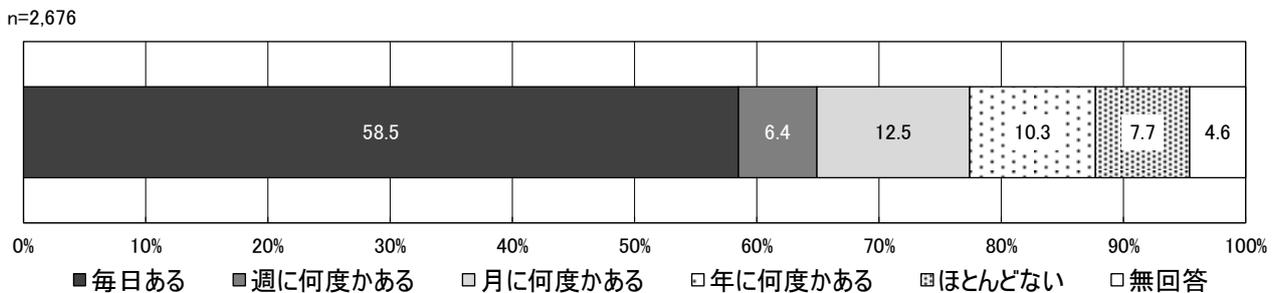
問3 (9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか【単数回答】

「いいえ」が80.9%を占めています。



問3 (10) どなたかと食事をとにもする機会がありますか【単数回答】

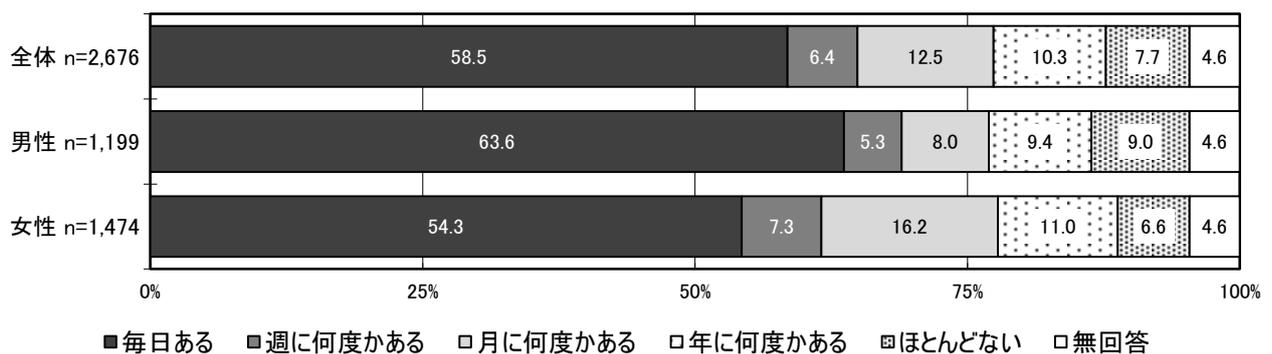
「毎日ある」が58.5%で突出しています。「月に何度かある」が12.5%、「年に何度かある」が10.3%が続いています。



《どなたかと食事をとにもする機会がありますか》×《性別》

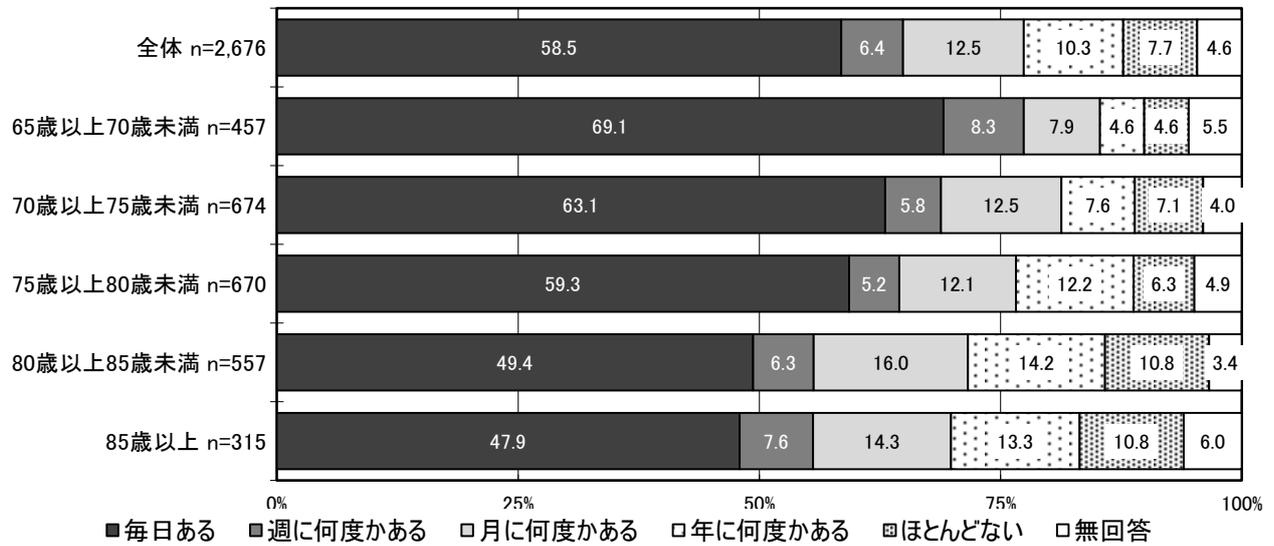
『男性』は『女性』に比べて「毎日ある」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「月に何度かある」の割合が高くなっています。



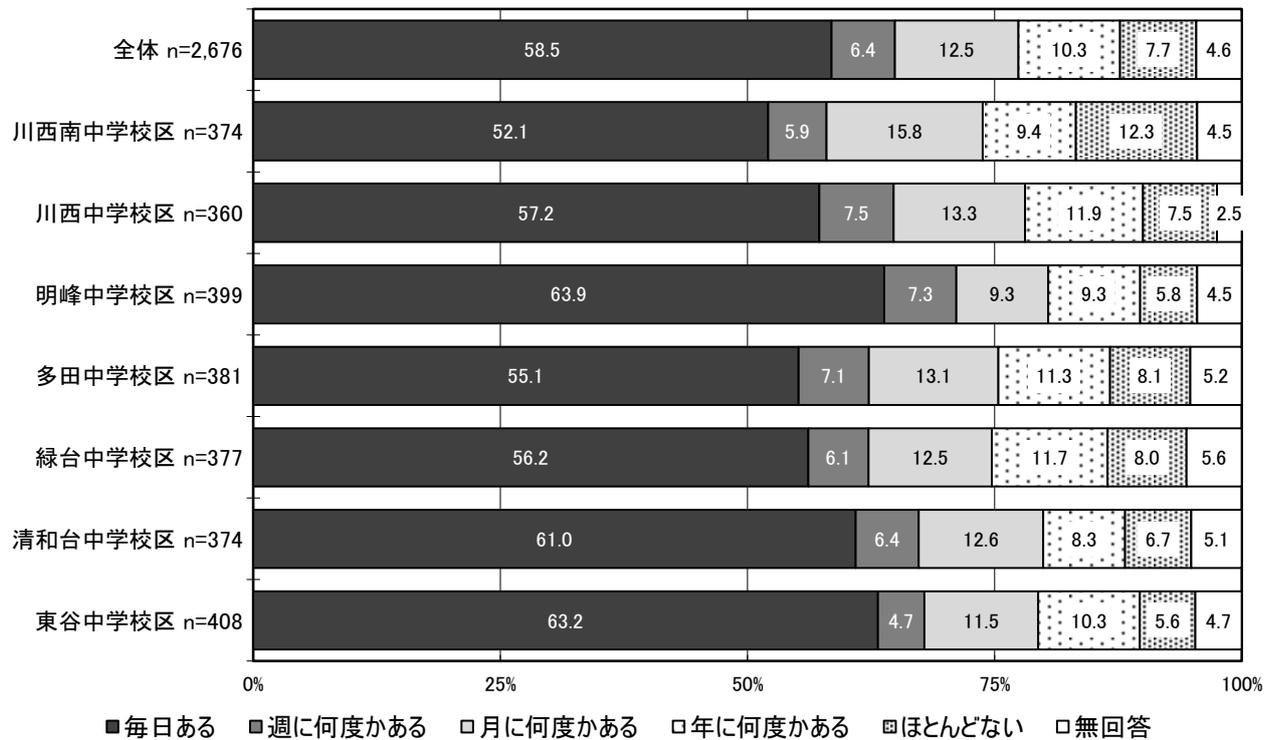
《どなたかと食事をともしる機会がありますか》 × 《年齢別》

年齢が若いほど「毎日ある」の割合が高くなっています。



《どなたかと食事をともしる機会がありますか》 × 《地区別》

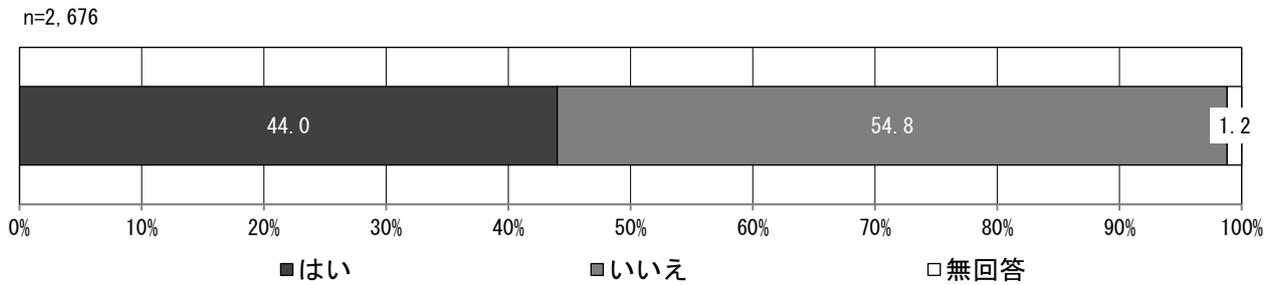
『川西南中学校区』では「ほとんどない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



4. 毎日の生活について

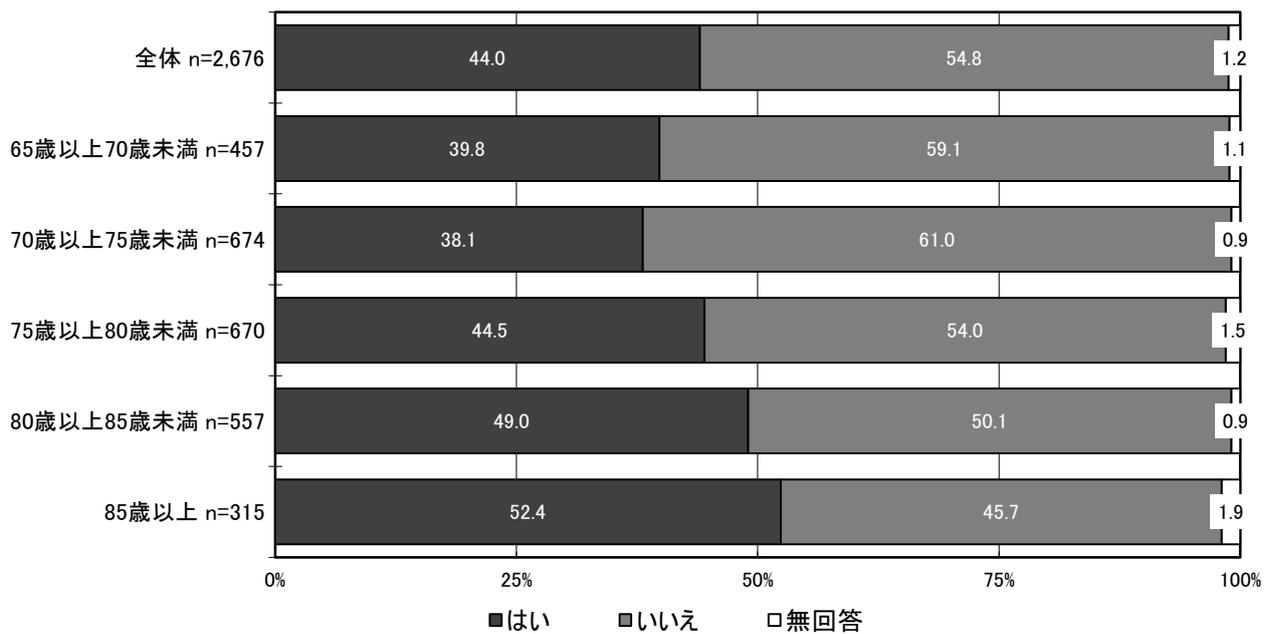
問4（1） 物忘れが多いと感じますか【単数回答】

「いいえ」が54.8%を占めています。



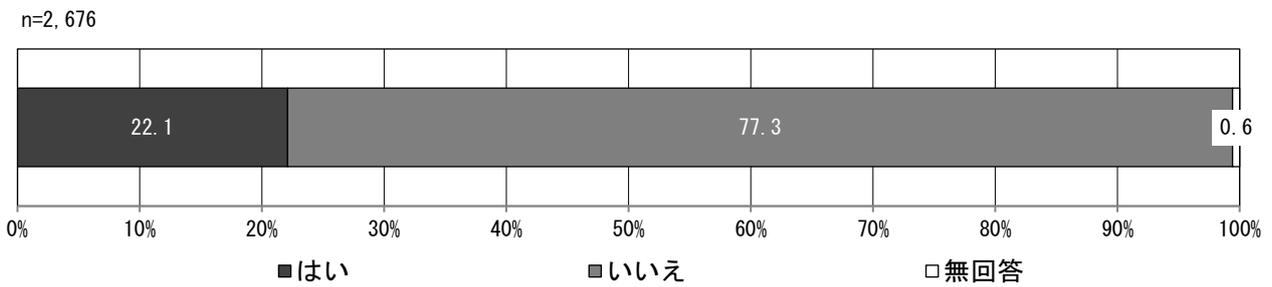
《物忘れが多いと感じますか》 × 《年齢別》

年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



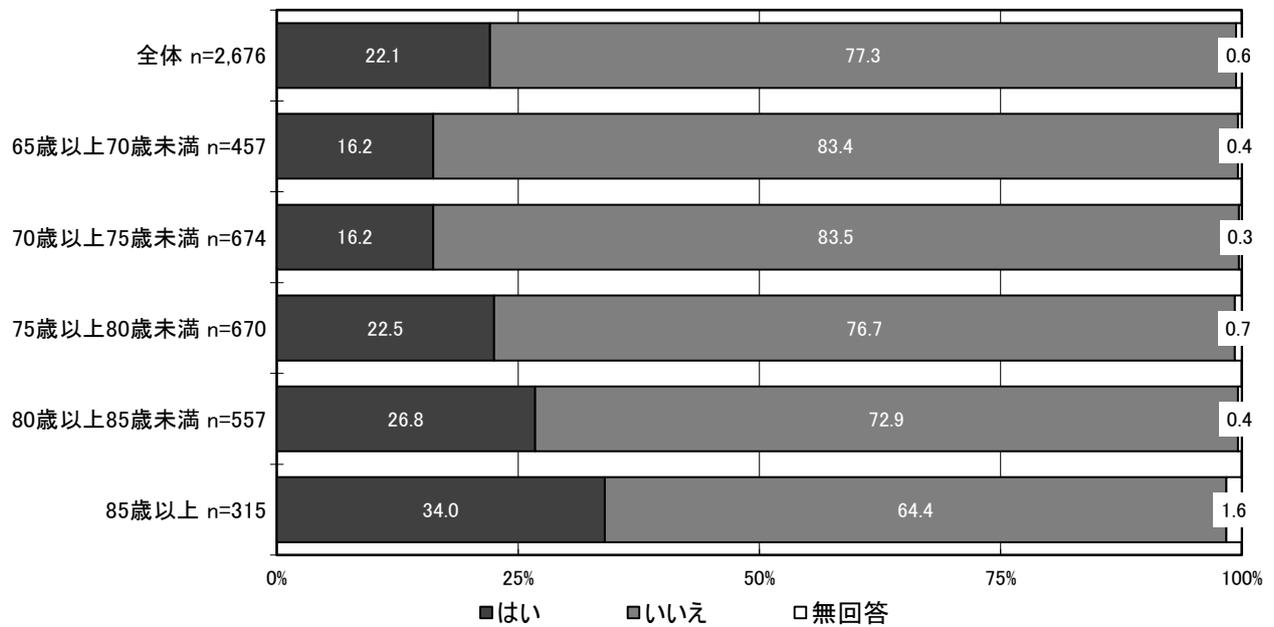
問4（2） 今日が何月何日かわからない時がありますか【単数回答】

「いいえ」が77.3%を占めています。



《今日が何月何日かわからない時がありますか》 × 《年齢別》

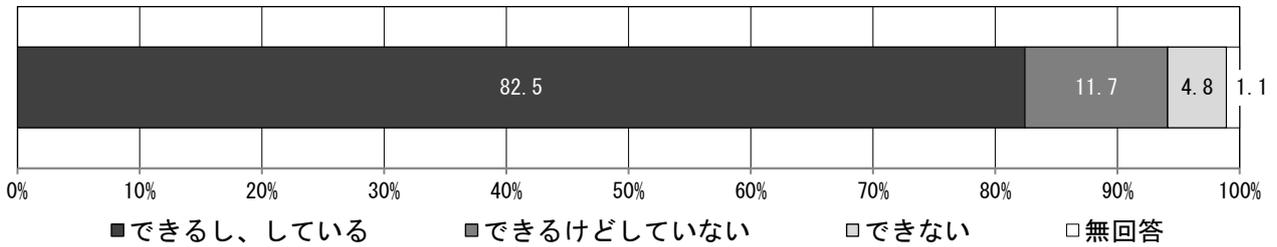
年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



問4（3） バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）【単数回答】

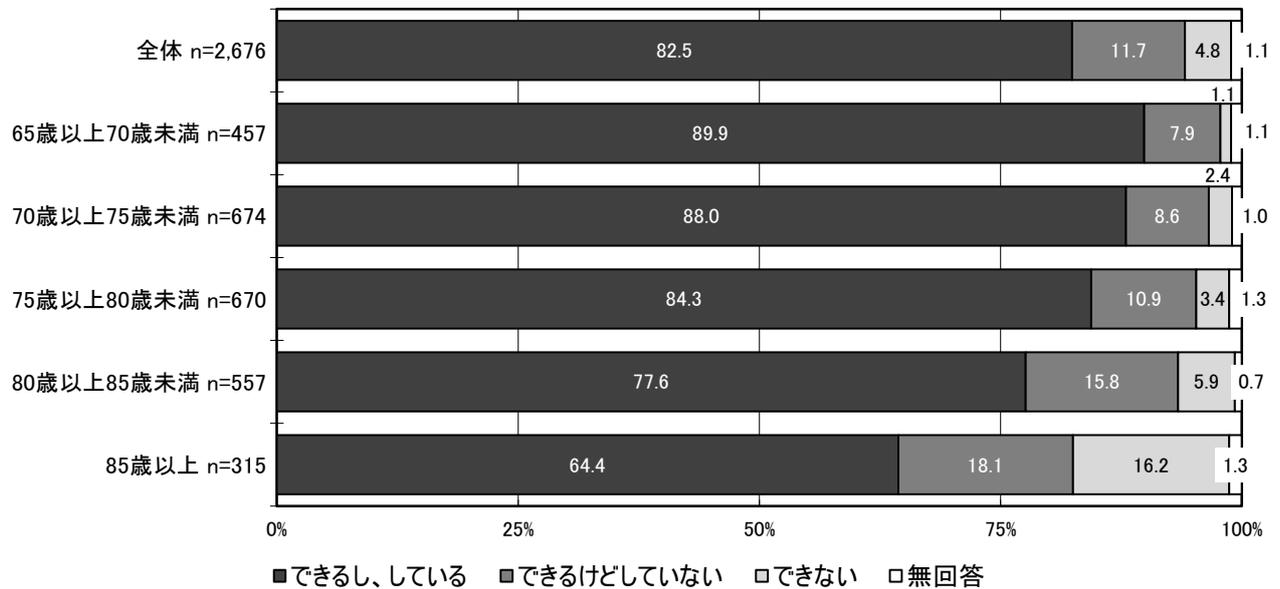
「できるし、している」が82.5%を占めています。

n=2,676



《バスや電車を使って1人で外出していますか》 × 《年齢別》

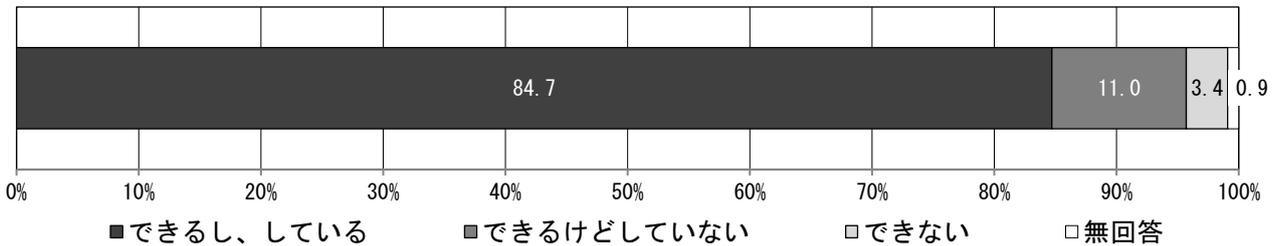
『85歳以上』では「できない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問4（4） 自分で食品・日用品の買物をしていますか【単数回答】

「できるし、している」が84.7%を占めています。

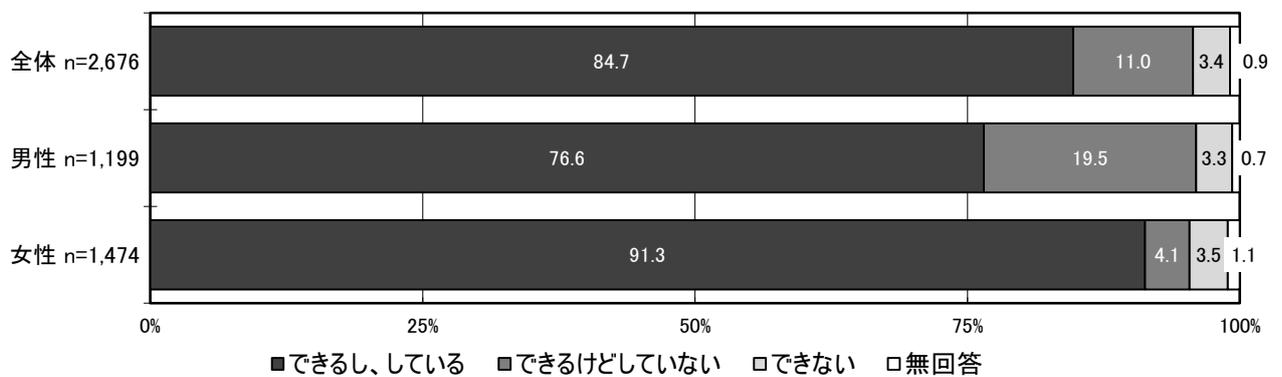
n=2,676



《自分で食品・日用品の買物をしていますか》×《性別》

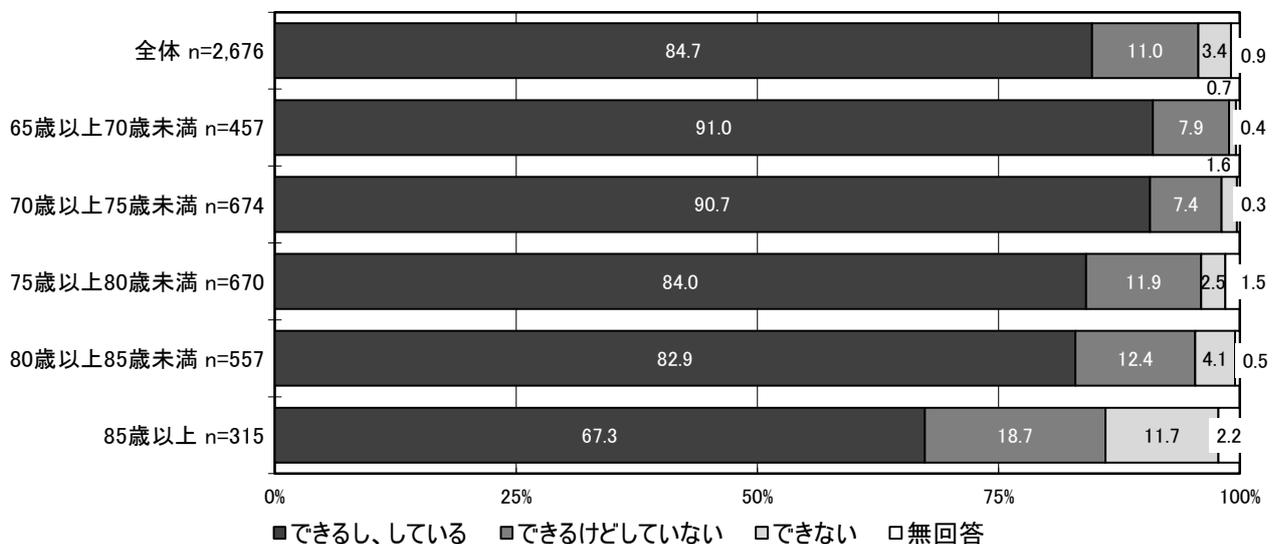
『男性』は『女性』に比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「できるし、している」の割合が高くなっています。



《自分で食品・日用品の買物をしていますか》×《年齢別》

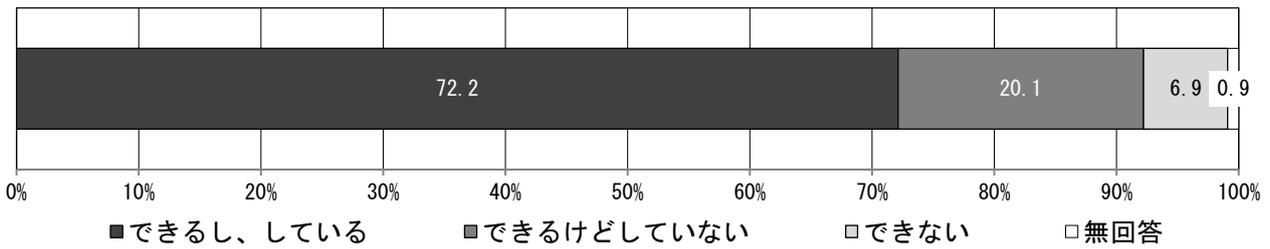
『85歳以上』では「できるけどしていない」「できない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問4（5） 自分で食事の用意をしていますか【単数回答】

「できるし、している」が72.2%を占めています。

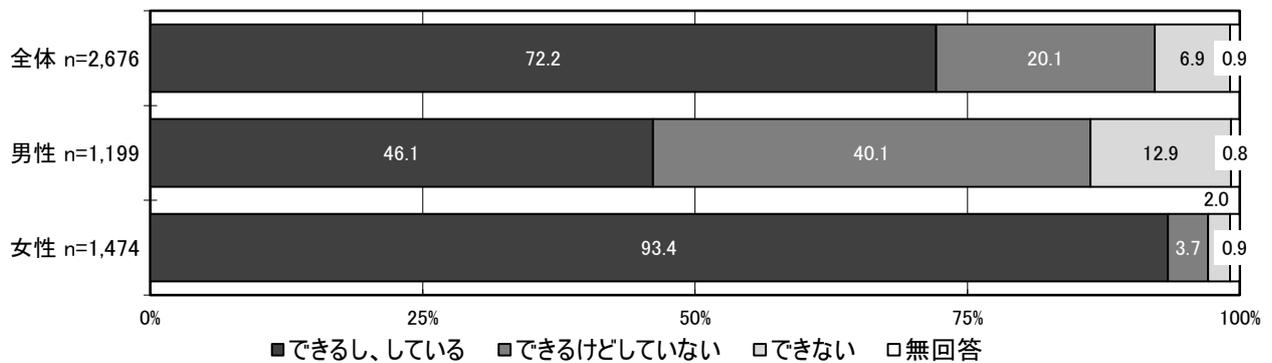
n=2,676



《自分で食事の用意をしていますか》×《性別》

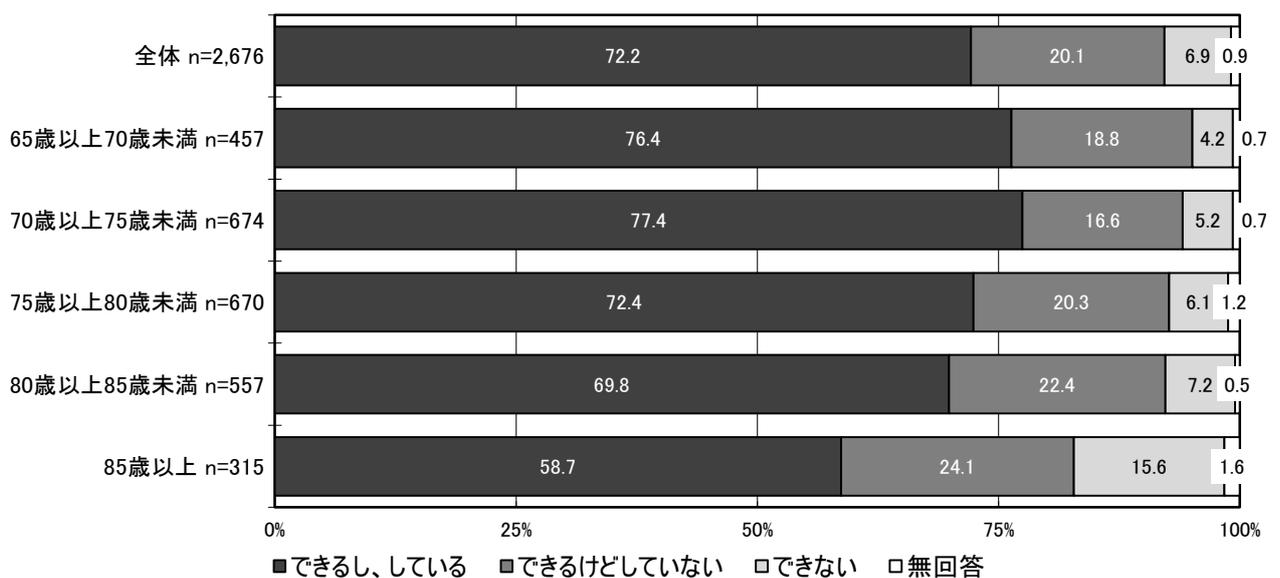
『男性』は『女性』に比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「できるし、している」の割合が高くなっています。



《自分で食事の用意をしていますか》×《年齢別》

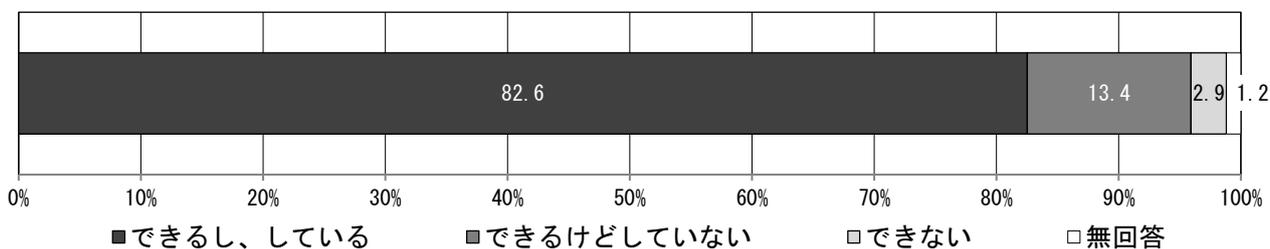
『85歳以上』では「できない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問4（6） 自分で請求書の支払いをしていますか【単数回答】

「できるし、している」が82.6%を占めています。

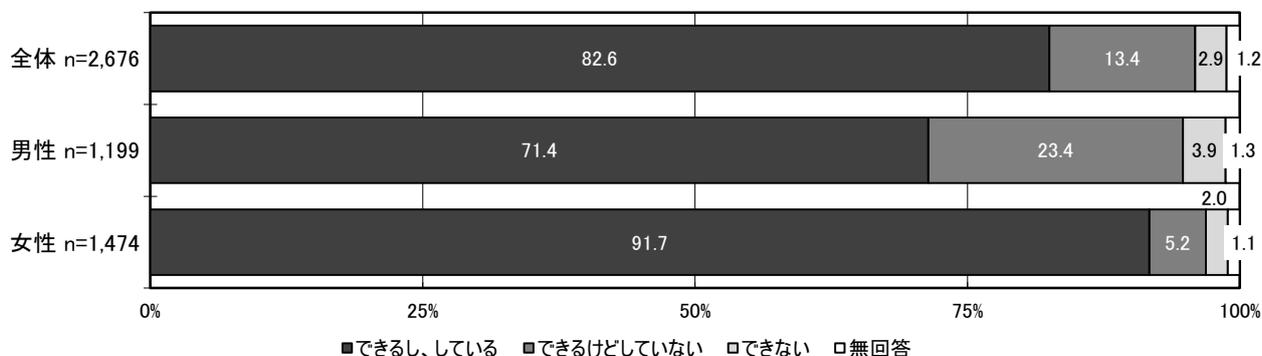
n=2,676



《自分で請求書の支払いをしていますか》 × 《性別》

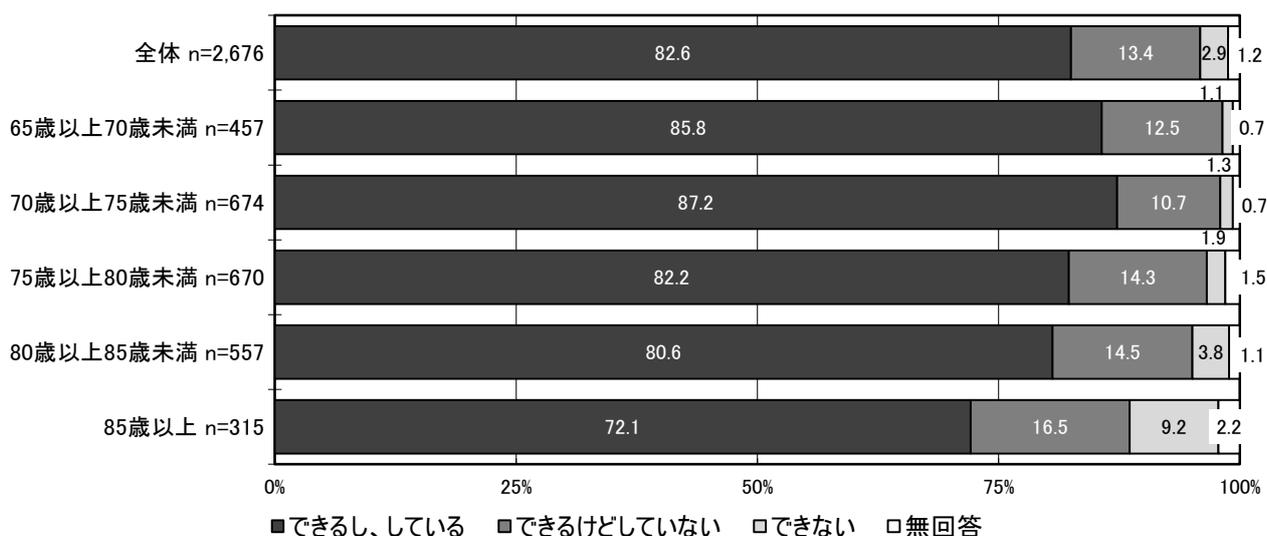
『男性』は『女性』に比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「できるし、している」の割合が高くなっています。



《自分で請求書の支払いをしていますか》 × 《年齢別》

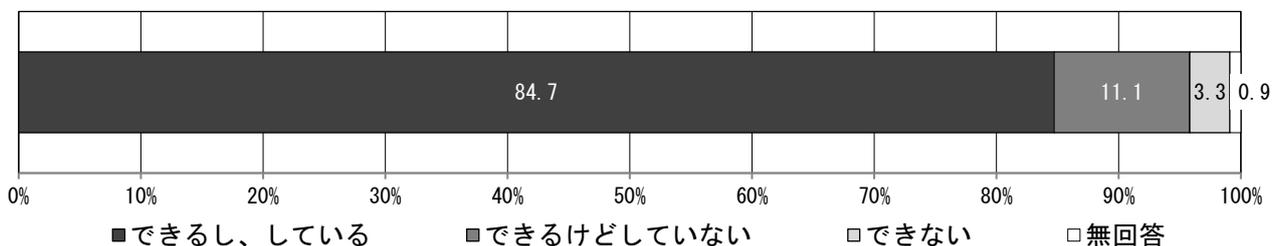
『85歳以上』では「できない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問4（7） 自分で預貯金の出し入れをしていますか【単数回答】

「できるし、している」が84.7%を占めています。

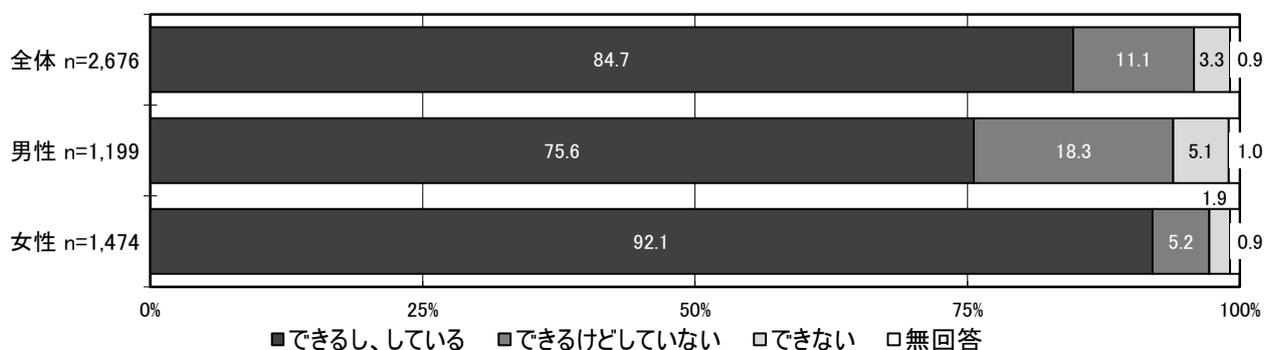
n=2,676



《自分で預貯金の出し入れをしていますか》 × 《性別》

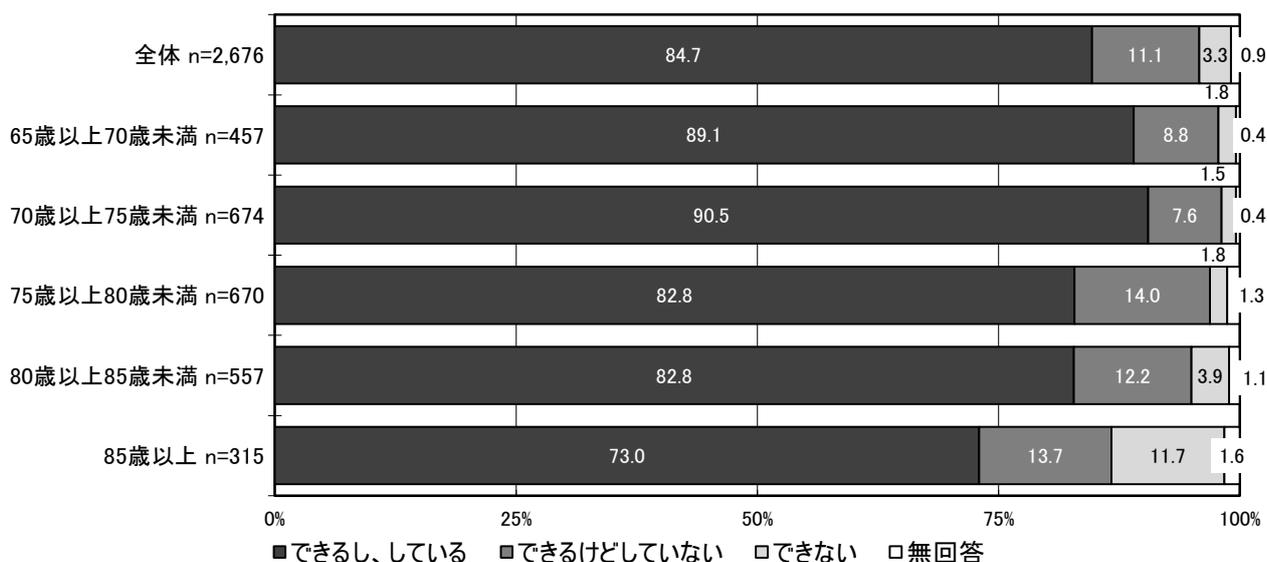
『男性』は『女性』に比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「できるし、している」の割合が高くなっています。



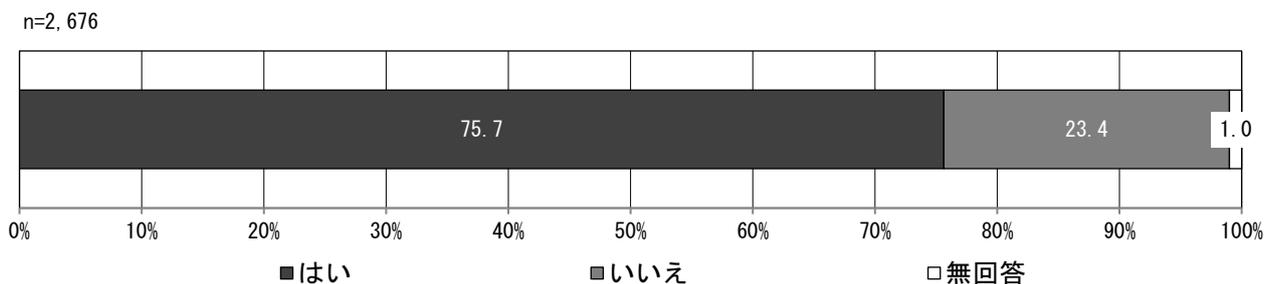
《自分で預貯金の出し入れをしていますか》 × 《年齢別》

『85歳以上』では「できない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



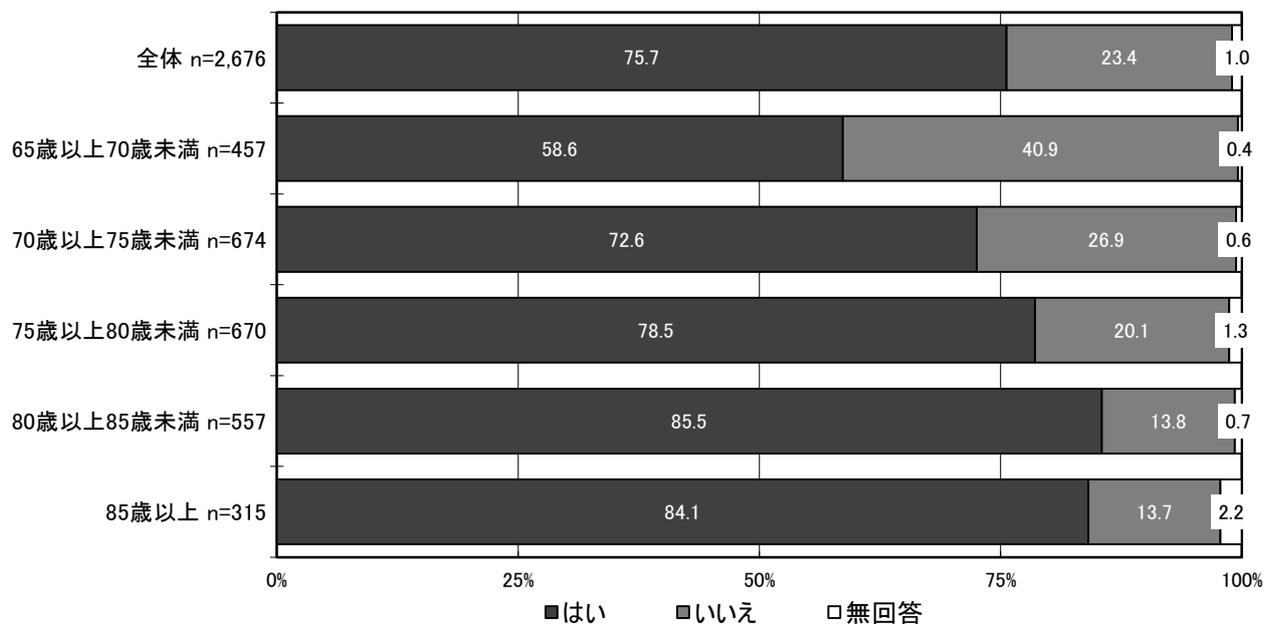
問4（8） 新聞を読んでいますか【単数回答】

「はい」が75.7%を占めています。



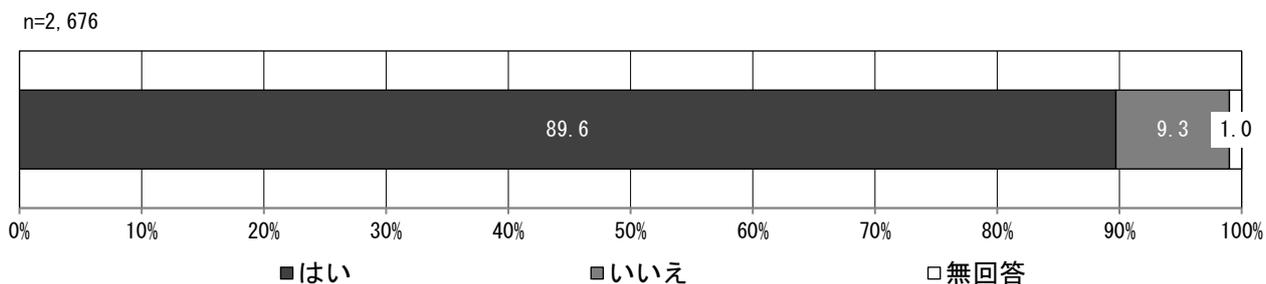
《新聞を読んでいますか》 × 《年齢別》

『65歳以上70歳未満』では「いいえ」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



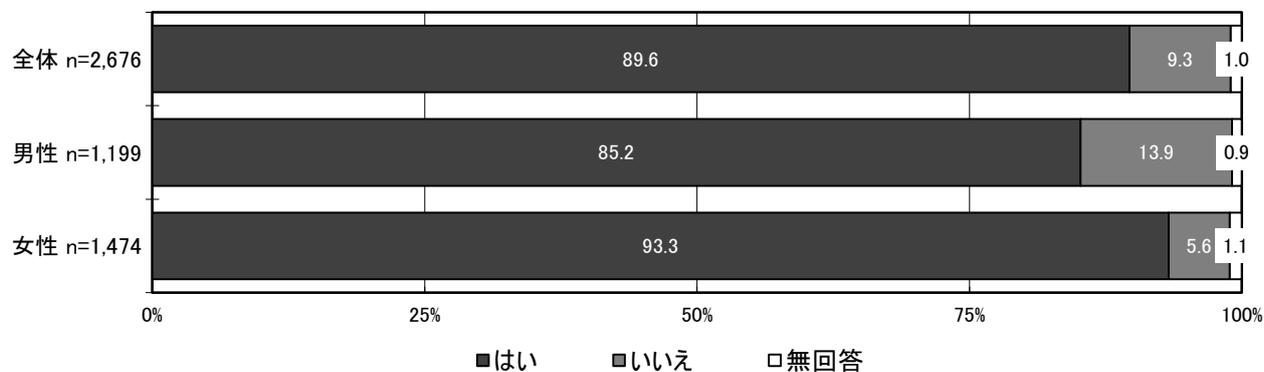
問4（9） 健康についての記事や番組に関心がありますか【単数回答】

「はい」が89.6%を占めています。



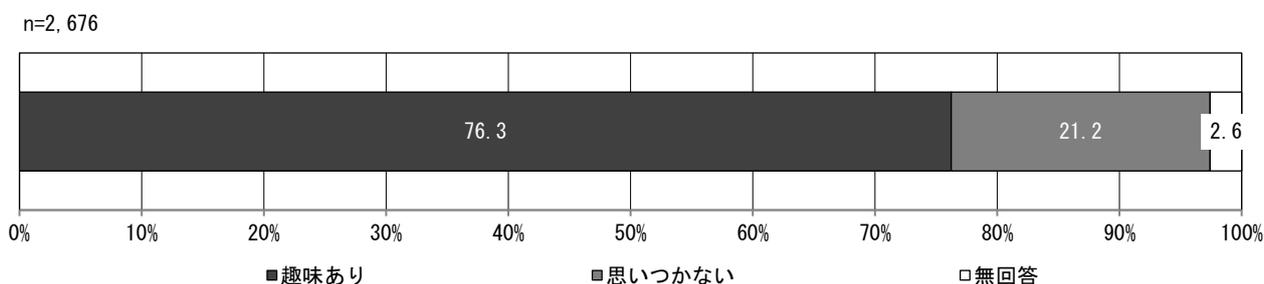
《健康についての記事や番組に関心がありますか》×《性別》

『女性』は『男性』に比べて「はい」の割合が高くなっています。



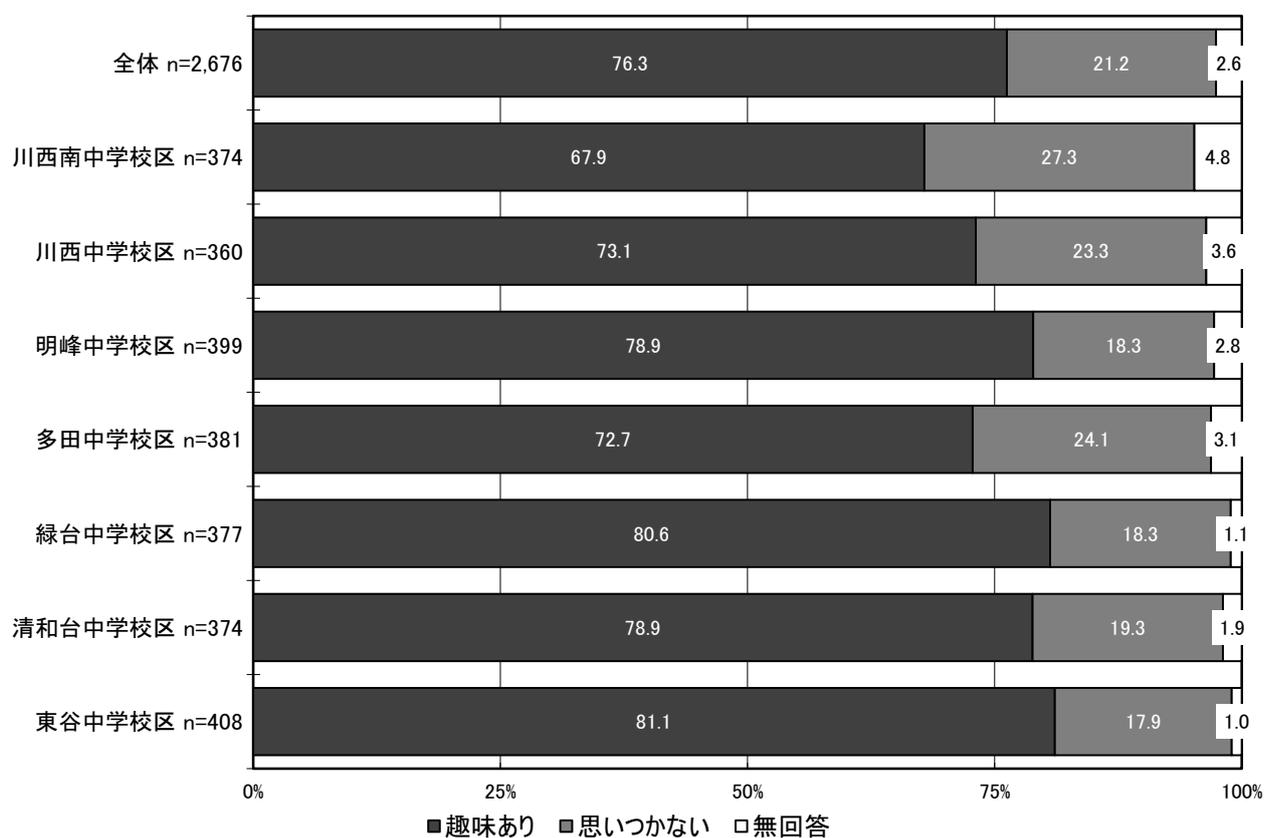
問4 (10) 趣味はありますか【単数回答】

「趣味あり」が76.3%を占めています。



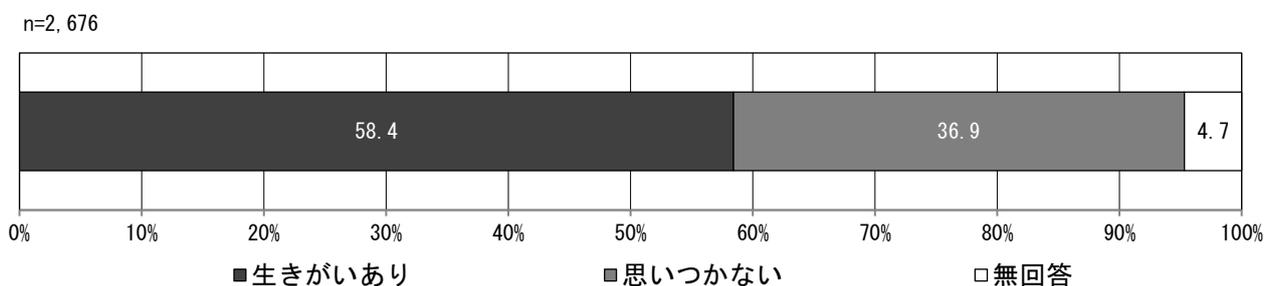
《趣味はありますか》 × 《地区別》

『川西南中学校区』では「思いつかない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



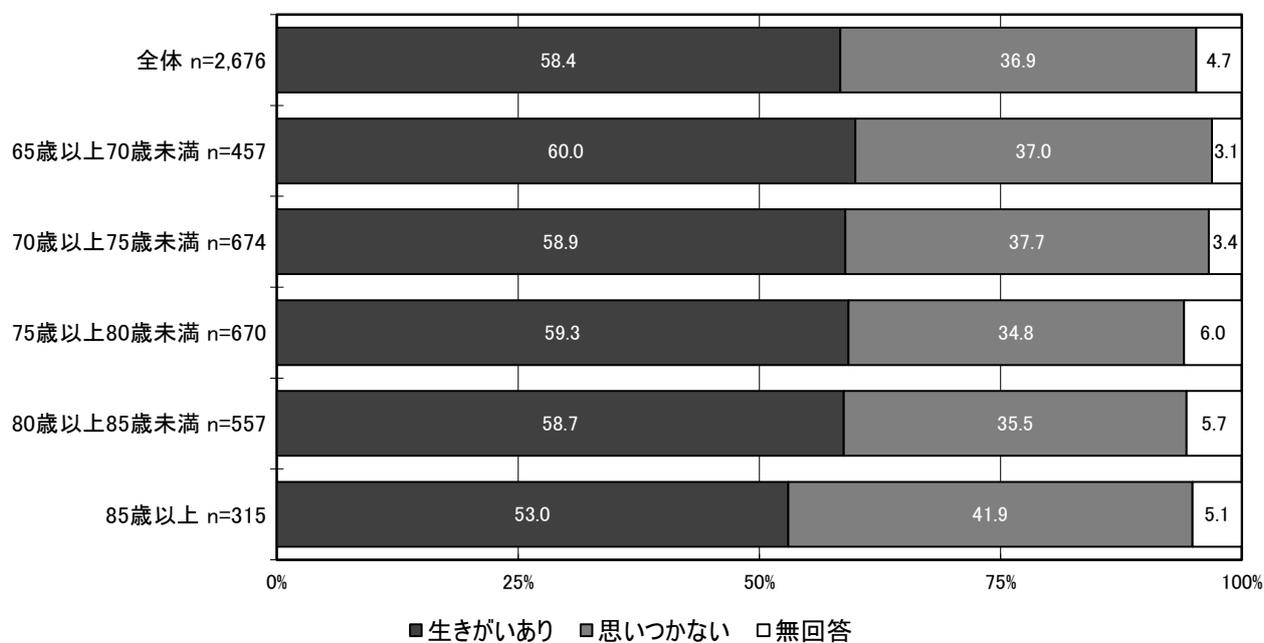
問4 (11) 生きがいがありますか【単数回答】

「生きがいあり」が58.4%を占めています。



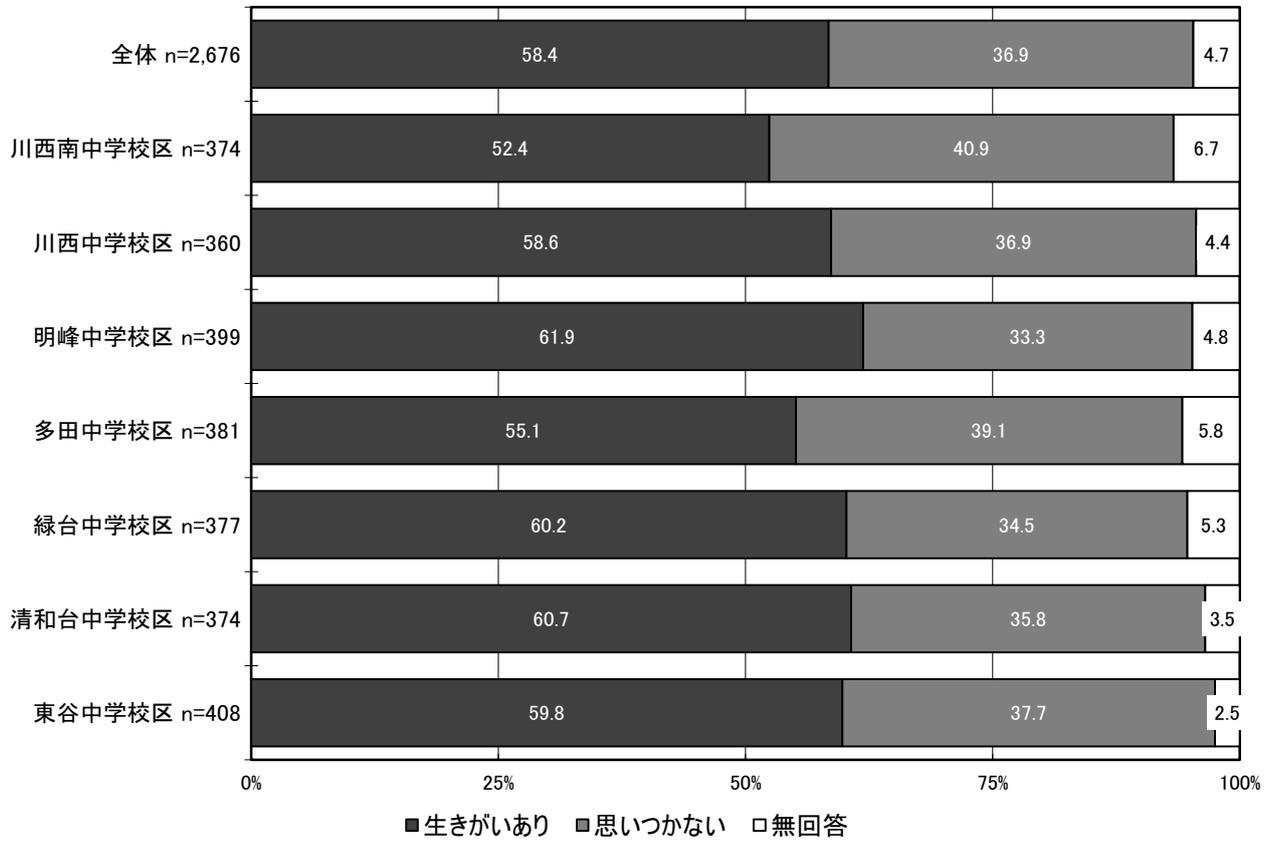
《生きがいがありますか》 × 《年齢別》

『85歳以上』では「思いつかない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



《生きがいがありますか》×《地区別》

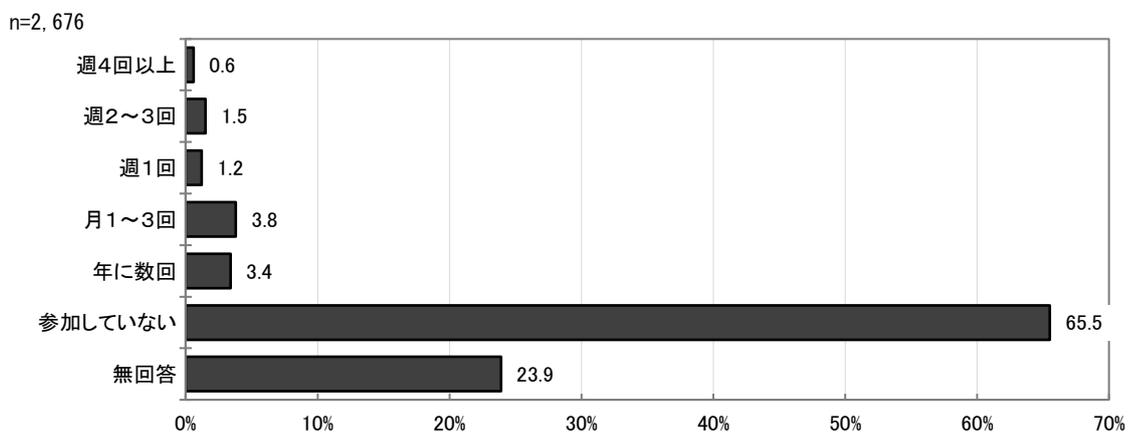
『川西南中学校区』『多田中学校区』では「思いつかない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



5. 地域での活動について

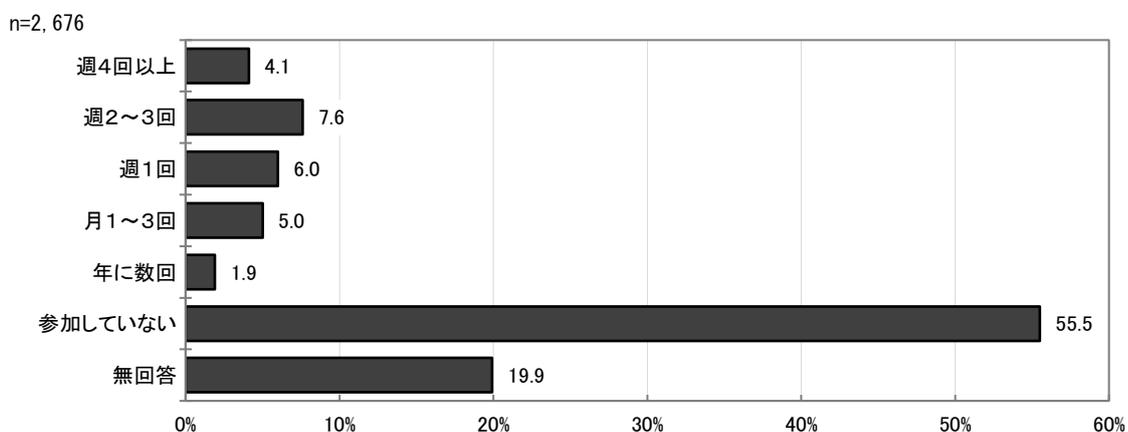
問5（1）① 「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか【単数回答】

「参加していない」が65.5%で突出しています。「月1～3回」が3.8%、「年に数回」が3.4%で続いています。



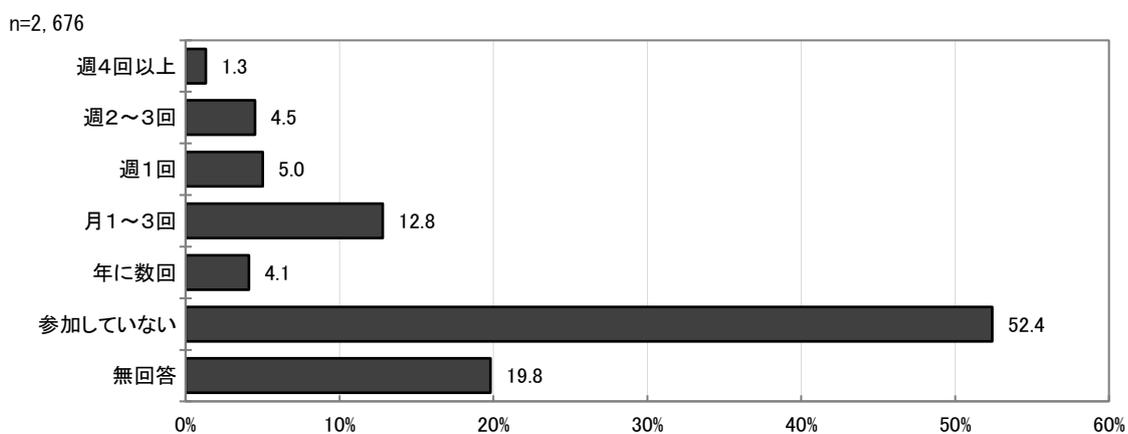
問5（1）② 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか【単数回答】

「参加していない」が55.5%で突出しています。「週2～3回」が7.6%、「週1回」が6.0%で続いています。



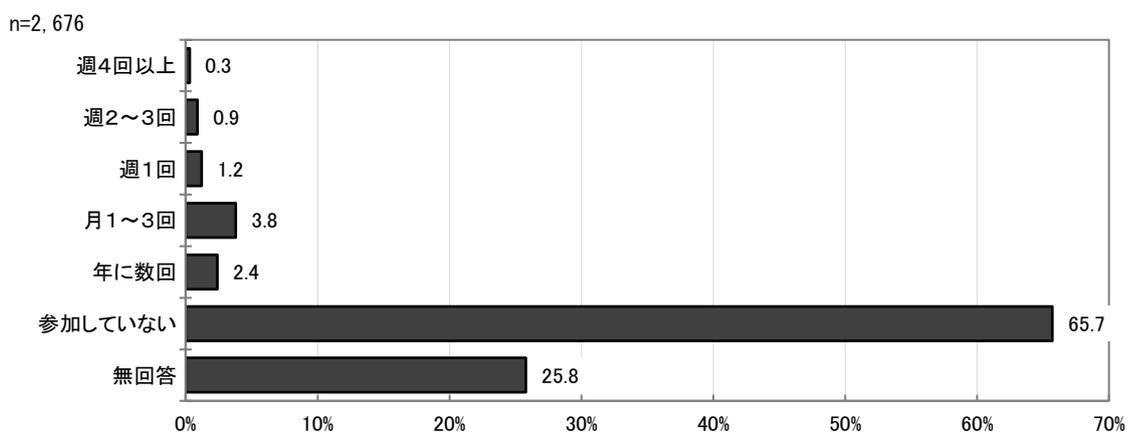
問5(1)③ 「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか【単数回答】

「参加していない」が52.4%で突出しています。「月1～3回」が12.8%、「週1回」が5.0%で続いています。



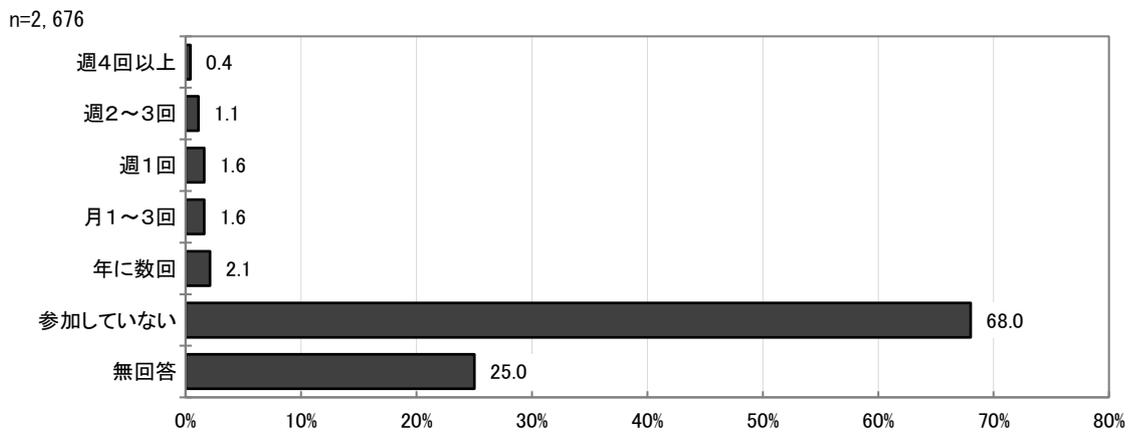
問5(1)④ 「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加していますか【単数回答】

「参加していない」が65.7%で突出しています。「月1～3回」が3.8%、「年に数回」が2.4%で続いています。



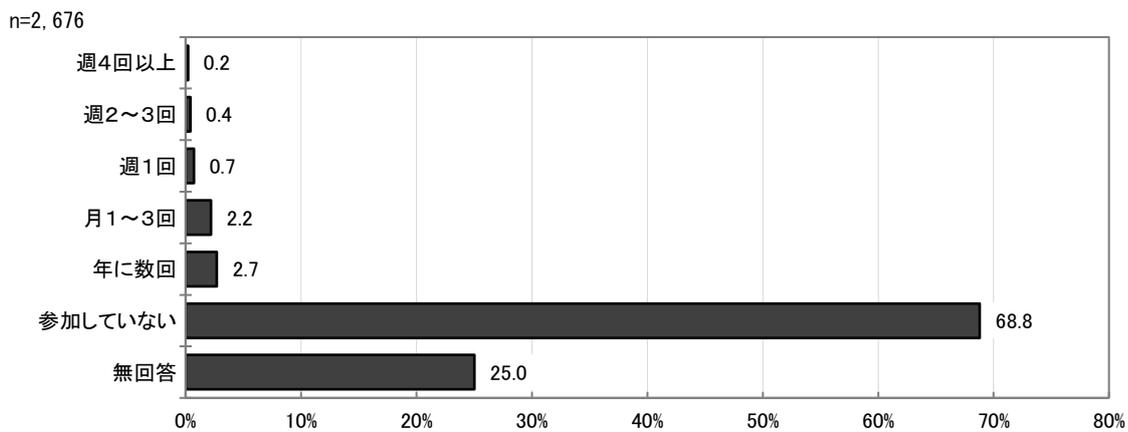
問5(1)⑤ 「介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加していますか【単数回答】

「参加していない」が68.0%で突出しています。「年に数回」が2.1%、「週1回」が1.6%で続いています。



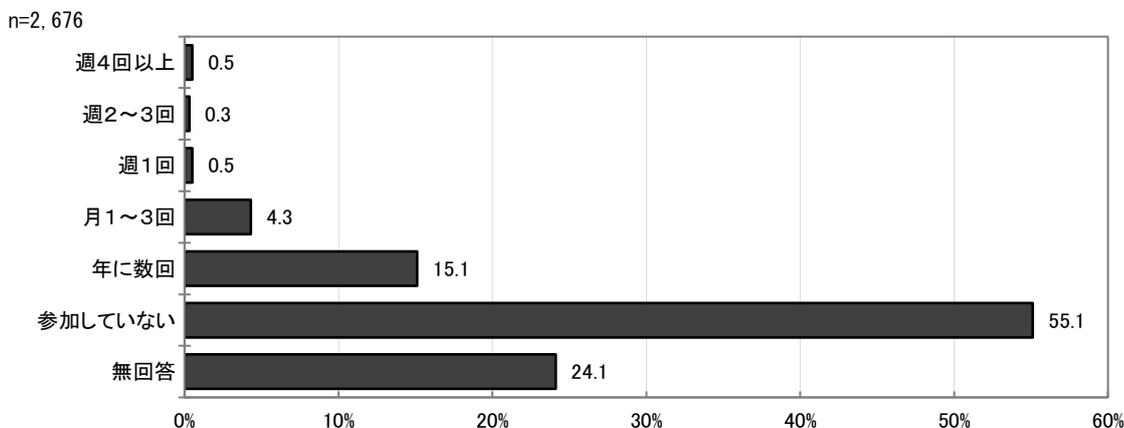
問5(1)⑥ 「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか【単数回答】

「参加していない」が68.8%で突出しています。「年に数回」が2.7%、「月1~3回」が2.2%で続いています。



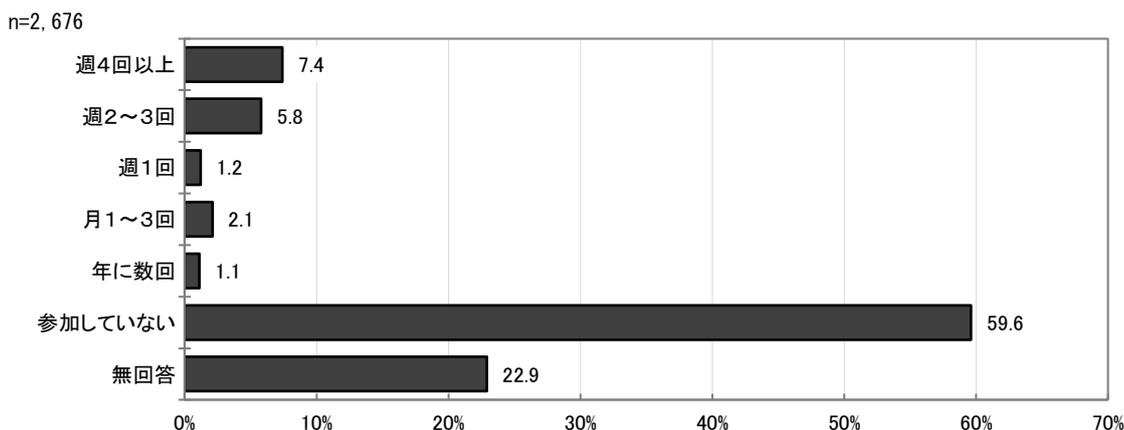
問5 (1) ⑦ 「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加していますか【単数回答】

「参加していない」が55.1%で突出しています。「年に数回」が15.1%、「月1～3回」が4.3%で続いています。



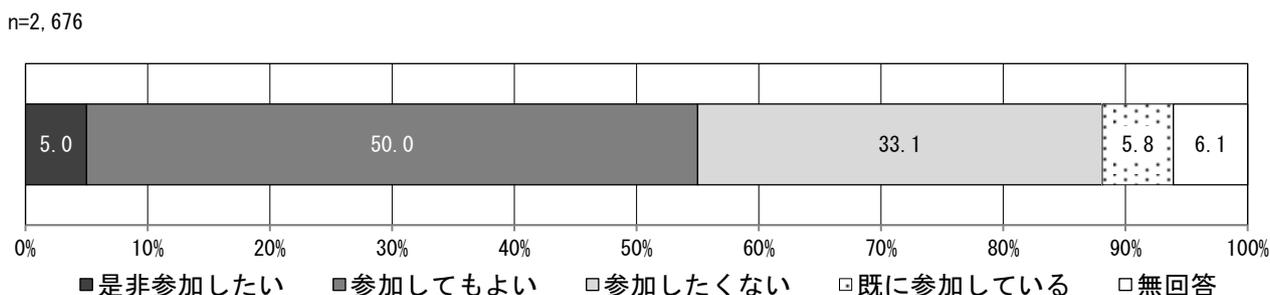
問5 (1) ⑧ 「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で参加していますか【単数回答】

「参加していない」が59.6%で突出しています。「週4回以上」が7.4%、「週2～3回」が5.8%で続いています。



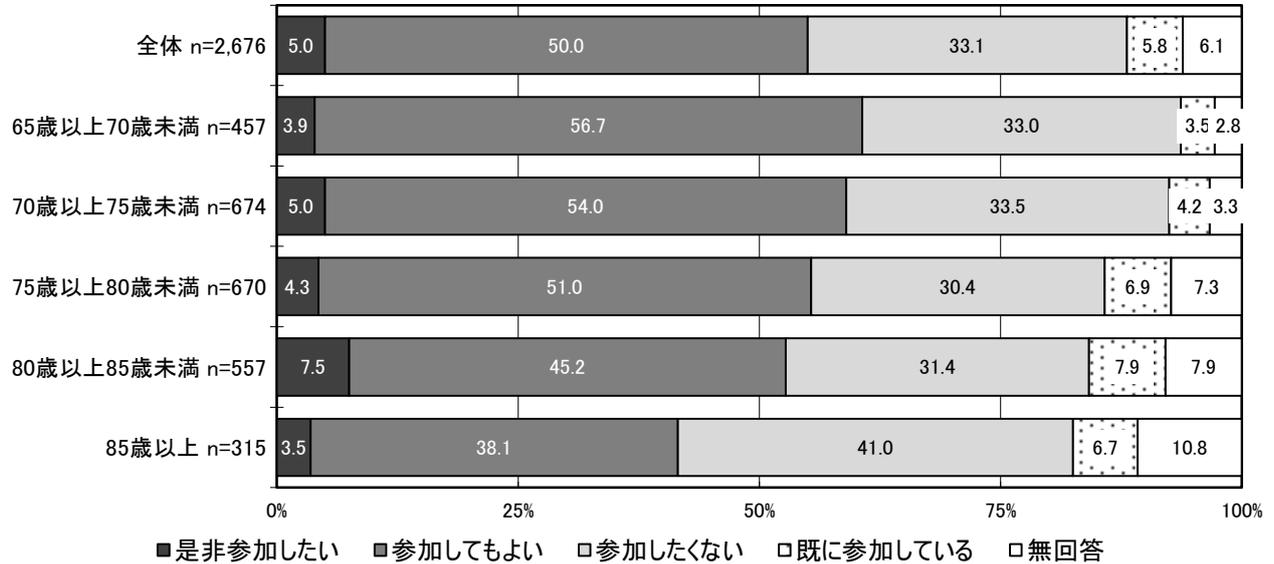
問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか【単数回答】

「参加してもよい」が50.0%を占めています。



《参加者として参加したいか》×《年齢別》

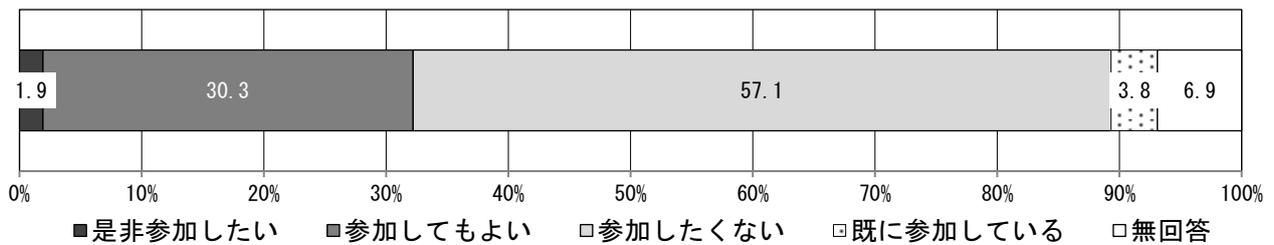
『65歳以上70歳未満』『70歳以上75歳未満』では「参加してもよい」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか【単数回答】

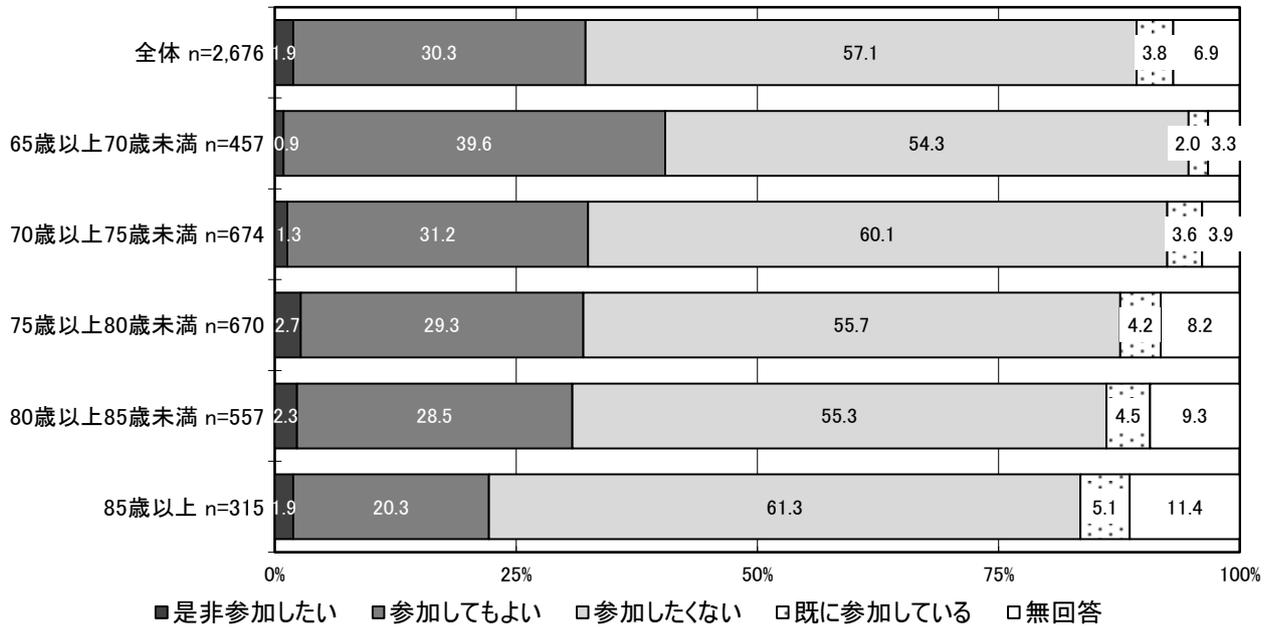
「参加したくない」が57.1%を占めています。

n=2,676



《企画・運営として参加したいか》×《年齢別》

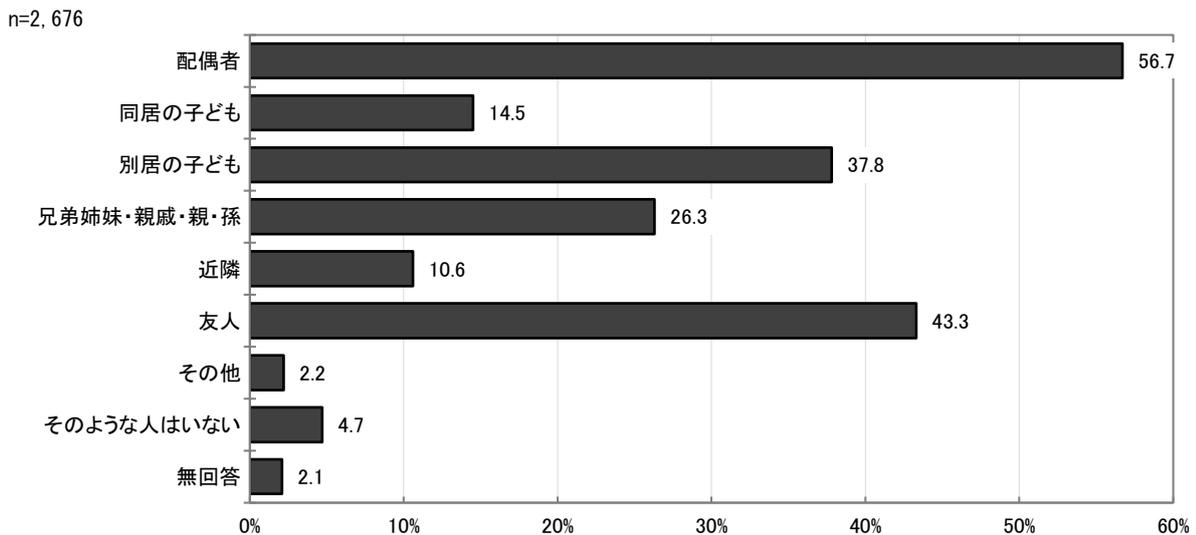
『65歳以上70歳未満』では「参加してもよい」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



6. たすけあいについて

問6（1） あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか【複数回答】

「配偶者」が56.7%で最も高くなっています。次いで「友人」が43.3%、「別居の子ども」が37.8%で続いています。



《あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「配偶者」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 配偶者 | 56.7 | 74.1 | 42.5 |
| 同居の子ども | 14.5 | 7.9 | 19.8 |
| 別居の子ども | 37.8 | 29.4 | 44.7 |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 26.3 | 16.7 | 34.1 |
| 近隣 | 10.6 | 4.8 | 15.3 |
| 友人 | 43.3 | 27.0 | 56.6 |
| その他 | 2.2 | 2.3 | 2.0 |
| そのような人はいない | 4.7 | 6.4 | 3.3 |
| 無回答 | 2.1 | 2.7 | 1.6 |

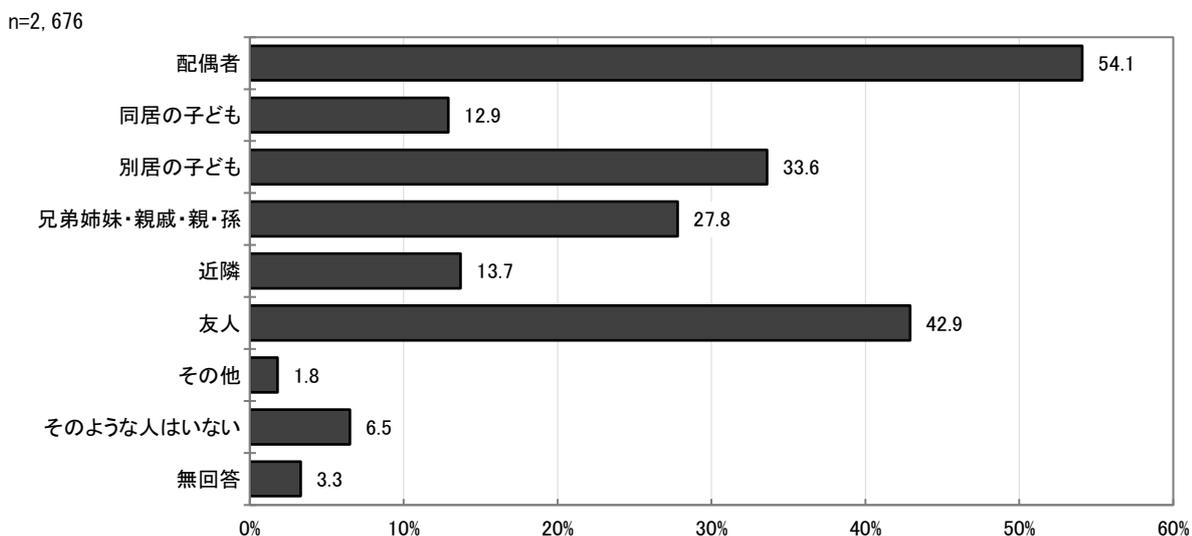
《あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人》×《年齢別》

年齢が若いほど「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|-------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 配偶者 | 56.7 | 60.6 | 61.7 | 56.6 | 53.9 | 45.1 |
| 同居の子ども | 14.5 | 14.4 | 14.5 | 15.2 | 11.5 | 18.1 |
| 別居の子ども | 37.8 | 33.7 | 35.8 | 38.7 | 40.2 | 42.5 |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 26.3 | 29.5 | 29.8 | 26.6 | 23.3 | 18.7 |
| 近隣 | 10.6 | 8.3 | 10.1 | 12.4 | 11.8 | 8.9 |
| 友人 | 43.3 | 49.9 | 48.4 | 46.9 | 38.2 | 24.4 |
| その他 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | 1.9 | 1.4 | 3.8 |
| そのような人はいない | 4.7 | 4.4 | 4.6 | 5.2 | 4.3 | 5.1 |
| 無回答 | 2.1 | 1.5 | 0.7 | 2.5 | 2.5 | 3.8 |

問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか【複数回答】

「配偶者」が54.1%で最も高くなっています。次いで「友人」が42.9%、「別居の子ども」が33.6%で続いています。



《あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「配偶者」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 配偶者 | 54.1 | 72.6 | 38.9 |
| 同居の子ども | 12.9 | 8.8 | 16.3 |
| 別居の子ども | 33.6 | 29.4 | 37.0 |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 27.8 | 18.9 | 35.1 |
| 近隣 | 13.7 | 6.5 | 19.5 |
| 友人 | 42.9 | 26.2 | 56.5 |
| その他 | 1.8 | 2.1 | 1.6 |
| そのような人はいない | 6.5 | 7.8 | 5.4 |
| 無回答 | 3.3 | 3.2 | 3.4 |

《あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人》×《年齢別》

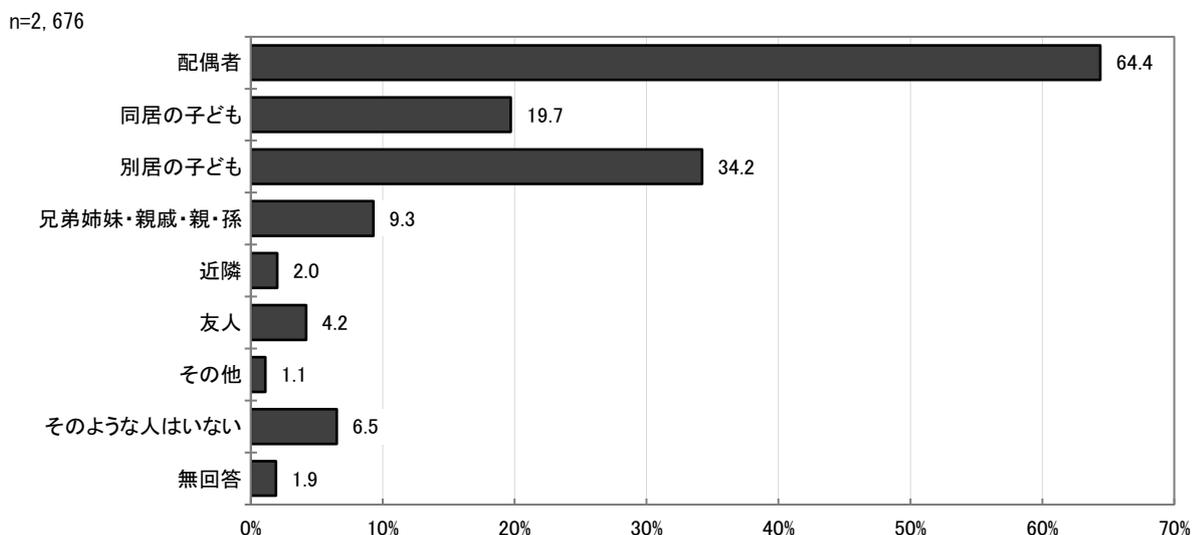
年齢が若いほど「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。

『85歳以上』では「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|-------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 配偶者 | 54.1 | 63.0 | 58.5 | 52.1 | 49.4 | 44.1 |
| 同居の子ども | 12.9 | 14.4 | 15.3 | 12.1 | 9.2 | 14.3 |
| 別居の子ども | 33.6 | 34.4 | 35.6 | 32.8 | 33.2 | 30.2 |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 27.8 | 34.6 | 30.7 | 27.0 | 24.2 | 20.3 |
| 近隣 | 13.7 | 9.4 | 13.8 | 16.4 | 14.9 | 11.7 |
| 友人 | 42.9 | 47.5 | 48.7 | 45.7 | 37.7 | 27.3 |
| その他 | 1.8 | 3.3 | 1.9 | 1.9 | 0.7 | 1.3 |
| そのような人はいない | 6.5 | 5.0 | 4.9 | 6.1 | 7.4 | 11.4 |
| 無回答 | 3.3 | 1.3 | 1.5 | 3.9 | 5.2 | 5.4 |

問6（3） あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか【複数回答】

「配偶者」が64.4%で突出しています。「別居の子ども」が34.2%、「同居の子ども」が19.7%で続いています。



《あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「配偶者」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 配偶者 | 64.4 | 81.6 | 50.4 |
| 同居の子ども | 19.7 | 12.7 | 25.4 |
| 別居の子ども | 34.2 | 27.7 | 39.6 |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 9.3 | 7.0 | 11.2 |
| 近隣 | 2.0 | 0.8 | 2.9 |
| 友人 | 4.2 | 1.7 | 6.3 |
| その他 | 1.1 | 0.8 | 1.4 |
| そのような人はいない | 6.5 | 4.8 | 7.9 |
| 無回答 | 1.9 | 2.0 | 1.8 |

《あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人》×《年齢別》

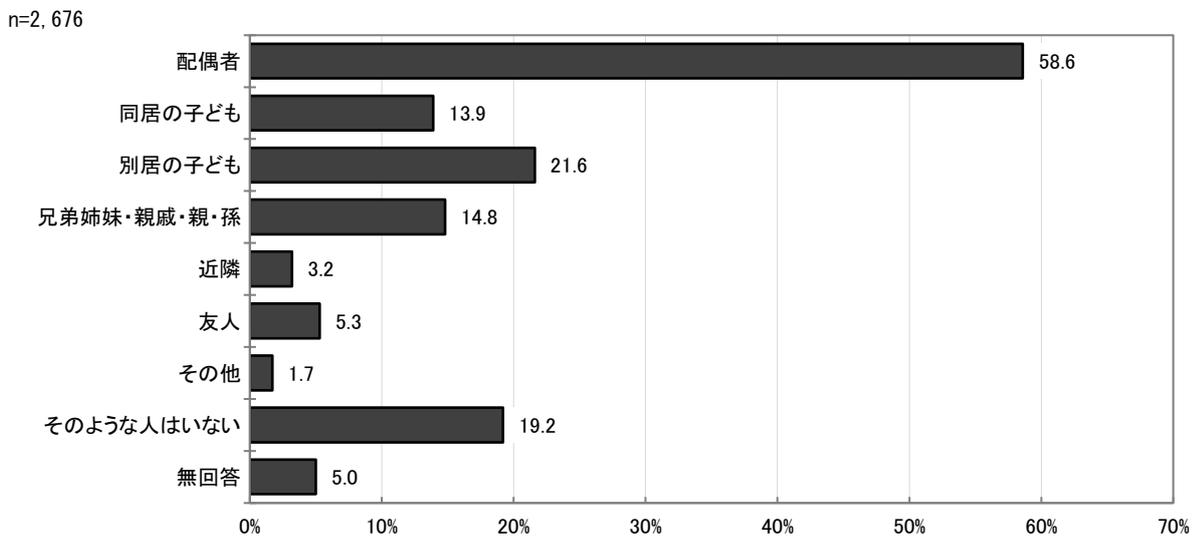
『65歳以上 70歳未満』では「配偶者」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

『85歳以上』では「同居の子ども」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|-------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 配偶者 | 64.4 | 74.6 | 69.1 | 64.0 | 60.0 | 47.9 |
| 同居の子ども | 19.7 | 20.1 | 20.2 | 18.5 | 16.3 | 26.3 |
| 別居の子ども | 34.2 | 26.0 | 29.7 | 34.5 | 41.8 | 41.9 |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 9.3 | 14.0 | 11.0 | 6.9 | 6.6 | 8.9 |
| 近隣 | 2.0 | 1.8 | 1.5 | 2.4 | 2.7 | 1.3 |
| 友人 | 4.2 | 6.8 | 5.0 | 4.2 | 2.7 | 1.6 |
| その他 | 1.1 | 0.9 | 1.0 | 0.6 | 0.5 | 3.8 |
| そのような人はいない | 6.5 | 4.6 | 5.9 | 8.1 | 6.8 | 6.3 |
| 無回答 | 1.9 | 0.9 | 1.0 | 2.7 | 2.5 | 2.5 |

問6（4） 反対に、看病や世話をししてあげる人はいますか【複数回答】

「配偶者」が58.6%で突出しています。「別居の子ども」が21.6%、「そのような人はいない」が19.2%で続いています。



《看病や世話をししてあげる人》×《年齢別》

『65歳以上80歳未満』では「配偶者」「別居の子ども」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

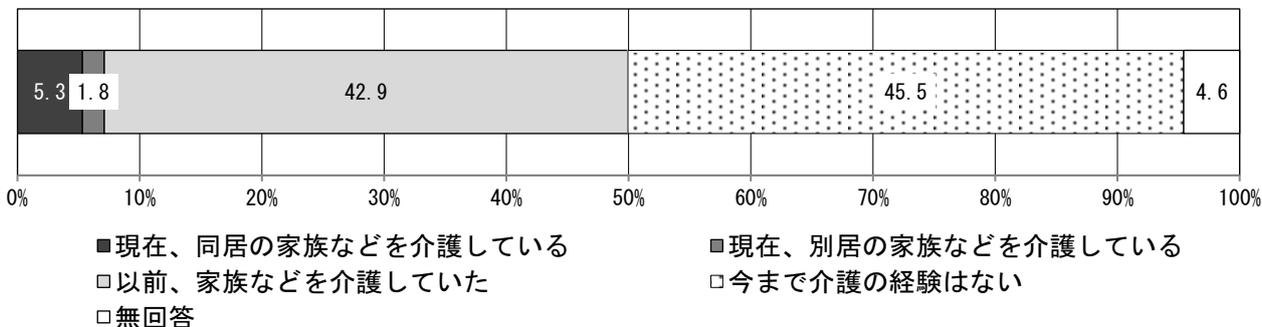
『85歳以上』では「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|-------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 配偶者 | 58.6 | 65.6 | 62.8 | 59.3 | 54.9 | 44.4 |
| 同居の子ども | 13.9 | 17.9 | 16.5 | 12.2 | 11.1 | 11.1 |
| 別居の子ども | 21.6 | 26.0 | 24.6 | 23.3 | 18.1 | 11.1 |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 14.8 | 27.1 | 17.5 | 10.9 | 9.7 | 8.3 |
| 近隣 | 3.2 | 2.6 | 3.3 | 4.2 | 3.1 | 2.2 |
| 友人 | 5.3 | 7.0 | 6.8 | 5.5 | 3.6 | 1.9 |
| その他 | 1.7 | 2.8 | 1.8 | 1.0 | 1.1 | 2.5 |
| そのような人はいない | 19.2 | 14.9 | 15.9 | 19.1 | 22.1 | 27.9 |
| 無回答 | 5.0 | 1.5 | 2.5 | 6.3 | 6.6 | 10.2 |

問6（5） あなたは、家族などの介護をした経験がありますか【単数回答】

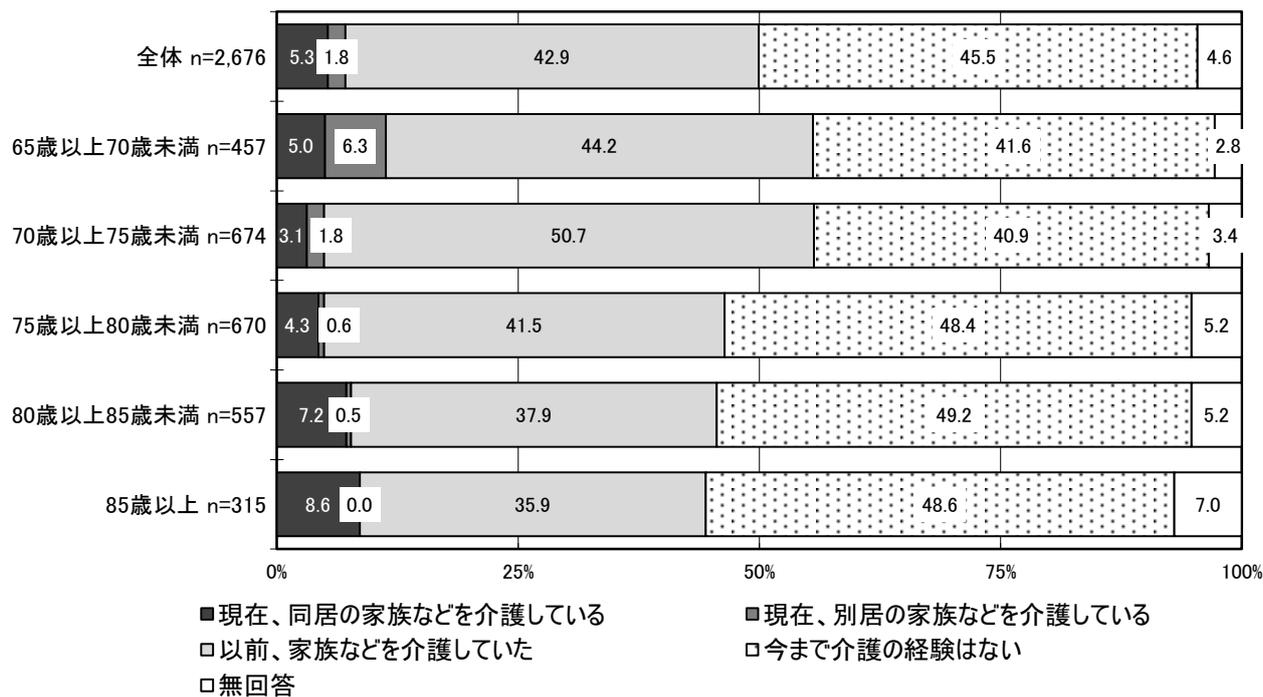
「今まで介護の経験はない」が45.5%で最も高く、次いで「以前、家族などを介護していた」が42.9%、「現在、同居の家族などを介護している」が5.3%が続いています。

n=2,676



《家族などの介護をした経験がありますか》 × 《年齢別》

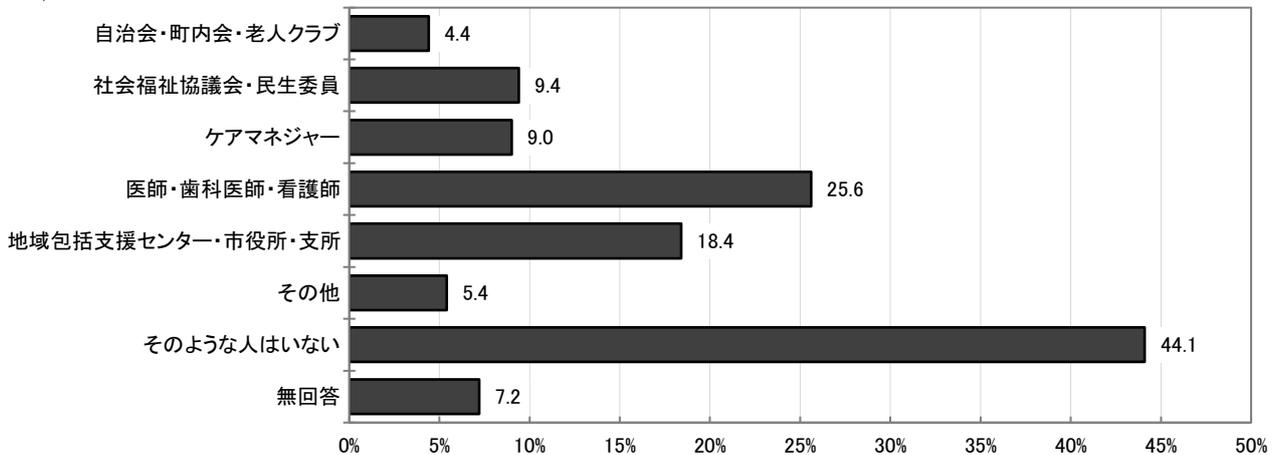
『70歳以上75歳未満』では「以前家族などを介護していた」、『75歳以上』では「今まで介護の経験はない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問6(6) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください【複数回答】

「そのような人はいない」が44.1%で突出しています。「医師・歯科医師・看護師」が25.6%、「地域包括支援センター・市役所・支所」が18.4%で続いています。

n=2,676



《家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| 自治会・町内会・老人クラブ | 4.4 | 5.7 | 3.3 |
| 社会福祉協議会・民生委員 | 9.4 | 7.8 | 10.7 |
| ケアマネジャー | 9.0 | 6.2 | 11.3 |
| 医師・歯科医師・看護師 | 25.6 | 28.4 | 23.4 |
| 地域包括支援センター・市役所・支所 | 18.4 | 14.4 | 21.6 |
| その他 | 5.4 | 5.4 | 5.4 |
| そのような人はいない | 44.1 | 48.2 | 40.8 |
| 無回答 | 7.2 | 5.9 | 8.2 |

《家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください》×《年齢別》

若い年齢ほど「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

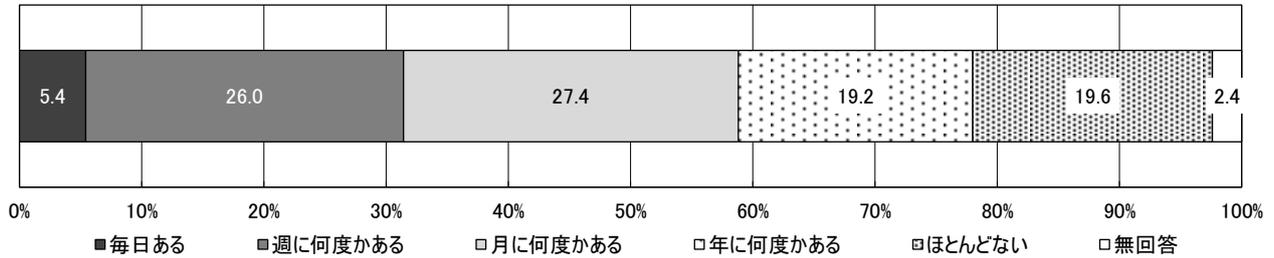
『85歳以上』では「医師・歯科医師・看護師」「ケアマネジャー」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|-------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 自治会・町内会・老人クラブ | 4.4 | 2.8 | 2.4 | 5.1 | 5.9 | 6.3 |
| 社会福祉協議会・民生委員 | 9.4 | 6.3 | 7.0 | 10.7 | 12.4 | 10.8 |
| ケアマネジャー | 9.0 | 6.8 | 6.1 | 8.2 | 11.3 | 16.2 |
| 医師・歯科医師・看護師 | 25.6 | 20.4 | 22.3 | 25.2 | 29.3 | 34.9 |
| 地域包括支援センター・市役所・支所 | 18.4 | 16.2 | 17.5 | 18.7 | 19.2 | 21.6 |
| その他 | 5.4 | 6.8 | 5.5 | 3.6 | 7.4 | 3.5 |
| そのような人はいない | 44.1 | 54.9 | 50.7 | 44.6 | 35.4 | 28.9 |
| 無回答 | 7.2 | 4.6 | 5.0 | 9.1 | 7.9 | 10.2 |

問6 (7) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。【単数回答】

「月に何度かある」が27.4%で最も高くなっています。次いで「週に何度かある」が26.0%、「ほとんどない」が19.6%が続いています。

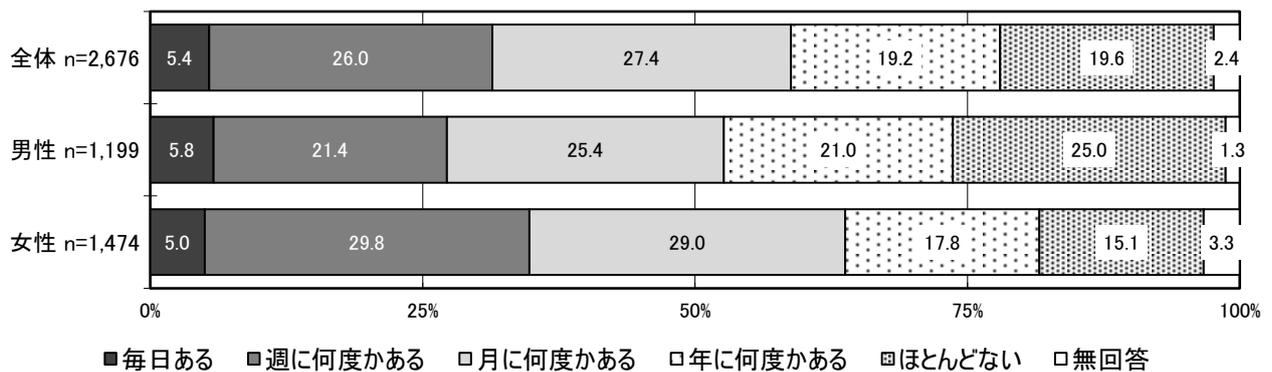
n=2,676



《友人・知人と会う頻度はどれくらいですか》×《性別》

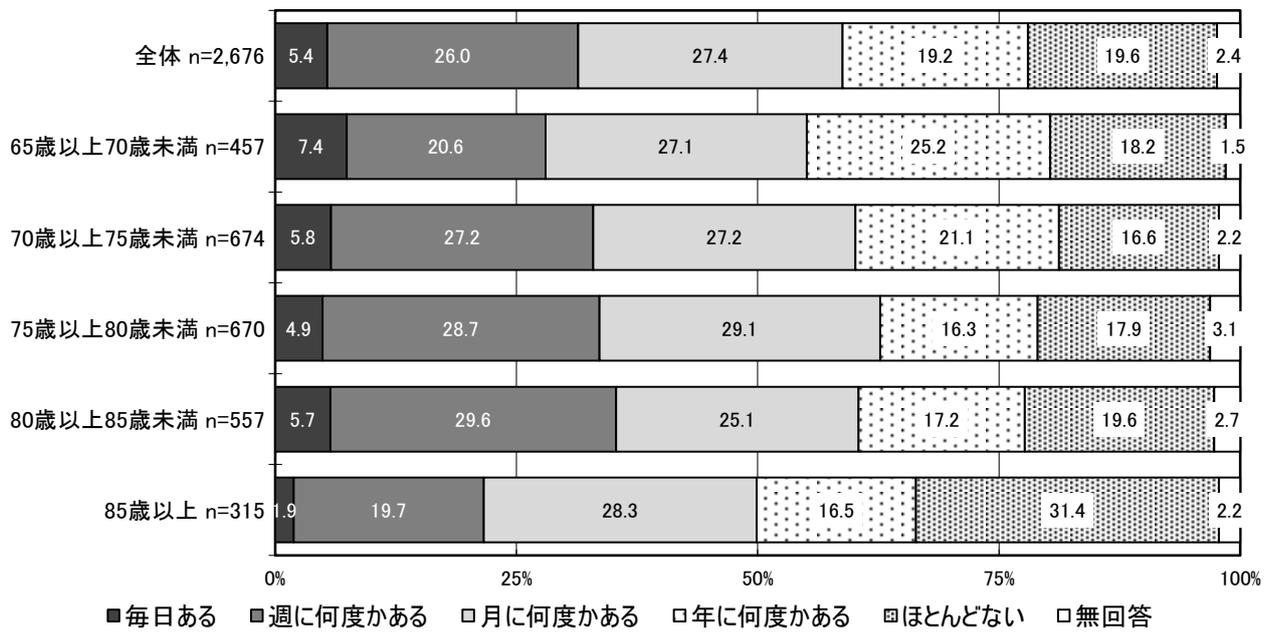
『男性』は『女性』に比べて「ほとんどない」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「週に何度かある」の割合が高くなっています。



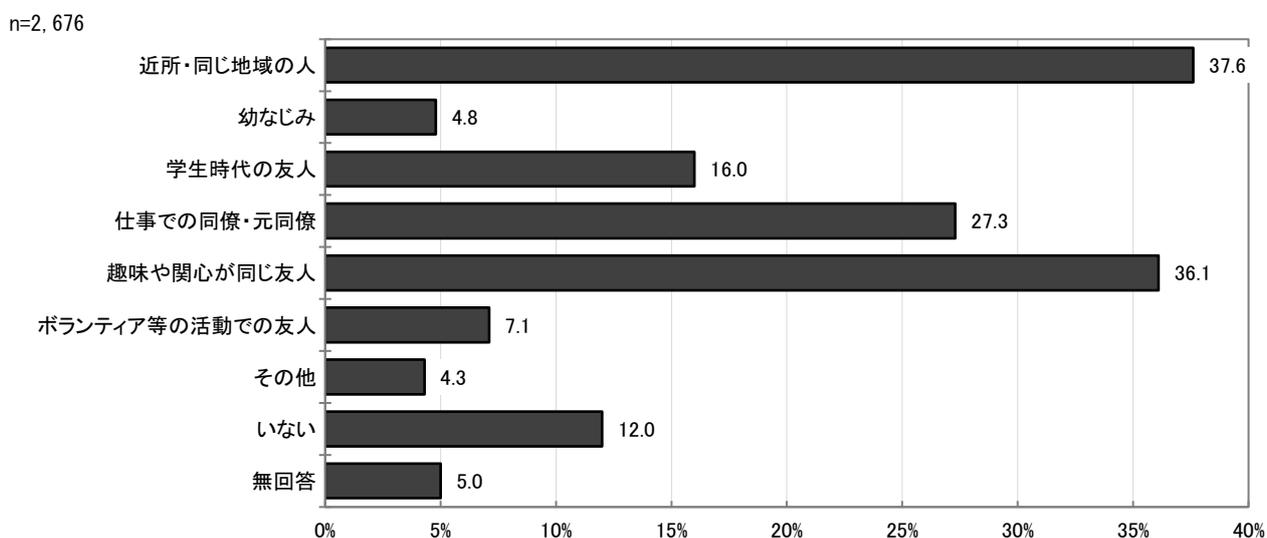
《友人・知人と会う頻度はどれくらいですか》 × 《年齢別》

『85歳以上』では「ほとんどない」の割合が高くなっています。



問6（8） よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【複数回答】

「近所・同じ地域の人」が37.6%で最も高くなっています。次いで「趣味や関心が同じ友人」が36.1%、「仕事での同僚・元同僚」が27.3%が続いています。



《よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「仕事での同僚・元同僚」「いない」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 近所・同じ地域の人 | 37.6 | 24.7 | 48.1 |
| 幼なじみ | 4.8 | 3.7 | 5.7 |
| 学生時代の友人 | 16.0 | 16.8 | 15.5 |
| 仕事での同僚・元同僚 | 27.3 | 35.7 | 20.6 |
| 趣味や関心が同じ友人 | 36.1 | 33.0 | 38.5 |
| ボランティア等の活動での友人 | 7.1 | 6.9 | 7.2 |
| その他 | 4.3 | 3.3 | 5.2 |
| いない | 12.0 | 16.1 | 8.6 |
| 無回答 | 5.0 | 5.1 | 5.0 |

《よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか》×《年齢別》

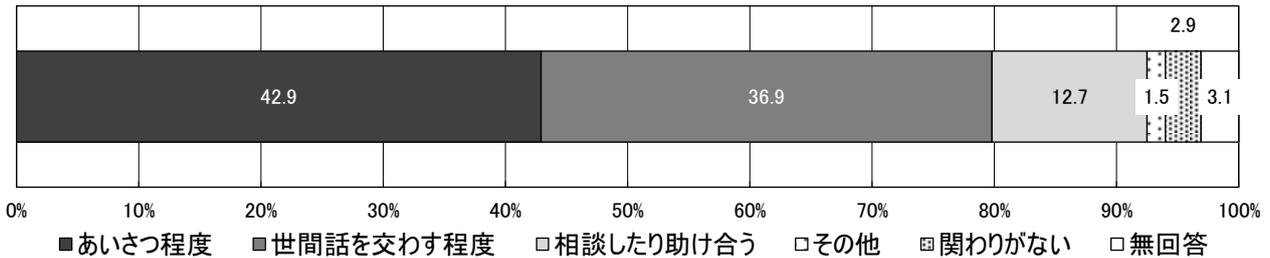
『65歳以上70歳未満』『70歳以上75歳未満』では「仕事での同僚・元同僚」、『75歳以上』では「近所・同じ地域の人」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|----------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 近所・同じ地域の人 | 37.6 | 28.0 | 36.6 | 41.0 | 40.8 | 40.6 |
| 幼なじみ | 4.8 | 4.8 | 6.8 | 4.2 | 4.1 | 2.9 |
| 学生時代の友人 | 16.0 | 22.5 | 18.8 | 14.2 | 13.1 | 9.8 |
| 仕事での同僚・元同僚 | 27.3 | 45.5 | 32.5 | 23.7 | 19.0 | 12.4 |
| 趣味や関心が同じ友人 | 36.1 | 31.1 | 35.5 | 40.1 | 38.6 | 31.4 |
| ボランティア等の活動での友人 | 7.1 | 4.8 | 8.2 | 8.7 | 7.5 | 3.8 |
| その他 | 4.3 | 3.3 | 4.7 | 4.0 | 4.8 | 4.8 |
| いない | 12.0 | 11.6 | 9.9 | 11.3 | 12.6 | 17.1 |
| 無回答 | 5.0 | 2.0 | 4.0 | 6.0 | 5.2 | 9.2 |

問6(9) あなたが実際に行っている近所づきあいはどのようなものですか【単数回答】

「あいさつ程度」が42.9%で最も高くなっています。次いで「世間話を交わす程度」が36.9%、「相談したり助け合う」が12.7%で続いています。

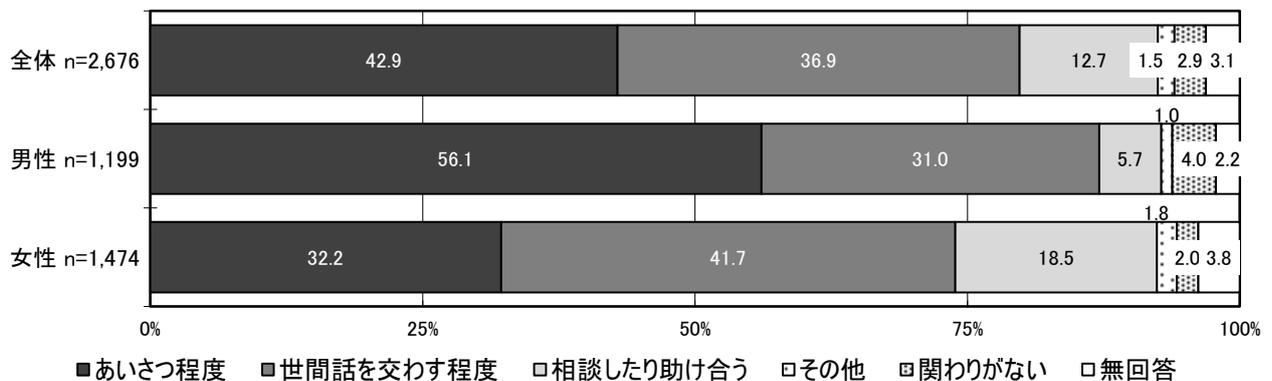
n=2,676



《あなたが実際に行っている近所づきあいはどのようなものですか》×《性別》

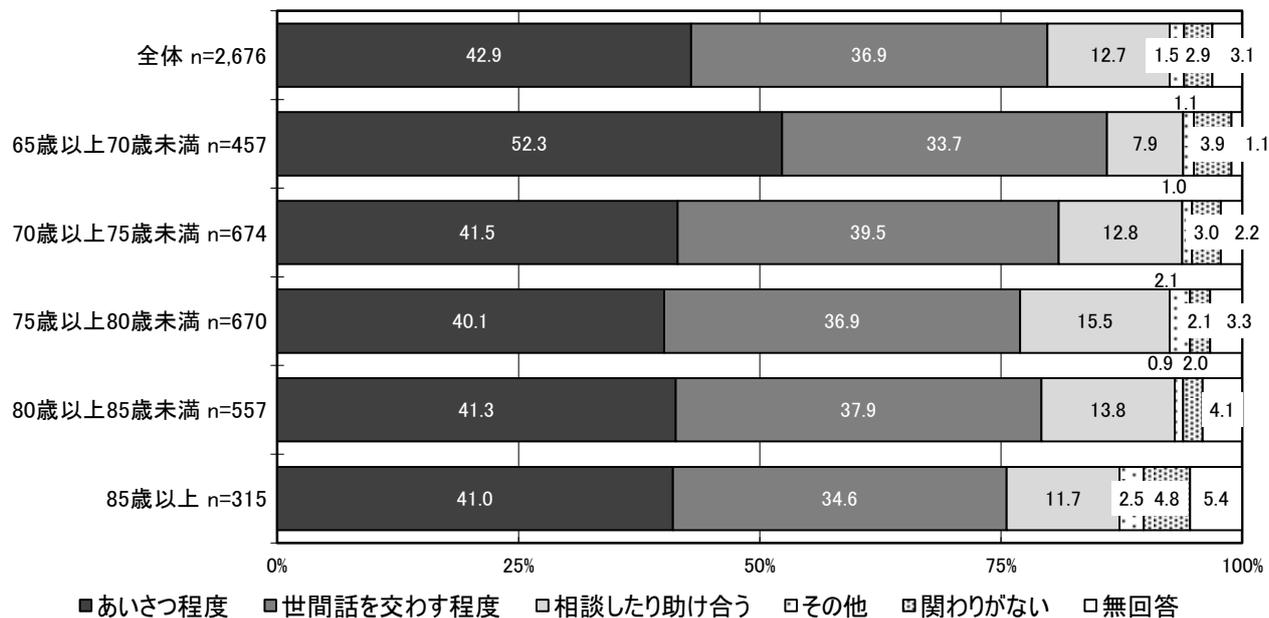
『男性』は『女性』に比べて「あいさつ程度」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「世間話を交わす程度」「相談したり助け合う」の割合が高くなっています。



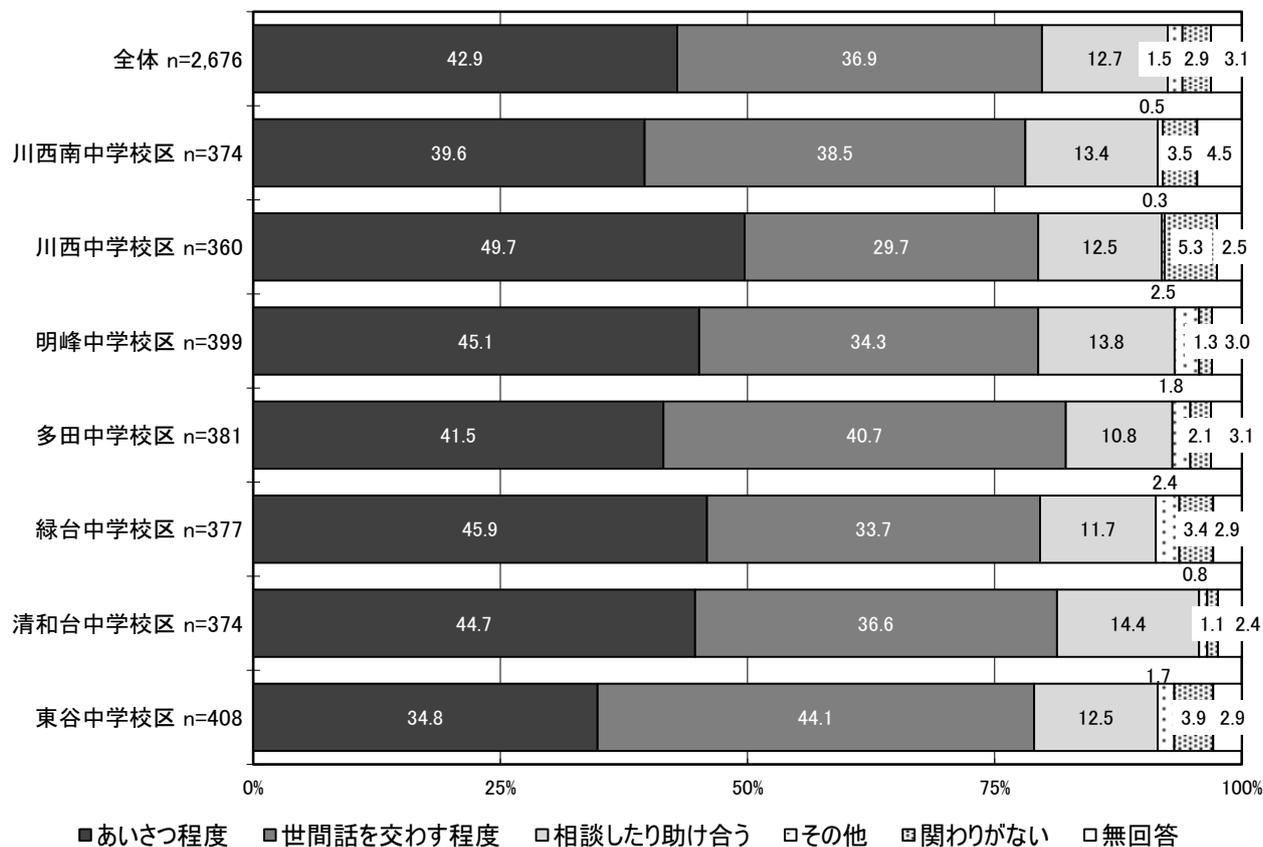
《あなたが実際に行っている近所づきあいはどのようなものですか》×《年齢別》

『65歳以上70歳未満』では「あいさつ程度」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



《あなたが実際に行っている近所づきあいはどのようなものですか》×《地区別》

『川西中学校区』では「あいさつ程度」、『東谷中学校区』では「世間話を交わす程度」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

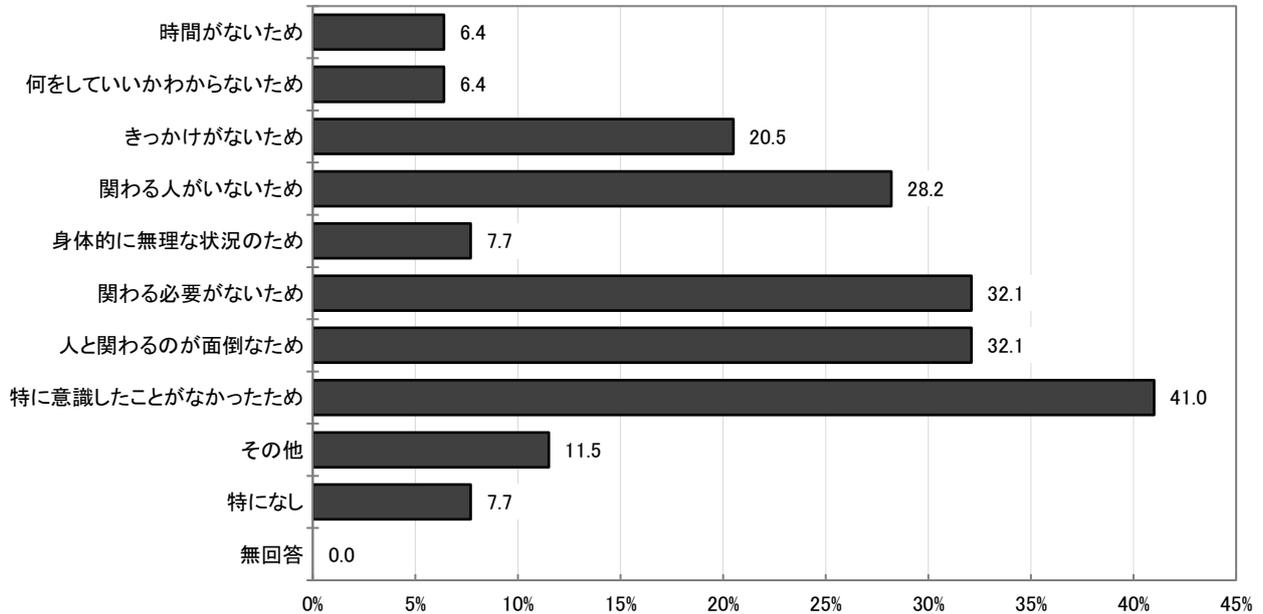


【問6（9）において「関わりがない」と回答した方】

問6（10） 近所との関わりがない理由は何ですか【複数回答】

「特に意識したことがなかったため」が41.0%で最も高くなっています。次いで「関わる必要がないため」「人と関わるのが面倒なため」が32.1%で続いています。

n=78



《近所との関わりがない理由は何ですか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「関わる人がいないため」「関わる必要がないため」「特に意識したことがなかったため」の割合が高くなっています。

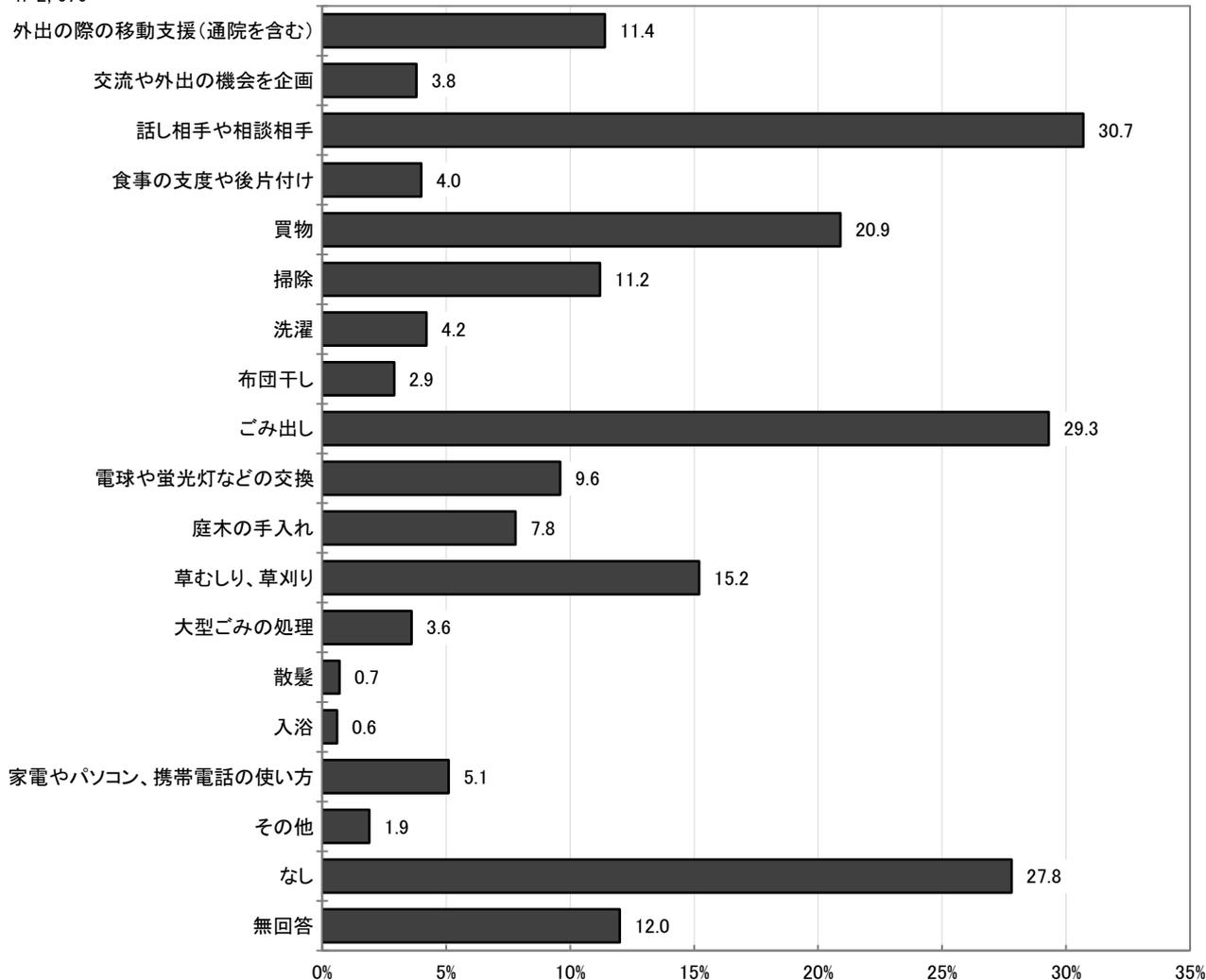
『女性』は『男性』に比べて「時間がないため」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=78 | 男性 n=48 | 女性 n=30 |
|-----------------|------------|------------|------------|
| 時間がないため | 6.4 | 2.1 | 13.3 |
| 何をしたいかわからないため | 6.4 | 8.3 | 3.3 |
| きっかけがないため | 20.5 | 22.9 | 16.7 |
| 関わる人がいないため | 28.2 | 33.3 | 20.0 |
| 身体的に無理な状況のため | 7.7 | 6.3 | 10.0 |
| 関わる必要がないため | 32.1 | 35.4 | 26.7 |
| 人と関わるのが面倒なため | 32.1 | 31.3 | 33.3 |
| 特に意識したことがなかったため | 41.0 | 43.8 | 36.7 |
| その他 | 11.5 | 6.3 | 20.0 |
| 特になし | 7.7 | 6.3 | 10.0 |
| 無回答 | - | - | - |

問6 (11) あなたご自身がご近所でご近所での手助けや協力ができることがありますか【複数回答】

「話し相手や相談相手」が30.7%で最も高くなっています。次いで「ごみ出し」が29.3%、「なし」が27.8%が続いています。

n=2,676



《あなたご自身がご近所で手助けや協力ができることがありますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「外出の際の移動支援（通院を含む）」「電球や蛍光灯などの交換」「庭木の手入れ」「草むしり、草刈り」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「話し相手や相談相手」「食事の支度や後片付け」の割合が高くなっています。

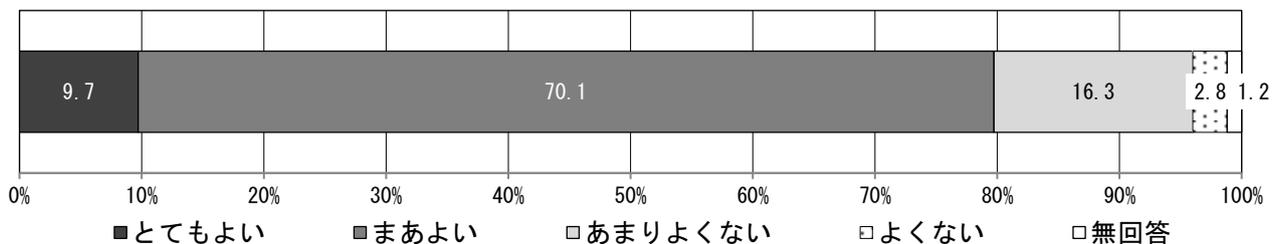
| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|------------------|---------------|---------------|---------------|
| 外出の際の移動支援(通院を含む) | 11.4 | 14.5 | 8.9 |
| 交流や外出の機会を企画 | 3.8 | 4.2 | 3.5 |
| 話し相手や相談相手 | 30.7 | 20.0 | 39.3 |
| 食事の支度や後片付け | 4.0 | 1.8 | 5.8 |
| 買物 | 20.9 | 14.5 | 26.1 |
| 掃除 | 11.2 | 12.1 | 10.6 |
| 洗濯 | 4.2 | 2.0 | 6.0 |
| 布団干し | 2.9 | 3.3 | 2.6 |
| ごみ出し | 29.3 | 26.4 | 31.5 |
| 電球や蛍光灯などの交換 | 9.6 | 18.8 | 2.0 |
| 庭木の手入れ | 7.8 | 13.0 | 3.6 |
| 草むしり、草刈り | 15.2 | 21.4 | 10.0 |
| 大型ごみの処理 | 3.6 | 6.4 | 1.3 |
| 散髪 | 0.7 | 0.4 | 1.0 |
| 入浴 | 0.6 | 0.6 | 0.6 |
| 家電やパソコン、携帯電話の使い方 | 5.1 | 8.9 | 2.0 |
| その他 | 1.9 | 2.0 | 1.8 |
| なし | 27.8 | 29.5 | 26.4 |
| 無回答 | 12.0 | 10.3 | 13.4 |

7. 健康について

問7（1） 現在のあなたの健康状態はいかがですか【単数回答】

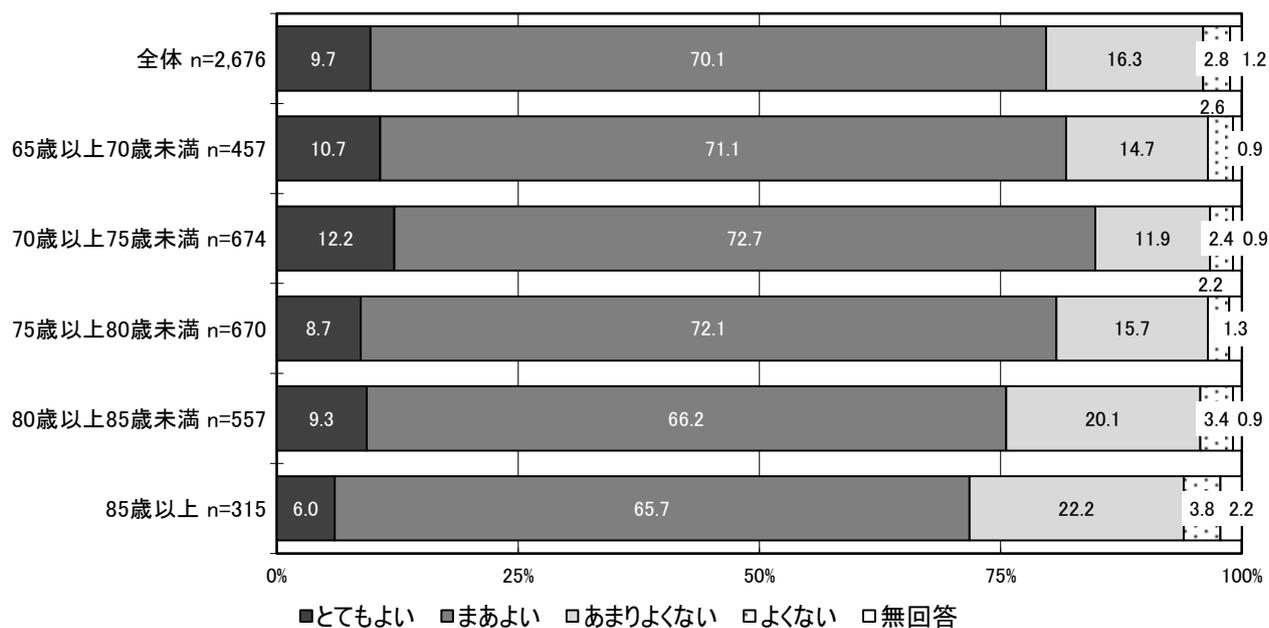
「まあよい」が70.1%を占めています。

n=2,676



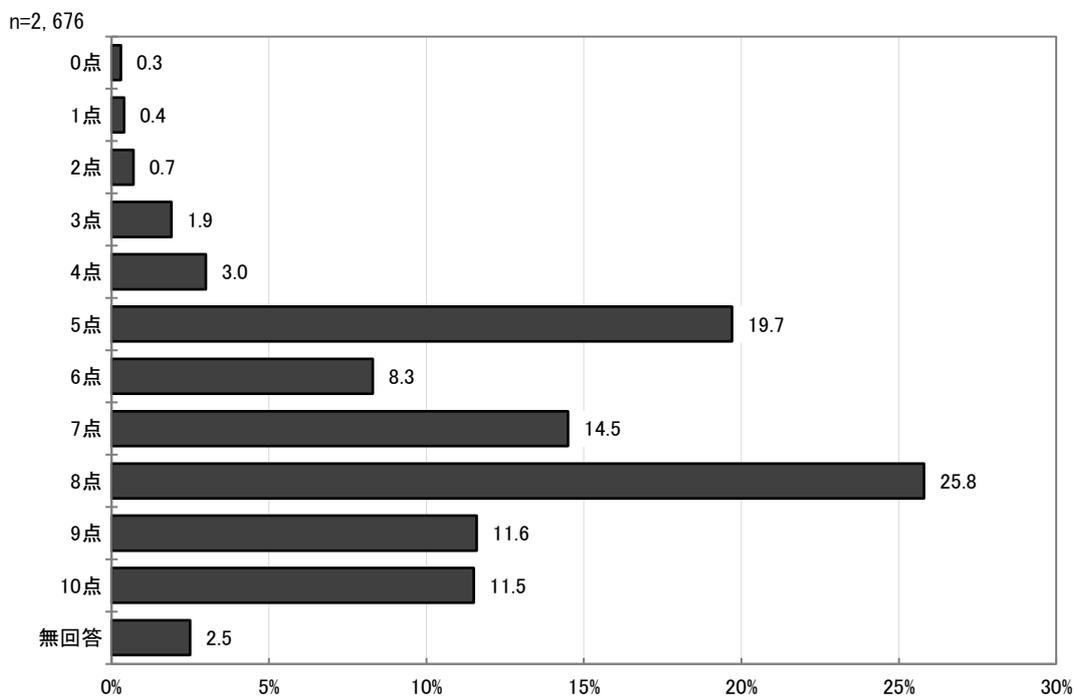
《現在のあなたの健康状態はいかがですか》 × 《年齢別》

年齢が上がるにつれて「よくない」（「あまりよくない」「よくない」を合わせた割合）が高くなっています。



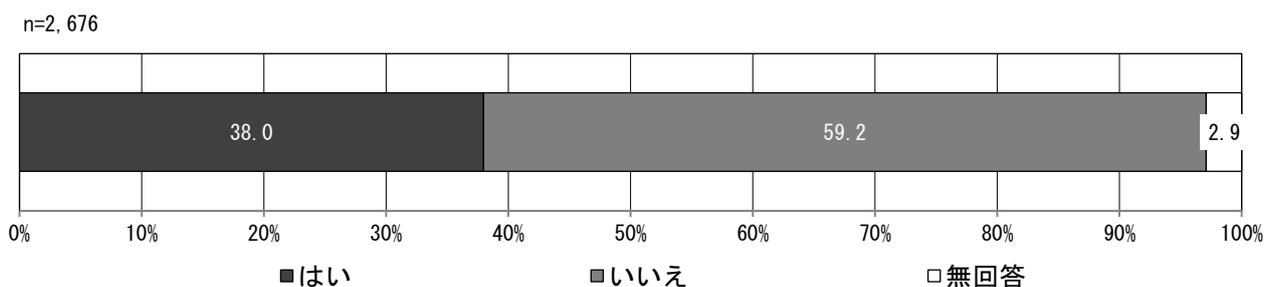
問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(数量)

「8点」が25.8%で最も高くなっています。次いで「5点」が19.7%、「7点」が14.5%で続いています。



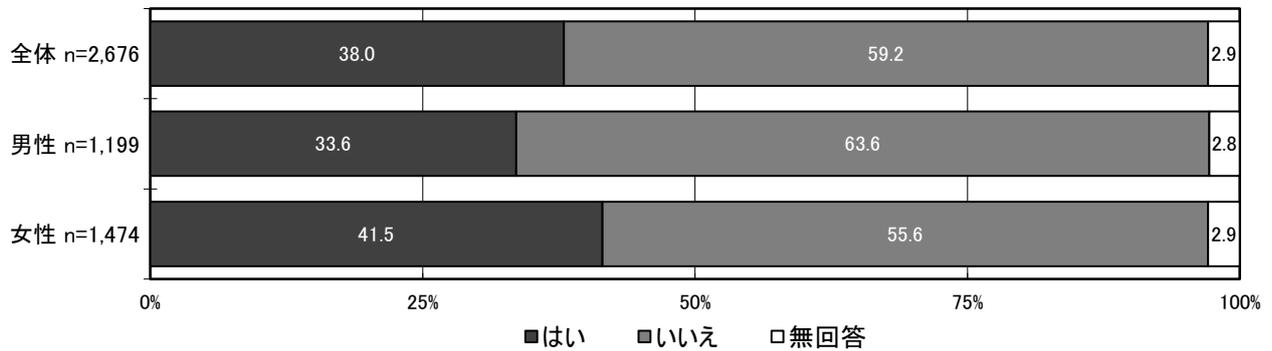
問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか【単数回答】

「いいえ」が59.2%を占めています。



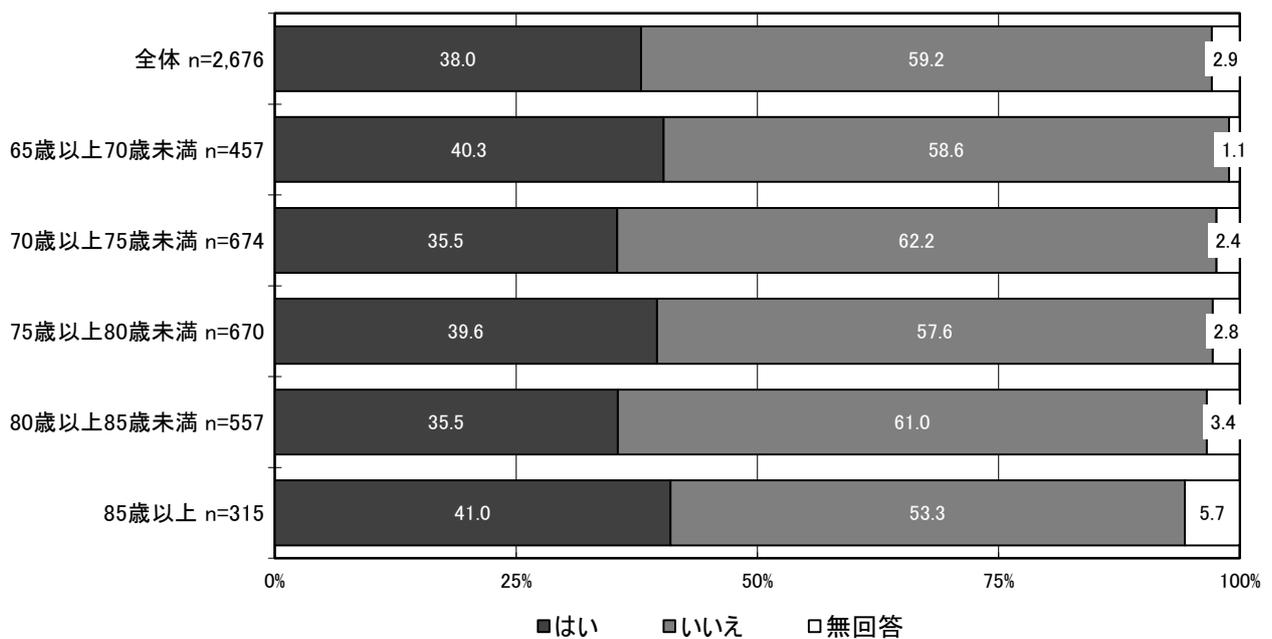
《気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか》 × 《性別》

『女性』は『男性』に比べて「はい」の割合が高くなっています。



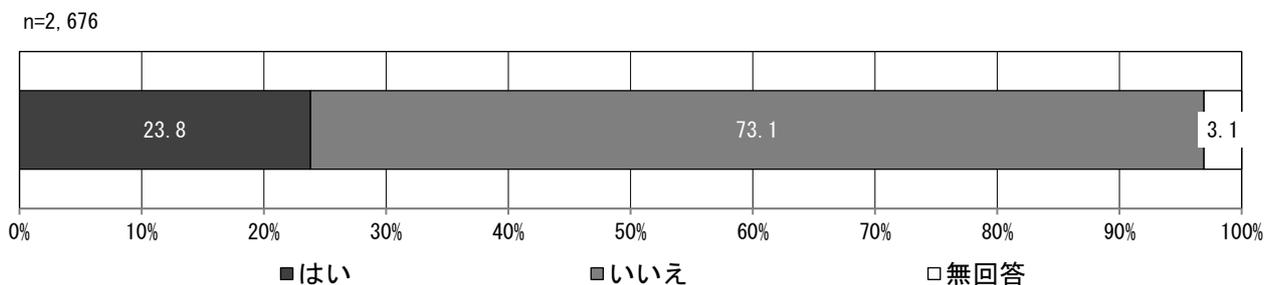
《気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか》 × 《年齢別》

『65歳以上70歳未満』『75歳以上80歳未満』『85歳以上』では「はい」の割合が高くなっています。



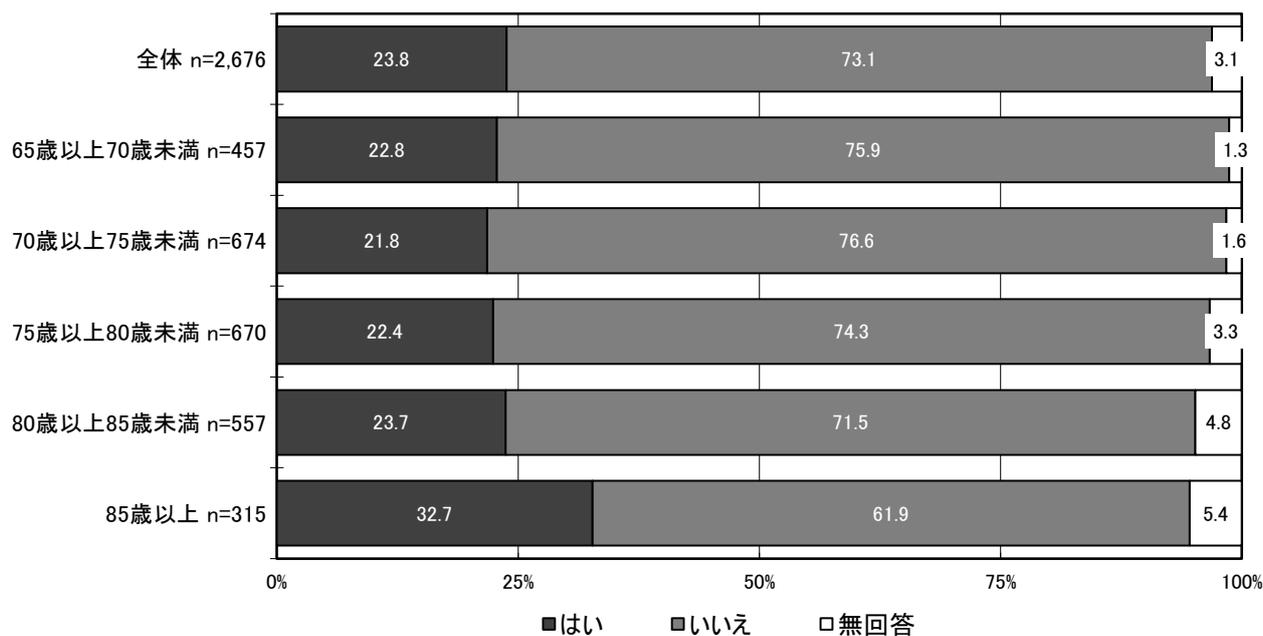
問7（4） この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか【単数回答】

「いいえ」が73.1%を占めています。



《どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか》
× 《年齢別》

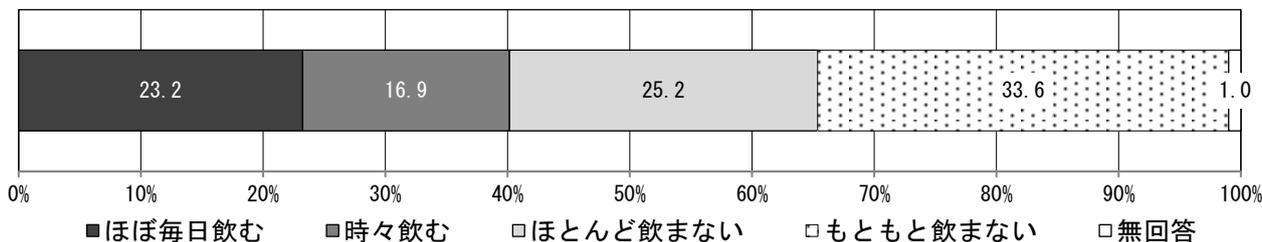
『85歳以上』では「はい」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問7 (5) お酒は飲みますか【単数回答】

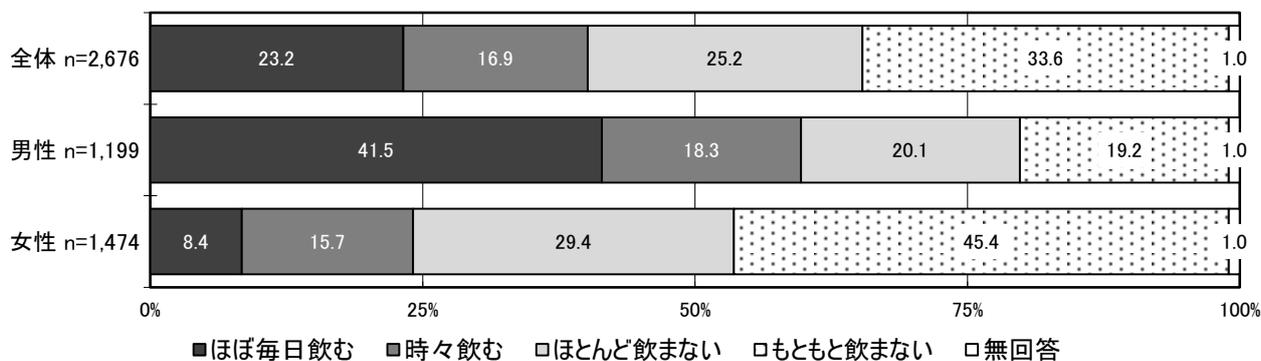
「もともと飲まない」が33.6%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が25.2%、「ほぼ毎日飲む」が23.2%が続いています。

n=2,676



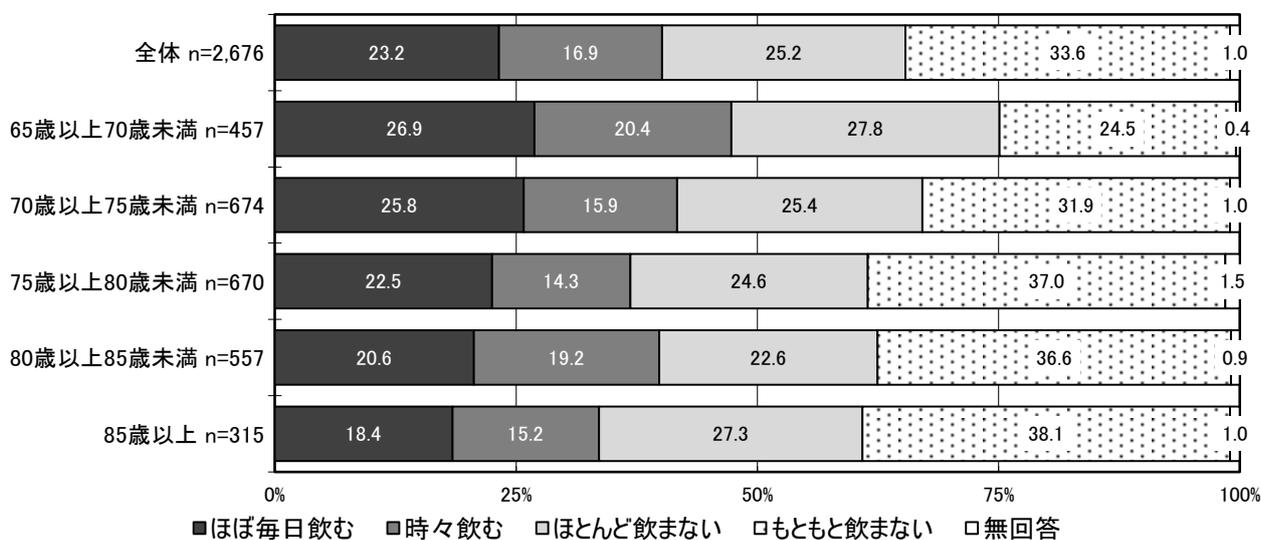
《お酒は飲みますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「ほぼ毎日飲む」の割合が高くなっています。
『女性』は『男性』に比べて「もともと飲まない」の割合が高くなっています。



《お酒は飲みますか》×《年齢別》

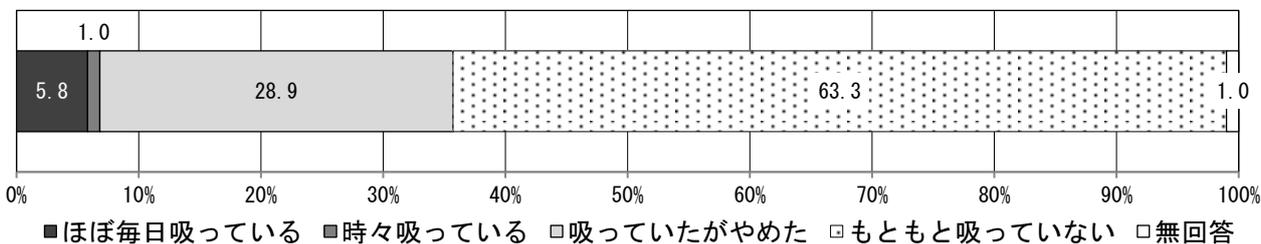
『65歳以上70歳未満』では「飲む」（「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」を合わせた割合）が高くなっています。



問7(6) タバコは吸っていますか【単数回答】

「もともと吸っていない」が63.3%を占めています。

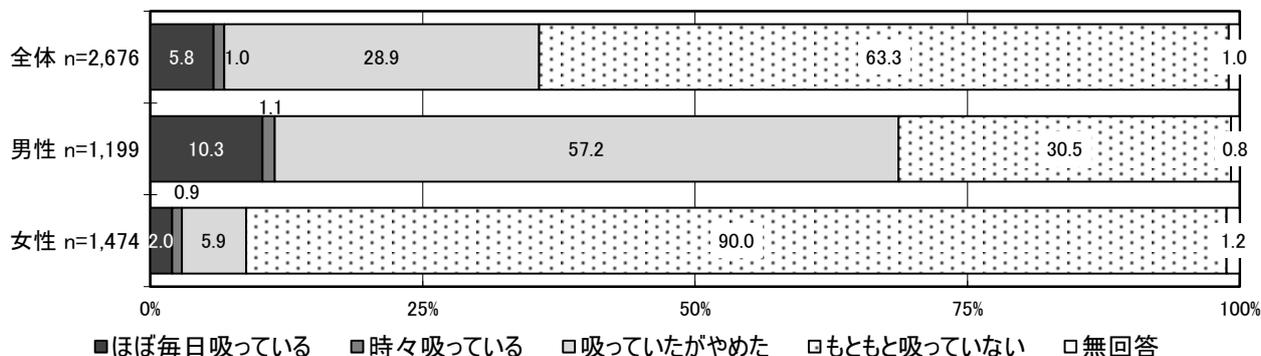
n=2,676



《タバコは吸っていますか》×《性別》

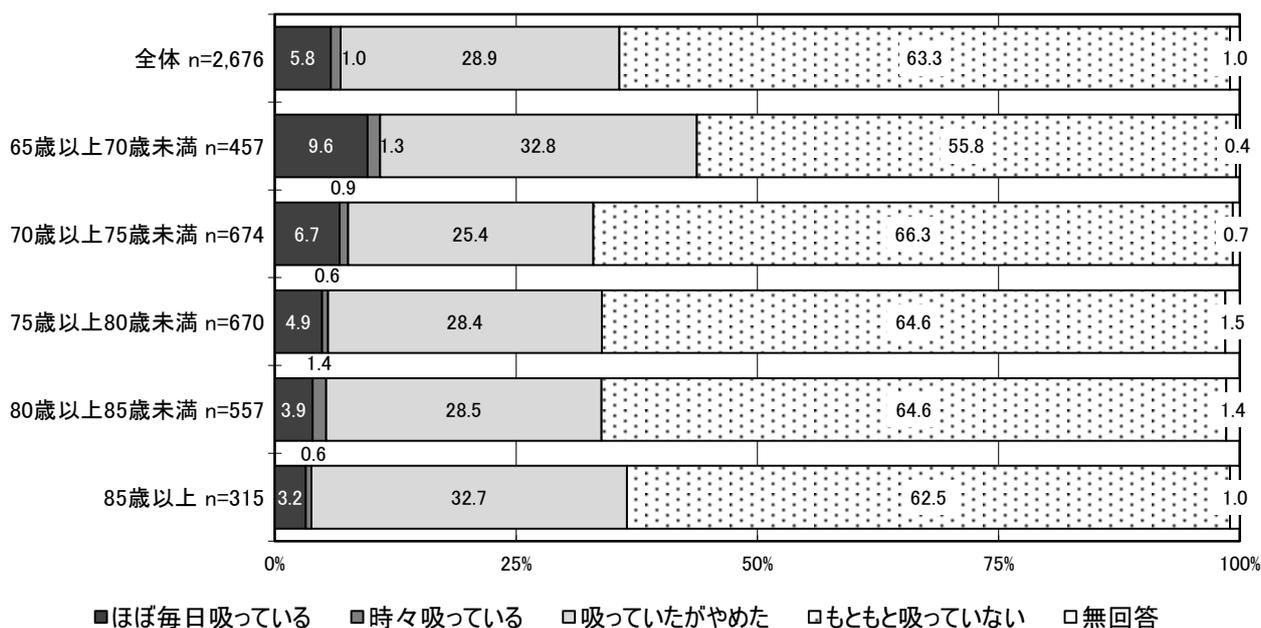
『男性』は『女性』に比べて「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



《タバコは吸っていますか》×《年齢別》

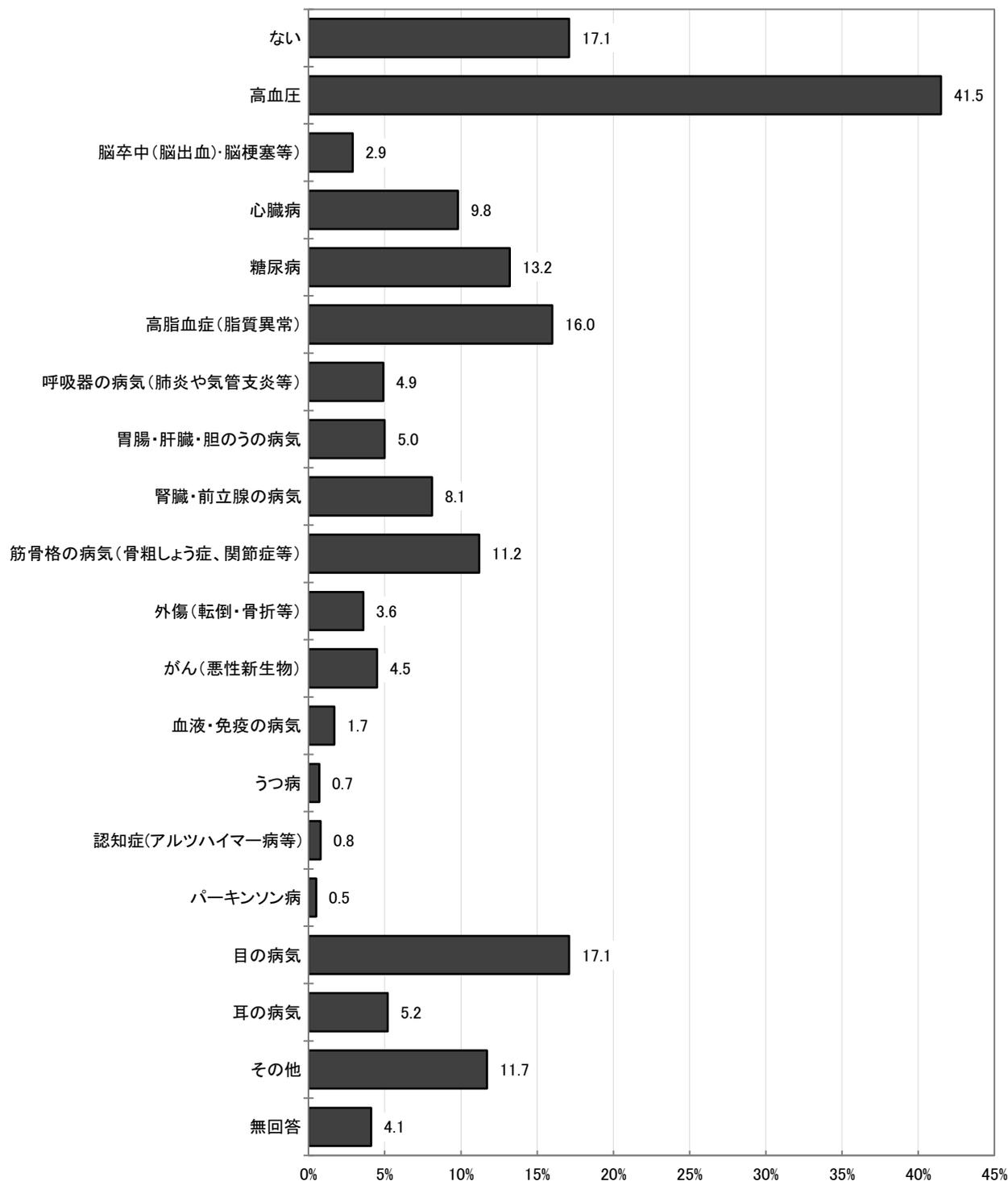
『70歳以上』では「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



問7(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか【複数回答】

「高血圧」が41.5%で突出しています。「ない」が17.1%、「目の病気」が17.1%が続いています。

n=2,676



《現在治療中、または後遺症のある病気はありますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「高血圧」「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|---------------------|---------------|---------------|---------------|
| ない | 17.1 | 15.2 | 18.7 |
| 高血圧 | 41.5 | 45.5 | 38.3 |
| 脳卒中(脳出血)・脳梗塞等) | 2.9 | 3.9 | 2.0 |
| 心臓病 | 9.8 | 12.4 | 7.7 |
| 糖尿病 | 13.2 | 17.8 | 9.3 |
| 高脂血症(脂質異常) | 16.0 | 14.2 | 17.4 |
| 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) | 4.9 | 5.7 | 4.2 |
| 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 5.0 | 5.8 | 4.5 |
| 腎臓・前立腺の病気 | 8.1 | 16.7 | 1.2 |
| 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) | 11.2 | 5.0 | 16.1 |
| 外傷(転倒・骨折等) | 3.6 | 2.0 | 4.7 |
| がん(悪性新生物) | 4.5 | 6.0 | 3.3 |
| 血液・免疫の病気 | 1.7 | 1.6 | 1.8 |
| うつ病 | 0.7 | 0.7 | 0.8 |
| 認知症(アルツハイマー病等) | 0.8 | 0.7 | 0.9 |
| パーキンソン病 | 0.5 | 0.7 | 0.4 |
| 目の病気 | 17.1 | 17.9 | 16.5 |
| 耳の病気 | 5.2 | 6.3 | 4.3 |
| その他 | 11.7 | 11.0 | 12.2 |
| 無回答 | 4.1 | 3.2 | 5.0 |

《現在治療中、または後遺症のある病気はありますか》×《年齢別》

『65歳以上70歳未満』では「ない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

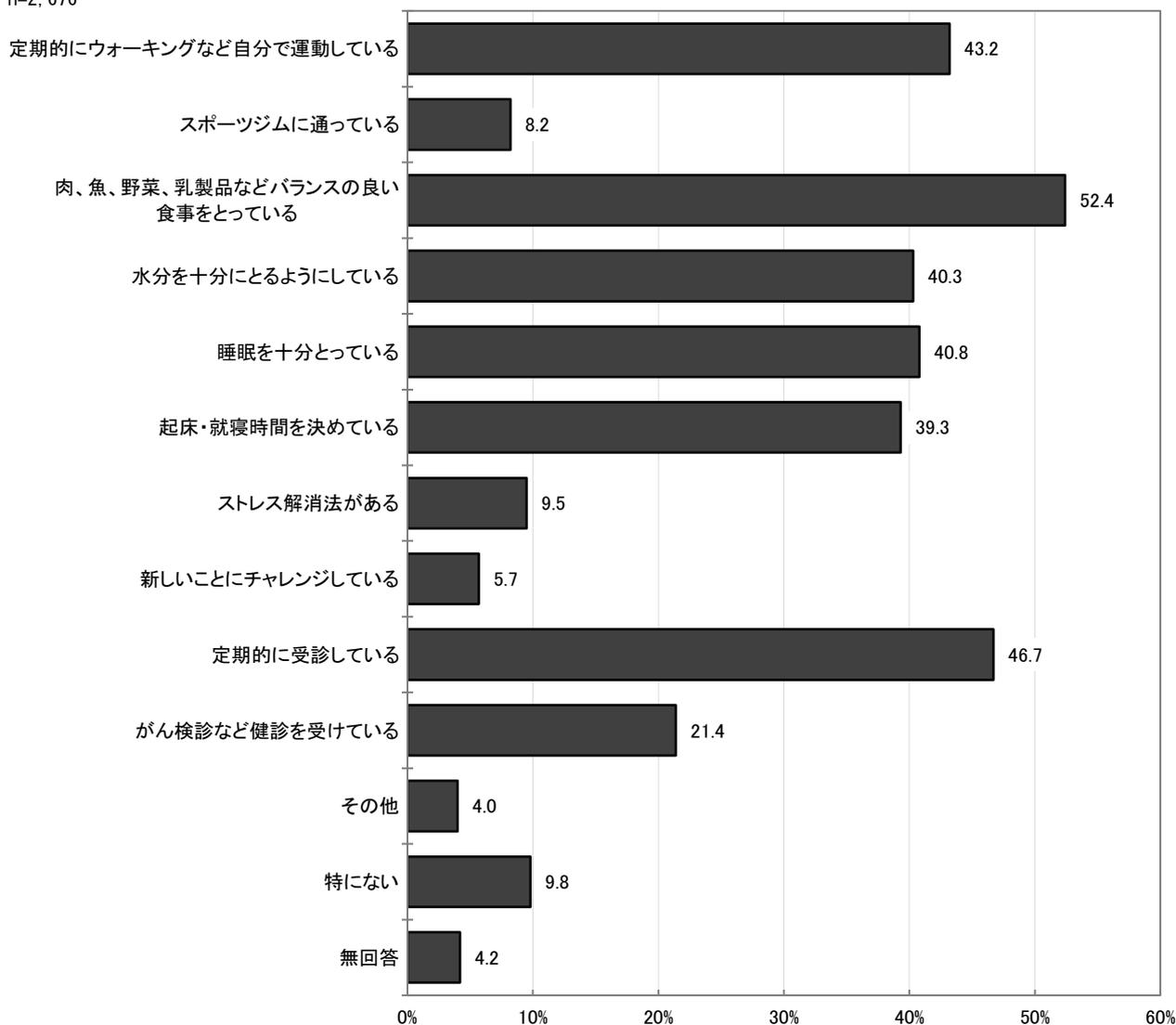
『85歳以上』では「高血圧」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|---------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| ない | 17.1 | 27.4 | 20.9 | 14.2 | 10.4 | 12.1 |
| 高血圧 | 41.5 | 31.5 | 40.2 | 41.6 | 45.4 | 51.4 |
| 脳卒中(脳出血)・脳梗塞等) | 2.9 | 2.2 | 2.8 | 3.3 | 3.2 | 2.5 |
| 心臓病 | 9.8 | 5.3 | 5.5 | 10.9 | 13.8 | 16.2 |
| 糖尿病 | 13.2 | 10.7 | 14.7 | 11.5 | 13.8 | 15.6 |
| 高脂血症(脂質異常) | 16.0 | 20.1 | 18.8 | 15.1 | 13.6 | 9.8 |
| 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) | 4.9 | 3.1 | 4.7 | 4.9 | 6.5 | 4.8 |
| 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 5.0 | 5.0 | 5.2 | 5.7 | 5.0 | 3.5 |
| 腎臓・前立腺の病気 | 8.1 | 2.4 | 6.5 | 7.0 | 12.6 | 14.3 |
| 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) | 11.2 | 7.9 | 9.9 | 11.6 | 14.4 | 11.7 |
| 外傷(転倒・骨折等) | 3.6 | 1.8 | 2.8 | 3.0 | 6.1 | 4.1 |
| がん(悪性新生物) | 4.5 | 4.4 | 4.7 | 4.0 | 4.5 | 5.1 |
| 血液・免疫の病気 | 1.7 | 2.0 | 1.5 | 1.8 | 2.0 | 1.3 |
| うつ病 | 0.7 | 1.3 | 1.2 | 0.3 | 0.4 | 0.6 |
| 認知症(アルツハイマー病等) | 0.8 | - | - | 0.9 | 1.8 | 1.6 |
| パーキンソン病 | 0.5 | 0.2 | - | 0.7 | 0.9 | 1.0 |
| 目の病気 | 17.1 | 13.1 | 17.4 | 19.1 | 18.9 | 15.2 |
| 耳の病気 | 5.2 | 3.1 | 2.7 | 4.5 | 7.5 | 11.1 |
| その他 | 11.7 | 10.9 | 11.3 | 12.5 | 11.8 | 11.4 |
| 無回答 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 3.9 | 4.8 | 3.8 |

問7(8) あなたの健康の秘訣はなんですか【複数回答】

「肉、魚、野菜、乳製品などバランスの良い食事をとっている」が52.4%で最も高くなっています。次いで「定期的を受診している」が46.7%、「定期的にウォーキングなど自分で運動している」が43.2%で続いています。

n=2,676



《あなたの健康の秘訣はなんですか》 × 《性別》

『男性』は『女性』に比べて「定期的にウォーキングなど自分で運動している」「睡眠を十分とっている」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「肉、魚、野菜、乳製品などバランスの良い食事をとっている」「水分を十分にとるようにしている」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 定期的にウォーキングなど自分で運動している | 43.2 | 49.0 | 38.4 |
| スポーツジムに通っている | 8.2 | 7.3 | 8.9 |
| 肉、魚、野菜、乳製品などバランスの良い食事をとっている | 52.4 | 48.9 | 55.3 |
| 水分を十分にとるようにしている | 40.3 | 35.5 | 44.2 |
| 睡眠を十分とっている | 40.8 | 44.5 | 37.8 |
| 起床・就寝時間を決めている | 39.3 | 36.9 | 41.2 |
| ストレス解消法がある | 9.5 | 8.6 | 10.3 |
| 新しいことにチャレンジしている | 5.7 | 5.9 | 5.6 |
| 定期的に受診している | 46.7 | 47.0 | 46.4 |
| がん検診など健診を受けている | 21.4 | 21.9 | 20.9 |
| その他 | 4.0 | 4.0 | 3.9 |
| 特になし | 9.8 | 9.0 | 10.4 |
| 無回答 | 4.2 | 5.2 | 3.5 |

《あなたの健康の秘訣はなんですか》 × 《年齢別》

年齢が上がるにつれて「起床・就寝時間を決めている」「定期的に受診している」の割合が高くなっています。

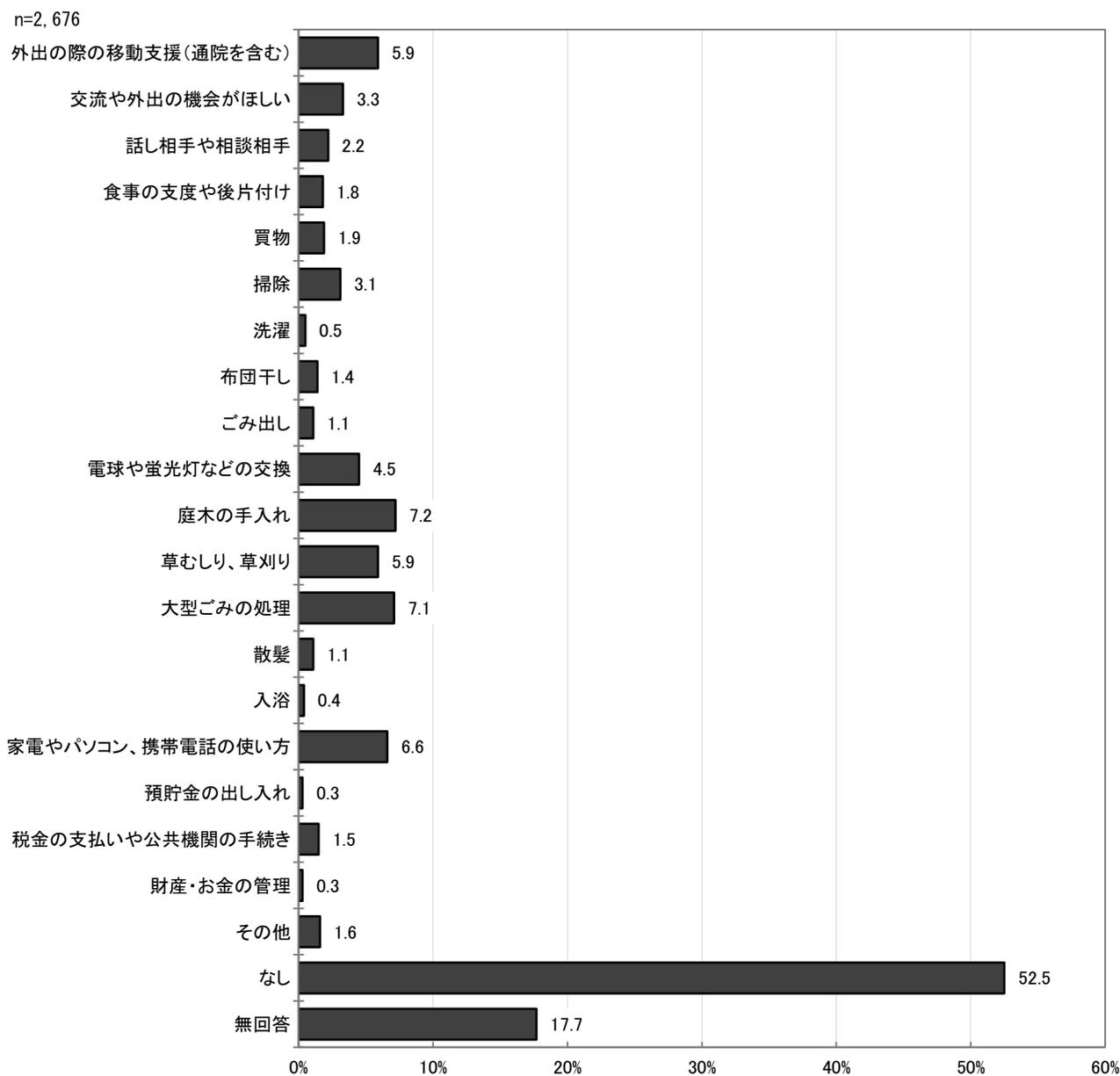
『65歳以上 70歳未満』では「ストレス解消法がある」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|-----------------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 定期的にウォーキングなど自分で運動している | 43.2 | 39.2 | 46.0 | 45.7 | 43.6 | 36.8 |
| スポーツジムに通っている | 8.2 | 9.2 | 8.5 | 9.7 | 6.5 | 6.0 |
| 肉、魚、野菜、乳製品などバランスの良い食事をとっている | 52.4 | 46.0 | 51.2 | 53.6 | 56.9 | 54.0 |
| 水分を十分にとるようにしている | 40.3 | 33.3 | 40.1 | 42.7 | 43.6 | 40.0 |
| 睡眠を十分とっている | 40.8 | 36.3 | 37.7 | 42.4 | 43.3 | 46.0 |
| 起床・就寝時間を決めている | 39.3 | 29.5 | 38.4 | 40.1 | 43.3 | 46.3 |
| ストレス解消法がある | 9.5 | 15.1 | 10.7 | 8.1 | 7.4 | 6.0 |
| 新しいことにチャレンジしている | 5.7 | 7.0 | 7.1 | 6.0 | 4.1 | 3.2 |
| 定期的に受診している | 46.7 | 34.8 | 45.8 | 49.6 | 48.8 | 55.9 |
| がん検診など健診を受けている | 21.4 | 17.9 | 23.9 | 21.2 | 19.7 | 23.8 |
| その他 | 4.0 | 5.5 | 4.3 | 3.0 | 3.4 | 4.1 |
| 特になし | 9.8 | 14.2 | 9.5 | 9.4 | 8.1 | 7.9 |
| 無回答 | 4.2 | 2.0 | 3.6 | 4.5 | 5.7 | 5.7 |

8. 必要な支援について

問8(1) 現在、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか【複数回答】

「なし」が52.5%で突出しています。「庭木の手入れ」が7.2%、「大型ごみの処理」が7.1%で続いています。



《現在、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか》×《年齢別》

若い年齢ほど「なし」の割合が高くなっています。

『80歳以上』では「外出の際の移動支援（通院含む）」の割合が高くなっています。

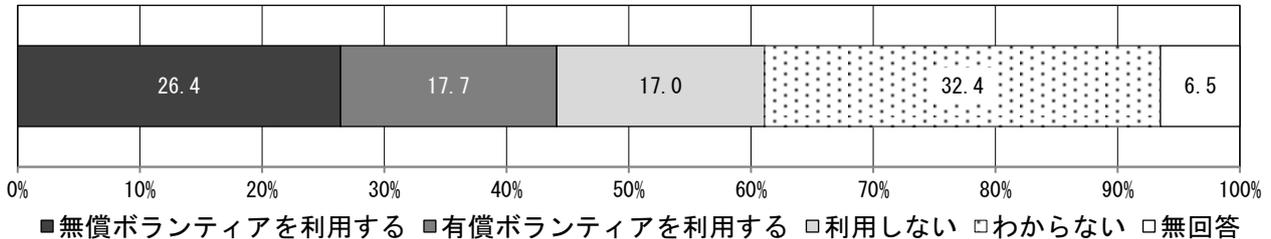
| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 外出の際の移動支援（通院を含む） | 5.9 | 1.3 | 2.4 | 4.3 | 10.1 | 15.9 |
| 交流や外出の機会がほしい | 3.3 | 1.8 | 3.0 | 3.3 | 4.5 | 4.1 |
| 話し相手や相談相手 | 2.2 | 0.9 | 1.6 | 1.5 | 3.4 | 4.8 |
| 食事の支度や後片付け | 1.8 | 0.7 | 1.6 | 1.5 | 1.8 | 4.1 |
| 買物 | 1.9 | 1.1 | 0.6 | 2.1 | 3.2 | 3.5 |
| 掃除 | 3.1 | 2.0 | 1.2 | 1.9 | 4.7 | 8.3 |
| 洗濯 | 0.5 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | 0.4 | 2.2 |
| 布団干し | 1.4 | 0.2 | 0.3 | 1.8 | 2.2 | 3.2 |
| ごみ出し | 1.1 | - | 0.3 | 0.4 | 2.7 | 3.2 |
| 電球や蛍光灯などの交換 | 4.5 | 1.5 | 3.0 | 4.9 | 7.4 | 6.0 |
| 庭木の手入れ | 7.2 | 2.6 | 6.7 | 6.3 | 10.2 | 11.1 |
| 草むしり、草刈り | 5.9 | 4.8 | 5.3 | 5.2 | 6.8 | 7.9 |
| 大型ごみの処理 | 7.1 | 3.9 | 5.9 | 7.3 | 8.8 | 10.5 |
| 散髪 | 1.1 | 0.7 | 0.3 | 1.2 | 1.1 | 3.5 |
| 入浴 | 0.4 | - | 0.4 | 0.1 | 0.4 | 1.6 |
| 家電やパソコン、携帯電話の使い方 | 6.6 | 3.5 | 5.8 | 7.5 | 8.1 | 8.3 |
| 預貯金の出し入れ | 0.3 | - | 0.1 | 0.4 | 0.5 | 0.6 |
| 税金の支払いや公共機関の手続き | 1.5 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 2.3 | 2.5 |
| 財産・お金の管理 | 0.3 | 0.2 | 0.3 | 0.1 | 0.4 | 0.3 |
| その他 | 1.6 | 0.2 | 1.3 | 2.1 | 2.5 | 1.9 |
| なし | 52.5 | 72.2 | 61.6 | 50.4 | 39.3 | 32.1 |
| 無回答 | 17.7 | 12.0 | 15.4 | 20.0 | 21.5 | 18.7 |

【問8（1）において「手助けしてほしいと思うことがある」と回答した方】

問8（2） ボランティアによる支援があれば利用しますか【単数回答】

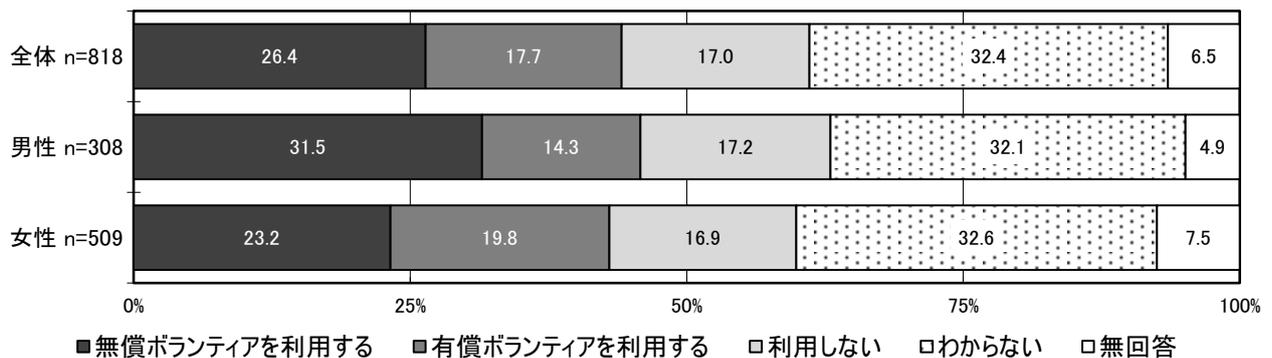
「わからない」が32.4%で最も高く、次いで「無償ボランティアを利用する」が26.4%、「有償ボランティアを利用する」が17.7%が続いています。

n=818



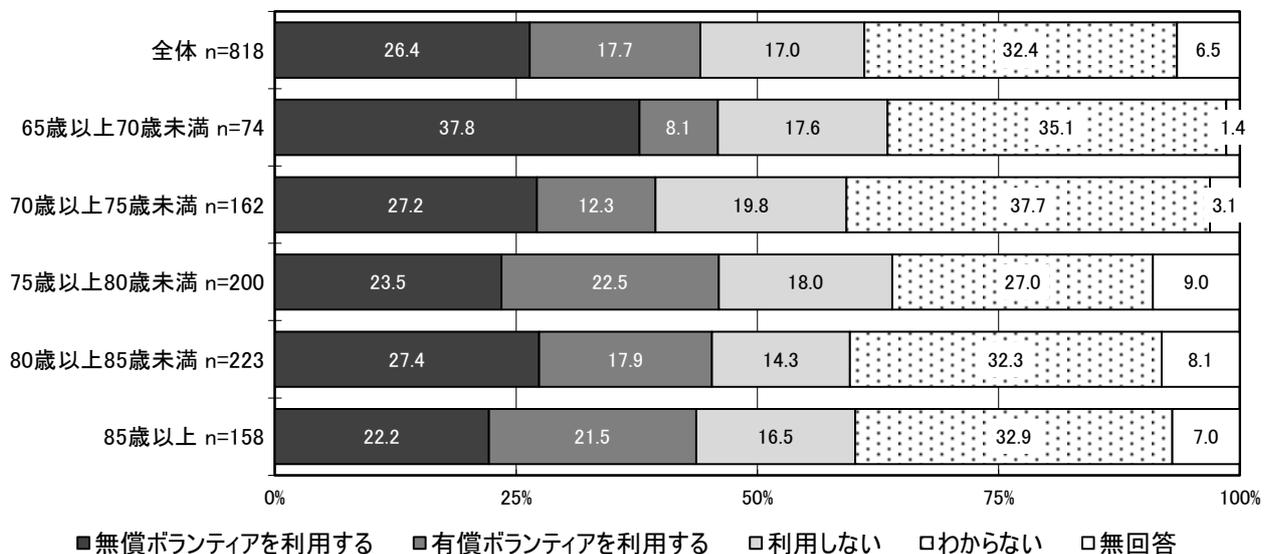
《ボランティアによる支援があれば利用しますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「無償ボランティアを利用する」の割合が高くなっています。
『女性』は『男性』に比べて「有償ボランティアを利用する」の割合が高くなっています。



《ボランティアによる支援があれば利用しますか》×《年齢別》

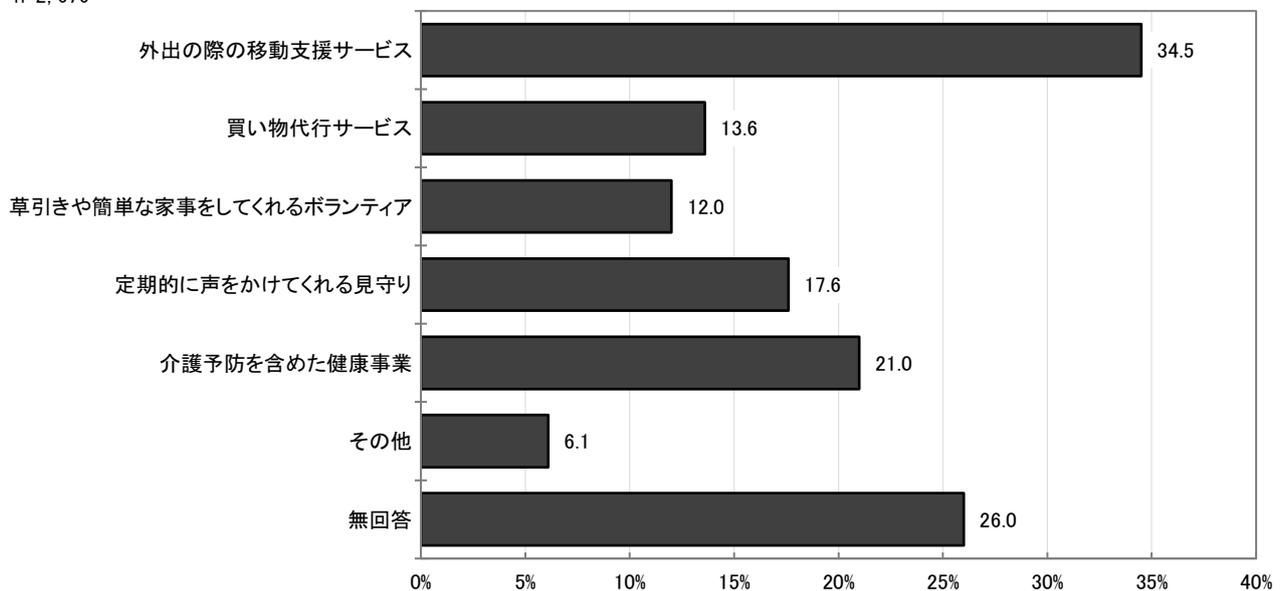
『65歳以上70歳未満』では「無償ボランティアを利用する」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問8(3) あなたが住んでいる地域ですっと暮らし続けるためには、介護保険サービス以外にどのようなサービスがあればよいですか【複数回答】

「外出の際の移動支援サービス」が34.5%で最も高くなっています。次いで「介護予防を含めた健康事業」が21.0%、「定期的に声をかけてくれる見守り」が17.6%が続いています。

n=2,676



《あなたが住んでいる地域ですっと暮らし続けるためには、介護保険サービス以外にどのようなサービスがあればよいですか》×《地区別》

『明峰中学校区』『緑台中学校区』では「外出の際の移動支援サービス」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

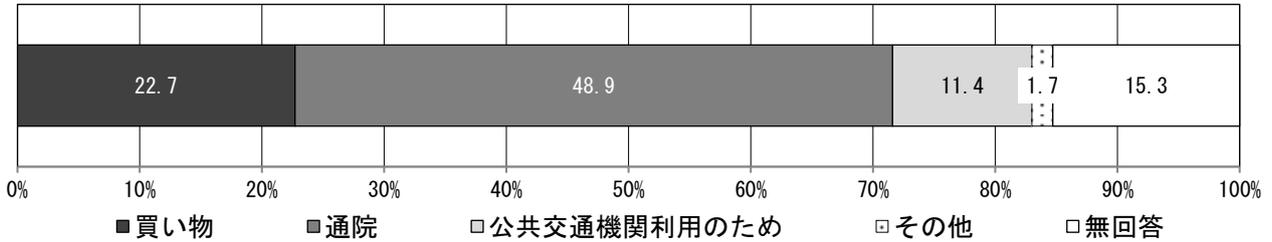
| | 全体 n=2,676 | 川西南 中学校区 n=374 | 川西 中学校区 n=360 | 明峰 中学校区 n=399 | 多田 中学校区 n=381 | 緑台 中学校区 n=377 | 清和台 中学校区 n=374 | 東谷 中学校区 n=408 |
|-----------------------|---------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| 外出の際の移動支援サービス | 34.5 | 28.6 | 22.5 | 40.6 | 33.1 | 42.2 | 34.5 | 38.5 |
| 買い物代行サービス | 13.6 | 11.5 | 12.8 | 14.0 | 12.6 | 12.7 | 14.2 | 17.4 |
| 草引きや簡単な家事をしてくれるボランティア | 12.0 | 4.5 | 9.2 | 15.3 | 9.4 | 16.4 | 13.6 | 15.2 |
| 定期的に声をかけてくれる見守り | 17.6 | 21.4 | 21.1 | 12.8 | 19.2 | 16.2 | 16.3 | 16.9 |
| 介護予防を含めた健康事業 | 21.0 | 19.3 | 22.2 | 17.3 | 22.8 | 23.1 | 17.9 | 24.8 |
| その他 | 6.1 | 8.0 | 6.7 | 6.3 | 5.8 | 6.1 | 4.8 | 5.1 |
| 無回答 | 26.0 | 30.5 | 31.4 | 26.3 | 26.0 | 20.2 | 27.5 | 20.6 |

【問8（3）において「外出の際の移動支援サービス」と回答した方】

問8（4） どのような時に移動支援サービスを利用したいと思われませんか【単数回答】

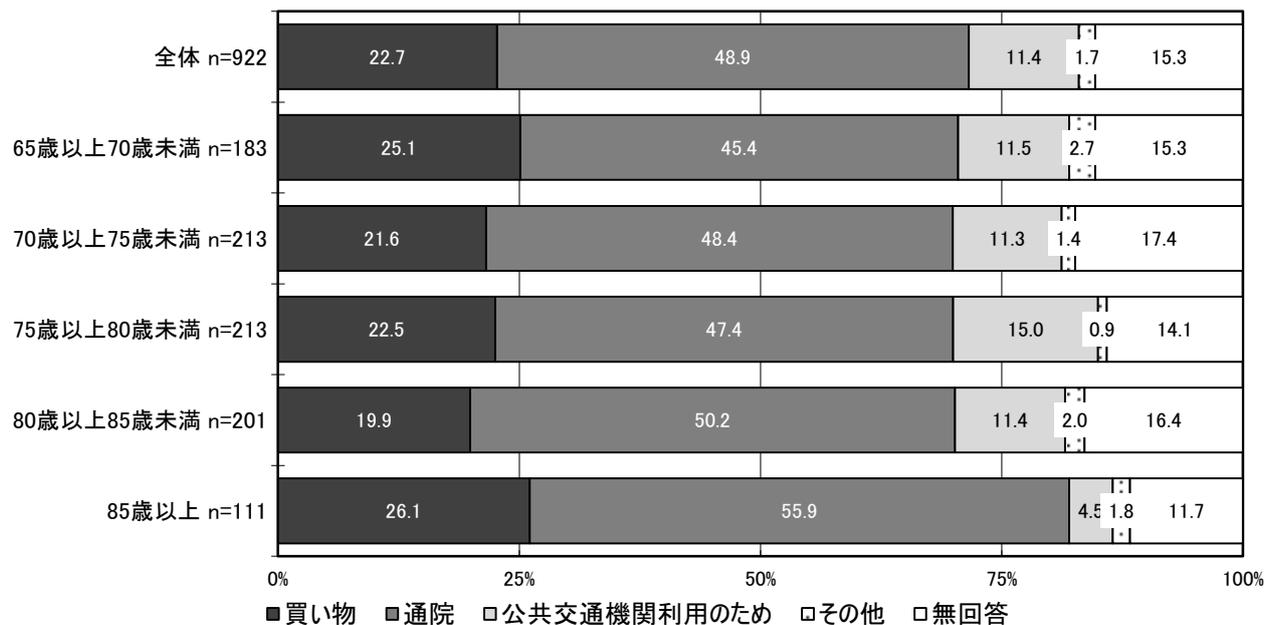
「通院」が48.9%で最も高く、次いで「買い物」が22.7%、「公共交通機関利用のため」が11.4%で続いています。

n=922



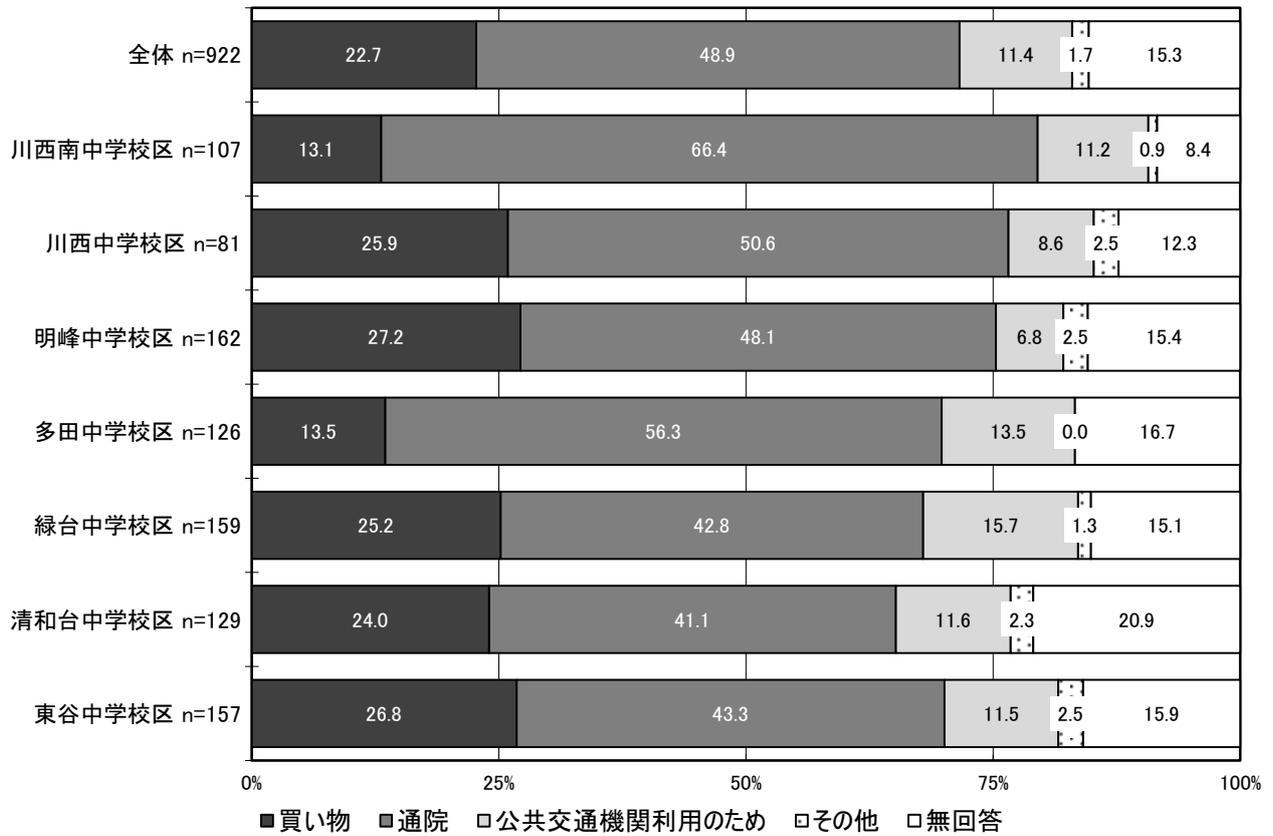
《どのような時に移動支援サービスを利用したいと思われませんか》×《年齢別》

『85歳以上』では「通院」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



《どのような時に移動支援サービスを利用したいと思われますか》 × 《地区別》

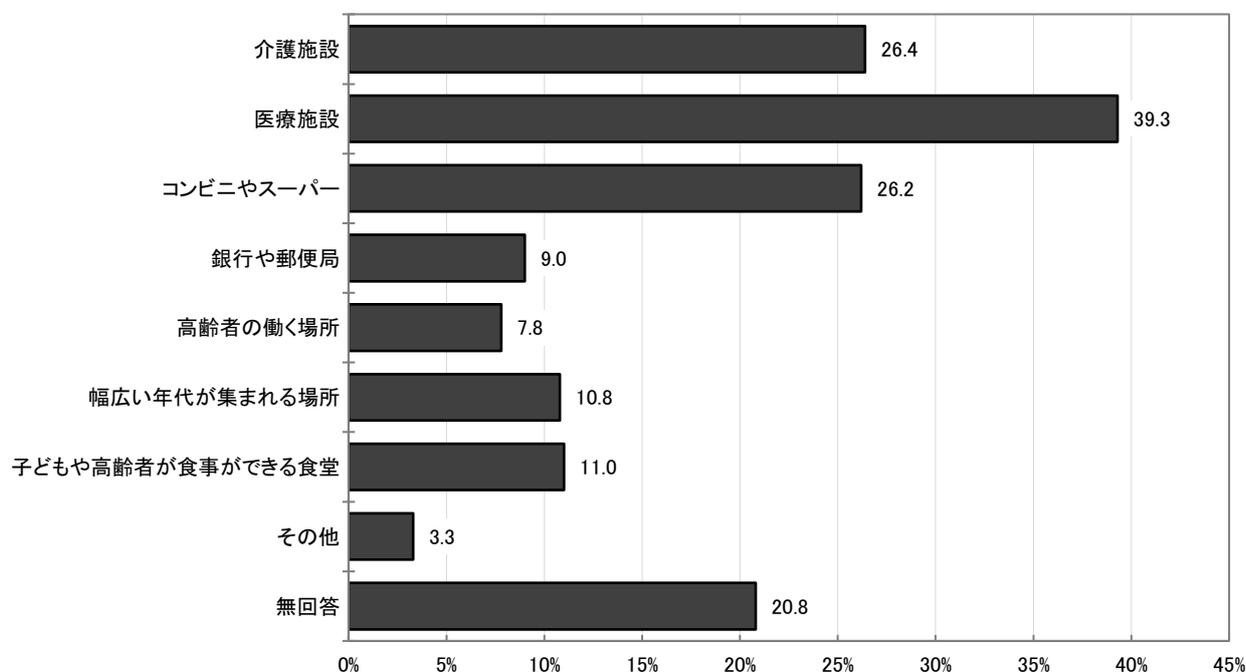
『川西南中学校区』『多田中学校区』では「通院」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



問8(5) あなたが住んでいる地域でずっと暮らし続けるためにはどのような施設が必要ですか
【複数回答】

「医療施設」が39.3%で最も高くなっています。次いで「介護施設」が26.4%、「コンビニやスーパー」が26.2%が続いています。

n=2,676



《あなたが住んでいる地域でずっと暮らし続けるためにはどのような施設が必要ですか》×《年齢別》

『65歳以上70歳未満』では「医療施設」「コンビニやスーパー」、『75歳以上80歳未満』『80歳以上85歳未満』では「介護施設」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 介護施設 | 26.4 | 23.0 | 21.5 | 29.4 | 31.1 | 27.6 |
| 医療施設 | 39.3 | 43.8 | 38.1 | 37.0 | 40.8 | 37.5 |
| コンビニやスーパー | 26.2 | 34.8 | 27.3 | 22.7 | 23.7 | 22.9 |
| 銀行や郵便局 | 9.0 | 9.0 | 8.6 | 6.6 | 10.1 | 13.3 |
| 高齢者の働く場所 | 7.8 | 19.5 | 9.5 | 5.5 | 2.3 | 1.6 |
| 幅広い年代が集まれる場所 | 10.8 | 10.7 | 12.9 | 11.2 | 9.2 | 8.9 |
| 子どもや高齢者が食事ができる食堂 | 11.0 | 12.7 | 12.5 | 10.6 | 9.7 | 8.9 |
| その他 | 3.3 | 2.0 | 3.7 | 3.1 | 3.8 | 3.5 |
| 無回答 | 20.8 | 10.7 | 19.4 | 24.5 | 23.9 | 25.4 |

《あなたが住んでいる地域でずっと暮らし続けるためにはどのような施設が必要ですか》×《地区別》

『川西中学校区』では「幅広い年代が集まれる場所」、『明峰中学校区』では「コンビニやスーパー」、『東谷中学校区』では「医療施設」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

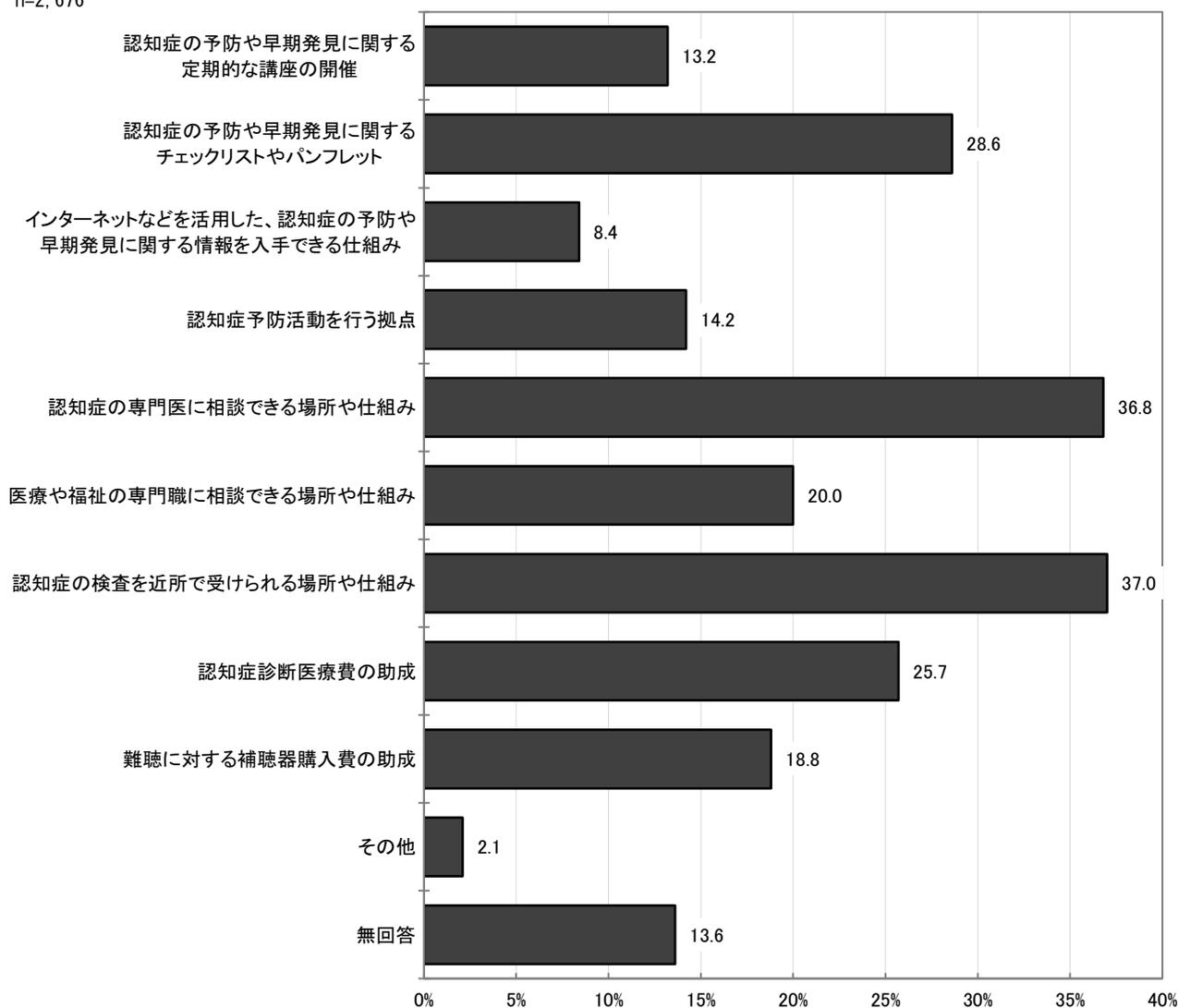
| | 全体 n=2,676 | 川西南 中学校区 n=374 | 川西 中学校区 n=360 | 明峰 中学校区 n=399 | 多田 中学校区 n=381 | 緑台 中学校区 n=377 | 清和台 中学校区 n=374 | 東谷 中学校区 n=408 |
|------------------|---------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| 介護施設 | 26.4 | 23.8 | 29.7 | 25.8 | 30.7 | 31.3 | 19.0 | 25.0 |
| 医療施設 | 39.3 | 30.2 | 30.0 | 37.8 | 39.1 | 45.9 | 34.2 | 55.9 |
| コンビニやスーパー | 26.2 | 25.1 | 19.2 | 36.8 | 16.0 | 30.5 | 27.3 | 27.2 |
| 銀行や郵便局 | 9.0 | 7.5 | 5.8 | 9.8 | 8.4 | 11.1 | 11.0 | 9.3 |
| 高齢者の働く場所 | 7.8 | 9.6 | 11.7 | 3.0 | 11.0 | 4.8 | 6.7 | 8.1 |
| 幅広い年代が集まれる場所 | 10.8 | 12.3 | 17.2 | 9.8 | 9.2 | 9.3 | 9.6 | 9.1 |
| 子どもや高齢者が食事ができる食堂 | 11.0 | 9.4 | 11.4 | 10.5 | 10.2 | 13.5 | 12.8 | 9.6 |
| その他 | 3.3 | 2.9 | 4.7 | 2.8 | 3.1 | 4.2 | 2.7 | 2.5 |
| 無回答 | 20.8 | 25.1 | 21.7 | 20.6 | 22.0 | 15.9 | 24.9 | 16.2 |

9. 認知症対策について

問9(1) 認知症の予防や早期発見に関して、どのような支援や仕組みがあればよいと思いますか
【複数回答】

「認知症の検査を近所で受けられる場所や仕組み」が37.0%で最も高くなっています。次いで「認知症の専門医に相談できる場所や仕組み」が36.8%、「認知症の予防や早期発見に関するチェックリストやパンフレット」が28.6%で続いています。

n=2,676



《認知症の予防や早期発見に関して、どのような支援や仕組みがあればよいと思いますか》×《年齢別》

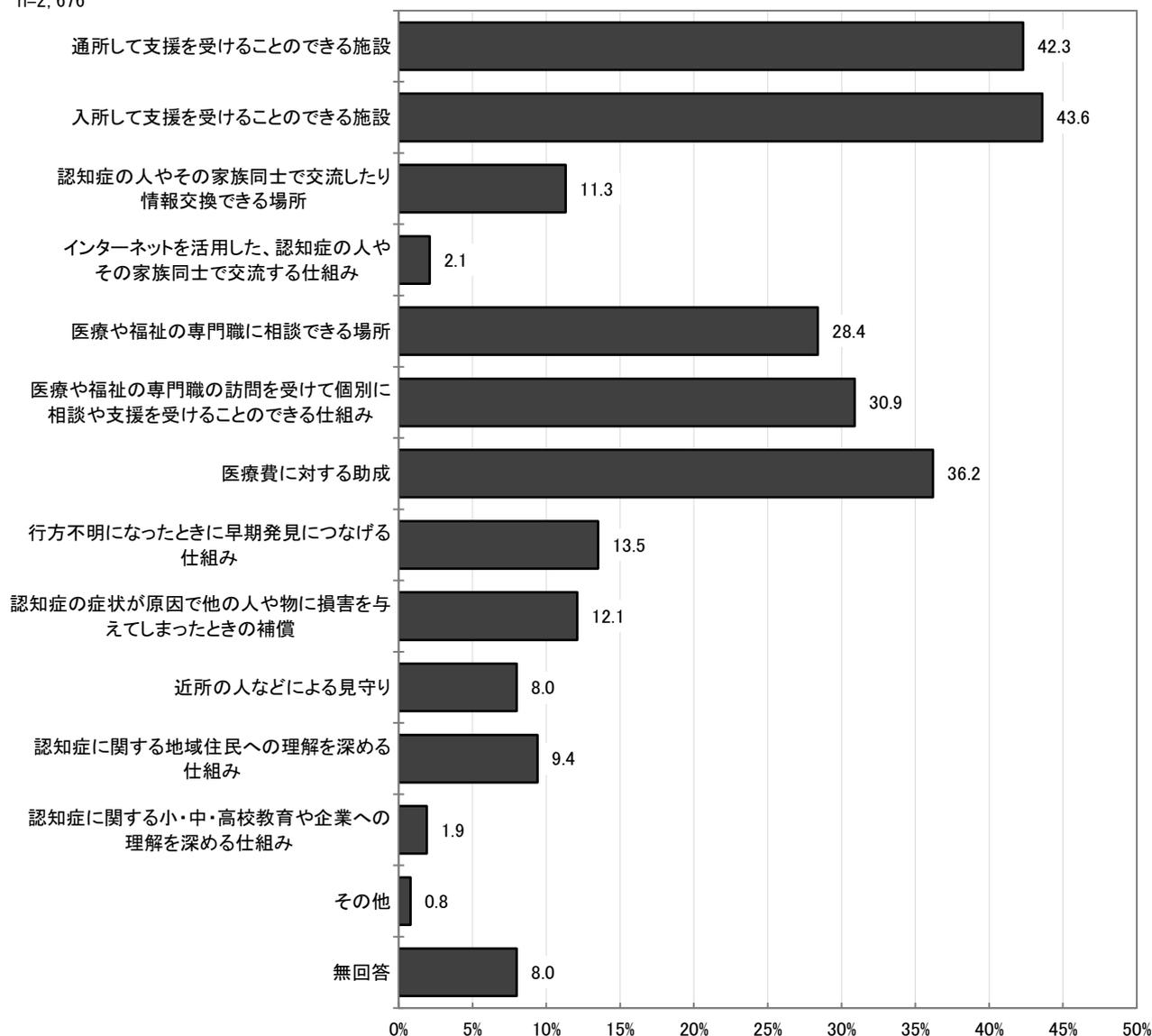
『65歳以上70歳未満』では「認知症の専門医に相談できる場所や仕組み」「認知症診断医療費の助成」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|---|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 認知症の予防や早期発見に関する定期的な講座の開催 | 13.2 | 8.8 | 14.2 | 11.6 | 16.5 | 14.9 |
| 認知症の予防や早期発見に関するチェックリストやパンフレット | 28.6 | 28.0 | 27.9 | 30.3 | 27.8 | 28.3 |
| インターネットなどを活用した、認知症の予防や早期発見に関する情報を入手できる仕組み | 8.4 | 14.4 | 9.8 | 6.3 | 6.1 | 5.1 |
| 認知症予防活動を行う拠点 | 14.2 | 15.5 | 13.5 | 16.1 | 14.7 | 8.6 |
| 認知症の専門医に相談できる場所や仕組み | 36.8 | 47.0 | 37.2 | 33.7 | 34.5 | 32.1 |
| 医療や福祉の専門職に相談できる場所や仕組み | 20.0 | 25.4 | 20.6 | 19.7 | 17.8 | 15.6 |
| 認知症の検査を近所で受けられる場所や仕組み | 37.0 | 38.7 | 41.4 | 35.4 | 35.0 | 32.4 |
| 認知症診断医療費の助成 | 25.7 | 34.8 | 28.9 | 22.2 | 23.0 | 17.5 |
| 難聴に対する補聴器購入費の助成 | 18.8 | 15.5 | 15.3 | 18.8 | 22.4 | 24.4 |
| その他 | 2.1 | 2.2 | 2.7 | 1.3 | 2.2 | 1.9 |
| 無回答 | 13.6 | 5.5 | 11.7 | 16.1 | 16.3 | 19.0 |

問9（2） あなたや家族が認知症になった場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか【複数回答】

「入所して支援を受けることのできる施設」が43.6%で最も高くなっています。次いで「通所して支援を受けることのできる施設」が42.3%、「医療費に対する助成」が36.2%が続いています。

n=2,676



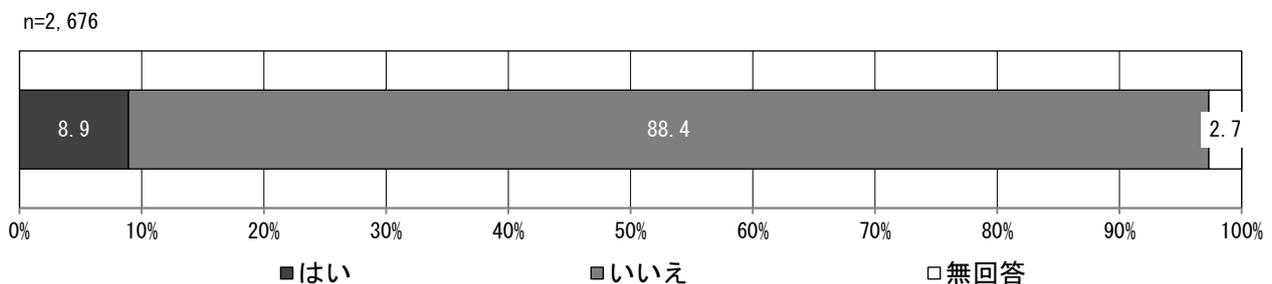
《あなたや家族が認知症になった場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか》×
《年齢別》

『65歳以上70歳未満』では「入所して支援を受けることのできる施設」「医療費に対する助成」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|---|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 通所して支援を受けることのできる施設 | 42.3 | 42.9 | 43.6 | 41.5 | 42.9 | 39.0 |
| 入所して支援を受けることのできる施設 | 43.6 | 51.4 | 43.8 | 43.0 | 40.9 | 38.7 |
| 認知症の人やその家族同士で交流したり 情報交換できる場所 | 11.3 | 12.3 | 10.8 | 12.4 | 10.8 | 9.5 |
| インターネットを活用した、認知症の人や その家族同士で交流する仕組み | 2.1 | 3.3 | 2.4 | 1.8 | 1.6 | 1.3 |
| 医療や福祉の専門職に相談できる場所 | 28.4 | 28.2 | 26.9 | 28.1 | 29.6 | 30.5 |
| 医療や福祉の専門職の訪問を受けて個別 に相談や支援を受けることのできる仕組み | 30.9 | 34.1 | 32.3 | 31.3 | 28.9 | 26.0 |
| 医療費に対する助成 | 36.2 | 42.0 | 37.4 | 34.2 | 36.6 | 29.2 |
| 行方不明になったときに早期発見につな げる仕組み | 13.5 | 15.1 | 15.6 | 12.8 | 12.4 | 10.5 |
| 認知症の症状が原因で他の人や物に損害 を与えてしまったときの補償 | 12.1 | 13.8 | 12.8 | 11.2 | 11.7 | 11.4 |
| 近所の人などによる見守り | 8.0 | 6.3 | 7.9 | 9.6 | 8.8 | 6.3 |
| 認知症に関する地域住民への理解を深め る仕組み | 9.4 | 8.1 | 11.3 | 7.5 | 10.4 | 9.5 |
| 認知症に関する小・中・高校教育や企業へ の理解を深める仕組み | 1.9 | 2.4 | 2.1 | 1.6 | 2.0 | 1.6 |
| その他 | 0.8 | 0.7 | 1.2 | 0.6 | 0.4 | 1.3 |
| 無回答 | 8.0 | 4.6 | 5.6 | 9.6 | 9.3 | 12.4 |

問9（3） 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか【単数回答】

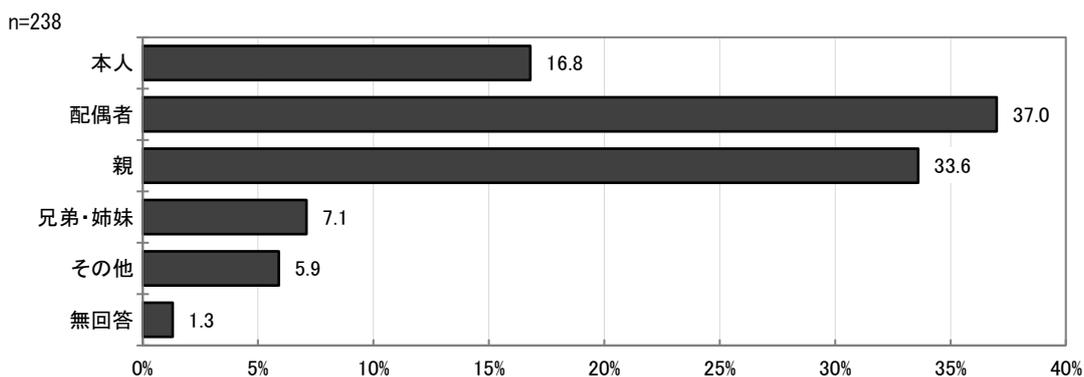
「いいえ」が88.4%を占めています。



【問9（3）において「はい」と回答した方】

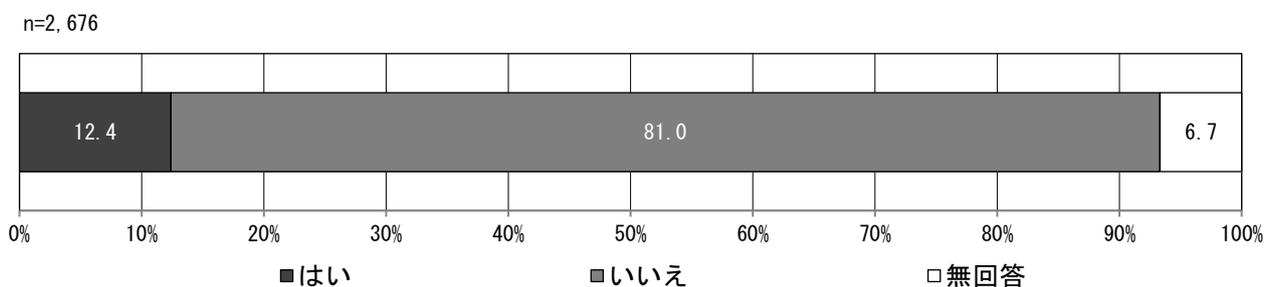
問9（4） それはどなたですか【複数回答】

「配偶者」が37.0%で最も高くなっています。次いで「親」が33.6%、「本人」が16.8%で続いています。



問9（5） 認知症に関する相談窓口を知っていますか【単数回答】

「いいえ」が81.0%を占めています。

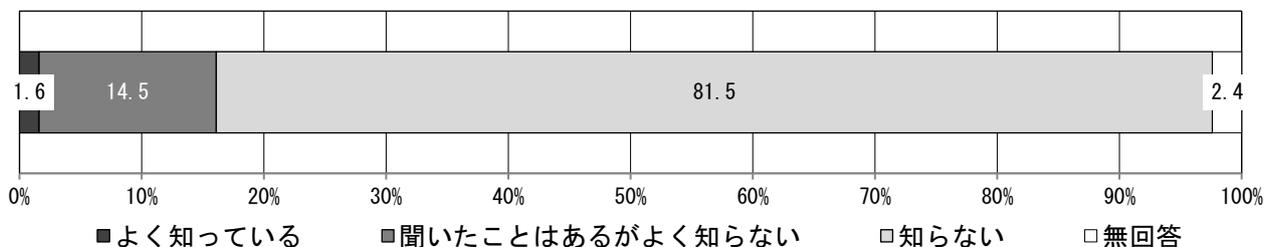


10. 人生会議（ACP）について

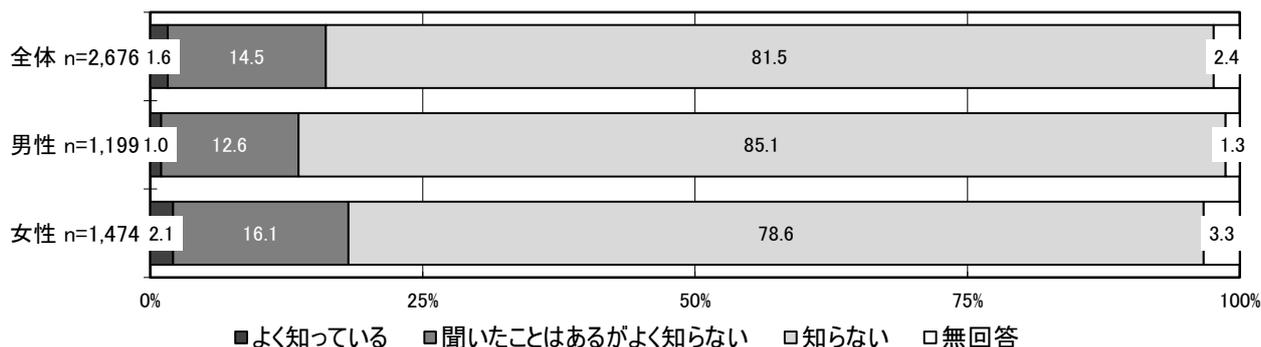
問 10（1） 「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」について知っていますか【単数回答】

「知らない」が81.5%を占めています。

n=2,676



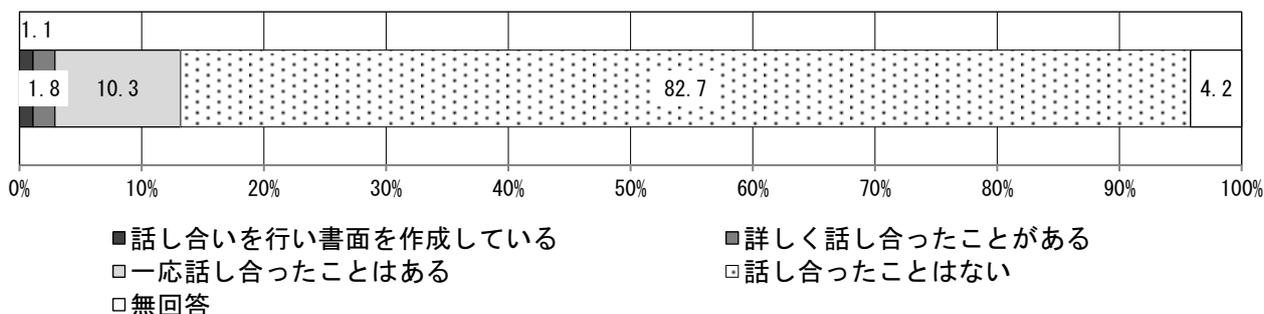
《「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」について知っていますか》×《性別》
『男性』は『女性』に比べて「知らない」の割合が高くなっています。



問 10（2） 自分の医療・ケアに関する希望について、周囲の信頼する人や医療/福祉専門職と話し合ったことはありますか【単数回答】

「話し合ったことはない」が82.7%を占めています。

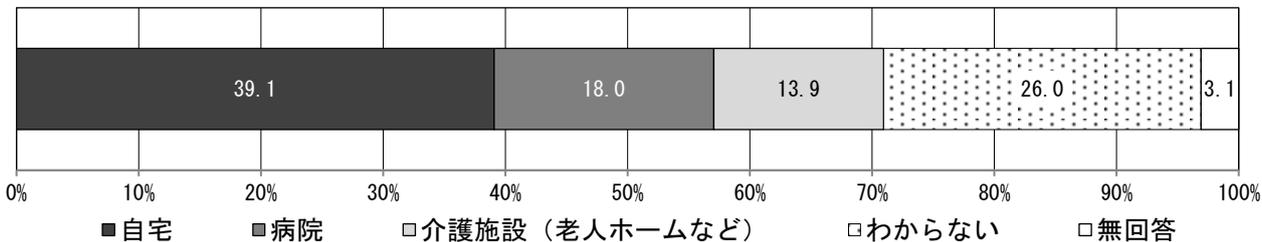
n=2,676



問 10 (3) 将来、寿命が近づいたとき、どこで過ごしながら医療・ケアを受けたいですか【単数回答】

「自宅」が 39.1%で最も高く、次いで「わからない」が 26.0%、「病院」が 18.0%で続いています。

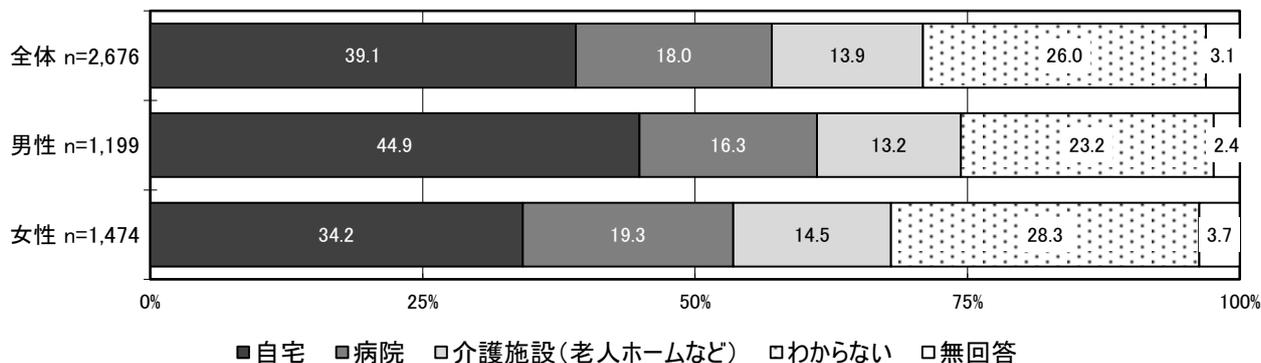
n=2,676



《将来、寿命が近づいたとき、どこで過ごしながら医療・ケアを受けたいですか》 × 《性別》

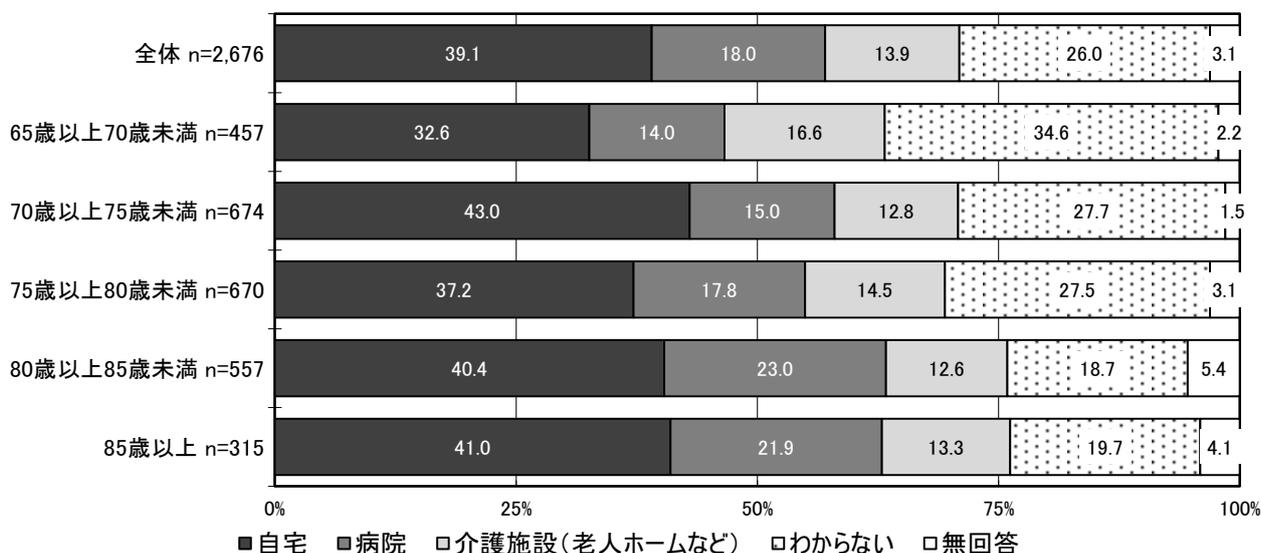
『男性』は『女性』に比べて「自宅」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「わからない」の割合が高くなっています。



《将来、寿命が近づいたとき、どこで過ごしながら医療・ケアを受けたいですか》 × 《年齢別》

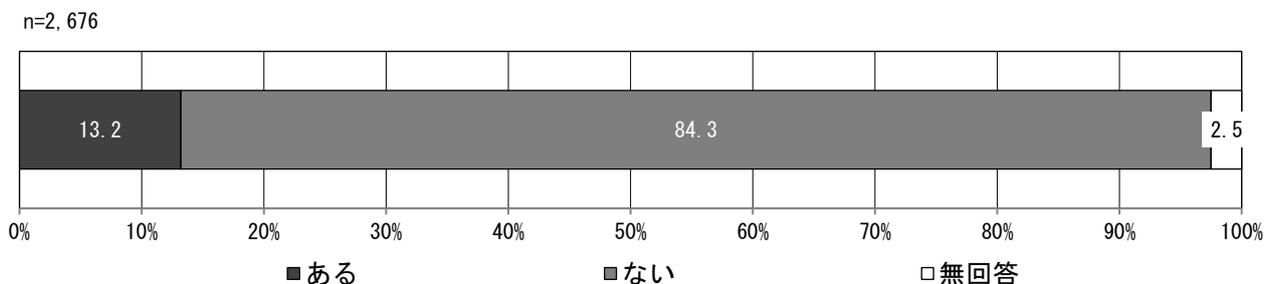
『65歳以上70歳未満』では「わからない」、「70歳以上75歳未満」では「自宅」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



11. 介護保険制度について

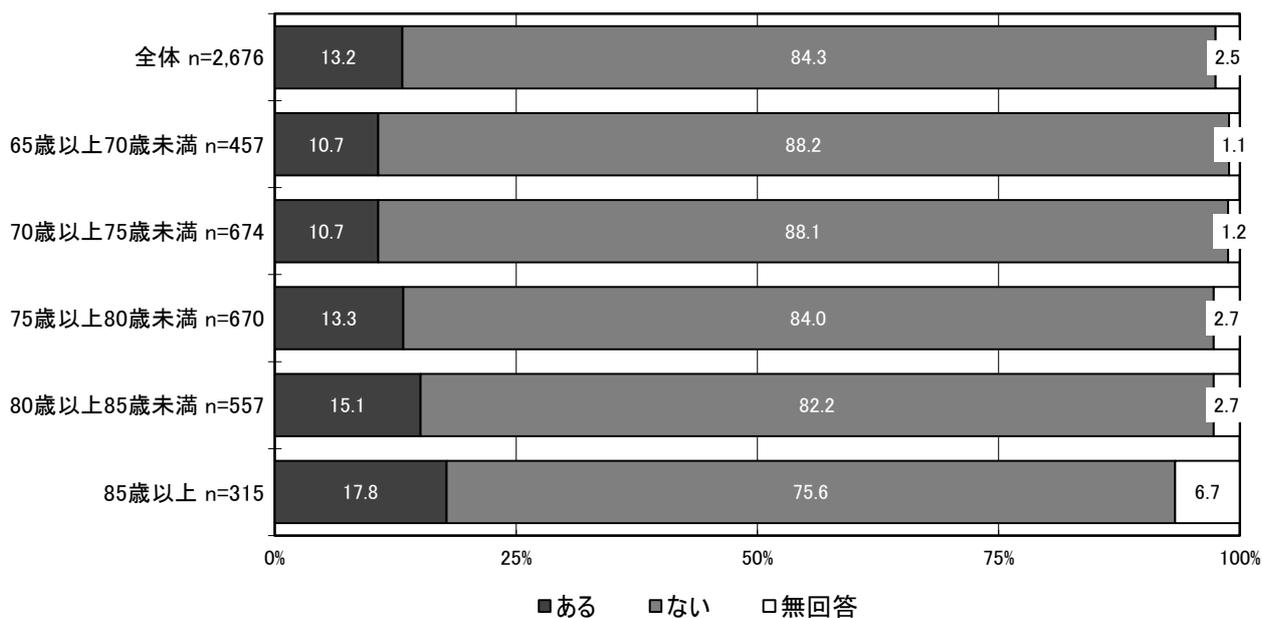
問 11（1） 介護保険の申請や介護保険サービスを利用するのに抵抗がありますか【単数回答】

「ない」が84.3%を占めています。



《介護保険の申請や介護保険サービスを利用するのに抵抗がありますか》×《年齢別》

年齢が上がるにつれて「ある」の割合が高くなっています。

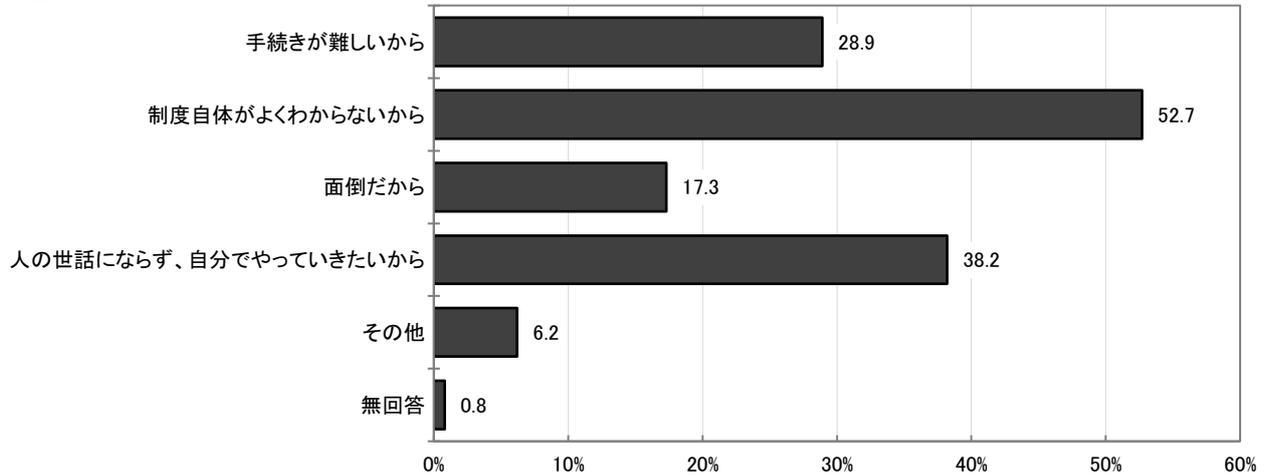


【問 11（1）において「ある」と回答した方】

問 11（2） 理由はなんですか【複数回答】

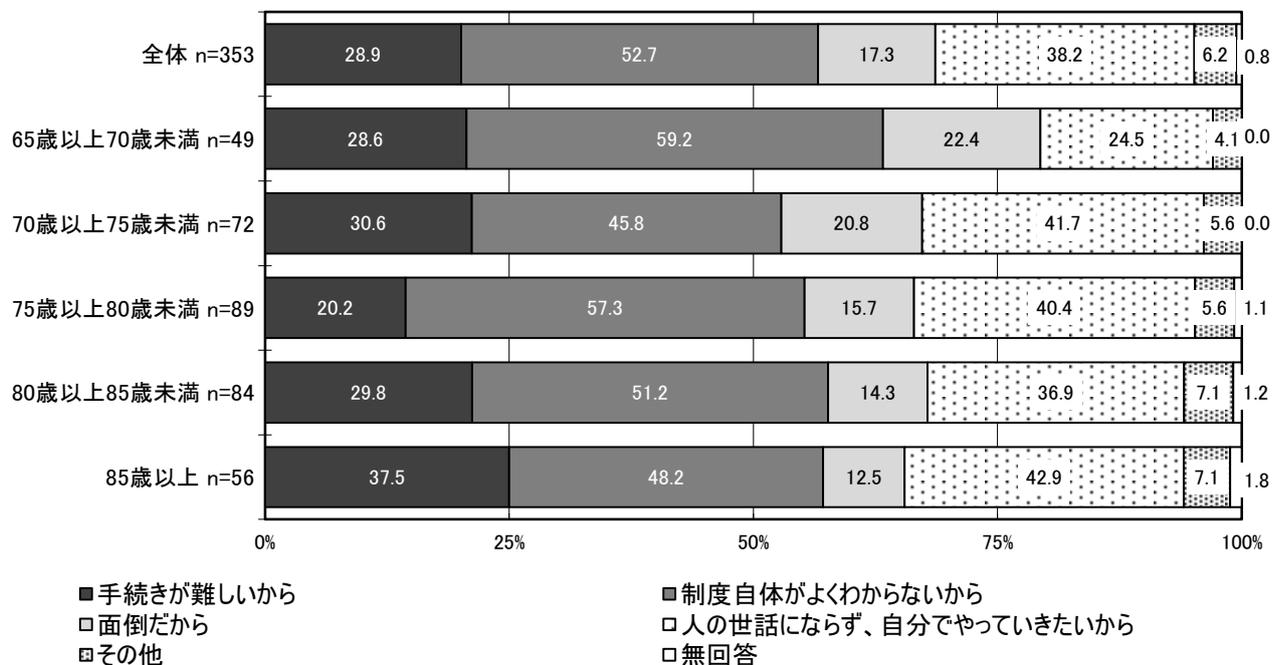
「制度自体がよくわからないから」が 52.7%で最も高くなっています。次いで「人の世話にならず、自分でやっていきたいから」が 38.2%、「手続きが難しいから」が 28.9%で続いています。

n=353



《理由はなんですか》 × 《年齢別》

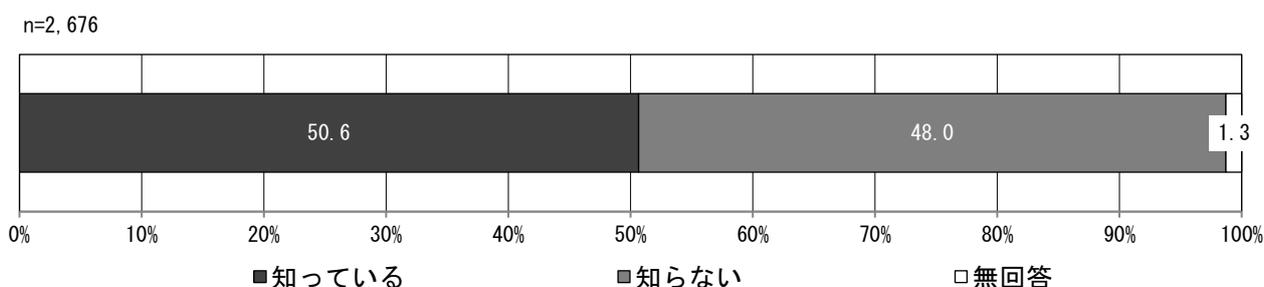
『65歳以上70歳未満』『75歳以上80歳未満』では「制度自体がよくわからないから」、『85歳以上』では「手続きが難しいから」の割合が高くなっています。



12. 地域包括支援センターについて

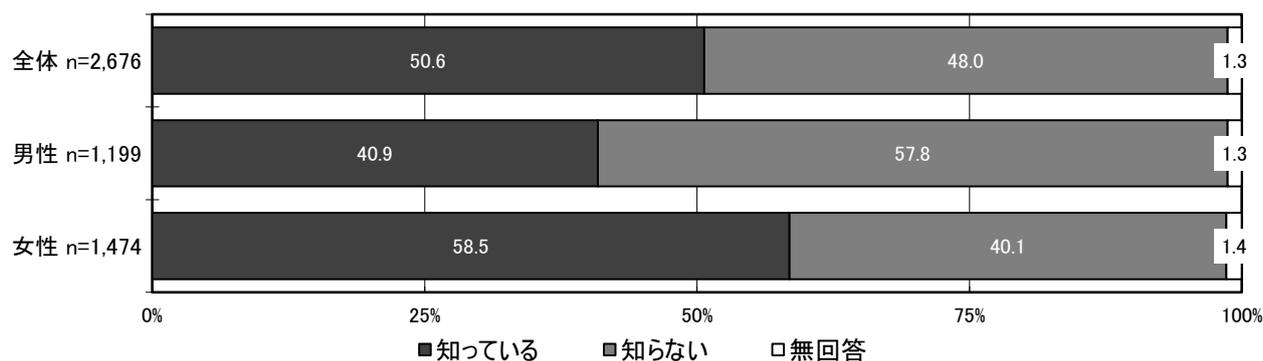
問 12 (1) 高齢者が自立して生活できるよう相談にのったり、福祉サービスの利用につないだりする支援や介護予防などを行っている「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか【単数回答】

「知っている」が50.6%、「知らない」が48.0%で拮抗しています。



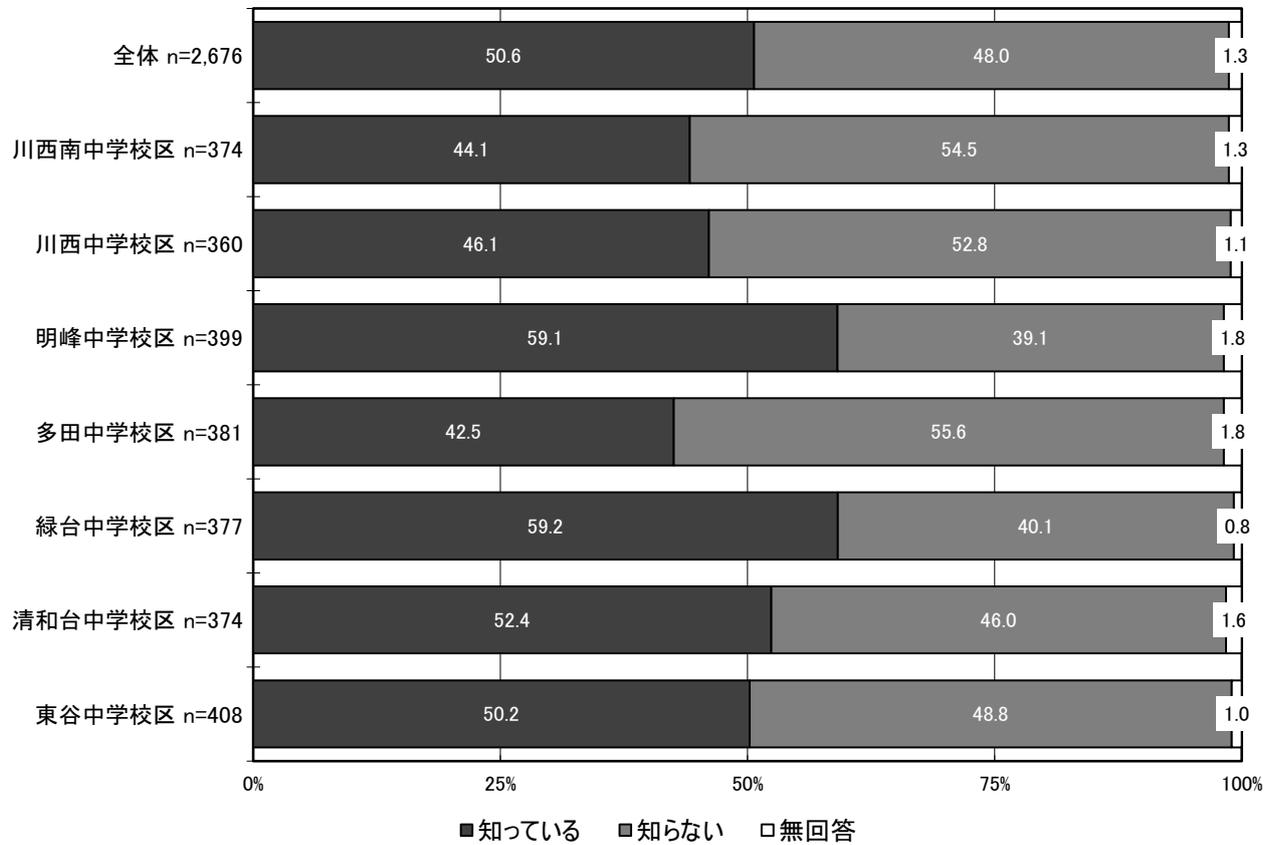
《「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「知らない」の割合が高くなっています。



《「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか》 × 《地区別》

『川西南中学校区』『川西中学校区』『多田中学校区』では「知らない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

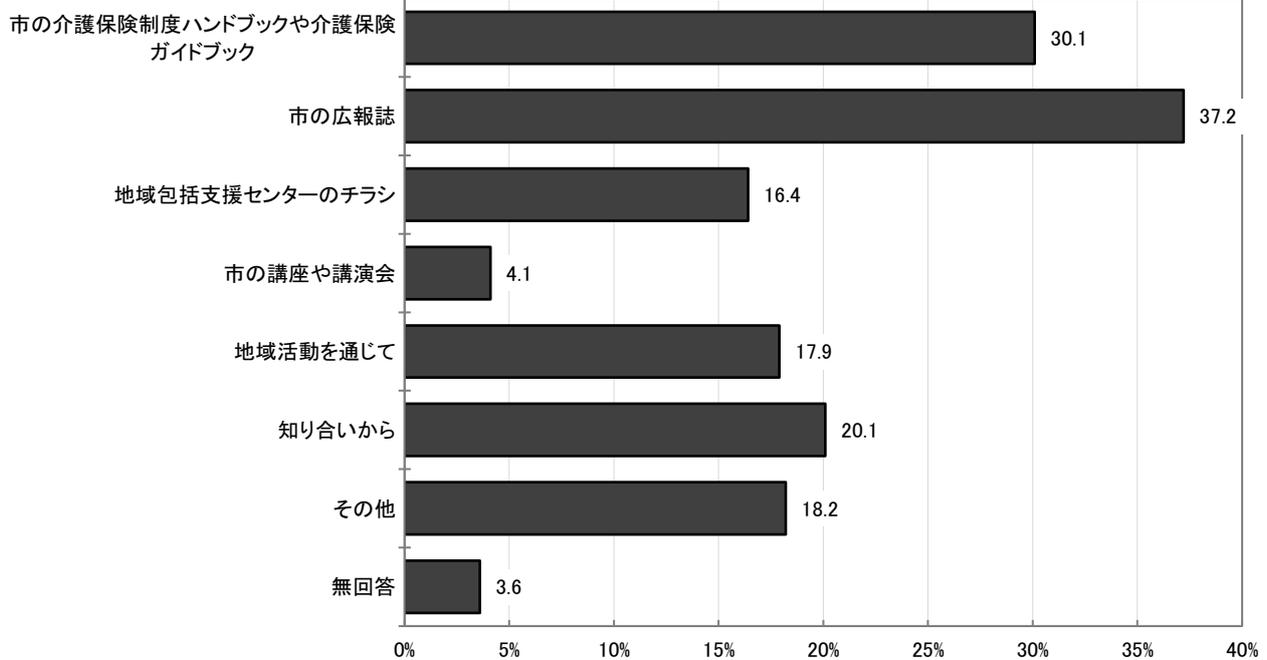


【問 12（1）において「知っている」と回答した方】

問 12（2） どこで知りましたか【複数回答】

「市の広報誌」が 37.2%で最も高くなっています。次いで「市の介護保険制度ハンドブックや介護保険ガイドブック」が 30.1%、「知り合いから」が 20.1%が続いています。

n=1,355



《どこで知りましたか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「市の介護保険制度ハンドブックや介護保険ガイドブック」「市の広報誌」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「知り合いから」の割合が高くなっています。

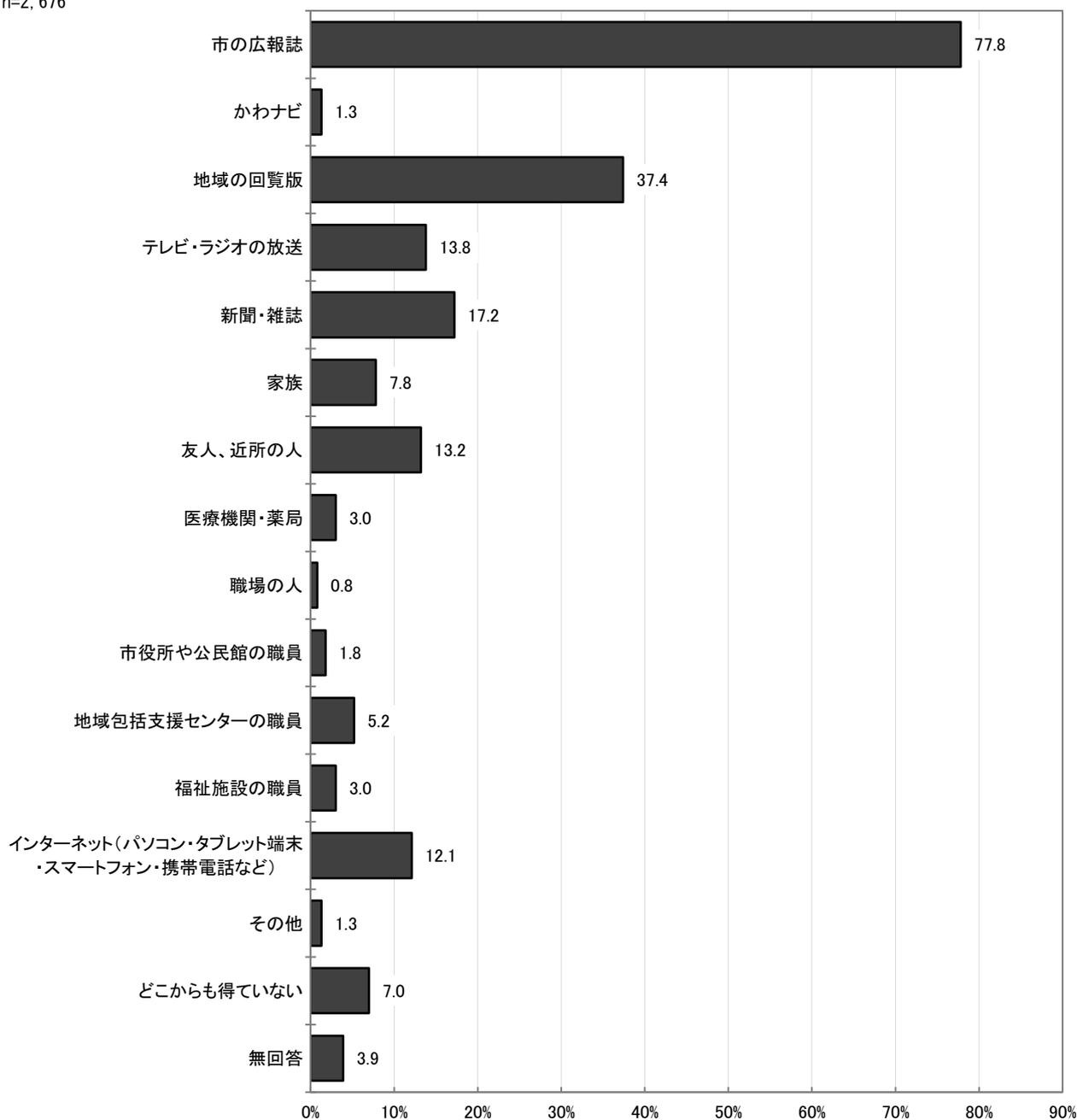
| | 全体 n=1,355 | 男性 n=490 | 女性 n=863 |
|---------------------------|---------------|-------------|-------------|
| 市の介護保険制度ハンドブックや介護保険ガイドブック | 30.1 | 33.3 | 28.4 |
| 市の広報誌 | 37.2 | 40.0 | 35.7 |
| 地域包括支援センターのチラシ | 16.4 | 14.9 | 17.3 |
| 市の講座や講演会 | 4.1 | 2.9 | 4.9 |
| 地域活動を通じて | 17.9 | 17.3 | 18.2 |
| 知り合いから | 20.1 | 16.1 | 22.4 |
| その他 | 18.2 | 17.3 | 18.4 |
| 無回答 | 3.6 | 3.3 | 3.8 |

13. 福祉情報の収集について

問 13 (1) 介護や福祉、イベントや防災の情報など、行政や地域の情報を何から得ていますか【複数回答】

「市の広報誌」が 77.8%で突出しています。「地域の回覧版」が 37.4%、「新聞・雑誌」が 17.2%で続いています。

n=2,676



《行政や地域の情報を何から得ていますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「インターネット」の割合が高くなっています。
『女性』は『男性』に比べて「友人、近所の人」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 男性 n=1,199 | 女性 n=1,474 |
|--------------------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 市の広報誌 | 77.8 | 77.2 | 78.3 |
| かわナビ | 1.3 | 1.6 | 1.0 |
| 地域の回覧版 | 37.4 | 35.4 | 38.9 |
| テレビ・ラジオの放送 | 13.8 | 13.9 | 13.8 |
| 新聞・雑誌 | 17.2 | 19.3 | 15.6 |
| 家族 | 7.8 | 10.7 | 5.5 |
| 友人、近所の人 | 13.2 | 9.0 | 16.6 |
| 医療機関・薬局 | 3.0 | 3.5 | 2.6 |
| 職場の人 | 0.8 | 0.7 | 0.9 |
| 市役所や公民館の職員 | 1.8 | 2.1 | 1.6 |
| 地域包括支援センターの職員 | 5.2 | 4.7 | 5.7 |
| 福祉施設の職員 | 3.0 | 3.0 | 2.9 |
| インターネット(パソコン・タブレット端末・スマートフォン・携帯電話など) | 12.1 | 16.8 | 8.2 |
| その他 | 1.3 | 1.3 | 1.2 |
| どこからも得ていない | 7.0 | 7.3 | 6.6 |
| 無回答 | 3.9 | 3.8 | 4.0 |

《行政や地域の情報を何から得ていますか》×《年齢別》

『65歳以上70歳未満』『70歳以上75歳未満』では「インターネット」、『80歳以上85歳未満』『85歳以上』では「地域包括支援センターの職員」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 65歳以上 70歳未満 n=457 | 70歳以上 75歳未満 n=674 | 75歳以上 80歳未満 n=670 | 80歳以上 85歳未満 n=557 | 85歳以上 n=315 |
|--------------------------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 市の広報誌 | 77.8 | 77.9 | 80.3 | 78.2 | 78.5 | 70.5 |
| かわナビ | 1.3 | 1.5 | 1.2 | 1.2 | 1.3 | 1.3 |
| 地域の回覧版 | 37.4 | 32.4 | 38.6 | 37.5 | 40.8 | 35.9 |
| テレビ・ラジオの放送 | 13.8 | 8.5 | 12.0 | 15.7 | 16.5 | 16.8 |
| 新聞・雑誌 | 17.2 | 11.2 | 13.4 | 18.7 | 22.1 | 22.9 |
| 家族 | 7.8 | 6.8 | 6.7 | 7.9 | 9.0 | 9.5 |
| 友人、近所の人 | 13.2 | 11.2 | 12.6 | 14.6 | 14.7 | 11.7 |
| 医療機関・薬局 | 3.0 | 3.9 | 2.2 | 2.1 | 3.6 | 4.4 |
| 職場の人 | 0.8 | 2.4 | 1.0 | 0.4 | 0.2 | - |
| 市役所や公民館の職員 | 1.8 | 1.3 | 1.8 | 1.5 | 2.3 | 2.2 |
| 地域包括支援センターの職員 | 5.2 | 2.8 | 1.8 | 4.6 | 8.6 | 11.4 |
| 福祉施設の職員 | 3.0 | 2.2 | 2.1 | 1.6 | 4.1 | 6.7 |
| インターネット(パソコン・タブレット端末・スマートフォン・携帯電話など) | 12.1 | 23.4 | 14.5 | 9.9 | 7.5 | 3.2 |
| その他 | 1.3 | 1.3 | 1.0 | 2.1 | 0.7 | 0.6 |
| どこからも得ていない | 7.0 | 8.8 | 6.1 | 7.8 | 7.0 | 4.1 |
| 無回答 | 3.9 | 0.9 | 3.0 | 4.5 | 3.9 | 8.9 |

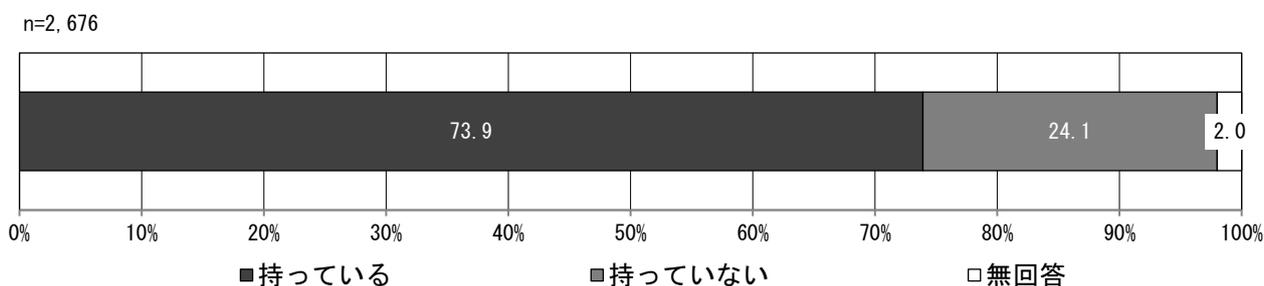
《行政や地域の情報を何から得ていますか》×《地区別》

『明峰中学校区』『緑台中学校区』『清和台中学校区』では「地域の回覧板」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

| | 全体 n=2,676 | 川西南中 学校区 n=374 | 川西中学 校区 n=360 | 明峰中学 校区 n=399 | 多田中学 校区 n=381 | 緑台中学 校区 n=377 | 清和台中 学校区 n=374 | 東谷中学 校区 n=408 |
|--|---------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| 市の広報誌 | 77.8 | 73.8 | 80.3 | 79.2 | 76.4 | 77.2 | 78.3 | 79.4 |
| かわナビ | 1.3 | 0.8 | 1.1 | 1.8 | 1.6 | 1.3 | 1.1 | 1.2 |
| 地域の回覧板 | 37.4 | 31.8 | 23.9 | 46.6 | 30.2 | 48.0 | 46.3 | 34.1 |
| テレビ・ラジオの放送 | 13.8 | 14.4 | 14.4 | 13.8 | 16.3 | 14.6 | 10.4 | 13.0 |
| 新聞・雑誌 | 17.2 | 16.6 | 17.2 | 18.3 | 13.9 | 17.2 | 15.2 | 21.8 |
| 家族 | 7.8 | 9.4 | 6.1 | 8.0 | 7.1 | 9.8 | 5.6 | 8.6 |
| 友人、近所の人 | 13.2 | 15.2 | 14.4 | 15.0 | 11.3 | 11.4 | 10.2 | 14.7 |
| 医療機関・薬局 | 3.0 | 3.7 | 2.8 | 3.5 | 1.6 | 2.7 | 2.9 | 3.9 |
| 職場の人 | 0.8 | 2.1 | 1.7 | 0.5 | 0.8 | - | 0.5 | 0.2 |
| 市役所や公民館の職員 | 1.8 | 2.1 | 0.8 | 1.8 | 1.6 | 1.6 | 2.9 | 1.7 |
| 地域包括支援センターの職員 | 5.2 | 5.6 | 4.2 | 7.0 | 3.7 | 5.0 | 5.6 | 5.4 |
| 福祉施設の職員 | 3.0 | 3.7 | 3.6 | 1.8 | 1.6 | 2.1 | 3.5 | 4.4 |
| インターネット(パソコン・タブレット端 末・スマートフォン・携帯電話など) | 12.1 | 9.6 | 13.1 | 12.5 | 11.0 | 12.2 | 13.6 | 12.5 |
| その他 | 1.3 | 0.8 | 1.4 | 1.8 | 0.3 | 2.1 | 0.8 | 1.5 |
| どこからも得ていない | 7.0 | 7.8 | 7.2 | 4.5 | 8.9 | 4.8 | 8.6 | 6.9 |
| 無回答 | 3.9 | 6.7 | 3.1 | 3.3 | 4.2 | 4.2 | 2.7 | 3.2 |

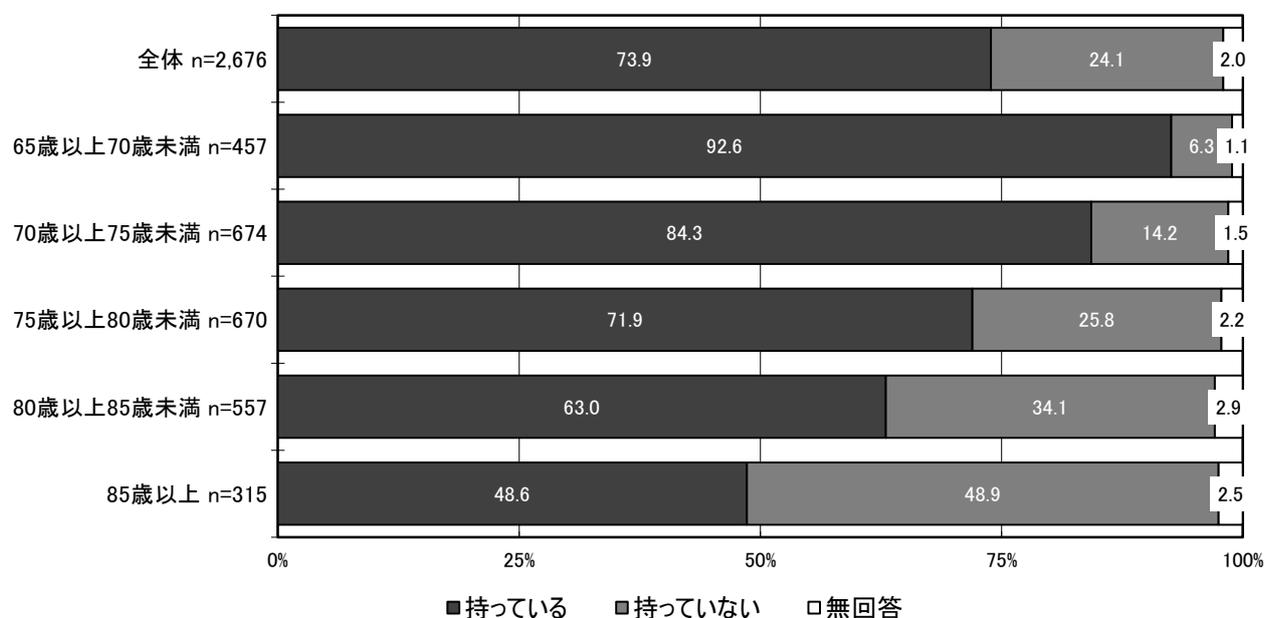
問 13 (2) スマートフォンまたはタブレット端末を持っていますか【単数回答】

「持っている」が73.9%を占めています。



《スマートフォンまたはタブレット端末を持っていますか》×《年齢別》

年齢が上がるにつれて「持っていない」の割合が高くなっています。



III 健康リスクの状況

活動性や生活機能が低下して要介護状態となるおそれの高い高齢者を把握するために、ニーズ調査の結果から、国のマニュアルに沿って判定を行なったものです。

| 項目 | 概要 |
|-------|------------------------|
| 運動器 | 歩くことなどの運動の機能に衰えがみられる者 |
| 転倒 | 転ぶ可能性が高いとみられる者 |
| 閉じこもり | 外出する機会の少ない者 |
| 低栄養 | 体重の増減があり、標準体重を維持していない者 |
| 咀嚼 | 咀嚼機能などに衰えがみられる者 |
| 口腔 | 嚥下機能などに衰えがみられる者 |
| 認知機能 | 物忘れなどのある者（認知症の恐れのある者） |
| うつ | 生活する気力の衰えがみられる者 |

後述する各設問の選択肢の内、網掛けの選択肢を回答した人がリスクの対象となります。リスク毎に、決められた個数の回答があった場合に、リスクがある高齢者と判定されます。

1. 運動器の機能低下【単数回答】

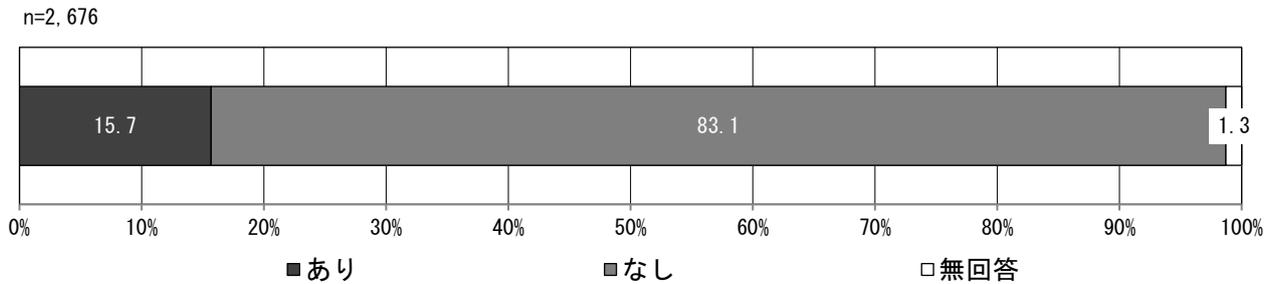
下記の設問で3問以上、該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、運動器の機能低下している高齢者になります。

該当設問 体を動かすことについて

| 項目 | 設問 | 選択肢 |
|-----|------------------------------|--|
| (1) | 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか | 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない |
| (2) | 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか | 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない |
| (3) | 15分位続けて歩いていますか | 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない |
| (4) | 過去1年間に転んだ経験がありますか | 1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない |
| (5) | 転倒に対する不安は大きいですか | 1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない |

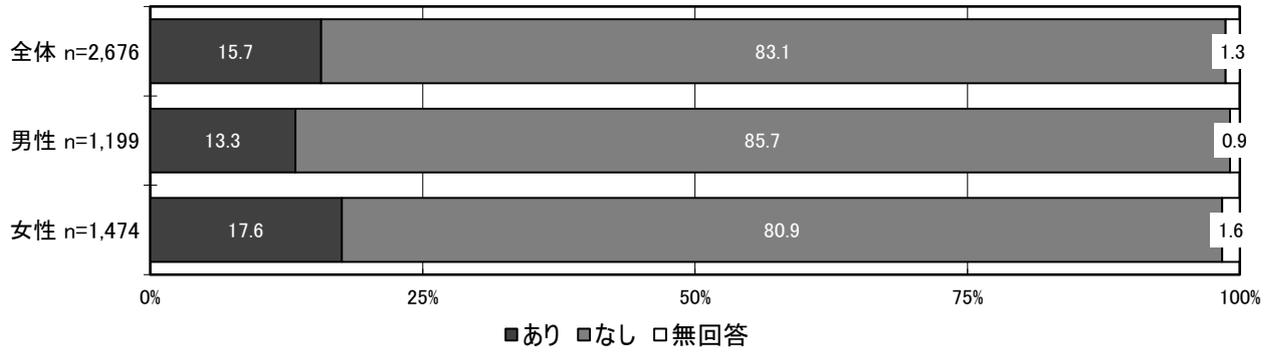
運動器の機能低下

「あり」は15.7%となっています。



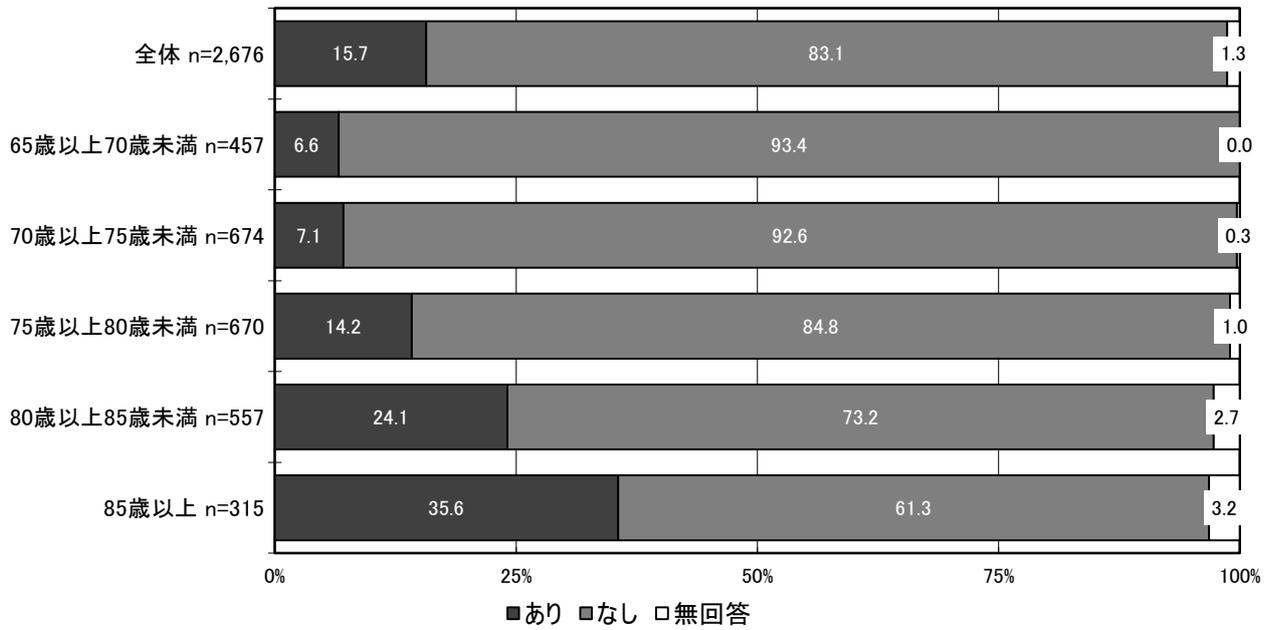
《性別》

『女性』は『男性』に比べて「あり」の割合が高くなっています。



《年齢》

年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



2. 転倒リスク【単数回答】

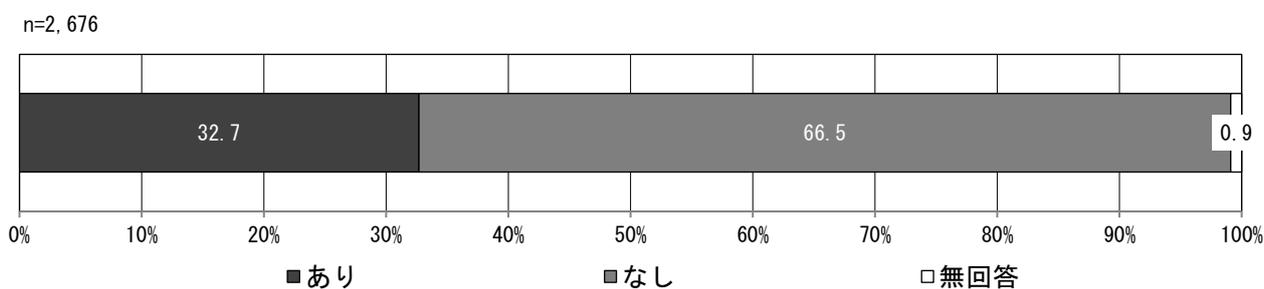
下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります。

該当設問 体を動かすことについて

| 項目 | 設問 | 選択肢 |
|-----|-------------------|------------------------------|
| (4) | 過去1年間に転んだ経験がありますか | 1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない |

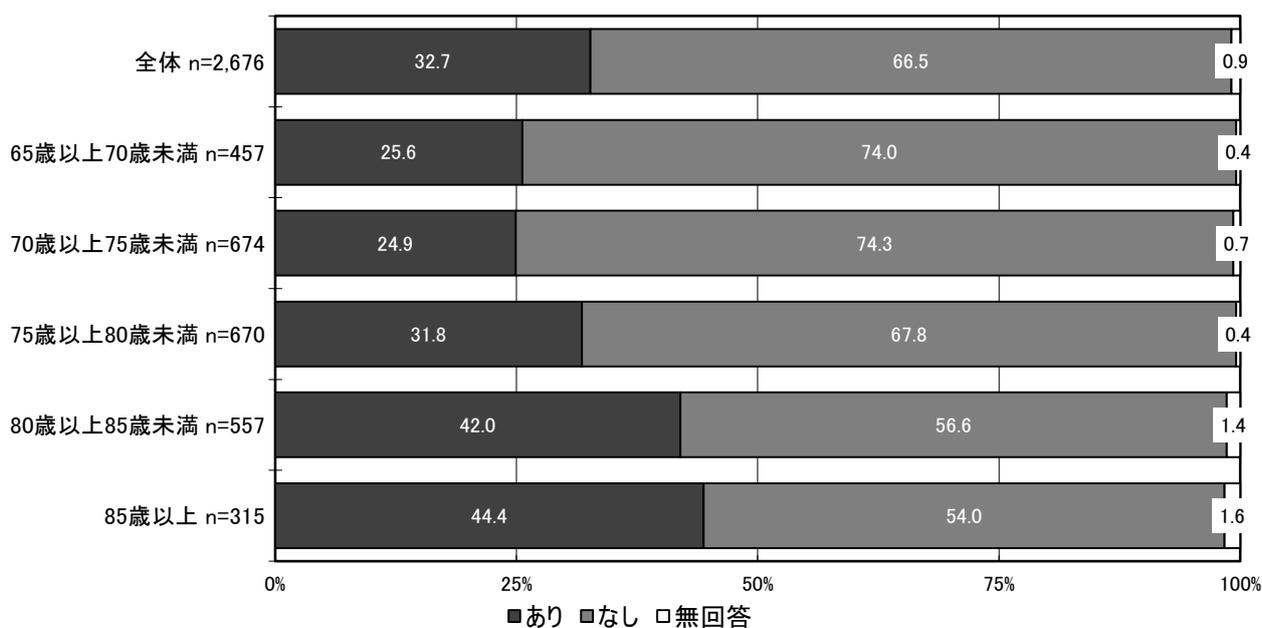
転倒リスク

「あり」は32.7%となっています。



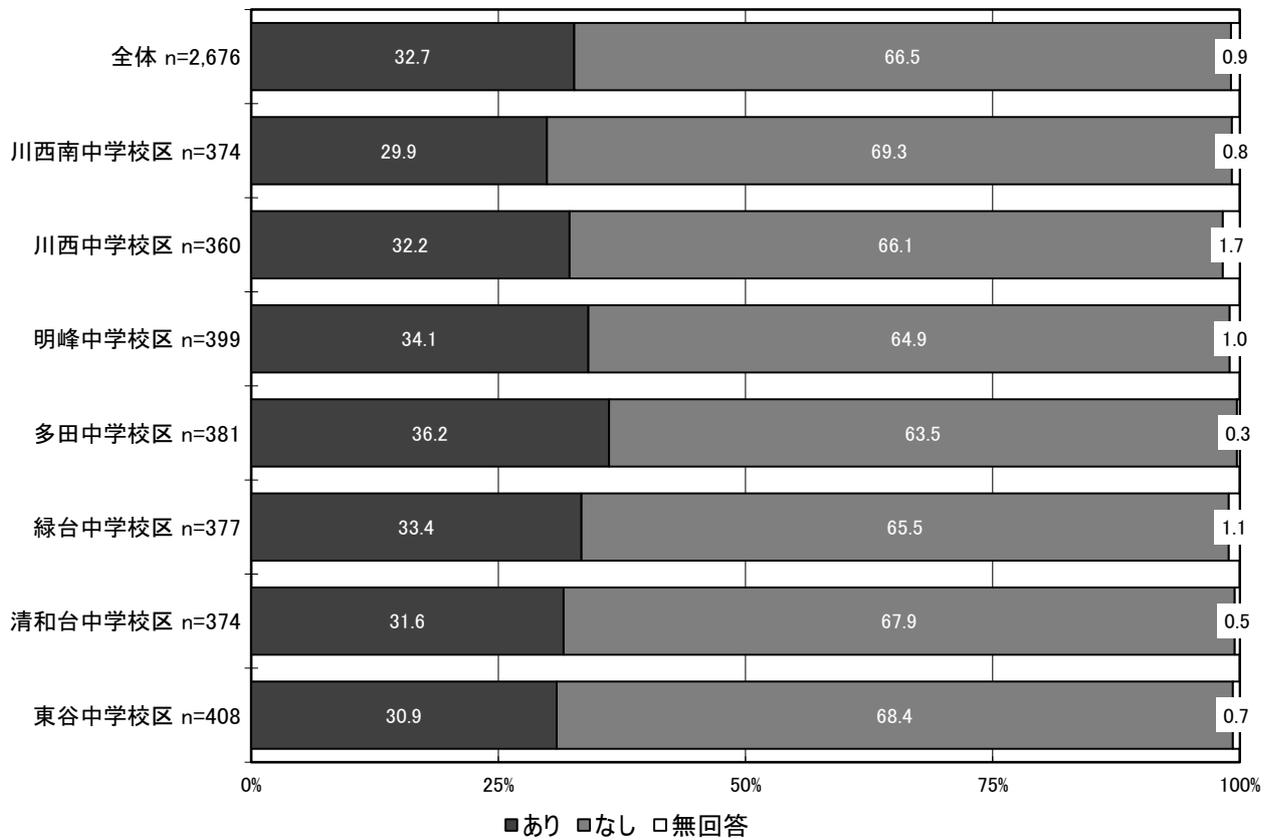
《年齢》

年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



《地区別》

『多田中学校区』では「あり」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



3. 閉じこもり傾向【単数回答】

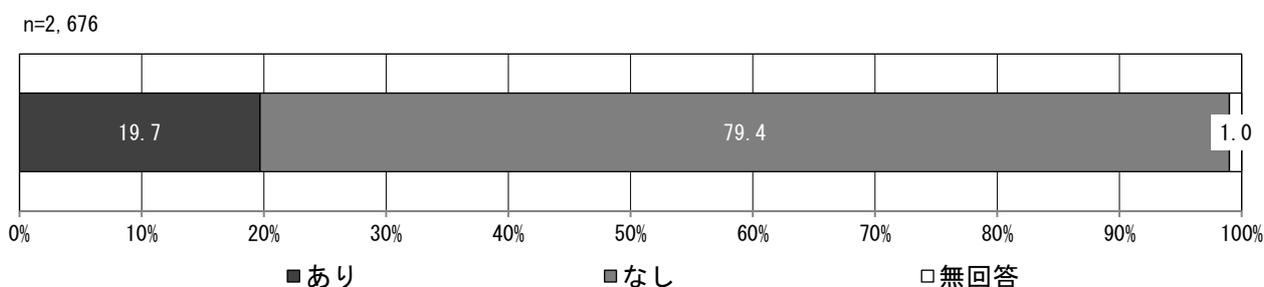
下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

該当設問 体を動かすことについて

| 項目 | 設問 | 選択肢 |
|-----|-----------------|--|
| (6) | 週に1回以上は外出していますか | 1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上 |

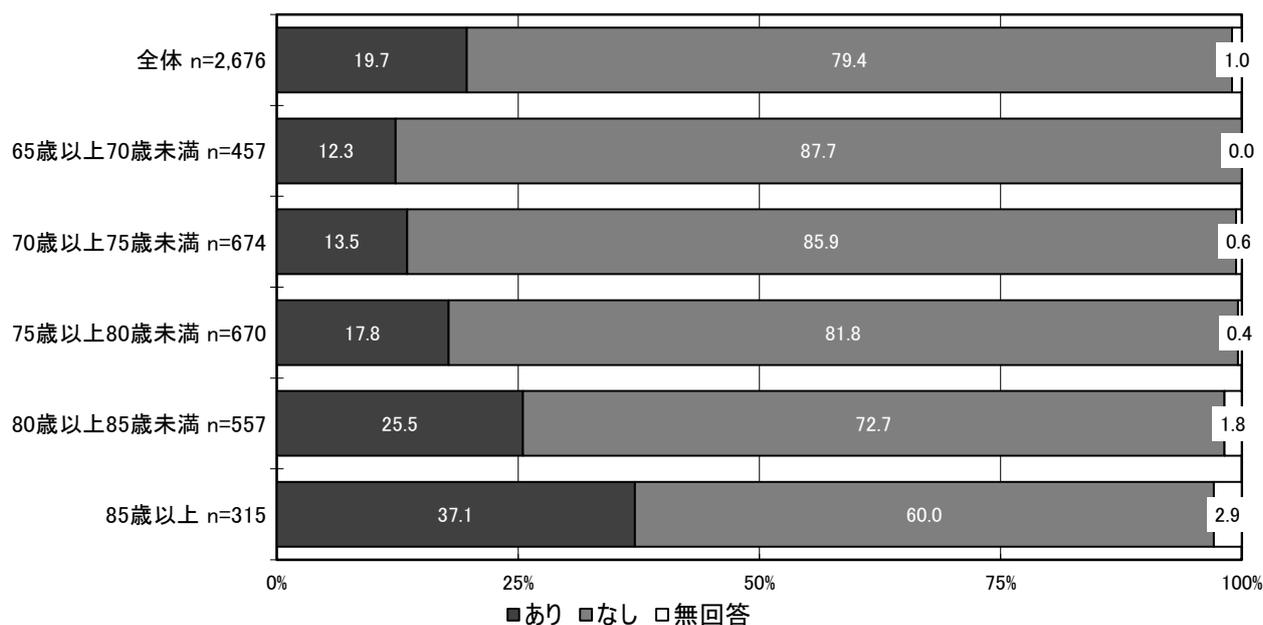
閉じこもり

「あり」は19.7%となっています。



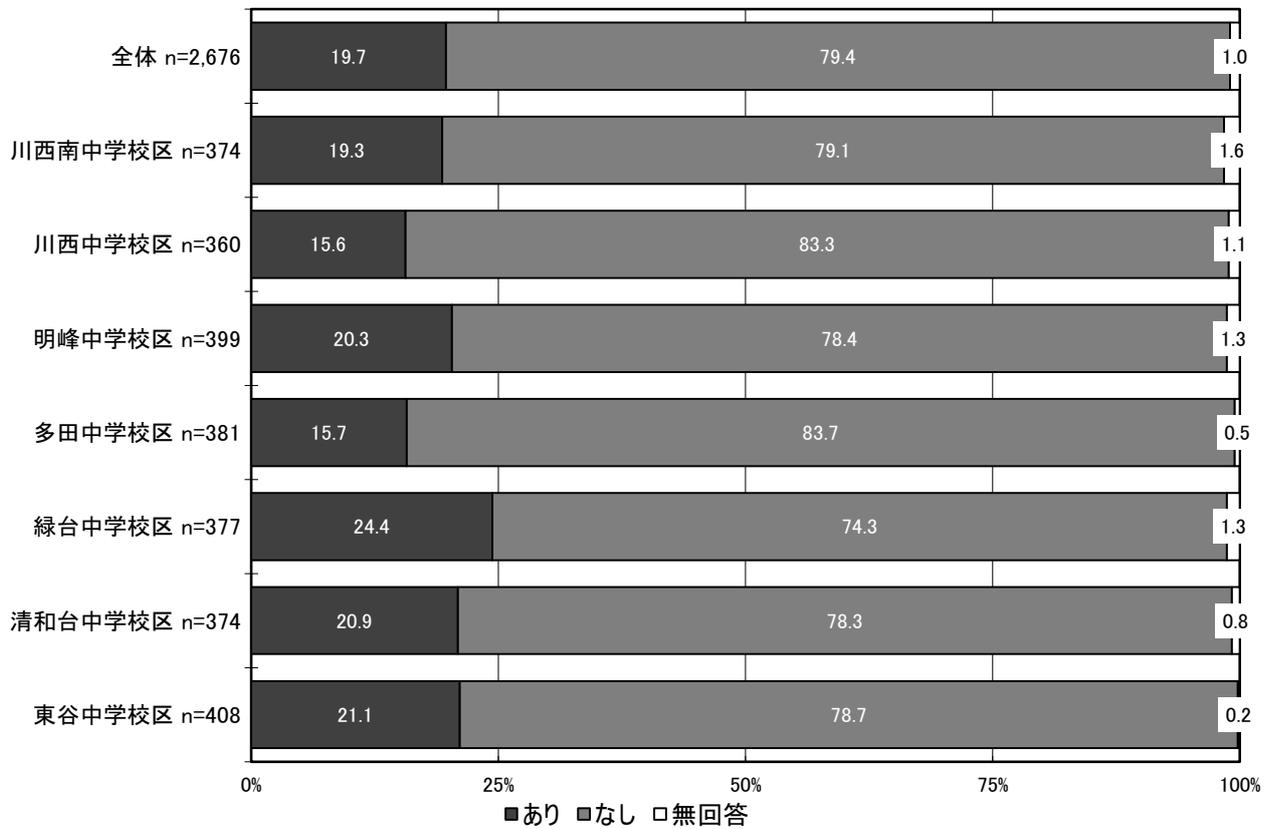
《年齢》

年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



《地区別》

『緑台中学校区』では「あり」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



4. 低栄養状態【単数回答】

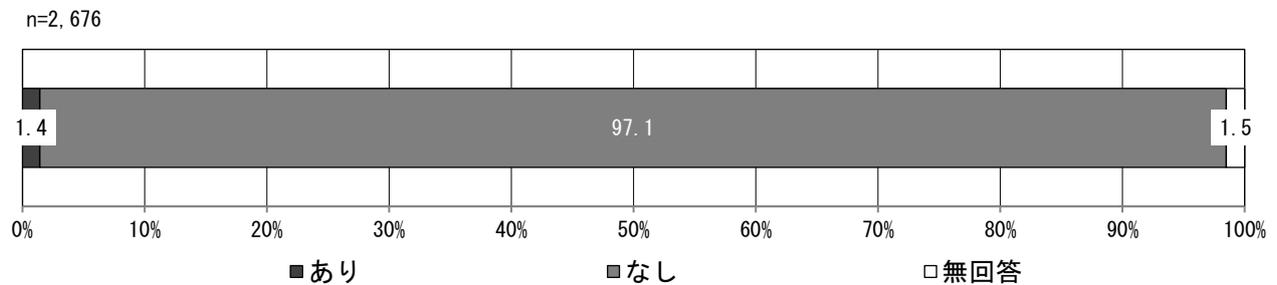
下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

該当設問 食べることについて

| 項目 | 設問 | 選択肢 |
|-----|--|-----------------|
| (1) | 身長、体重 (BMI) (BMI=体重 kg÷(身長m) ²) | 18.5 以下 |
| (7) | 6 か月間で 2 ~ 3 kg 以上の体重減少がありましたか | 1. はい 2. いいえ |

低栄養状態

「あり」は 1.4%となっています。



5. 咀嚼機能の低下【単数回答】

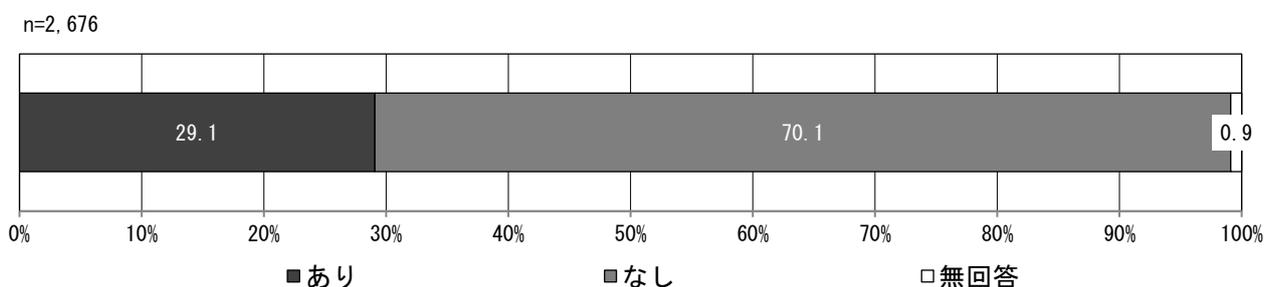
下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります。

該当設問 食べることについて

| 項目 | 設問 | 選択肢 |
|-----|-------------------------|-----------------|
| (2) | 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか | 1. はい 2. いいえ |

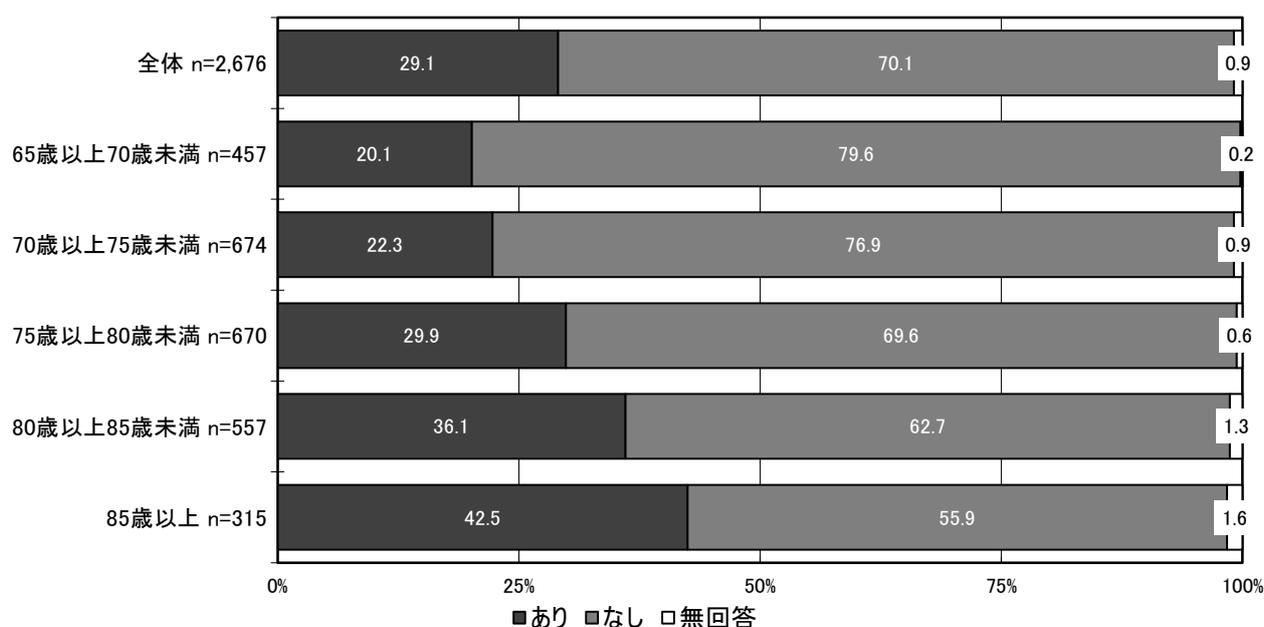
咀嚼機能の低下

「あり」は29.1%となっています。



《年齢》

年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



6. 口腔機能の低下【単数回答】

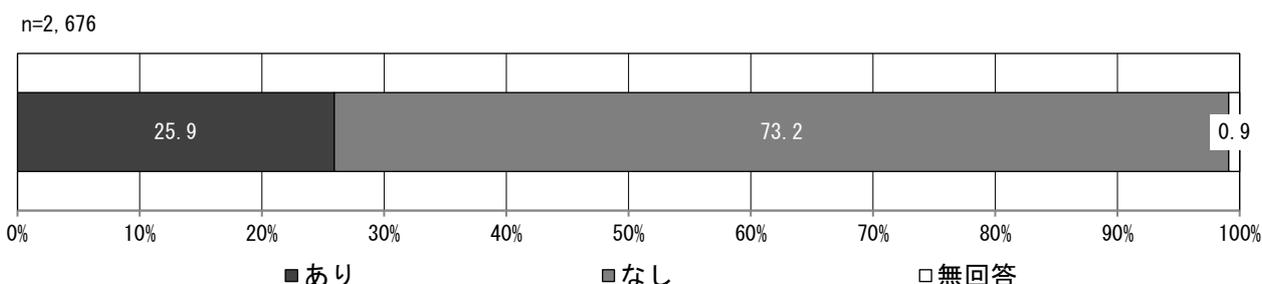
下記の設問で2問以上、該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、口腔機能の低下が疑われる高齢者になります。

該当設問 食べることについて

| 項目 | 設問 | 選択肢 |
|-----|-------------------------|-----------------|
| (2) | 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか | 1. はい 2. いいえ |
| (3) | お茶や汁物等でむせることがありますか | 1. はい 2. いいえ |
| (4) | 口の渇きが気になりますか | 1. はい 2. いいえ |

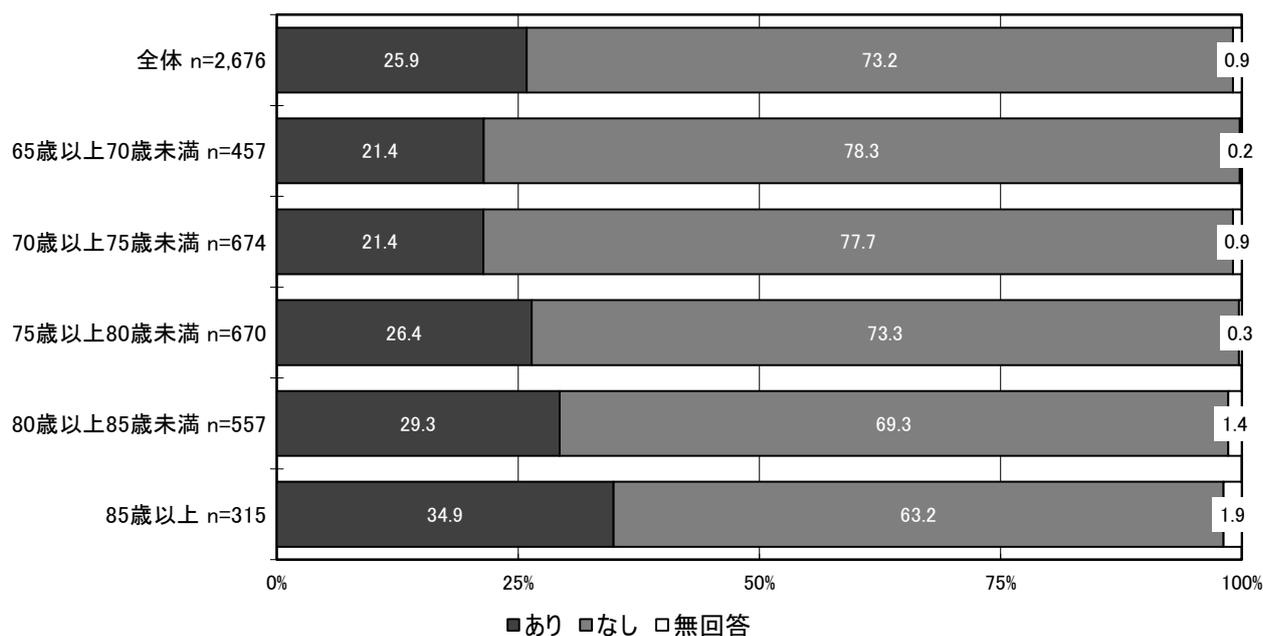
口腔機能の低下

「あり」は25.9%となっています。



《年齢》

年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



7. 認知機能の低下【単数回答】

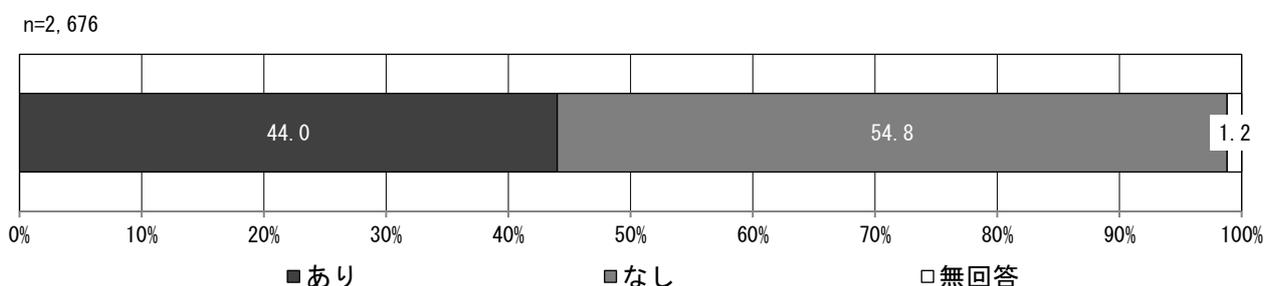
下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

該当設問 毎日の生活について

| 項目 | 設問 | 選択肢 |
|-----|--------------|-----------------|
| (1) | 物忘れが多いと感じますか | 1. はい 2. いいえ |

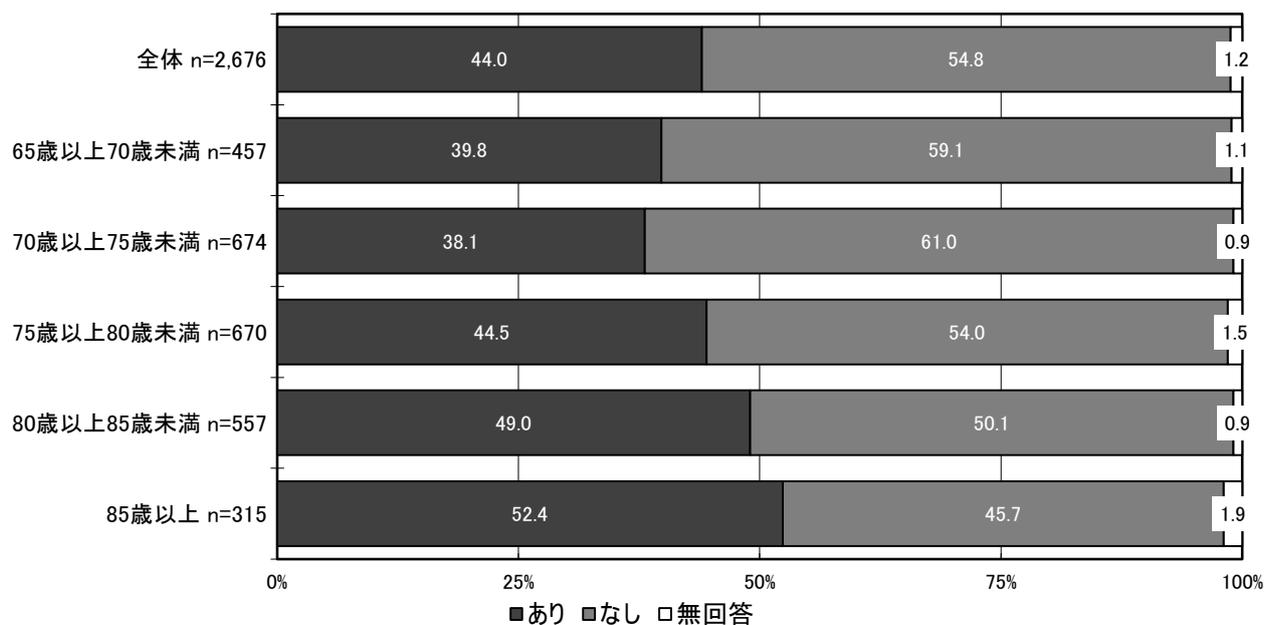
認知機能の低下

「あり」は44.0%となっています。



《年齢》

年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



8. うつ傾向【単数回答】

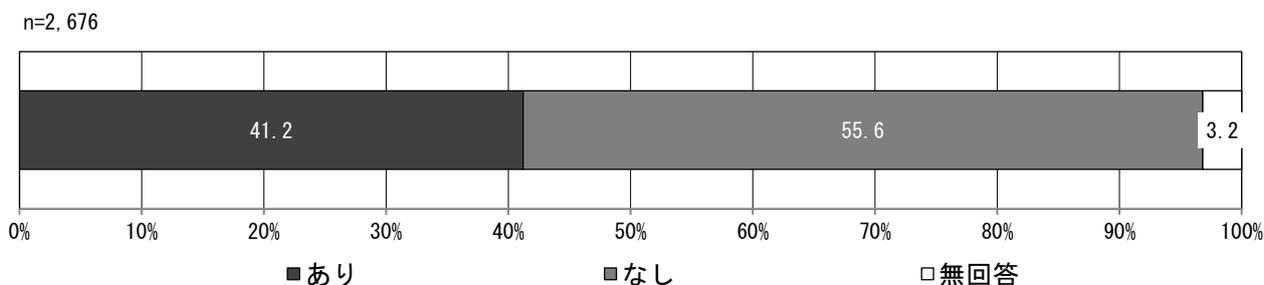
下記の設問で、いずれかひとつでも該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります。

該当設問 毎日の生活について

| 項目 | 設問 | 選択肢 |
|-----|---|-----------------|
| (4) | この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか | 1. はい 2. いいえ |
| (5) | この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか | 1. はい 2. いいえ |

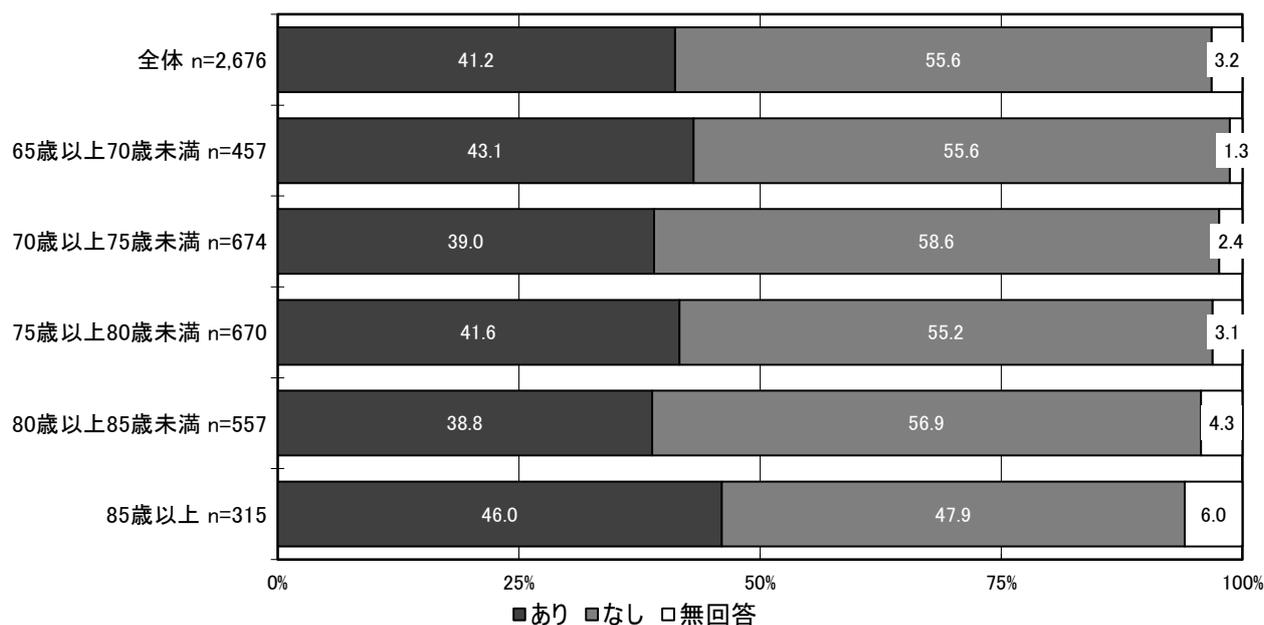
うつ傾向

「あり」は41.2%となっています。



《年齢》

『80歳以上』では他の年齢層と比べて「あり」の割合が高くなっています。



在宅介護実態調査

Ⅰ アンケートの概要

1. 調査の目的

高齢者等の適切な在宅生活の継続と、家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスのあり方を検討することを目的として実施しました。

2. 実施概要

- 調査対象者 : 在宅の要支援・要介護認定者のうち、令和4年12月1日以前に更新申請もしくは区分変更申請による認定調査を受けた人
- 対象数 : 1,200人
- 調査期間 : 令和5年1月24日～令和5年2月10日まで
- 調査方法 : 郵送による配布回収

3. 回収結果

| 調査対象者数（配布数） | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-------------|-------|-------|
| 1,200件 | 674件 | 56.2% |

4. 報告書の見方

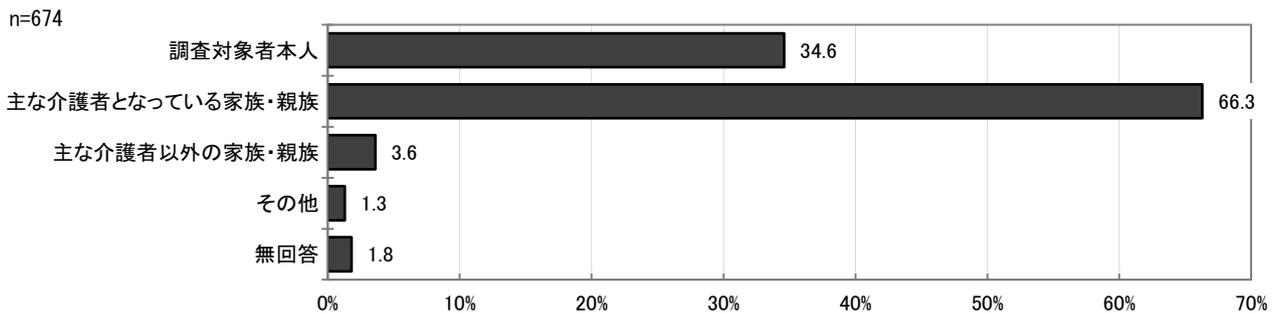
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者の総数（あるいは回答者を限定する設問の限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

II アンケート調査結果

A 票 調査対象者様ご本人について

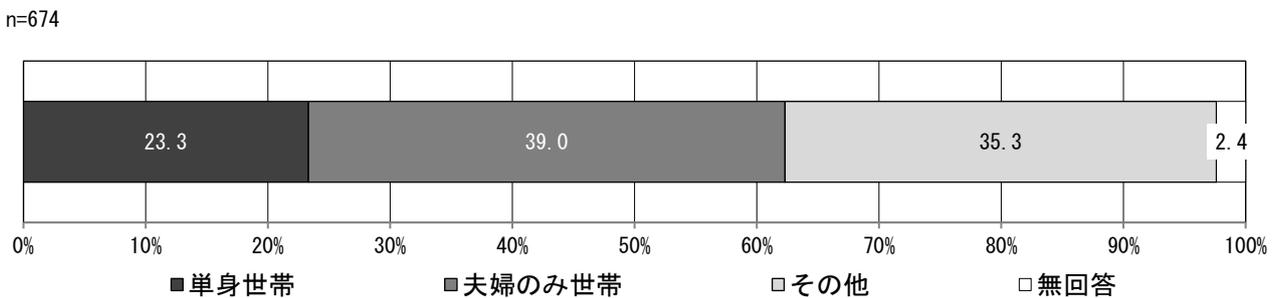
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか【複数回答】

「主な介護者となっている家族・親族」が66.3%で突出しています。「調査対象者本人」が34.6%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.6%が続いています。



問2 あなたの世帯についてお教えてください【単数回答】

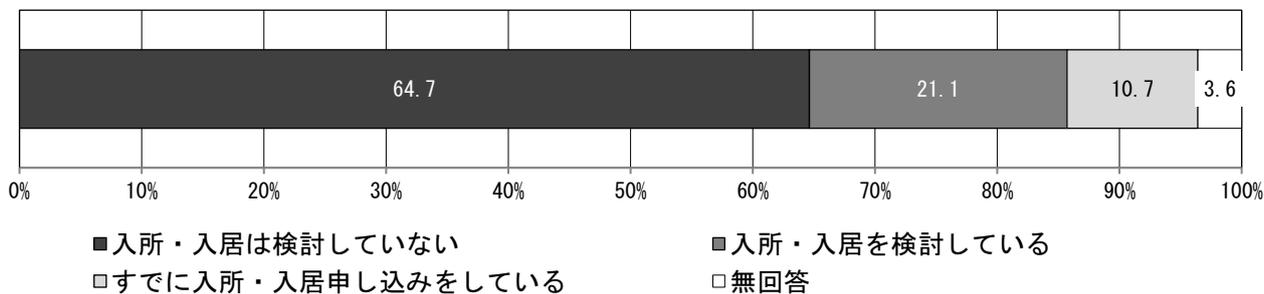
「夫婦のみ世帯」が39.0%で最も高く、次いで「その他」が35.3%となっています。



問3 現時点での、施設等への入所・入居について検討していますか【単数回答】

「入所・入居は検討していない」が64.7%を占めています。

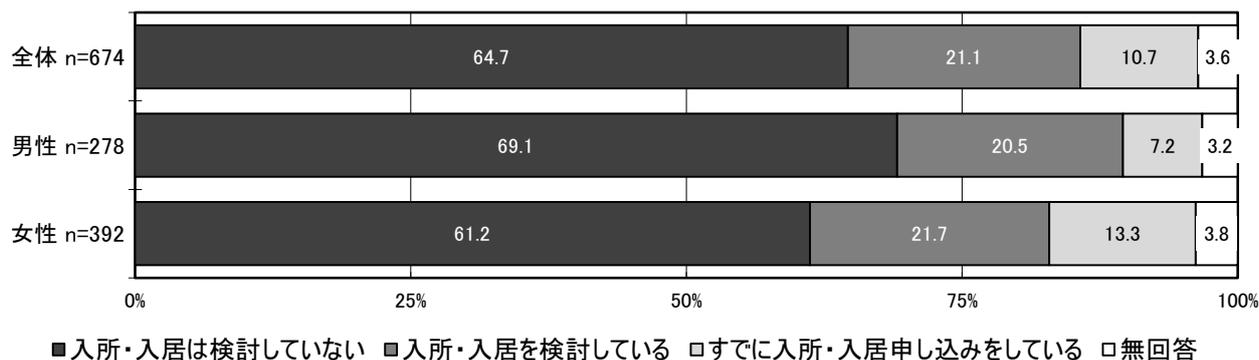
n=674



《現時点での、施設等への入所・入居について検討していますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。

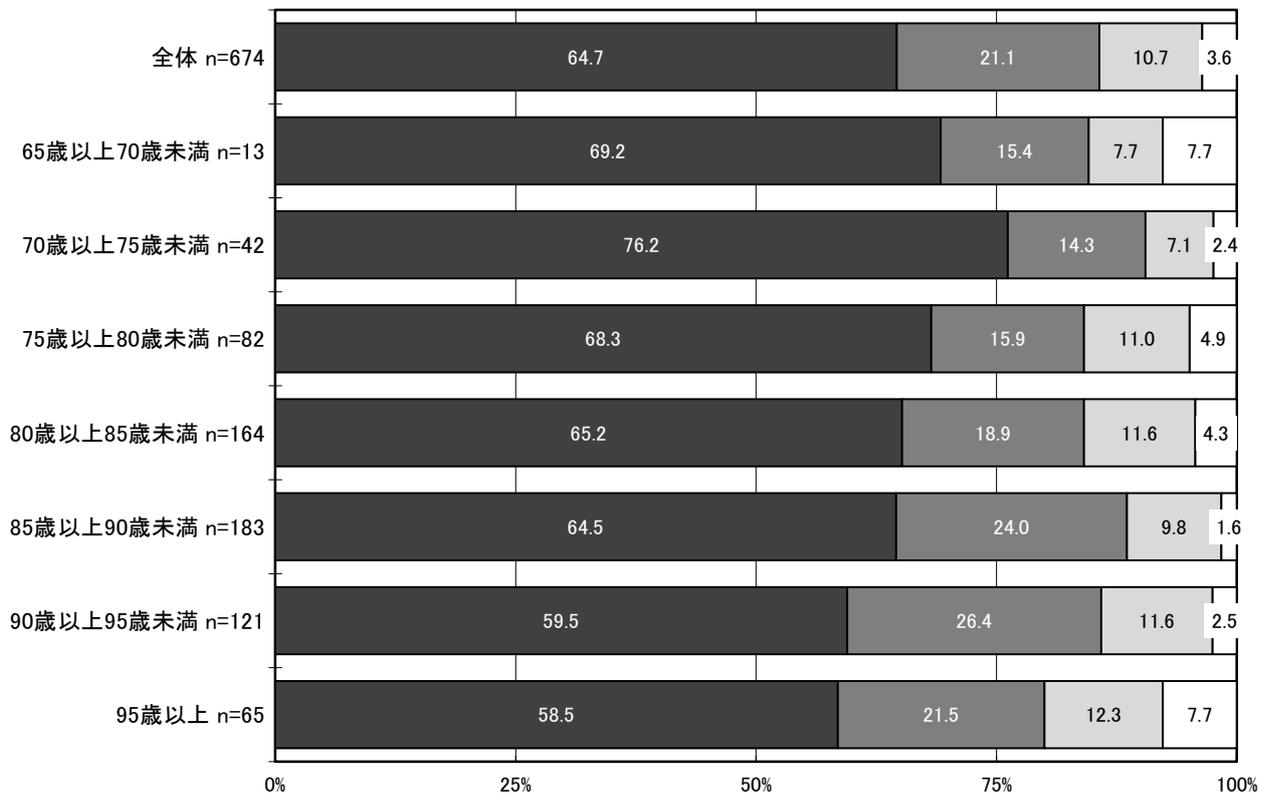
『女性』は『男性』に比べて「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。



《現時点での、施設等への入所・入居について検討していますか》×《年齢別》

『75歳以上75歳未満』では「入所・入居は検討していない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

『85歳以上』では「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。

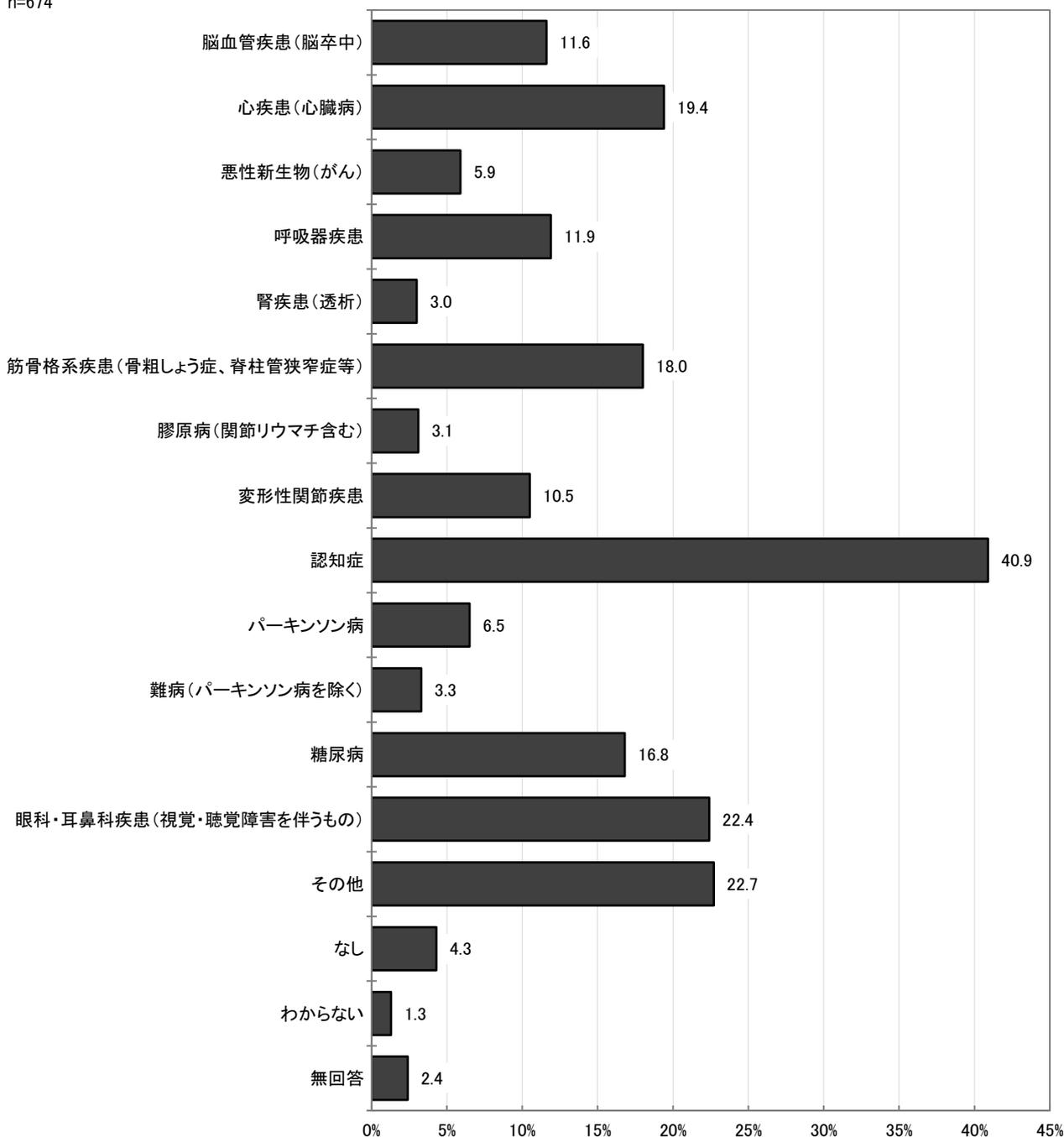


■入所・入居は検討していない □入所・入居を検討している □すでに入所・入居申し込みをしている □無回答

問4 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病はありますか【複数回答】

「認知症」が40.9%で突出しています。「その他」が22.7%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.4%が続いています。

n=674



《ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病はありますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「脳血管疾患（脳卒中）」「呼吸器疾患」「糖尿病」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「変形性関節疾患」「認知症」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=674 | 男性 n=278 | 女性 n=392 |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 脳血管疾患(脳卒中) | 11.6 | 16.9 | 7.9 |
| 心疾患(心臓病) | 19.4 | 18.0 | 20.2 |
| 悪性新生物(がん) | 5.9 | 8.6 | 4.1 |
| 呼吸器疾患 | 11.9 | 15.5 | 9.2 |
| 腎疾患(透析) | 3.0 | 2.9 | 3.1 |
| 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) | 18.0 | 11.2 | 22.7 |
| 膠原病(関節リウマチ含む) | 3.1 | 1.4 | 4.3 |
| 変形性関節疾患 | 10.5 | 6.8 | 13.0 |
| 認知症 | 40.9 | 37.1 | 43.9 |
| パーキンソン病 | 6.5 | 9.0 | 4.8 |
| 難病(パーキンソン病を除く) | 3.3 | 4.3 | 2.6 |
| 糖尿病 | 16.8 | 20.1 | 14.3 |
| 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 22.4 | 23.0 | 21.9 |
| その他 | 22.7 | 21.9 | 23.5 |
| なし | 4.3 | 4.0 | 4.3 |
| わからない | 1.3 | 1.4 | 1.3 |
| 無回答 | 2.4 | 2.2 | 2.6 |

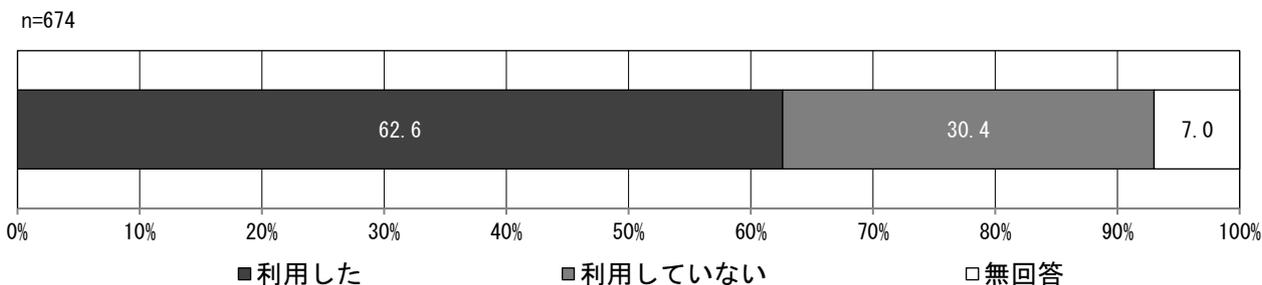
《ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病はありますか》×《年齢別》

『65歳以上70歳未満』では「脳血管疾患（脳卒中）」「糖尿病」、『70歳以上75歳未満』では「脳血管疾患（脳卒中）」、「『85歳以上90歳未満』では「認知症」、『95歳以上』では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=674 | 65歳以上 70歳未満 n=13 | 70歳以上 75歳未満 n=42 | 75歳以上 80歳未満 n=82 | 80歳以上 85歳未満 n=164 | 85歳以上 90歳未満 n=183 | 90歳以上 95歳未満 n=121 | 95歳以上 n=65 |
|------------------------|-------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 脳血管疾患(脳卒中) | 11.6 | 30.8 | 31.0 | 17.1 | 14.0 | 7.7 | 7.4 | 1.5 |
| 心疾患(心臓病) | 19.4 | 15.4 | 7.1 | 15.9 | 20.1 | 23.5 | 20.7 | 15.4 |
| 悪性新生物(がん) | 5.9 | 15.4 | 9.5 | 7.3 | 4.9 | 6.0 | 5.0 | 4.6 |
| 呼吸器疾患 | 11.9 | 7.7 | 9.5 | 18.3 | 12.8 | 10.9 | 9.9 | 9.2 |
| 腎疾患(透析) | 3.0 | - | 4.8 | 2.4 | 4.3 | 2.7 | 2.5 | 1.5 |
| 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) | 18.0 | 15.4 | 7.1 | 18.3 | 12.8 | 18.0 | 25.6 | 23.1 |
| 膠原病(関節リウマチ含む) | 3.1 | - | 9.5 | 4.9 | 3.7 | 2.7 | 1.7 | - |
| 変形性関節疾患 | 10.5 | 7.7 | 4.8 | 6.1 | 7.3 | 14.8 | 9.9 | 16.9 |
| 認知症 | 40.9 | 23.1 | 21.4 | 32.9 | 43.3 | 49.2 | 40.5 | 40.0 |
| パーキンソン病 | 6.5 | 23.1 | 11.9 | 8.5 | 10.4 | 3.8 | 4.1 | - |
| 難病(パーキンソン病を除く) | 3.3 | 15.4 | 7.1 | 6.1 | 4.9 | 1.6 | 0.8 | - |
| 糖尿病 | 16.8 | 30.8 | 16.7 | 19.5 | 20.1 | 16.4 | 14.9 | 6.2 |
| 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 22.4 | - | 21.4 | 19.5 | 17.7 | 25.1 | 23.1 | 33.8 |
| その他 | 22.7 | 23.1 | 31.0 | 25.6 | 18.9 | 23.5 | 20.7 | 26.2 |
| なし | 4.3 | - | 2.4 | 2.4 | 3.0 | 4.4 | 5.8 | 7.7 |
| わからない | 1.3 | - | - | 2.4 | 2.4 | 1.1 | 0.8 | - |
| 無回答 | 2.4 | - | 4.8 | 1.2 | 3.0 | 2.2 | 2.5 | 1.5 |

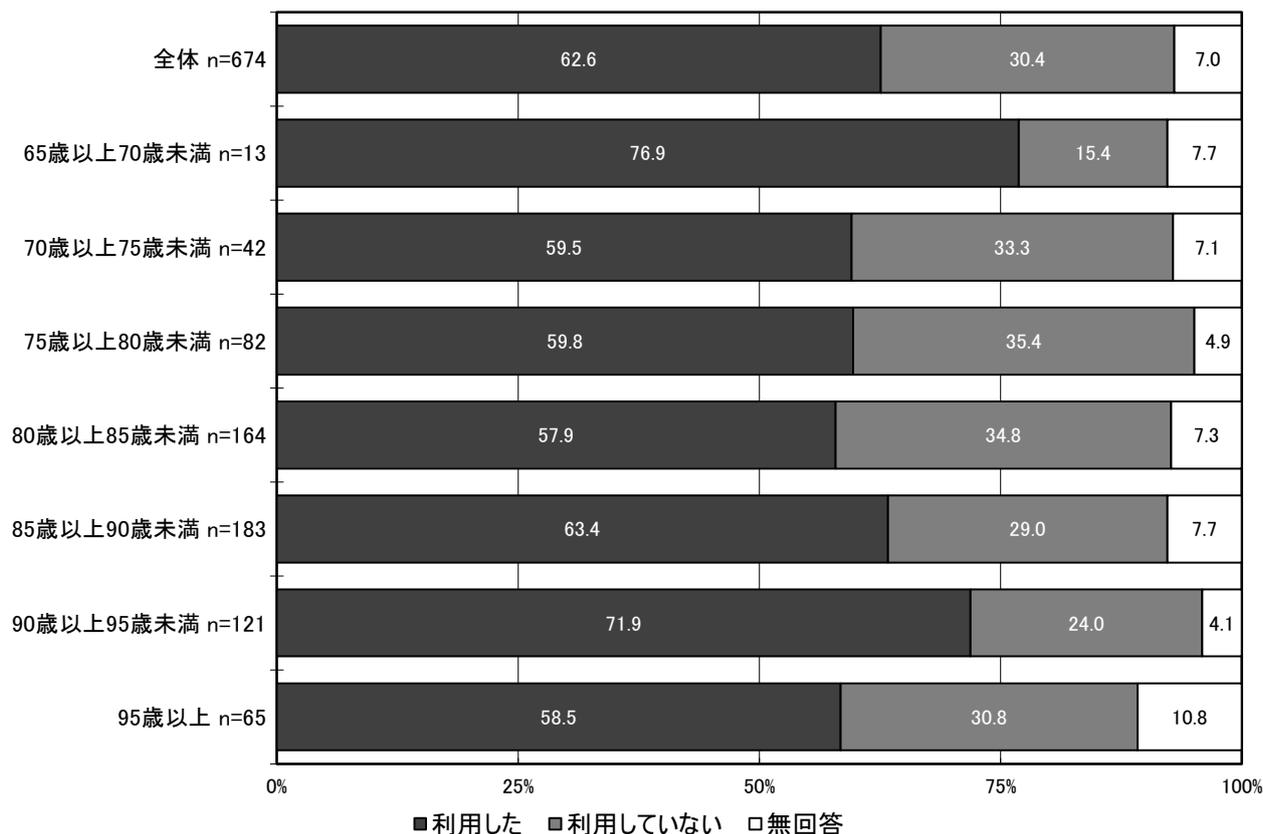
問5 令和4年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか【単数回答】

「利用した」が62.6%を占めています。



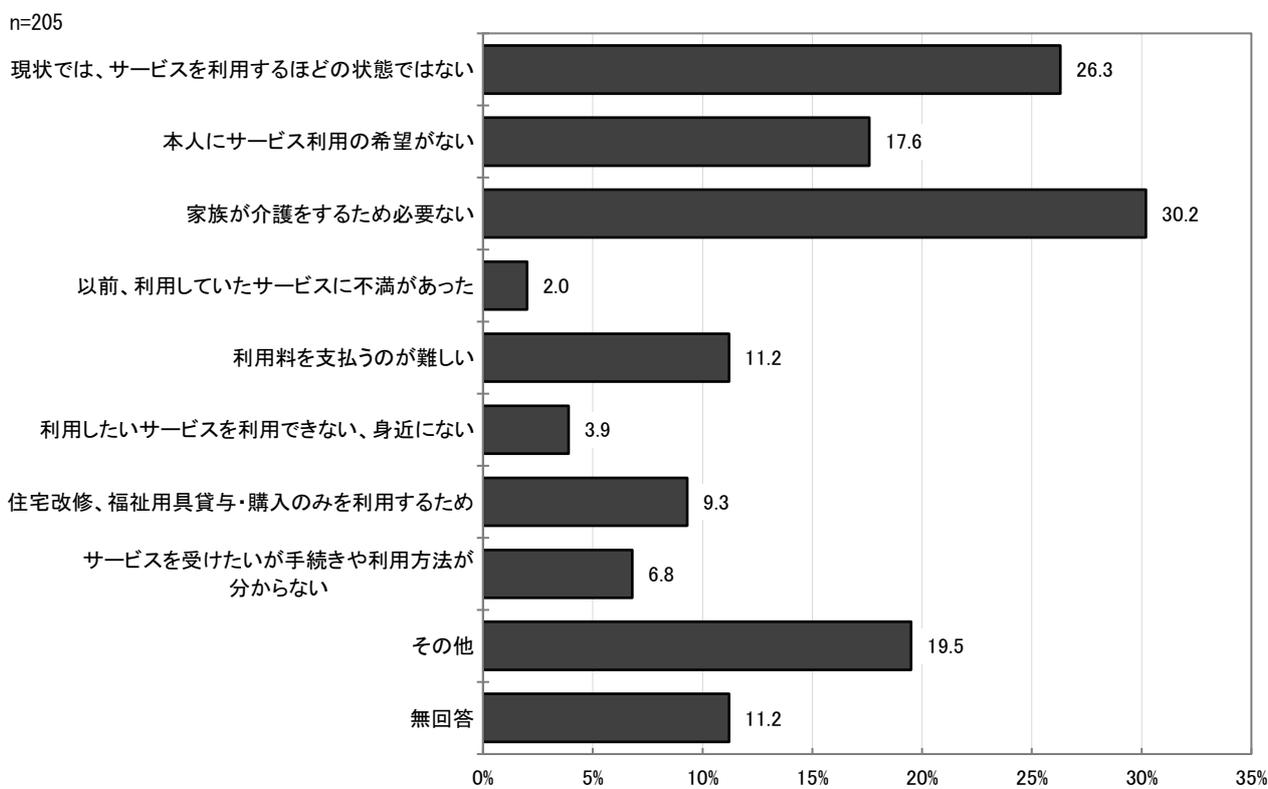
《令和4年12月の1か月の間に、介護保険サービスを利用しましたか》×《年齢別》

『65歳以上70歳未満』『90歳以上95歳未満』では「利用した」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



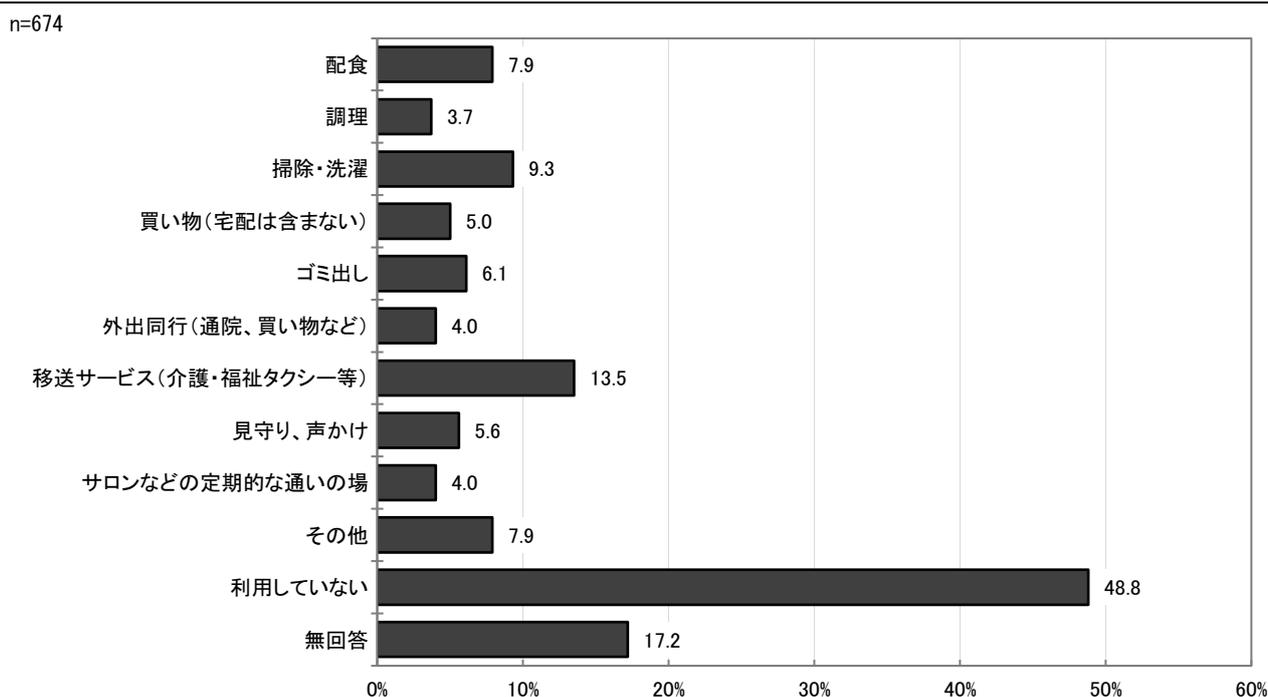
問6 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか【複数回答】

「家族が介護をするため必要ない」が30.2%で最も高くなっています。次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が26.3%、「その他」が19.5%が続いています。



問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスはありますか【複数回答】

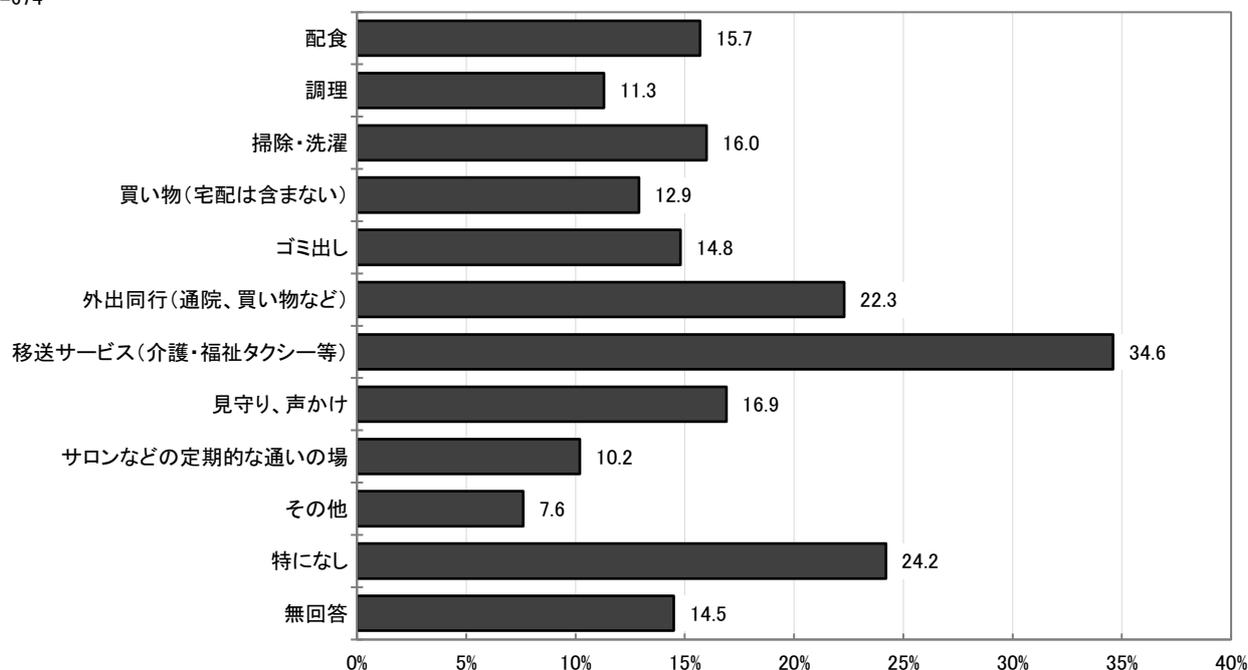
「利用していない」が48.8%で突出しています。「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が13.5%、「掃除・洗濯」が9.3%が続いています。



問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスはありますか（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）【複数回答】

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.6%で最も高くなっています。次いで「特になし」が24.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が22.3%が続いています。

n=674



《今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスはありますか》×《年齢別》

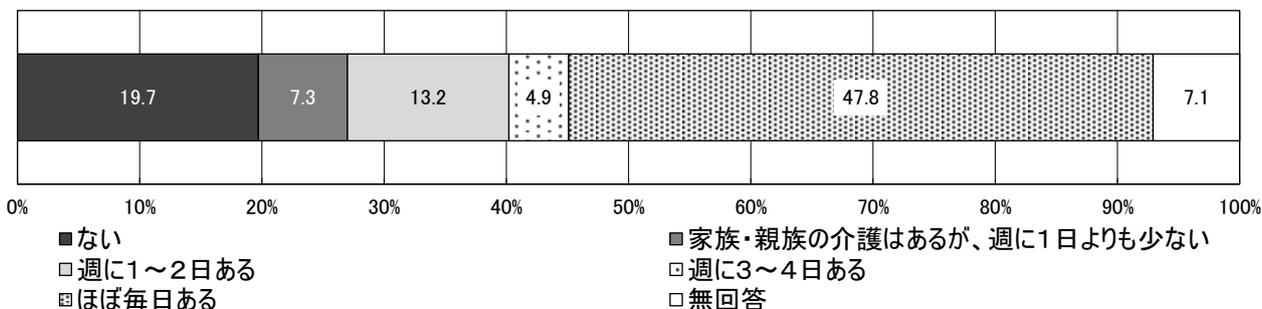
『65歳以上70歳未満』では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、『75歳以上80歳未満』では「外出同行（通院、買い物など）」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

| | 全体 n=674 | 65歳以上 70歳未満 n=13 | 70歳以上 75歳未満 n=42 | 75歳以上 80歳未満 n=82 | 80歳以上 85歳未満 n=164 | 85歳以上 90歳未満 n=183 | 90歳以上 95歳未満 n=121 | 95歳以上 n=65 |
|--------------------|-------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 配食 | 15.7 | - | 16.7 | 17.1 | 16.5 | 16.9 | 18.2 | 7.7 |
| 調理 | 11.3 | 7.7 | 7.1 | 11.0 | 12.8 | 9.3 | 12.4 | 13.8 |
| 掃除・洗濯 | 16.0 | 7.7 | 16.7 | 19.5 | 15.2 | 13.1 | 17.4 | 20.0 |
| 買い物(宅配は含まない) | 12.9 | 7.7 | 14.3 | 14.6 | 12.8 | 10.9 | 14.9 | 13.8 |
| ゴミ出し | 14.8 | - | 14.3 | 12.2 | 14.6 | 15.3 | 18.2 | 15.4 |
| 外出同行(通院、買い物など) | 22.3 | 7.7 | 21.4 | 30.5 | 26.8 | 19.1 | 23.1 | 12.3 |
| 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 34.6 | 46.2 | 35.7 | 36.6 | 36.0 | 34.4 | 32.2 | 30.8 |
| 見守り、声かけ | 16.9 | 7.7 | 7.1 | 18.3 | 15.2 | 20.8 | 19.0 | 13.8 |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 10.2 | 7.7 | 16.7 | 8.5 | 10.4 | 10.9 | 8.3 | 9.2 |
| その他 | 7.6 | - | 2.4 | 4.9 | 10.4 | 8.2 | 8.3 | 6.2 |
| 特になし | 24.2 | 15.4 | 33.3 | 24.4 | 22.6 | 21.3 | 24.8 | 32.3 |
| 無回答 | 14.5 | 15.4 | 11.9 | 13.4 | 13.4 | 18.0 | 10.7 | 16.9 |

問9 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）【単数回答】

「ほぼ毎日ある」が47.8%で突出しています。「ない」が19.7%、「週に1～2日ある」が13.2%で続いています。

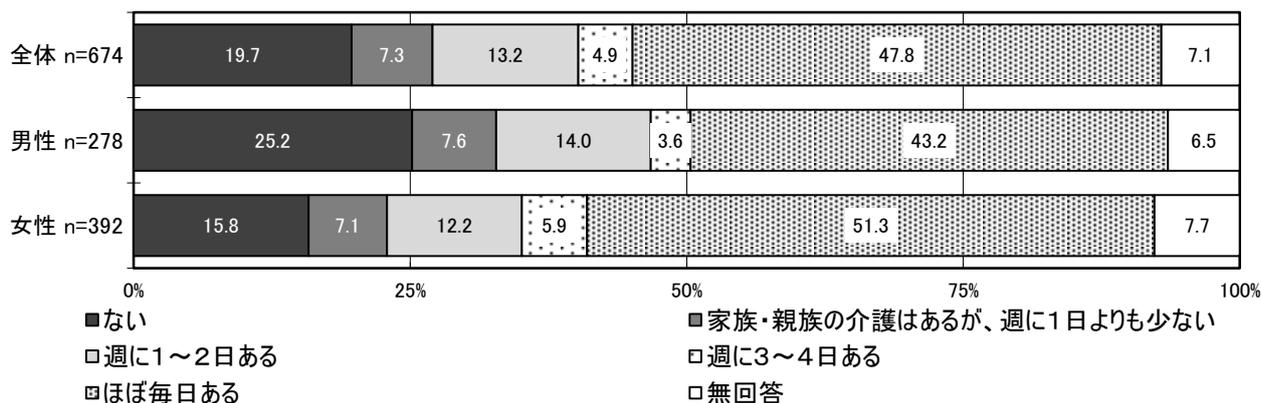
n=674



《ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか》×《性別》

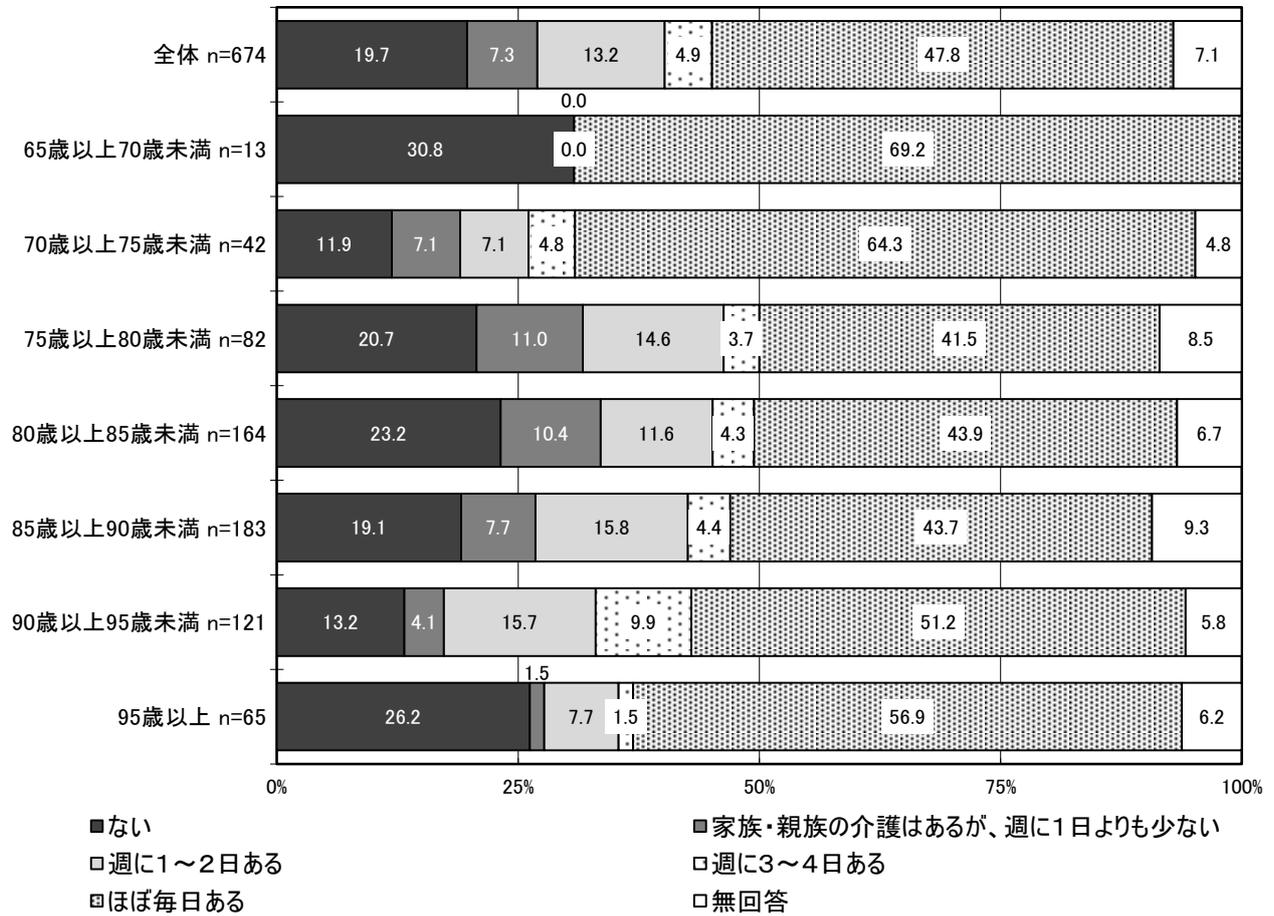
『男性』は『女性』に比べて「ない」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



《ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか》 × 《年齢別》

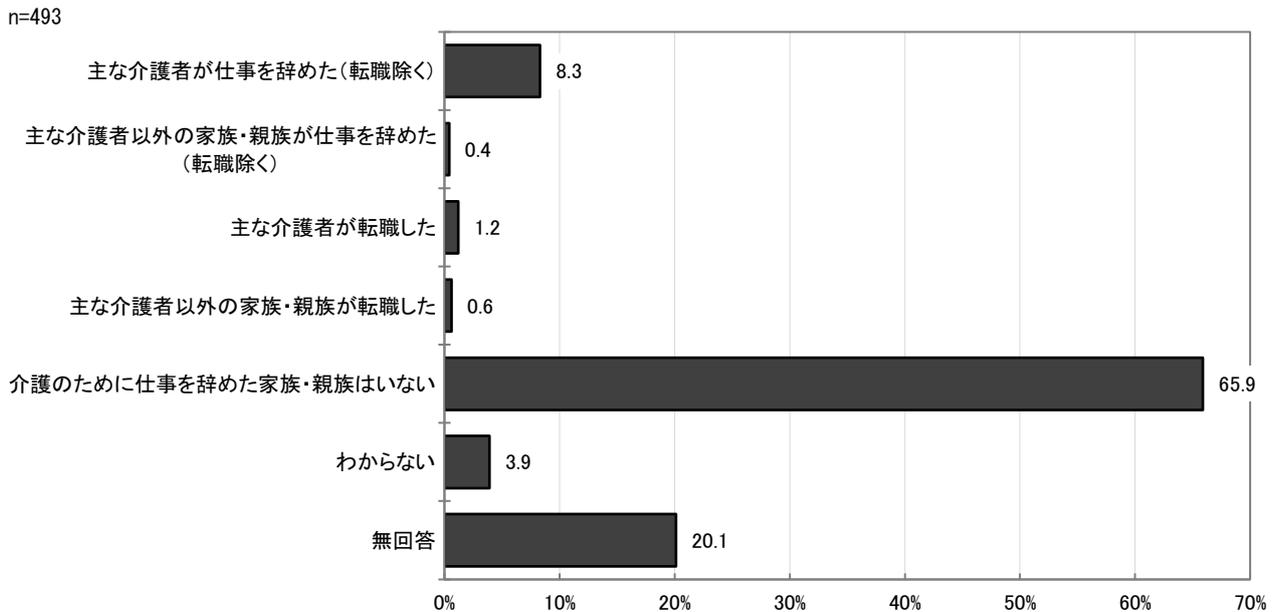
『65歳以上70歳未満』では「ない」、『65歳以上70歳未満』『70歳以上75歳未満』では「ほぼ毎日ある」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



B票 主な介護者の方について

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
【複数回答】

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が65.9%で突出しています。「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.3%、「わからない」が3.9%が続いています。



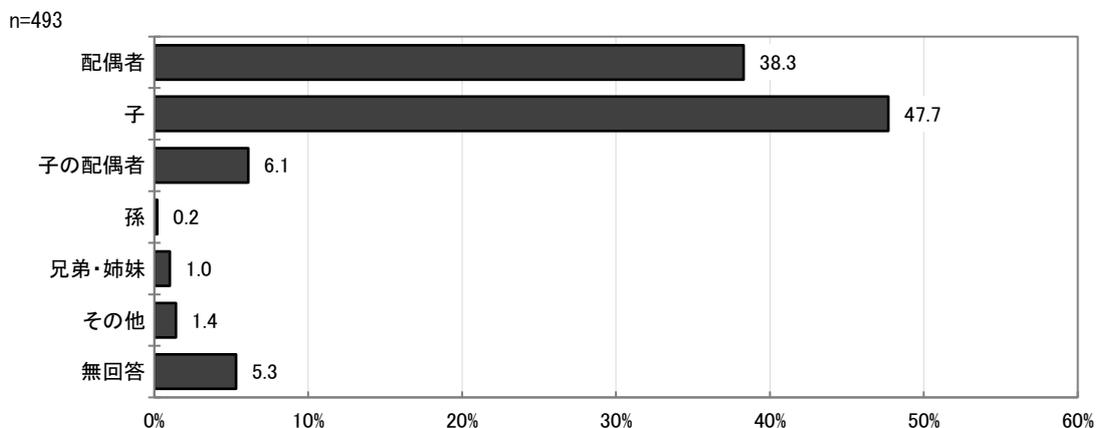
《過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか》×《性別》

『女性』は『男性』に比べて「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=493 | 男性 n=190 | 女性 n=300 |
|----------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 8.3 | 4.2 | 11.0 |
| 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) | 0.4 | - | 0.7 |
| 主な介護者が転職した | 1.2 | 0.5 | 1.7 |
| 主な介護者以外の家族・親族が転職した | 0.6 | 0.5 | 0.7 |
| 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 65.9 | 65.8 | 66.7 |
| わからない | 3.9 | 2.6 | 4.3 |
| 無回答 | 20.1 | 26.3 | 15.7 |

問2 主な介護者の方は、どなたですか【単数回答】

「子」が47.7%で最も高くなっています。次いで「配偶者」が38.3%、「子の配偶者」が6.1%で続いています。



《主な介護者の方は、どなたですか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「配偶者」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「子」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=493 | 男性 n=190 | 女性 n=300 |
|-------|-------------|-------------|-------------|
| 配偶者 | 38.3 | 59.5 | 25.3 |
| 子 | 47.7 | 30.0 | 58.7 |
| 子の配偶者 | 6.1 | 1.6 | 9.0 |
| 孫 | 0.2 | 0.5 | - |
| 兄弟・姉妹 | 1.0 | 1.1 | 0.7 |
| その他 | 1.4 | 1.1 | 1.7 |
| 無回答 | 5.3 | 6.3 | 4.7 |

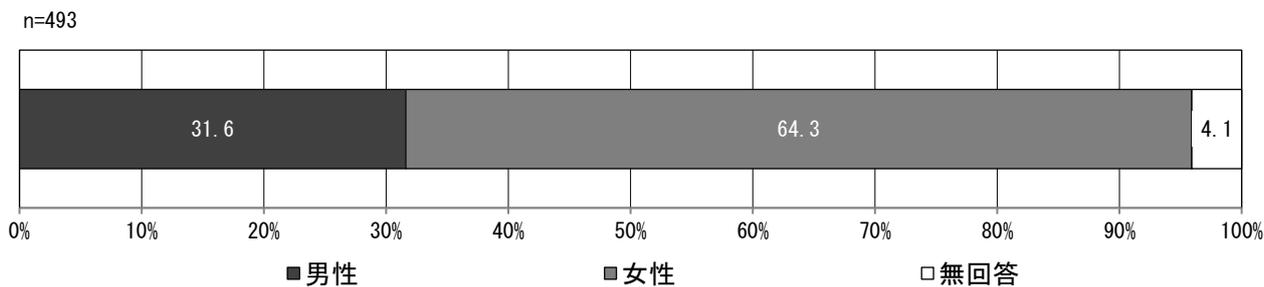
《主な介護者の方は、どなたですか》×《年齢別》

『65歳以上 80歳未満』では「配偶者」、『85歳以上』では「子」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=493 | 65歳以上 70歳未満 n=9 | 70歳以上 75歳未満 n=35 | 75歳以上 80歳未満 n=58 | 80歳以上 85歳未満 n=115 | 85歳以上 90歳未満 n=131 | 90歳以上 95歳未満 n=98 | 95歳以上 n=44 |
|-------|-------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------|
| 配偶者 | 38.3 | 66.7 | 82.9 | 72.4 | 49.6 | 28.2 | 18.4 | - |
| 子 | 47.7 | 11.1 | 8.6 | 24.1 | 38.3 | 56.5 | 62.2 | 81.8 |
| 子の配偶者 | 6.1 | - | - | - | 3.5 | 7.6 | 10.2 | 13.6 |
| 孫 | 0.2 | - | - | - | - | - | - | 2.3 |
| 兄弟・姉妹 | 1.0 | 11.1 | 5.7 | - | - | - | 1.0 | - |
| その他 | 1.4 | 11.1 | - | - | 1.7 | 0.8 | 2.0 | 2.3 |
| 無回答 | 5.3 | - | 2.9 | 3.4 | 7.0 | 6.9 | 6.1 | - |

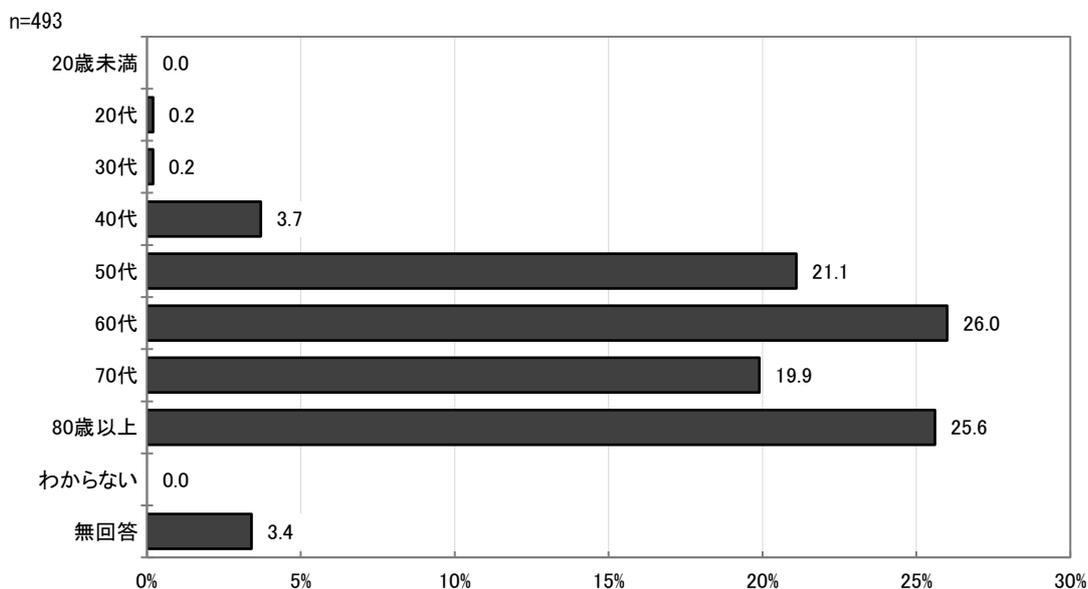
問3 主な介護者の方の性別はどちらですか【単数回答】

「女性」が64.3%を占めています。



問4 主な介護者の方の年齢は何歳代ですか【単数回答】

「60代」が26.0%で最も高くなっています。次いで「80歳以上」が25.6%、「50代」が21.1%で続いています。



《主な介護者の方の年齢は何歳代ですか》 × 《性別》

『男性』は『女性』に比べて「70代」「80歳以上」の割合が高くなっています。
『女性』は『男性』に比べて「50代」「60代」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=493 | 男性 n=190 | 女性 n=300 |
|-------|-------------|-------------|-------------|
| 20歳未満 | - | - | - |
| 20代 | 0.2 | 0.5 | - |
| 30代 | 0.2 | 0.5 | - |
| 40代 | 3.7 | 4.2 | 3.0 |
| 50代 | 21.1 | 14.7 | 25.0 |
| 60代 | 26.0 | 14.7 | 33.3 |
| 70代 | 19.9 | 29.5 | 14.0 |
| 80歳以上 | 25.6 | 33.2 | 20.7 |
| わからない | - | - | - |
| 無回答 | 3.4 | 2.6 | 4.0 |

《主な介護者の方の年齢は何歳代ですか》 × 《年齢別》

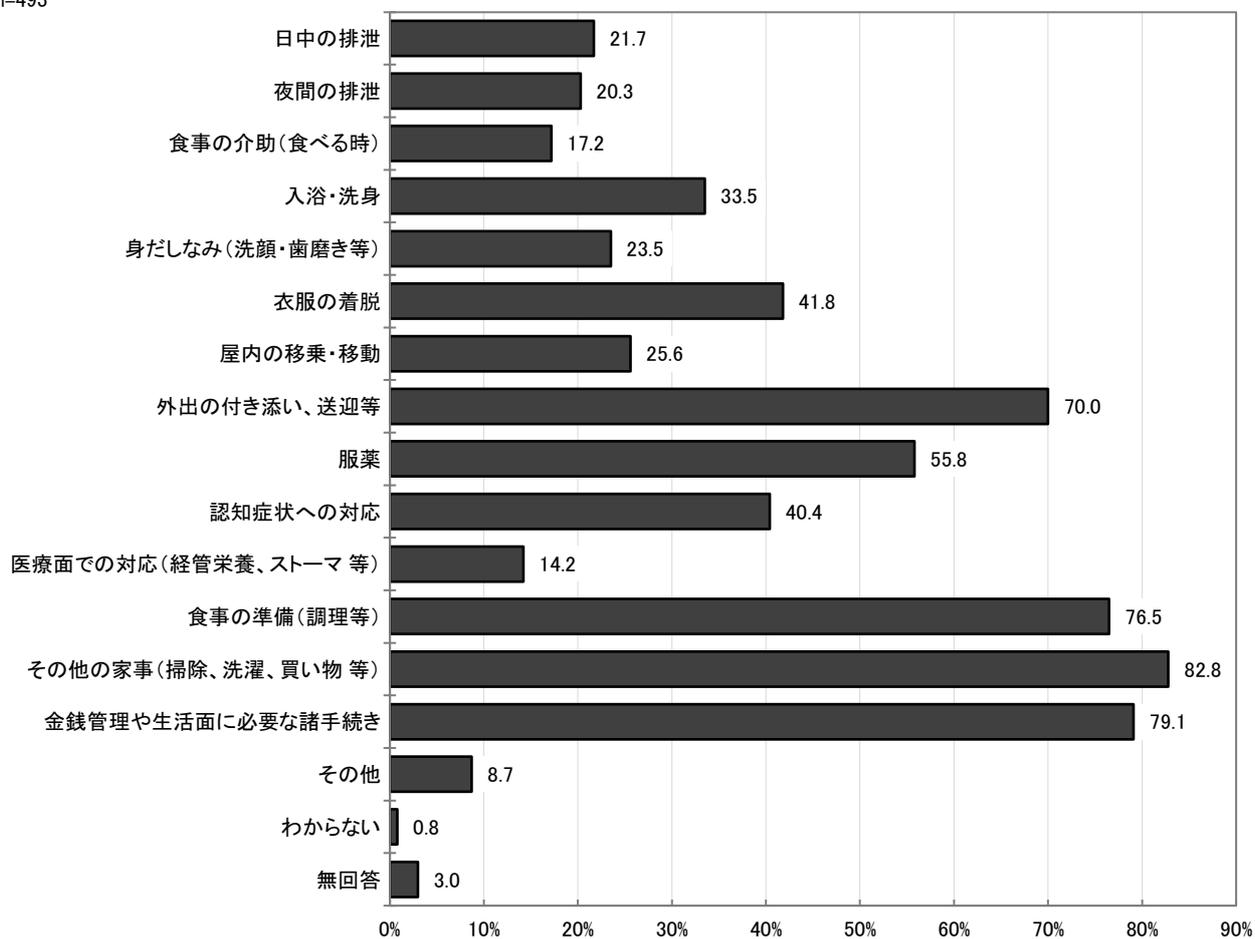
『65歳以上 80歳未満』では「70代」、『85歳以上』では「男性」、『85歳以上』では「60代」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=493 | 65歳以上 70歳未満 n=9 | 70歳以上 75歳未満 n=35 | 75歳以上 80歳未満 n=58 | 80歳以上 85歳未満 n=115 | 85歳以上 90歳未満 n=131 | 90歳以上 95歳未満 n=98 | 95歳以上 n=44 |
|-------|-------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------|
| 20歳未満 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 20代 | 0.2 | 11.1 | - | - | - | - | - | - |
| 30代 | 0.2 | - | - | - | 0.9 | - | - | - |
| 40代 | 3.7 | - | 5.7 | 10.3 | 4.3 | 1.5 | 1.0 | 2.3 |
| 50代 | 21.1 | - | 2.9 | 12.1 | 33.9 | 30.5 | 13.3 | 6.8 |
| 60代 | 26.0 | 22.2 | 25.7 | - | 2.6 | 32.8 | 51.0 | 47.7 |
| 70代 | 19.9 | 66.7 | 57.1 | 48.3 | 13.0 | 3.8 | 7.1 | 38.6 |
| 80歳以上 | 25.6 | - | 2.9 | 25.9 | 39.1 | 28.2 | 25.5 | 4.5 |
| わからない | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 無回答 | 3.4 | - | 5.7 | 3.4 | 6.1 | 3.1 | 2.0 | - |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等があれば教えてください【複数回答】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.8%で最も高くなっています。次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が79.1%、「食事の準備（調理等）」が76.5%が続いています。

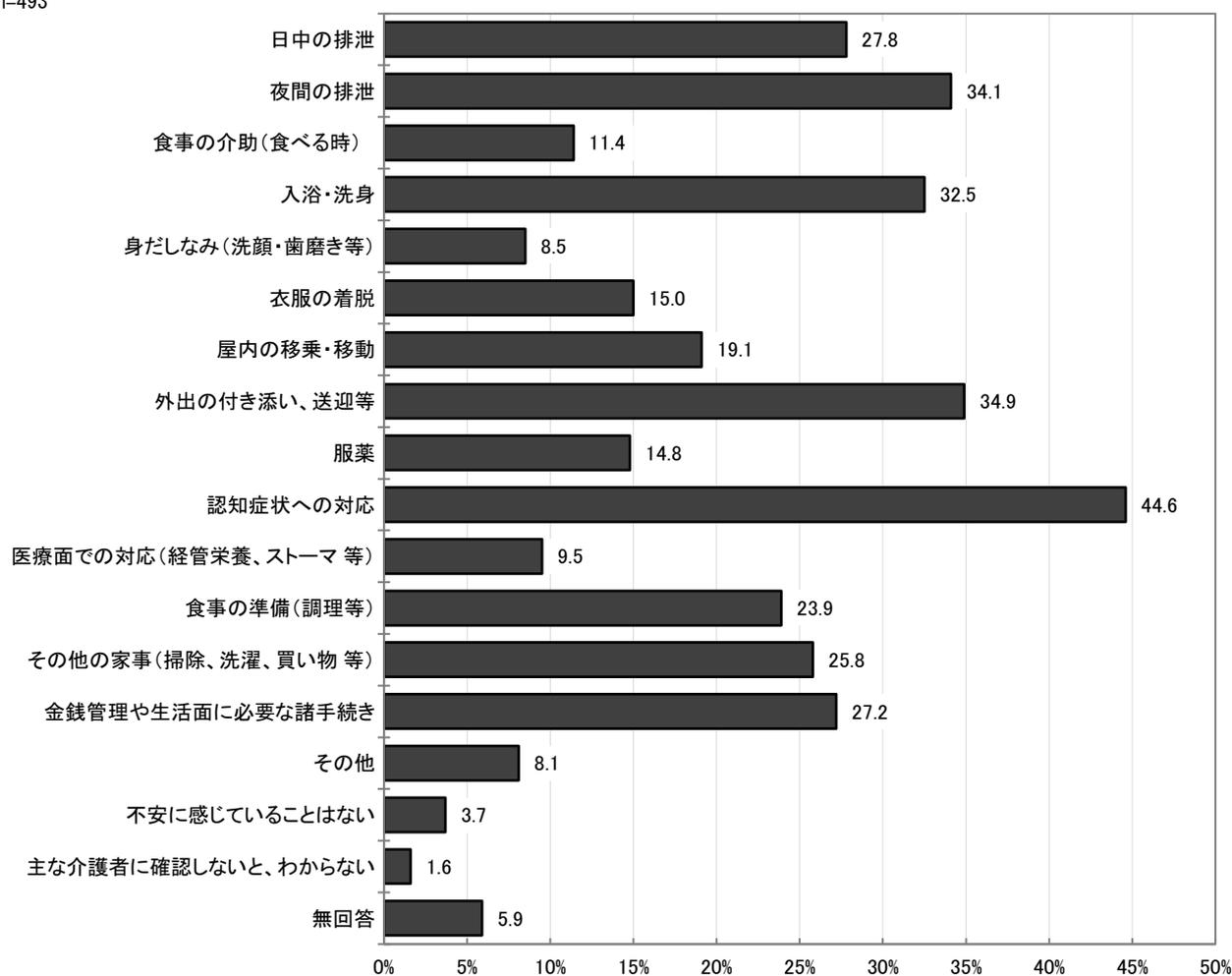
n=493



問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等がありますか
(現在行っているか否かは問いません) 【複数回答】

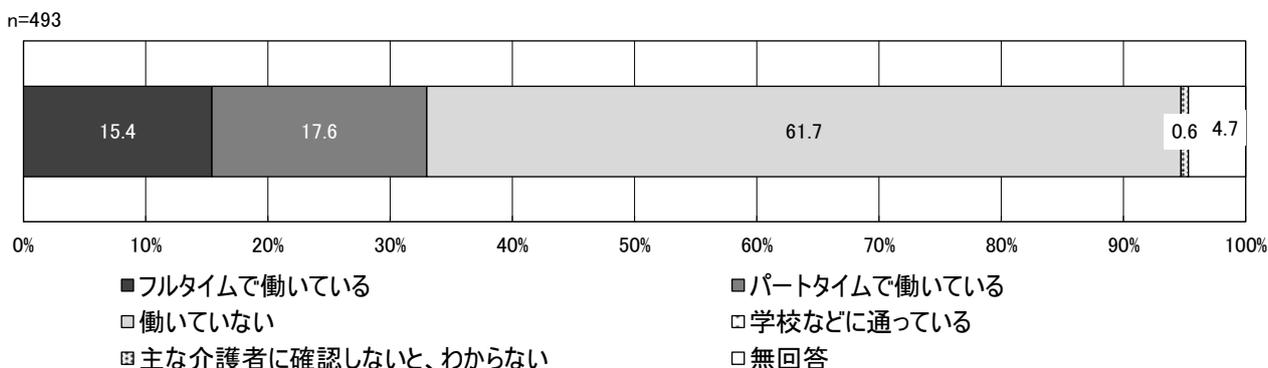
「認知症状への対応」が44.6%で最も高くなっています。次いで「外出の付き添い、送迎等」が34.9%、「夜間の排泄」が34.1%で続いています。

n=493



問7 主な介護者の方の現在の勤務形態をお教えてください【単数回答】

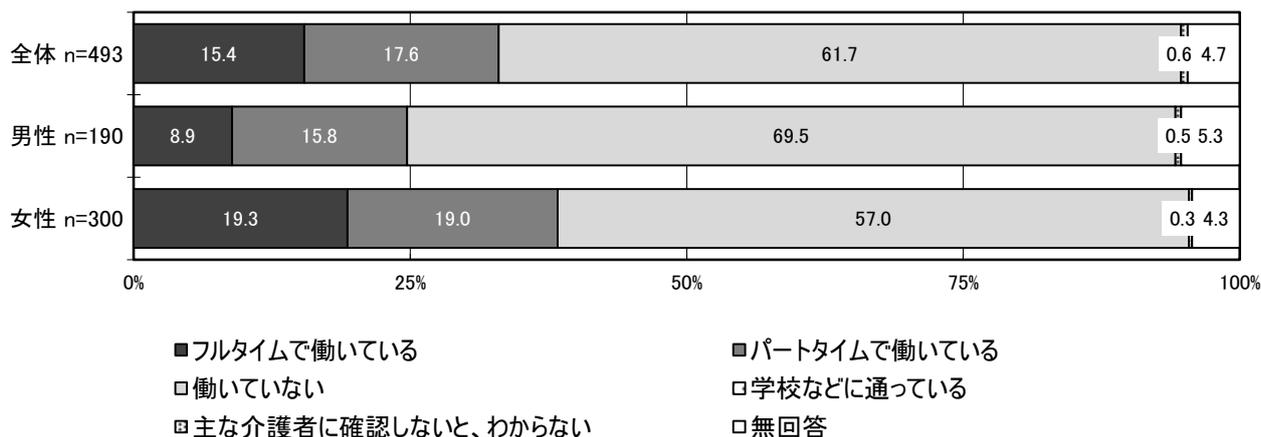
「働いていない」が61.7%で突出しています。「パートタイムで働いている」が17.6%、「フルタイムで働いている」が15.4%が続いています。



《主な介護者の方の現在の勤務形態をお教えてください》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「働いていない」の割合が高くなっています。

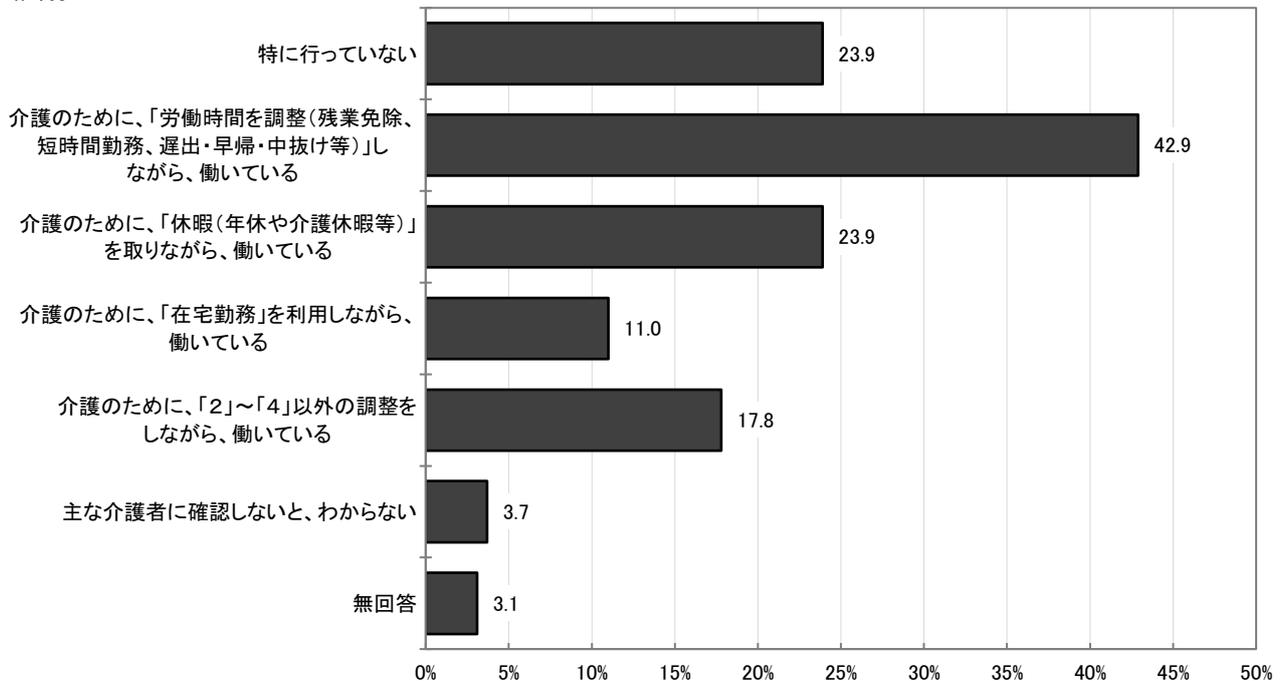
『女性』は『男性』に比べて「フルタイムで働いている」の割合が高くなっています。



問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか【複数回答】

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が42.9%で突出しています。「特に行っていない」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が23.9%で続いています。

n=163



《主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「特に行っていない」の割合が高くなっています。

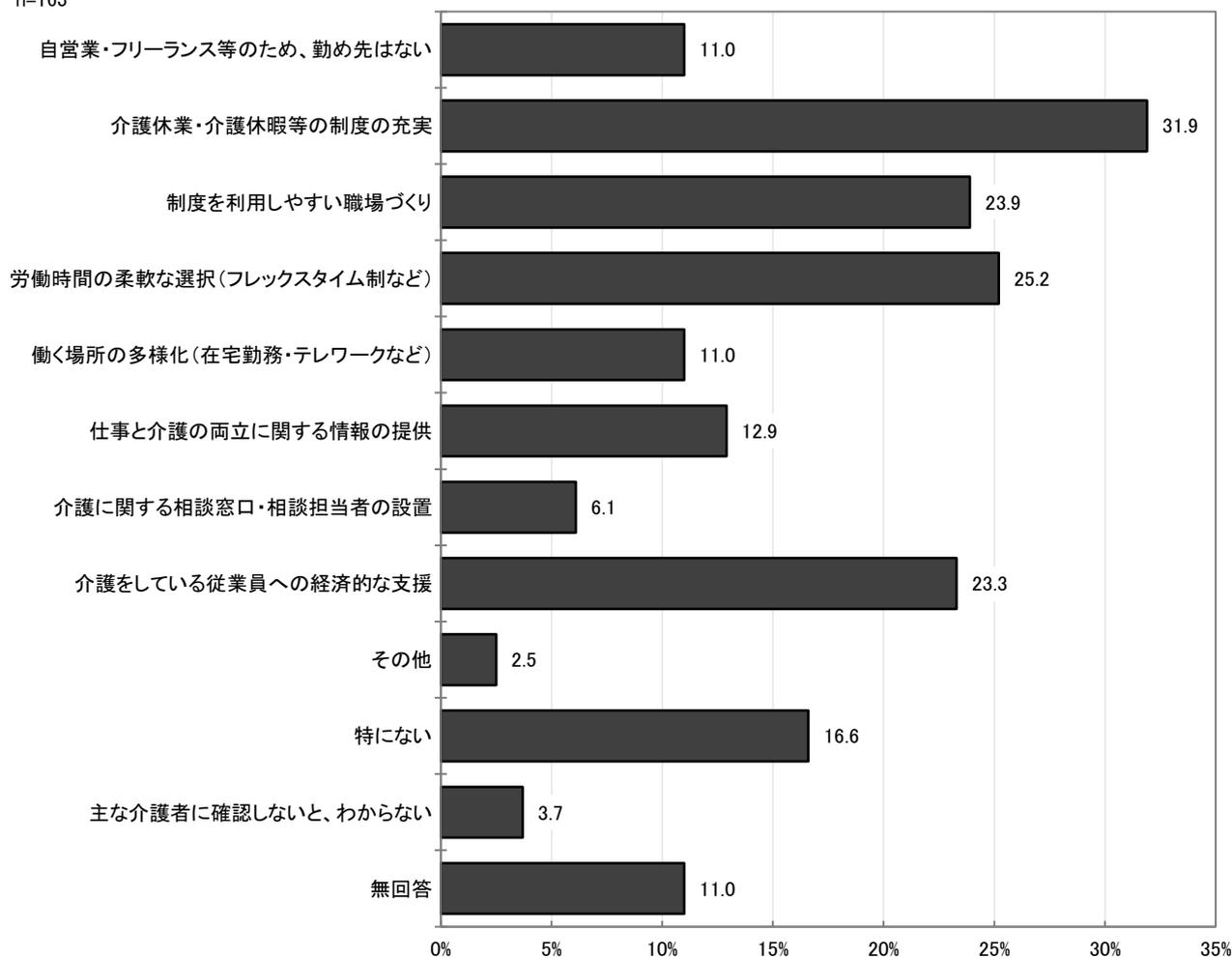
『女性』は『男性』に比べて「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=163 | 男性 n=47 | 女性 n=115 |
|---|-------------|------------|-------------|
| 特に行っていない | 23.9 | 27.7 | 21.7 |
| 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている | 42.9 | 44.7 | 42.6 |
| 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている | 23.9 | 14.9 | 27.8 |
| 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている | 11.0 | 8.5 | 12.2 |
| 介護のために、「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている | 17.8 | 14.9 | 19.1 |
| 主な介護者に確認しないと、わからない | 3.7 | 4.3 | 3.5 |
| 無回答 | 3.1 | 4.3 | 2.6 |

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか【複数回答】

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.9%で最も高くなっています。次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.2%、「制度を利用しやすい職場づくり」が23.9%で続いています。

n=163



《主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「仕事と介護の両立に関する情報の提供」の割合が高くなっています。

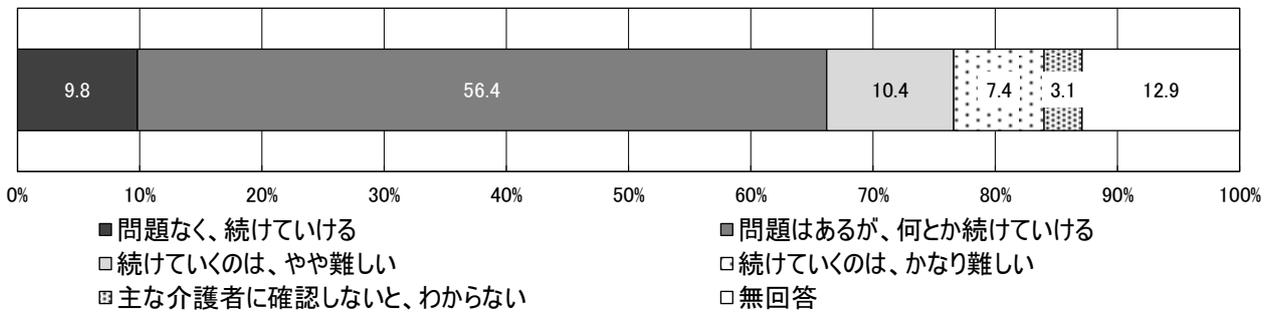
『女性』は『男性』に比べて「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=163 | 男性 n=47 | 女性 n=115 |
|-------------------------|-------------|------------|-------------|
| 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 11.0 | 10.6 | 11.3 |
| 介護休業・介護休暇等の制度の充実 | 31.9 | 31.9 | 32.2 |
| 制度を利用しやすい職場づくり | 23.9 | 23.4 | 24.3 |
| 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） | 25.2 | 10.6 | 31.3 |
| 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） | 11.0 | 10.6 | 11.3 |
| 仕事と介護の両立に関する情報の提供 | 12.9 | 17.0 | 11.3 |
| 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 6.1 | 2.1 | 7.8 |
| 介護をしている従業員への経済的な支援 | 23.3 | 23.4 | 23.5 |
| その他 | 2.5 | 4.3 | 1.7 |
| 特になし | 16.6 | 17.0 | 16.5 |
| 主な介護者に確認しないと、わからない | 3.7 | 4.3 | 3.5 |
| 無回答 | 11.0 | 12.8 | 9.6 |

問 10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか【単数回答】

「問題はあるが、何とか続けていける」が 56.4%で突出しています。「続けていくのは、やや難しい」が 10.4%、「問題なく、続けていける」が 9.8%で続いています。

n=163

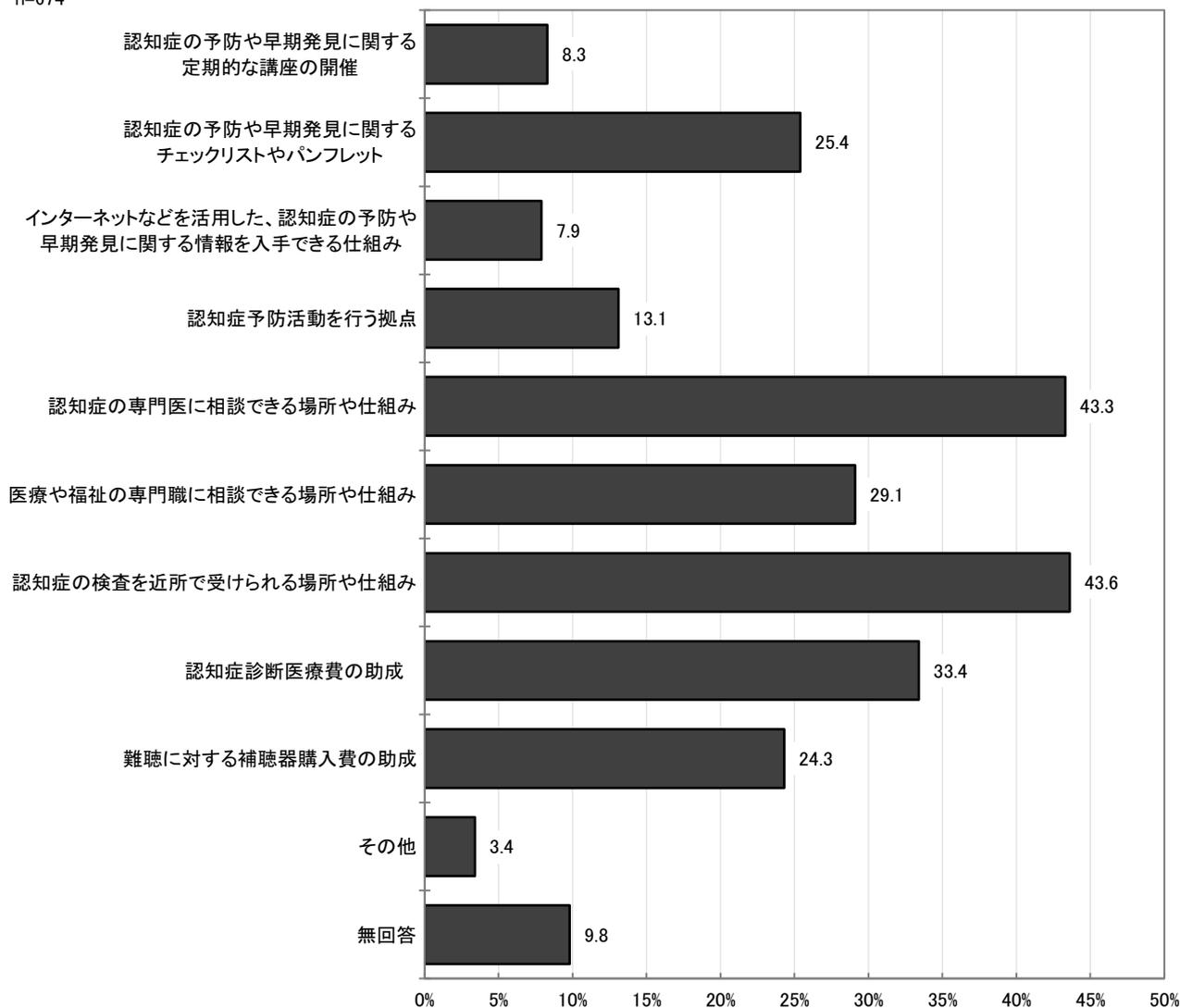


C票 高齢者に関する課題について

問1 認知症の予防や早期発見に関して、どのような支援や仕組みがあればよいと思いますか【複数回答】

「認知症の検査を近所で受けられる場所や仕組み」が43.6%で最も高くなっています。次いで「認知症の専門医に相談できる場所や仕組み」が43.3%、「認知症診断医療費の助成」が33.4%が続いています。

n=674



《認知症の予防や早期発見に関して、どのような支援や仕組みがあればよいと思いますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「認知症の予防や早期発見に関するチェックリストやパンフレット」「認知症の専門医に相談できる場所や仕組み」「認知症診断医療費の助成」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「認知症の検査を近所で受けられる場所や仕組み」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=674 | 男性 n=278 | 女性 n=392 |
|---|-------------|-------------|-------------|
| 認知症の予防や早期発見に関する定期的な講座の開催 | 8.3 | 8.6 | 8.2 |
| 認知症の予防や早期発見に関するチェックリストやパンフレット | 25.4 | 28.1 | 23.0 |
| インターネットなどを活用した、認知症の予防や早期発見に関する情報を入手できる仕組み | 7.9 | 5.0 | 9.9 |
| 認知症予防活動を行う拠点 | 13.1 | 12.6 | 13.5 |
| 認知症の専門医に相談できる場所や仕組み | 43.3 | 47.1 | 41.1 |
| 医療や福祉の専門職に相談できる場所や仕組み | 29.1 | 27.3 | 30.6 |
| 認知症の検査を近所で受けられる場所や仕組み | 43.6 | 39.9 | 46.7 |
| 認知症診断医療費の助成 | 33.4 | 37.1 | 31.1 |
| 難聴に対する補聴器購入費の助成 | 24.3 | 24.8 | 24.0 |
| その他 | 3.4 | 2.2 | 4.3 |
| 無回答 | 9.8 | 10.8 | 9.2 |

《認知症の予防や早期発見に関して、どのような支援や仕組みがあればよいと思いますか》×《年齢別》

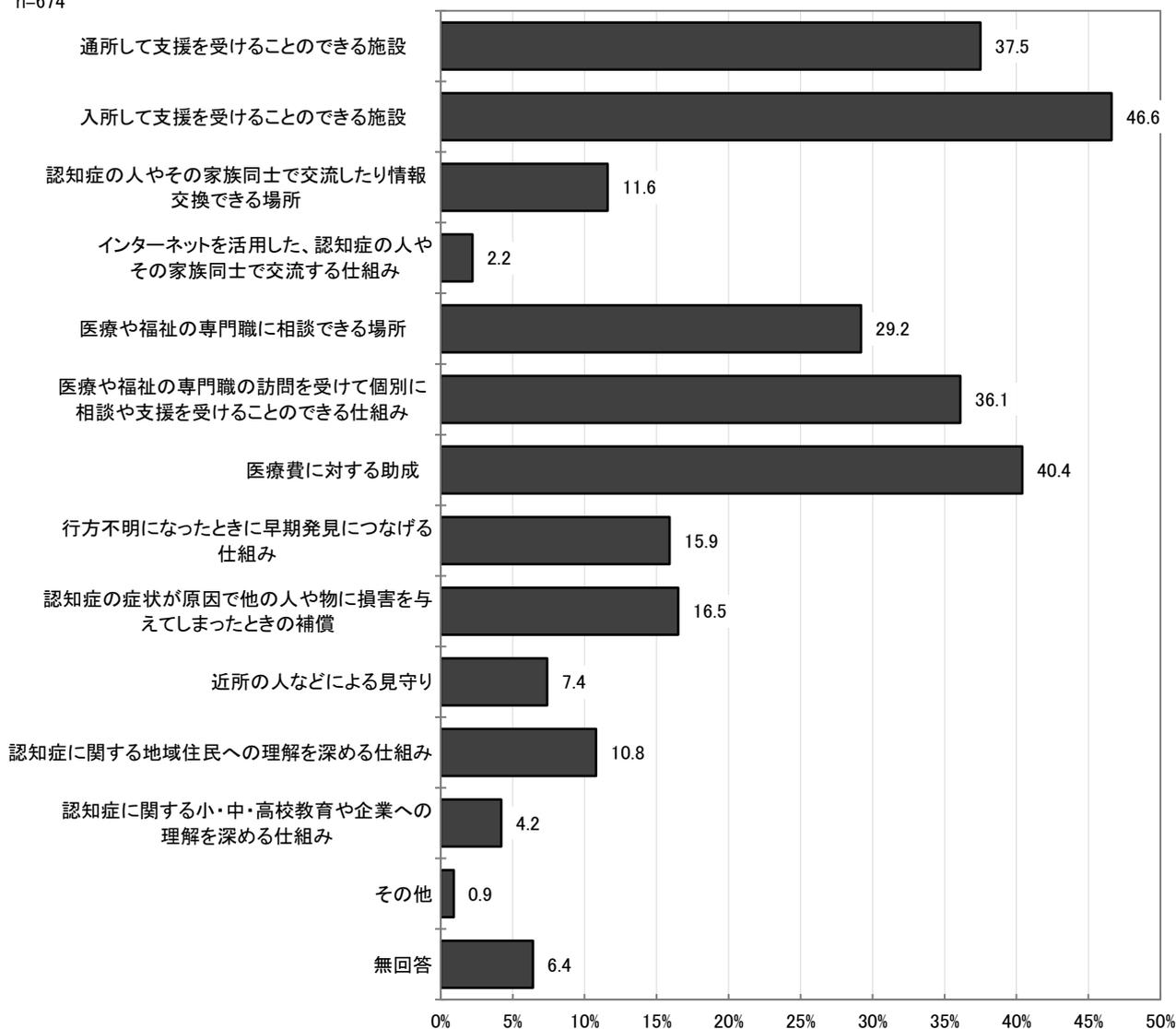
『65歳以上70歳未満』では「認知症の検査を近所で受けられる場所や仕組み」、『70歳以上75歳未満』では「認知症の予防や早期発見に関するチェックリストやパンフレット」「認知症診断医療費の助成」、『70歳以上75歳未満』『95歳以上』では「認知症の専門医に相談できる場所や仕組み」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=674 | 65歳以上 70歳未満 n=13 | 70歳以上 75歳未満 n=42 | 75歳以上 80歳未満 n=82 | 80歳以上 85歳未満 n=164 | 85歳以上 90歳未満 n=183 | 90歳以上 95歳未満 n=121 | 95歳以上 n=65 |
|---|-------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 認知症の予防や早期発見に関する定期的な講座の開催 | 8.3 | 7.7 | 11.9 | 7.3 | 11.0 | 7.7 | 9.1 | 1.5 |
| 認知症の予防や早期発見に関するチェックリストやパンフレット | 25.4 | 30.8 | 42.9 | 26.8 | 22.6 | 25.7 | 20.7 | 23.1 |
| インターネットなどを活用した、認知症の予防や早期発見に関する情報を入手できる仕組み | 7.9 | 7.7 | 7.1 | 7.3 | 6.7 | 8.2 | 7.4 | 12.3 |
| 認知症予防活動を行う拠点 | 13.1 | 15.4 | 9.5 | 14.6 | 15.9 | 12.6 | 13.2 | 7.7 |
| 認知症の専門医に相談できる場所や仕組み | 43.3 | 38.5 | 50.0 | 46.3 | 38.4 | 44.8 | 41.3 | 50.8 |
| 医療や福祉の専門職に相談できる場所や仕組み | 29.1 | 23.1 | 31.0 | 32.9 | 24.4 | 29.5 | 28.1 | 38.5 |
| 認知症の検査を近所で受けられる場所や仕組み | 43.6 | 53.8 | 33.3 | 42.7 | 44.5 | 41.0 | 49.6 | 46.2 |
| 認知症診断医療費の助成 | 33.4 | 38.5 | 45.2 | 34.1 | 32.9 | 33.9 | 36.4 | 20.0 |
| 難聴に対する補聴器購入費の助成 | 24.3 | 23.1 | 19.0 | 13.4 | 19.5 | 28.4 | 28.9 | 33.8 |
| その他 | 3.4 | - | 4.8 | 3.7 | 5.5 | 1.1 | 3.3 | 4.6 |
| 無回答 | 9.8 | 7.7 | 4.8 | 9.8 | 12.2 | 10.4 | 9.1 | 7.7 |

問2 あなたや家族が認知症になった場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか
【複数回答】

「入所して支援を受けることのできる施設」が46.6%で最も高くなっています。次いで「医療費に対する助成」が40.4%、「通所して支援を受けることのできる施設」が37.5%が続いています。

n=674



《あなたや家族が認知症になった場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか》 × 《性別》

『男性』は『女性』に比べて「医療費に対する助成」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「通所して支援を受けることのできる施設」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=674 | 男性 n=278 | 女性 n=392 |
|---------------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 通所して支援を受けることのできる施設 | 37.5 | 34.2 | 39.8 |
| 入所して支援を受けることのできる施設 | 46.6 | 47.1 | 45.9 |
| 認知症の人やその家族同士で交流したり情報交換できる場所 | 11.6 | 10.8 | 12.2 |
| インターネットを活用した、認知症の人やその家族同士で交流する仕組み | 2.2 | 1.8 | 2.6 |
| 医療や福祉の専門職に相談できる場所 | 29.2 | 29.5 | 28.8 |
| 医療や福祉の専門職の訪問を受けて個別に相談や支援を受けることのできる仕組み | 36.1 | 35.6 | 36.7 |
| 医療費に対する助成 | 40.4 | 43.9 | 38.3 |
| 行方不明になったときに早期発見につなげる仕組み | 15.9 | 18.3 | 14.3 |
| 認知症の症状が原因で他の人や物に損害を与えてしまったときの補償 | 16.5 | 15.8 | 17.1 |
| 近所の人などによる見守り | 7.4 | 6.5 | 8.2 |
| 認知症に関する地域住民への理解を深める仕組み | 10.8 | 12.6 | 9.7 |
| 認知症に関する小・中・高校教育や企業への理解を深める仕組み | 4.2 | 5.8 | 3.1 |
| その他 | 0.9 | 1.4 | 0.5 |
| 無回答 | 6.4 | 7.9 | 5.4 |

《あなたや家族が認知症になった場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか》×
《年齢別》

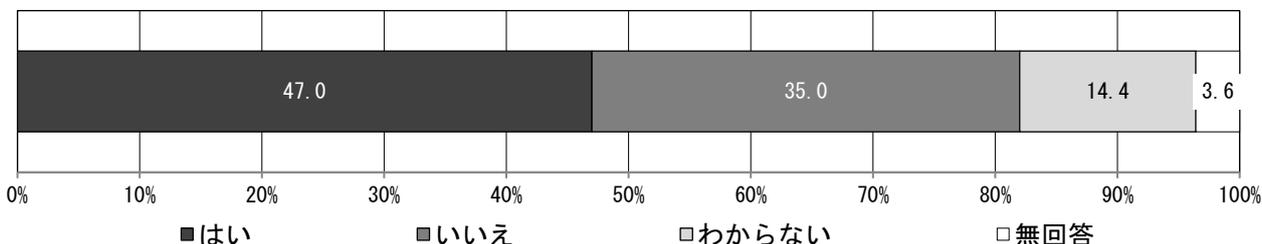
『65歳以上 70歳未満』では「医療や福祉の専門職の訪問を受けて個別に相談や支援を受けることのできる仕組み」「認知症の症状が原因で他の人や物に損害を与えてしまったときの補償」、『65歳以上 70歳未満』『90歳以上 95歳未満』では「入所して支援を受けることのできる施設」、『95歳以上』では「医療や福祉の専門職に相談できる場所」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=674 | 65歳以上 70歳未満 n=13 | 70歳以上 75歳未満 n=42 | 75歳以上 80歳未満 n=82 | 80歳以上 85歳未満 n=164 | 85歳以上 90歳未満 n=183 | 90歳以上 95歳未満 n=121 | 95歳以上 n=65 |
|---------------------------------------|-------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 通所して支援を受けることのできる施設 | 37.5 | 23.1 | 38.1 | 41.5 | 35.4 | 36.6 | 42.1 | 33.8 |
| 入所して支援を受けることのできる施設 | 46.6 | 53.8 | 47.6 | 45.1 | 43.3 | 47.0 | 50.4 | 44.6 |
| 認知症の人やその家族同士で交流したり情報交換できる場所 | 11.6 | 23.1 | 11.9 | 12.2 | 13.4 | 11.5 | 8.3 | 10.8 |
| インターネットを活用した、認知症の人やその家族同士で交流する仕組み | 2.2 | - | 4.8 | 1.2 | 1.8 | 1.6 | 3.3 | 3.1 |
| 医療や福祉の専門職に相談できる場所 | 29.2 | 15.4 | 31.0 | 31.7 | 28.7 | 29.0 | 24.0 | 38.5 |
| 医療や福祉の専門職の訪問を受けて個別に相談や支援を受けることのできる仕組み | 36.1 | 53.8 | 33.3 | 34.1 | 37.2 | 32.2 | 39.7 | 40.0 |
| 医療費に対する助成 | 40.4 | 38.5 | 42.9 | 47.6 | 42.1 | 42.6 | 35.5 | 30.8 |
| 行方不明になったときに早期発見につなげる仕組み | 15.9 | 30.8 | 11.9 | 13.4 | 17.7 | 19.1 | 11.6 | 13.8 |
| 認知症の症状が原因で他の人や物に損害を与えてしまったときの補償 | 16.5 | 30.8 | 16.7 | 17.1 | 16.5 | 15.8 | 18.2 | 12.3 |
| 近所の人などによる見守り | 7.4 | - | 2.4 | 12.2 | 8.5 | 7.1 | 7.4 | 4.6 |
| 認知症に関する地域住民への理解を深める仕組み | 10.8 | - | 11.9 | 6.1 | 10.4 | 10.9 | 10.7 | 20.0 |
| 認知症に関する小・中・高校教育や企業への理解を深める仕組み | 4.2 | - | - | 3.7 | 3.7 | 6.0 | 3.3 | 6.2 |
| その他 | 0.9 | - | - | - | 1.2 | 0.5 | 2.5 | - |
| 無回答 | 6.4 | - | 7.1 | 6.1 | 6.1 | 6.0 | 7.4 | 7.7 |

問3 調査対象者ご本人様は認知症または認知症のような症状がありますか【単数回答】

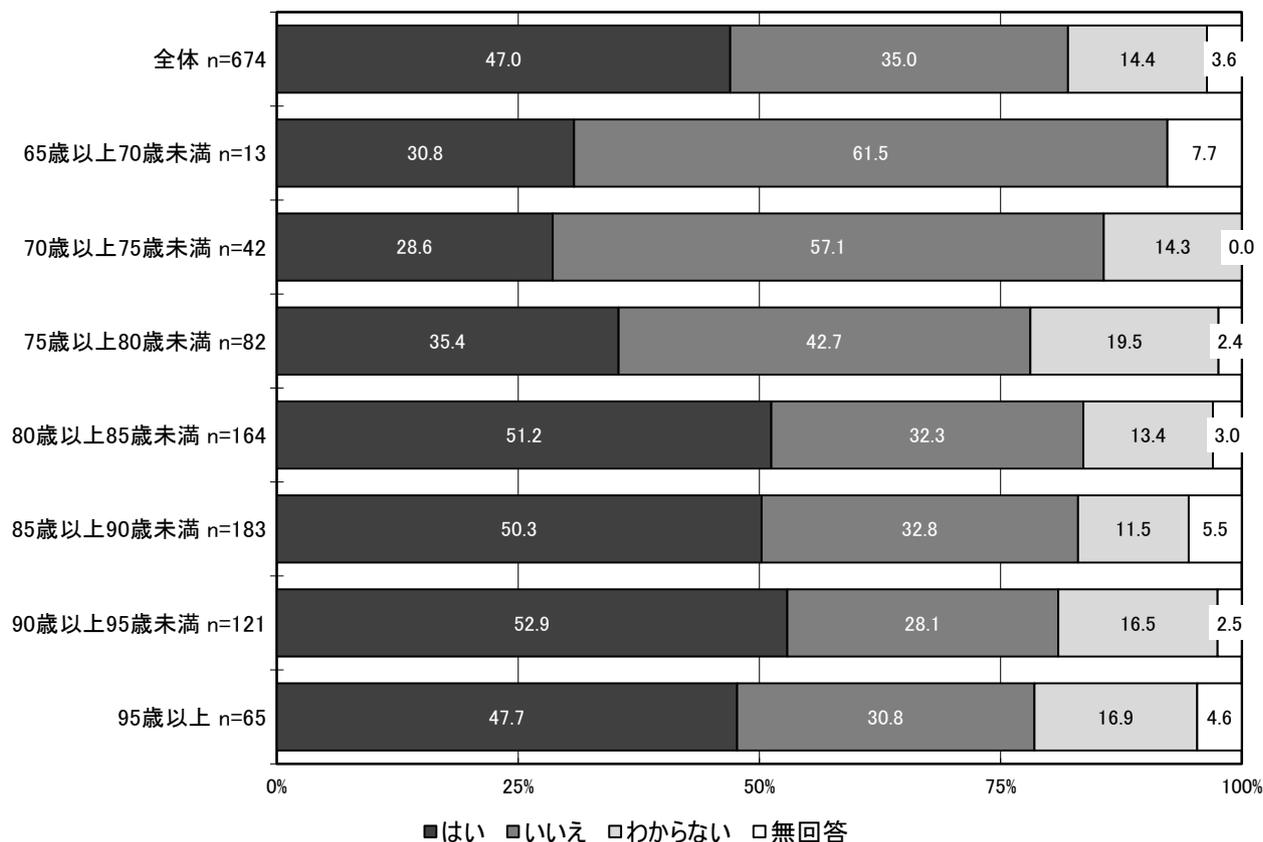
「はい」が47.0%で最も高く、次いで「いいえ」が35.0%となっています。

n=674



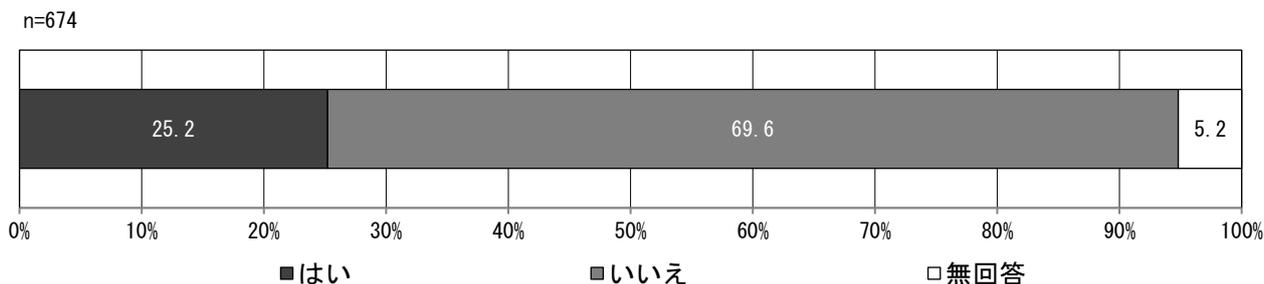
《調査対象者ご本人様は認知症または認知症のような症状がありますか》×《年齢別》

『65歳以上75歳未満』では「いいえ」、『75歳以上80歳未満』では「わからない」、『80歳以上』では「はい」の割合が高くなっています。



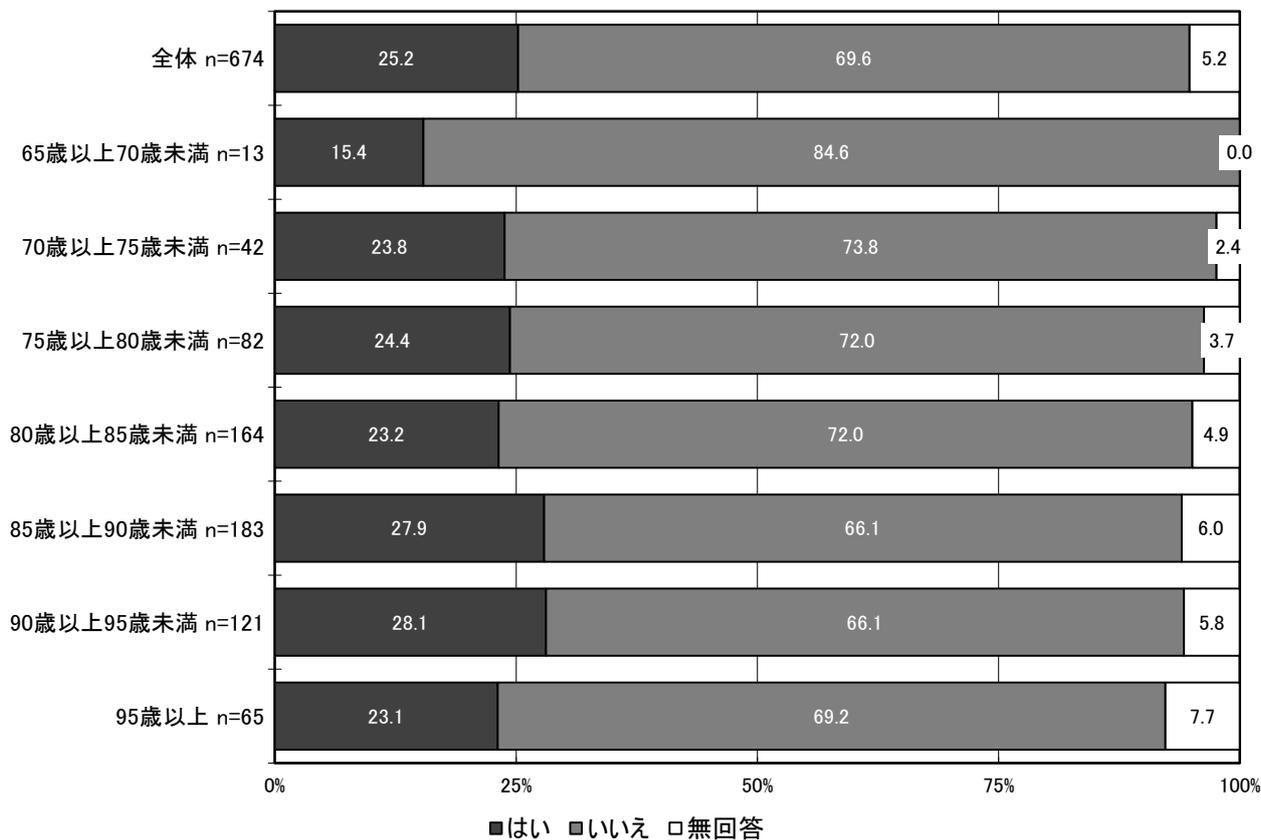
問4 認知症に関する相談窓口を知っていますか【単数回答】

「いいえ」が69.6%を占めています。



《認知症に関する相談窓口を知っていますか》×《年齢別》

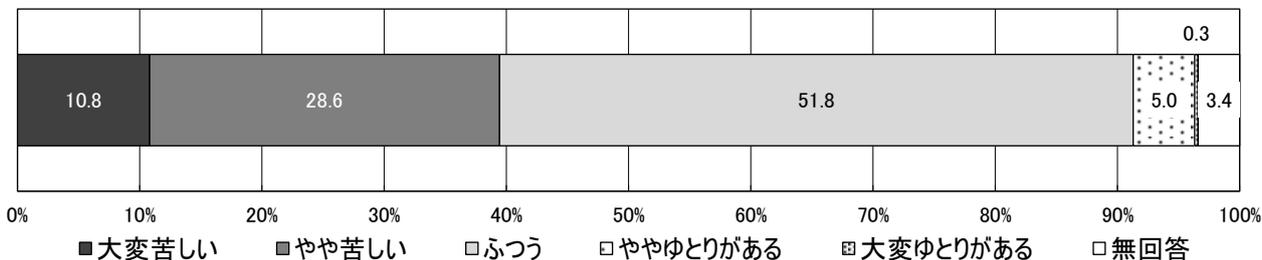
『65歳以上75歳未満』では「いいえ」、『85歳以上95歳未満』では「はい」の割合が高くなっています。



問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか【単数回答】

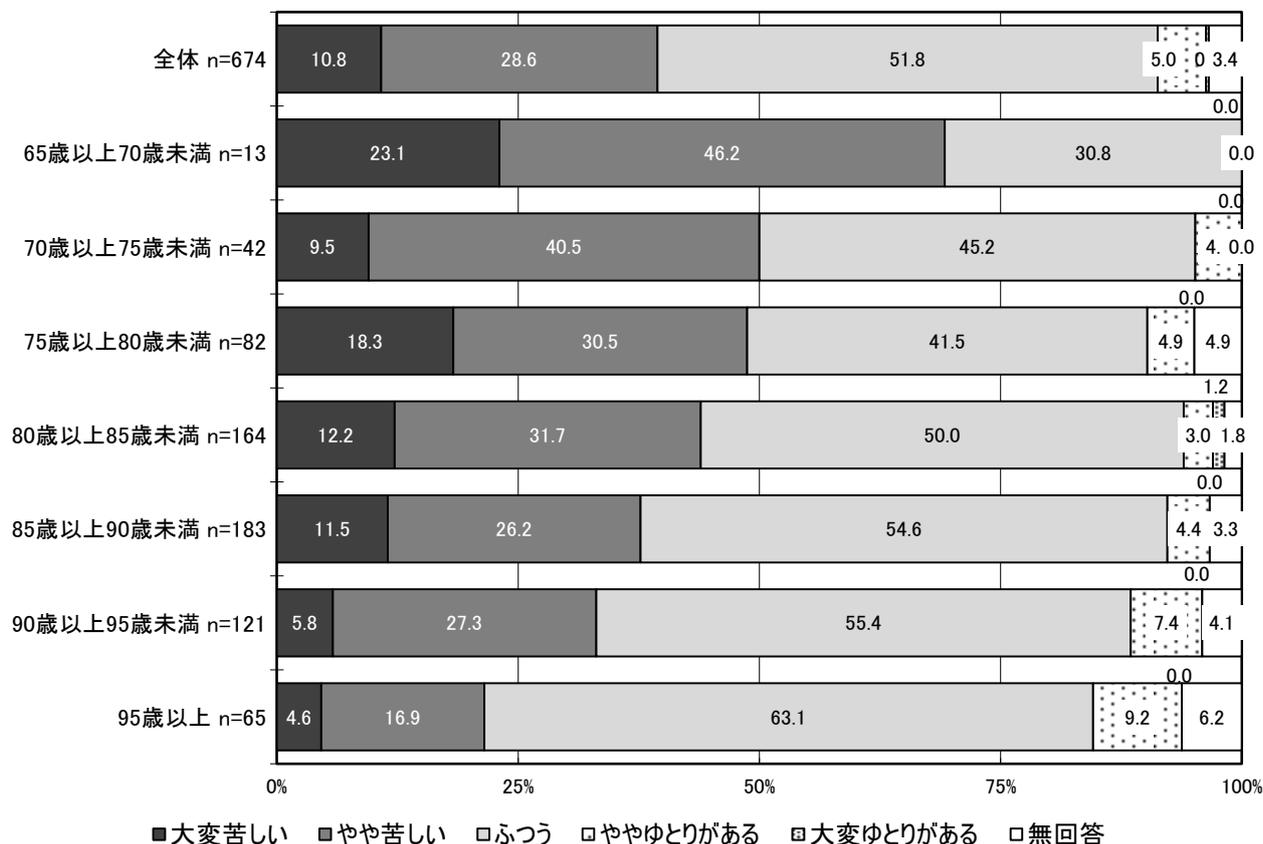
「ふつう」が51.8%で突出しています。「やや苦しい」が28.6%、「大変苦しい」が10.8%で続いています。

n=674



《現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか》×《年齢別》

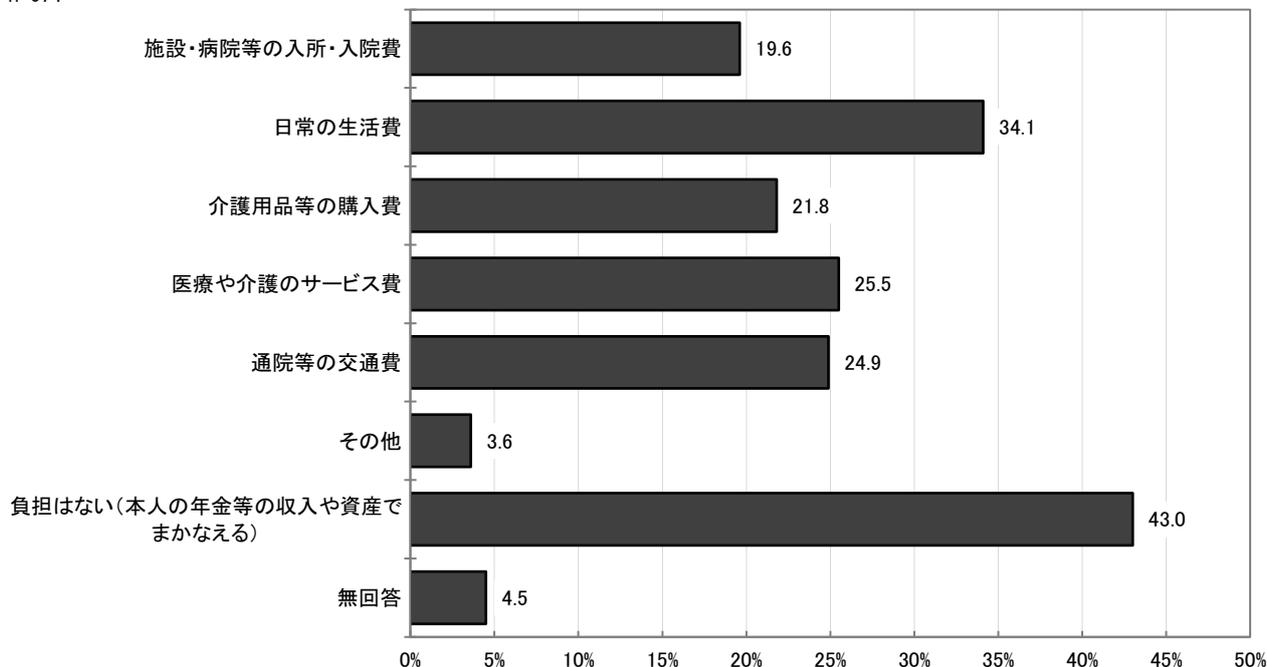
若い年齢ほど「苦しい」（「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合）が高くなっています。



問6 現在、調査対象者ご本人様のために家族が負担している費用はありますか【複数回答】

「負担はない（本人の年金等の収入や資産でまかなえる）」が43.0%で最も高くなっています。次いで「日常の生活費」が34.1%、「医療や介護のサービス費」が25.5%が続いています。

n=674



《現在、調査対象者ご本人様のために家族が負担している費用はありますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「負担はない（本人の年金等の収入や資産でまかなえる）」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「施設・病院等の入所・入院費」「日常の生活費」「介護用品等の購入費」の割合が高くなっています。

| | 全体 n=674 | 男性 n=278 | 女性 n=392 |
|---------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 施設・病院等の入所・入院費 | 19.6 | 15.8 | 22.4 |
| 日常の生活費 | 34.1 | 25.2 | 40.8 |
| 介護用品等の購入費 | 21.8 | 17.3 | 25.0 |
| 医療や介護のサービス費 | 25.5 | 25.2 | 25.8 |
| 通院等の交通費 | 24.9 | 24.5 | 25.5 |
| その他 | 3.6 | 2.2 | 4.6 |
| 負担はない(本人の年金等の収入や資産でまかなえる) | 43.0 | 49.3 | 38.3 |
| 無回答 | 4.5 | 5.8 | 3.6 |

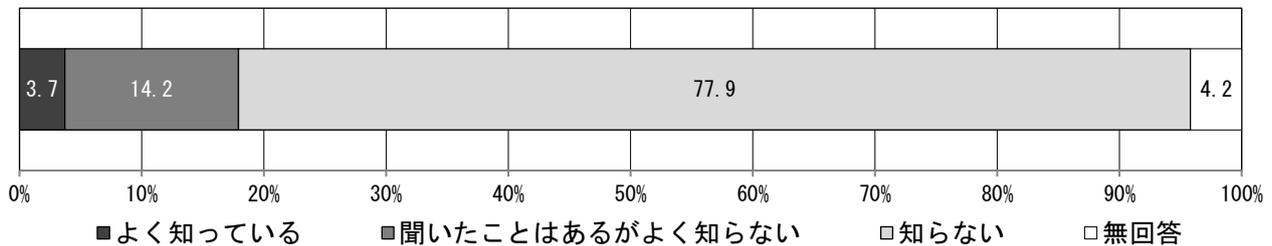
《現在、調査対象者ご本人様のために家族が負担している費用はありますか》×《年齢別》

『65歳以上 75歳未満』では「日常の生活費」「医療や介護のサービス費」「通院等の交通費」、
『75歳以上 80歳未満』では「施設・病院等の入所・入院費」、『90歳以上 95歳未満』では「負担はない」の割合が高くなっています。

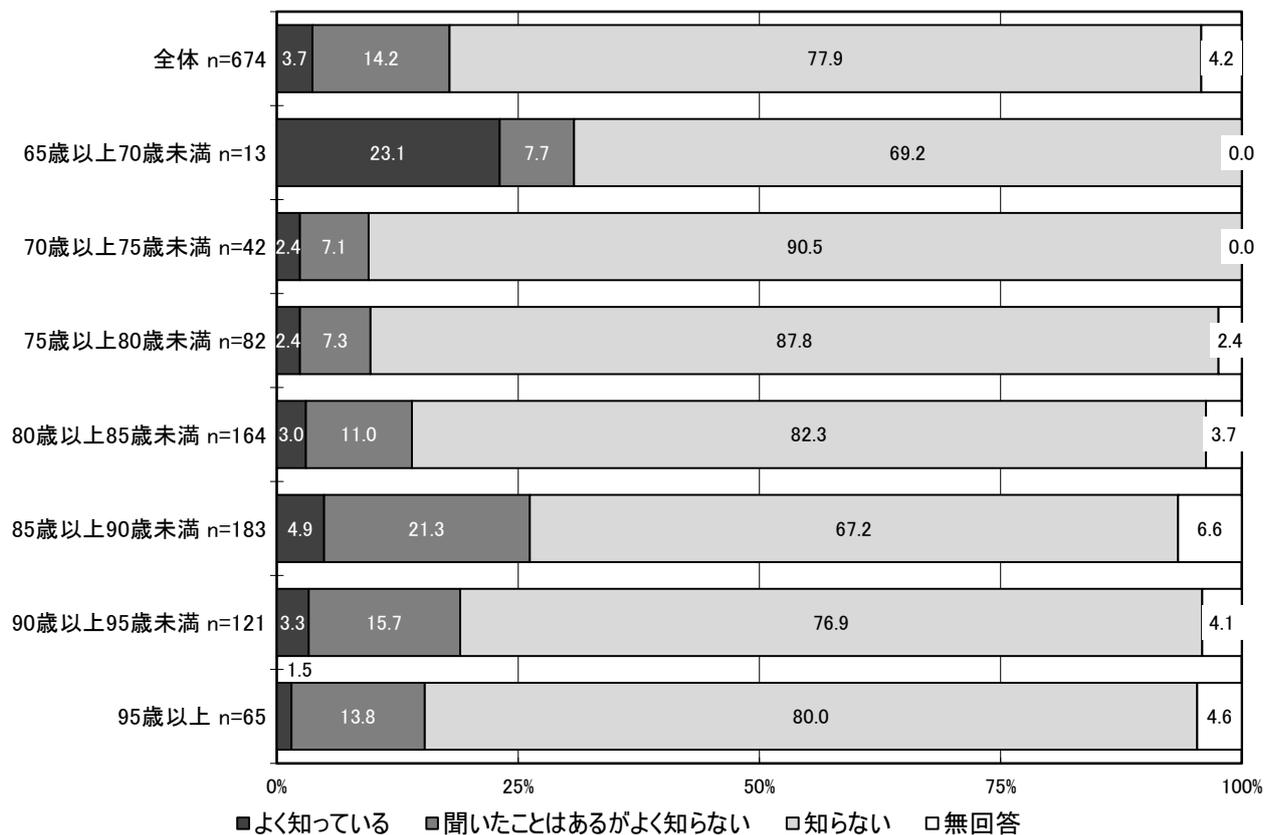
| | 全体 n=674 | 65歳以上 70歳未満 n=13 | 70歳以上 75歳未満 n=42 | 75歳以上 80歳未満 n=82 | 80歳以上 85歳未満 n=164 | 85歳以上 90歳未満 n=183 | 90歳以上 95歳未満 n=121 | 95歳以上 n=65 |
|---------------------------|-------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 施設・病院等の入所・入院費 | 19.6 | 23.1 | 23.8 | 28.0 | 22.0 | 19.7 | 12.4 | 13.8 |
| 日常の生活費 | 34.1 | 53.8 | 35.7 | 46.3 | 36.0 | 26.2 | 31.4 | 38.5 |
| 介護用品等の購入費 | 21.8 | 15.4 | 23.8 | 31.7 | 22.0 | 19.7 | 22.3 | 13.8 |
| 医療や介護のサービス費 | 25.5 | 76.9 | 35.7 | 40.2 | 28.0 | 20.2 | 17.4 | 13.8 |
| 通院等の交通費 | 24.9 | 53.8 | 21.4 | 26.8 | 23.8 | 28.4 | 22.3 | 18.5 |
| その他 | 3.6 | 7.7 | 2.4 | 7.3 | 3.0 | 1.6 | 5.0 | 3.1 |
| 負担はない(本人の年金等の収入や資産でまかなえる) | 43.0 | 15.4 | 45.2 | 28.0 | 43.3 | 47.0 | 49.6 | 40.0 |
| 無回答 | 4.5 | - | 4.8 | 3.7 | 3.7 | 4.9 | 5.0 | 6.2 |

問7 「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」について知っていますか【単数回答】
 「知らない」が77.9%を占めています。

n=674



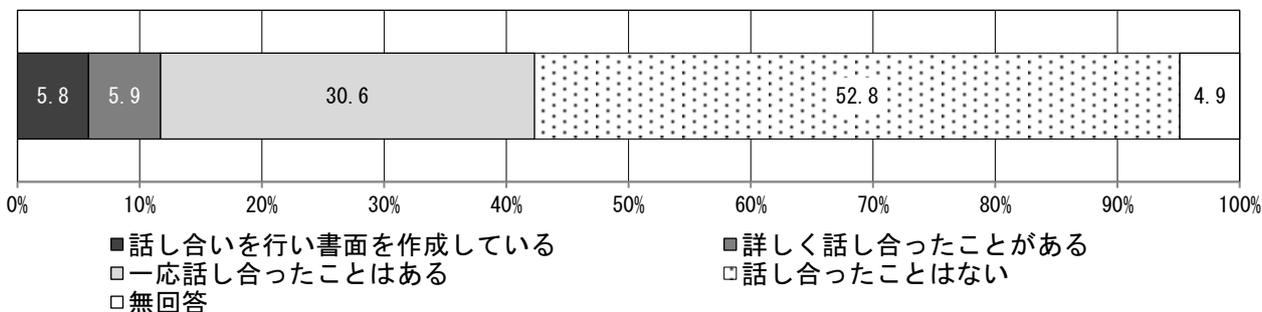
《「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」について知っていますか》×《年齢別》
 『65歳以上75歳未満』では「よく知っている」、『70歳以上80歳未満』では「知らない」、『85歳以上90歳未満』では「聞いたことはあるがよく知らない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問8 自分の医療・ケアに関する希望について、周囲の信頼する人や医療・福祉専門職と話し合ったことはありますか【単数回答】

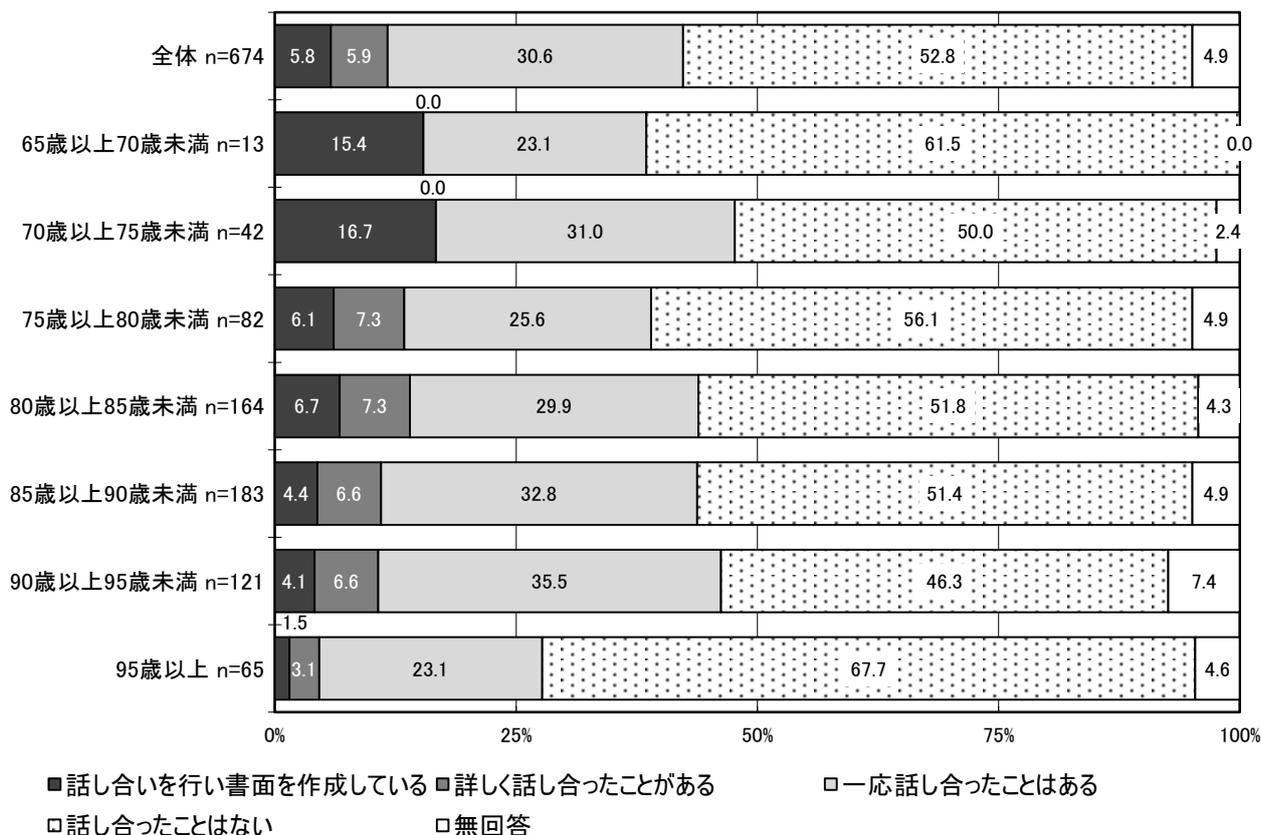
「話し合ったことはない」が52.8%を占めています。

n=674



《自分の医療・ケアに関する希望について、周囲の信頼する人や医療・福祉専門職と話し合ったことはありますか》×《年齢別》

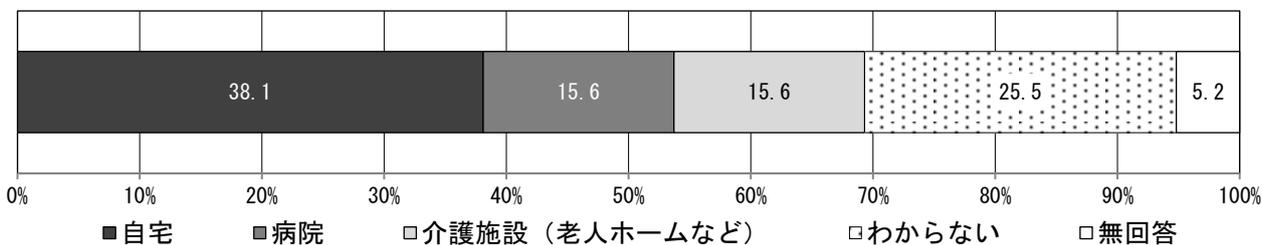
『65歳以上75歳未満』では「話し合いを行い書面を作成している」、『65歳以上75歳未満』『95歳以上』では「話し合ったことはない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問9 将来、寿命が近づいたとき、どこで過ごしながら医療・ケアを受けたいですか【単数回答】

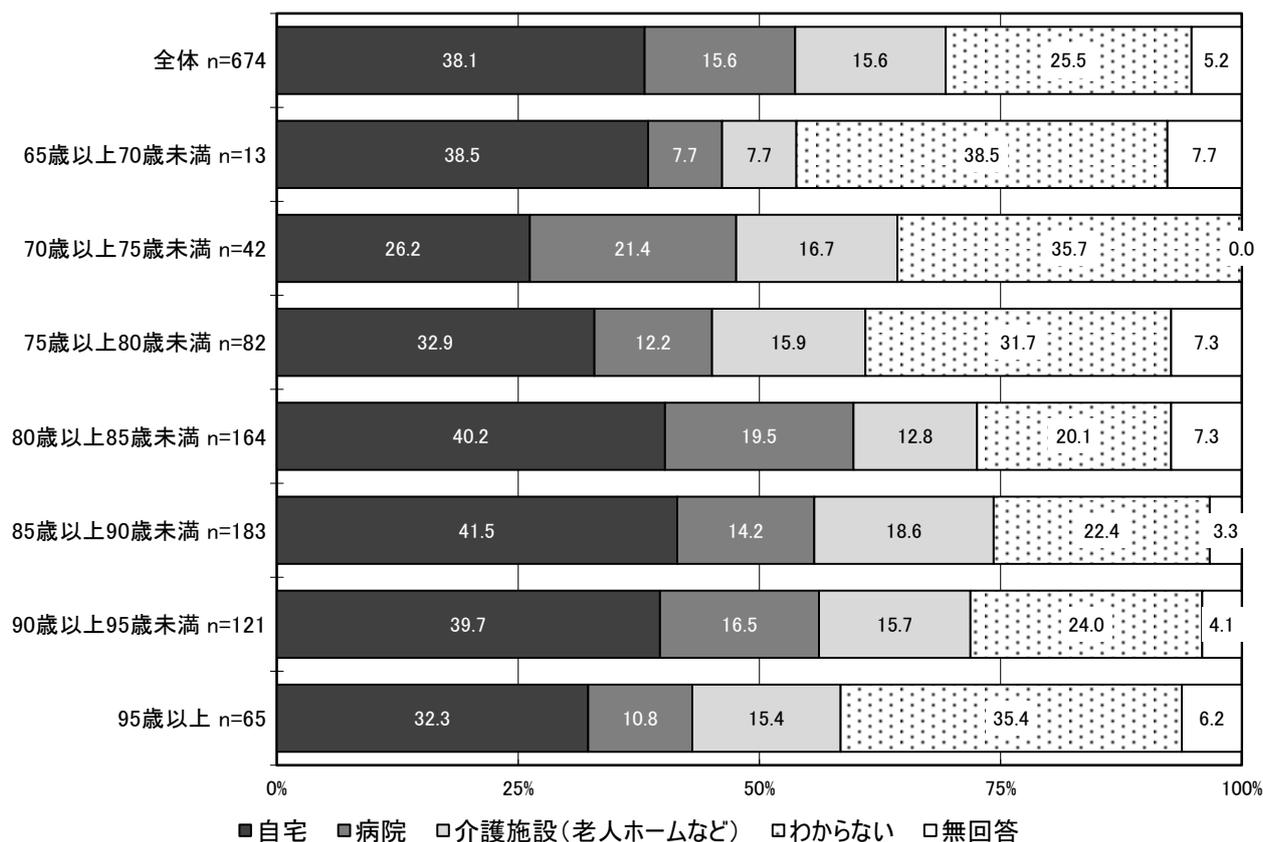
「自宅」が38.1%で最も高く、次いで「わからない」が25.5%、「病院」「介護施設（老人ホームなど）」が15.6%で続いています。

n=674



《将来、寿命が近づいたとき、どこで過ごしながら医療・ケアを受けたいですか》×《年齢別》

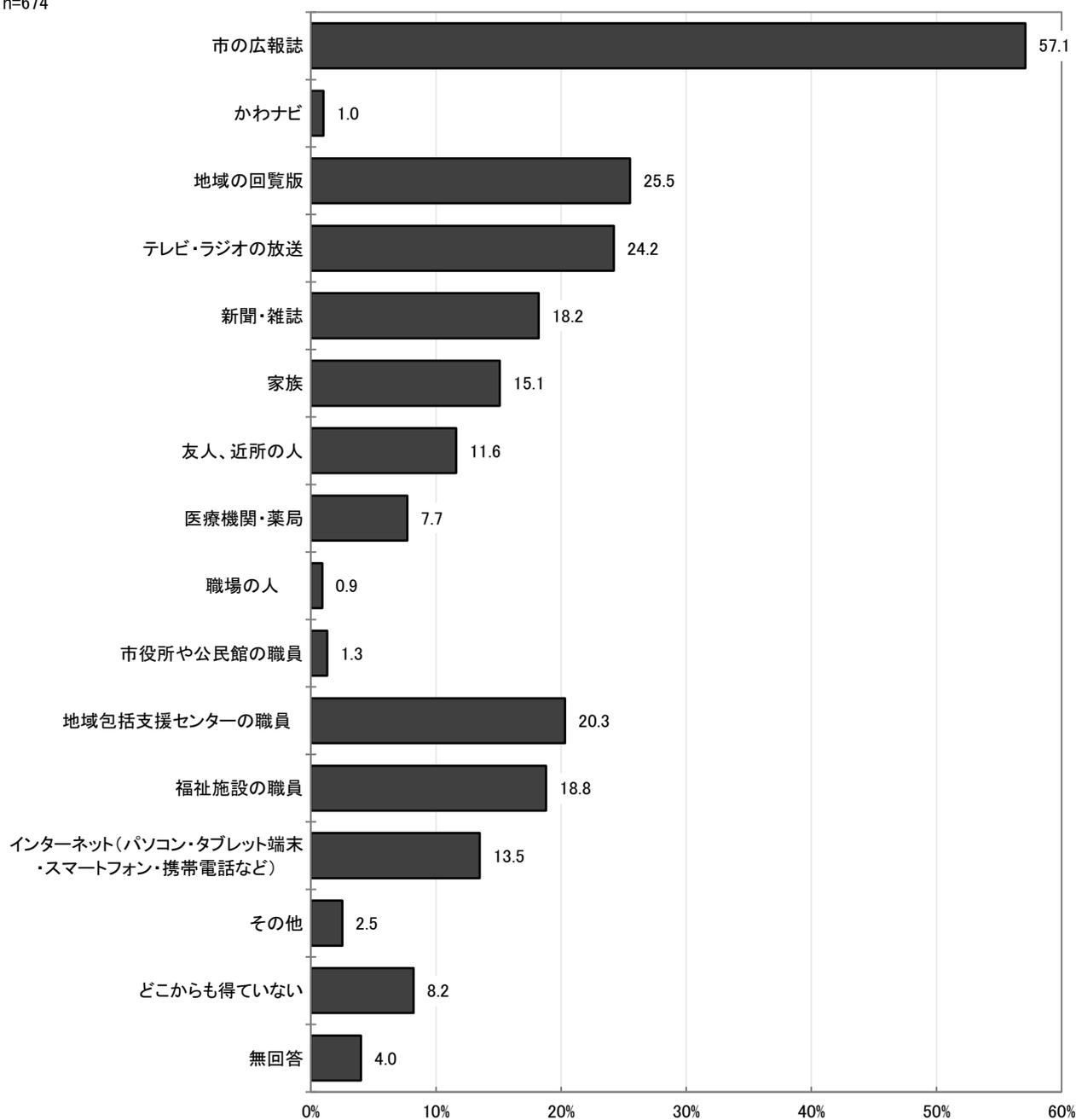
『65歳以上70歳未満』『70歳以上75歳未満』『95歳以上』では「わからない」、『70歳以上75歳未満』『80歳以上85歳未満』では「病院」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



問 10 介護や福祉、イベントや防災の情報など、行政や地域の情報を何から得ていますか【複数回答】

「市の広報誌」が 57.1%で突出しています。「地域の回覧版」が 25.5%、「テレビ・ラジオの放送」が 24.2%で続いています。

n=674



《介護や福祉、イベントや防災の情報など、行政や地域の情報を何から得ていますか》×《性別》
『男性』は『女性』に比べて「市の広報誌」「テレビ・ラジオの放送」の割合が高くなっています。

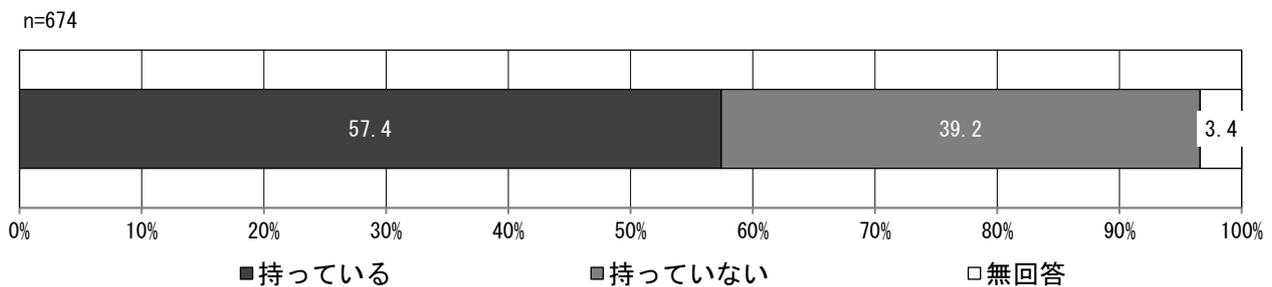
| | 全体 n=674 | 男性 n=278 | 女性 n=392 |
|--------------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 市の広報誌 | 57.1 | 61.2 | 54.3 |
| かわナビ | 1.0 | 1.4 | 0.8 |
| 地域の回覧版 | 25.5 | 28.8 | 23.5 |
| テレビ・ラジオの放送 | 24.2 | 28.4 | 21.2 |
| 新聞・雑誌 | 18.2 | 22.7 | 15.3 |
| 家族 | 15.1 | 16.5 | 14.3 |
| 友人、近所の人 | 11.6 | 12.9 | 10.7 |
| 医療機関・薬局 | 7.7 | 8.6 | 7.1 |
| 職場の人 | 0.9 | 0.4 | 1.3 |
| 市役所や公民館の職員 | 1.3 | 1.4 | 1.3 |
| 地域包括支援センターの職員 | 20.3 | 20.1 | 20.4 |
| 福祉施設の職員 | 18.8 | 16.2 | 20.9 |
| インターネット(パソコン・タブレット端末・スマートフォン・携帯電話など) | 13.5 | 12.6 | 14.3 |
| その他 | 2.5 | 2.5 | 2.6 |
| どこからも得ていない | 8.2 | 6.1 | 9.7 |
| 無回答 | 4.0 | 4.3 | 3.6 |

《介護や福祉、イベントや防災の情報など、行政や地域の情報を何から得ていますか》×《年齢別》
『65歳以上70歳未満』では「福祉施設の職員」「インターネット(パソコン・タブレット端末・スマートフォン・携帯電話など)」、『70歳以上75歳未満』『85歳以上90歳未満』では「市の広報誌」、『90歳以上』では「地域の回覧板」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

| | 全体 n=674 | 65歳以上 70歳未満 n=13 | 70歳以上 75歳未満 n=42 | 75歳以上 80歳未満 n=82 | 80歳以上 85歳未満 n=164 | 85歳以上 90歳未満 n=183 | 90歳以上 95歳未満 n=121 | 95歳以上 n=65 |
|--------------------------------------|-------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 市の広報誌 | 57.1 | 53.8 | 61.9 | 47.6 | 56.1 | 60.7 | 58.7 | 56.9 |
| かわナビ | 1.0 | - | 2.4 | - | 1.2 | 1.1 | 1.7 | - |
| 地域の回覧版 | 25.5 | 7.7 | 16.7 | 24.4 | 22.6 | 25.1 | 33.1 | 32.3 |
| テレビ・ラジオの放送 | 24.2 | 23.1 | 26.2 | 31.7 | 25.6 | 23.5 | 23.1 | 13.8 |
| 新聞・雑誌 | 18.2 | 7.7 | 23.8 | 17.1 | 18.9 | 19.1 | 22.3 | 7.7 |
| 家族 | 15.1 | 15.4 | 19.0 | 15.9 | 16.5 | 13.7 | 19.0 | 6.2 |
| 友人、近所の人 | 11.6 | - | 21.4 | 8.5 | 11.0 | 15.8 | 10.7 | 3.1 |
| 医療機関・薬局 | 7.7 | 15.4 | - | 4.9 | 7.9 | 8.2 | 9.9 | 9.2 |
| 職場の人 | 0.9 | - | - | - | - | 0.5 | 3.3 | 1.5 |
| 市役所や公民館の職員 | 1.3 | - | - | 1.2 | 2.4 | 1.6 | 0.8 | - |
| 地域包括支援センターの職員 | 20.3 | 7.7 | 14.3 | 17.1 | 21.3 | 20.8 | 24.0 | 20.0 |
| 福祉施設の職員 | 18.8 | 30.8 | 19.0 | 19.5 | 19.5 | 16.9 | 19.8 | 18.5 |
| インターネット(パソコン・タブレット端末・スマートフォン・携帯電話など) | 13.5 | 38.5 | 14.3 | 9.8 | 12.2 | 12.0 | 15.7 | 16.9 |
| その他 | 2.5 | - | 4.8 | 1.2 | 1.8 | 3.3 | 3.3 | 1.5 |
| どこからも得ていない | 8.2 | 7.7 | 9.5 | 14.6 | 4.9 | 7.7 | 6.6 | 12.3 |
| 無回答 | 4.0 | - | 4.8 | 3.7 | 4.3 | 4.4 | 2.5 | 4.6 |

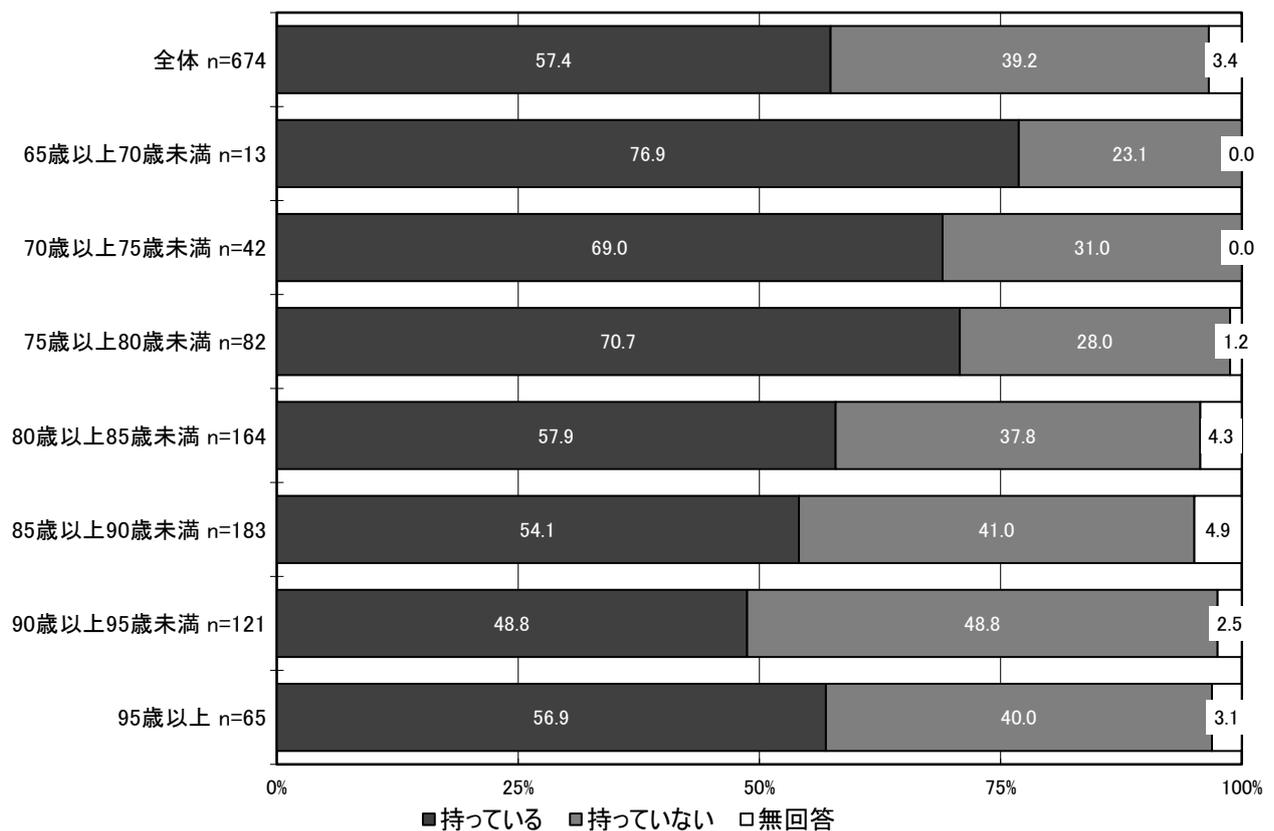
問 11 スマートフォンまたはタブレット端末を持っていますか【単数回答】

「持っている」が57.4%を占めています。



《スマートフォンまたはタブレット端末を持っていますか》×《年齢別》

『65歳以上80歳未満』では「持っている」、「80歳以上」では「持っていない」の割合が高くなっています。



**介護サービス事業所への
アンケート及び意見交換会**

アンケートの概要

1. 調査の目的

計画策定のための基礎資料とすることを目的として、市内の介護サービス事業所を対象として、介護サービス事業を実施する上での現状や課題等を把握するために実施しました。

2. 実施概要

調査対象者 : 川西市内の介護サービス事業所 214 事業所
実施日時 : アンケート 令和5年6月12日(月)～令和5年6月20日(火)
意見交換会 令和5年7月 3日(月)
実施方法 : WEBアンケートでの実施、ワークショップ形式での意見交換

3. 回収結果

| 実施対象者数（配布数） | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-------------|-------|-------|
| 214 件 | 55 件 | 25.7% |

4. 意見交換会参加事業所数及び参加者数

参加事業所数 : 14 事業所
参加者数 : 15 人

5. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者の総数（あるいは回答者を限定する設問の限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

II アンケート調査結果

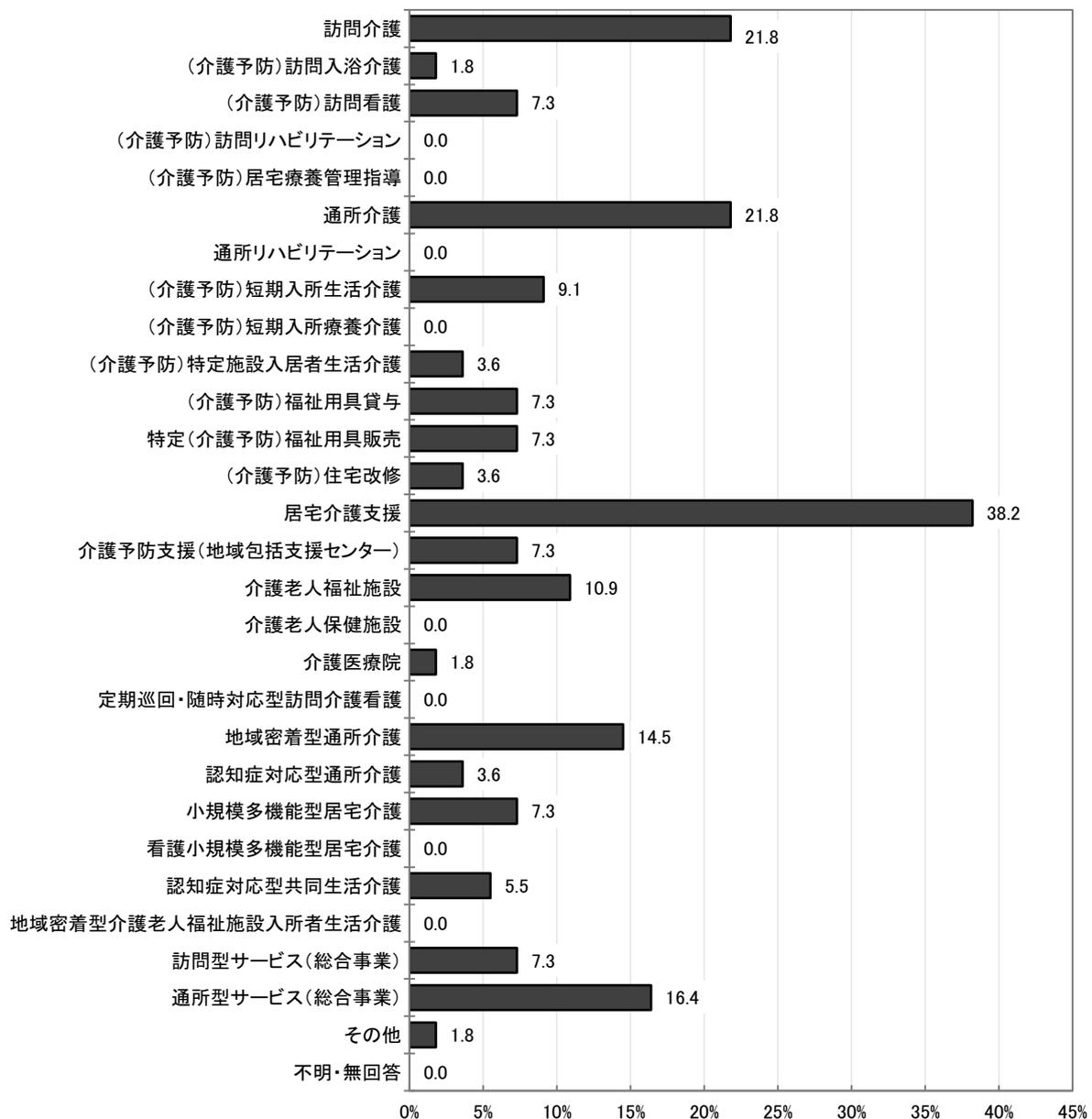
問1 貴事業所の概要を教えてください。【自由記述】

※各事業所の概要を問う設問であり、団体や個人が特定されるおそれがあるため、結果は掲載しません。

問2 令和5年6月現在で、貴事業所が川西市内で実施しているサービスはどれですか。
【複数回答】

「居宅介護支援」が38.2%で突出しています。「訪問介護」、「通所介護」が21.8%が続いています。

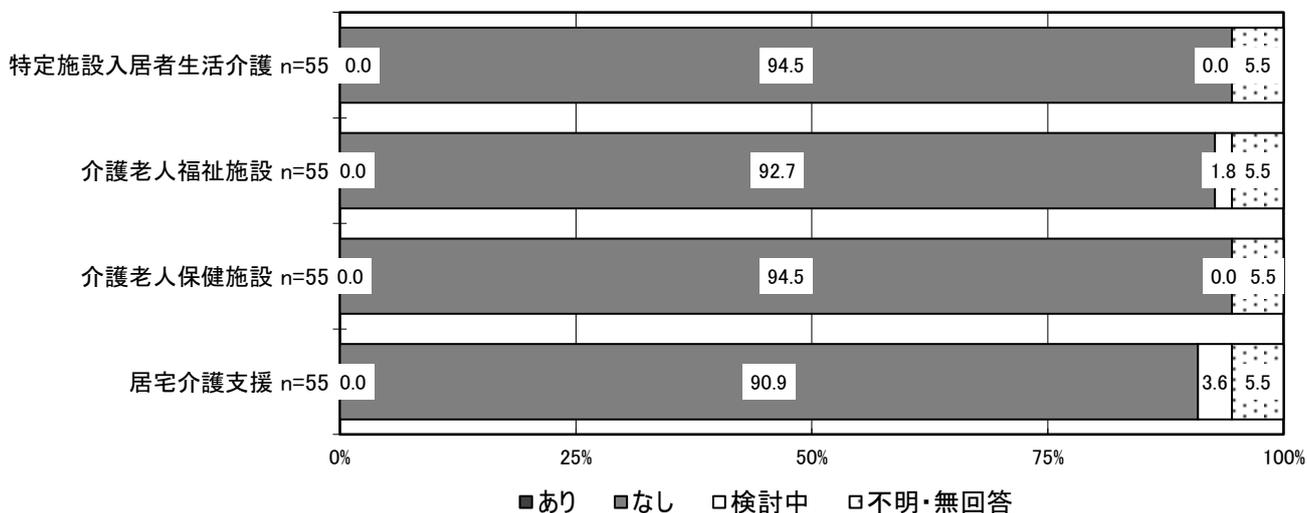
n=55



問3 第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和9年度）において、川西市内に参入意向のあるサービスはありますか。参入意向がある場合は、予定されている時期と想定されている規模をお答えください。【単数回答】

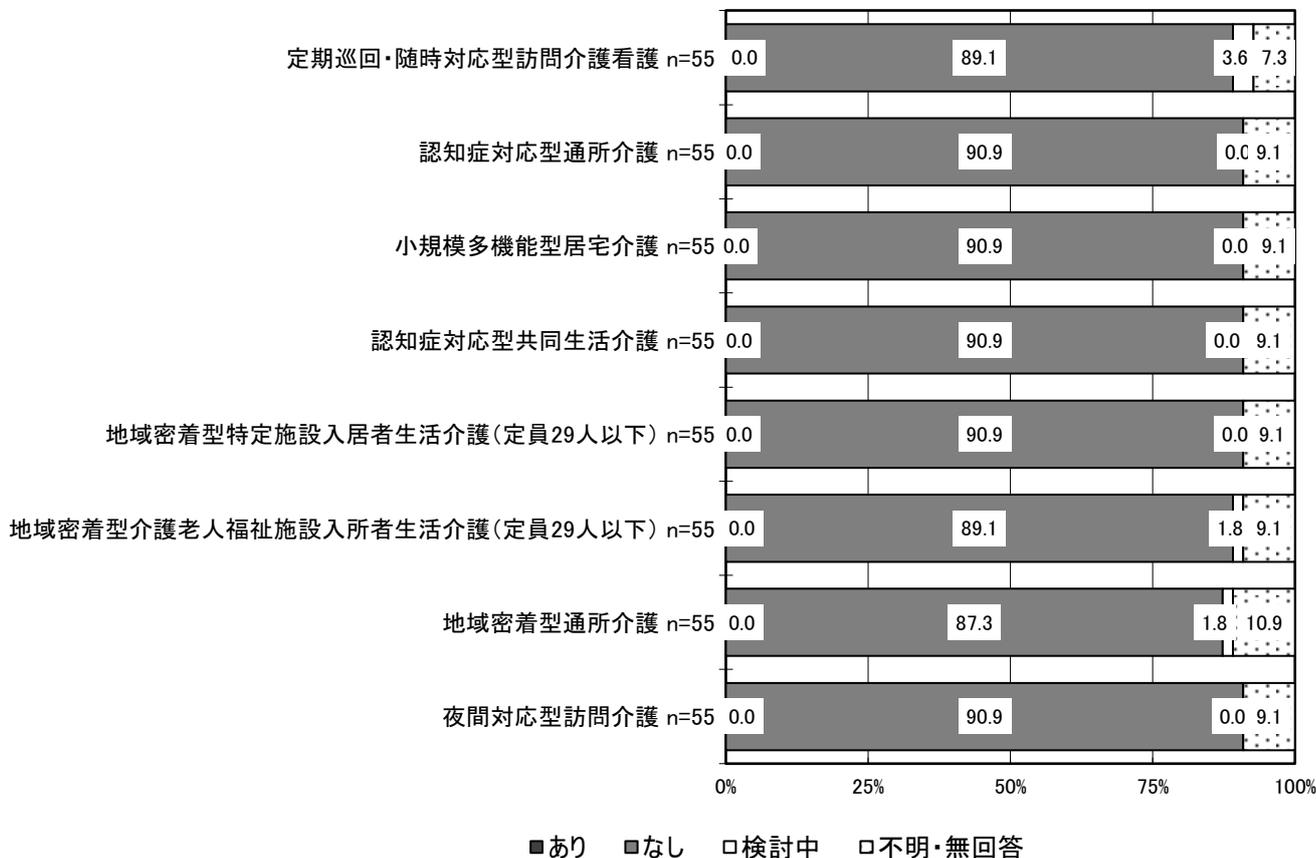
(1) 施設サービス

全ての施設サービスにおいて、「あり」が高くなっています。



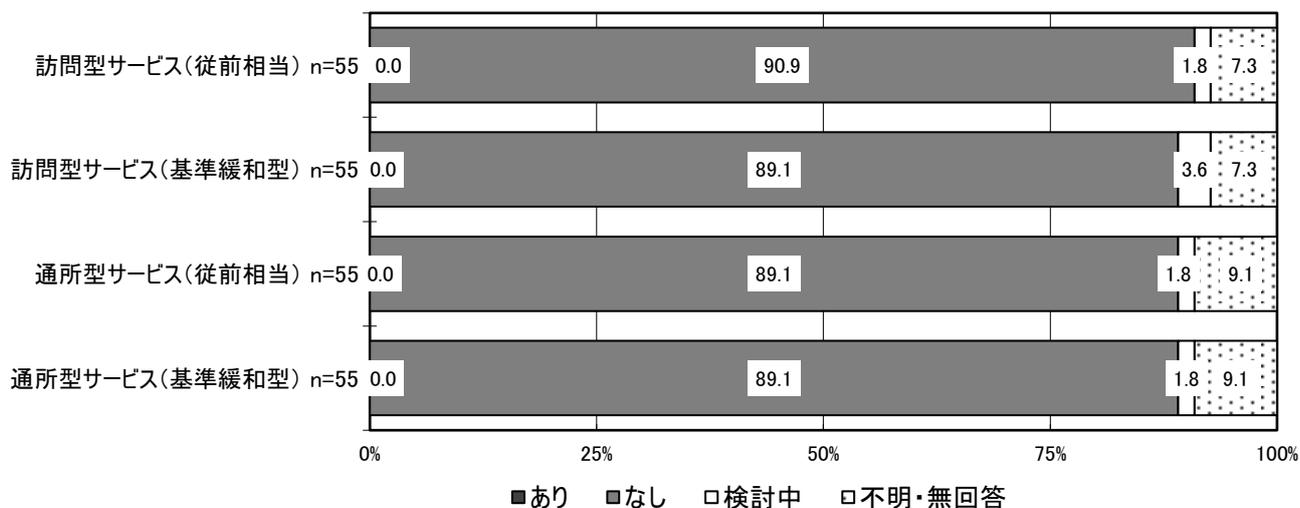
(2) 地域密着型サービス

全ての地域密着型サービスにおいて、「あり」が高くなっています。



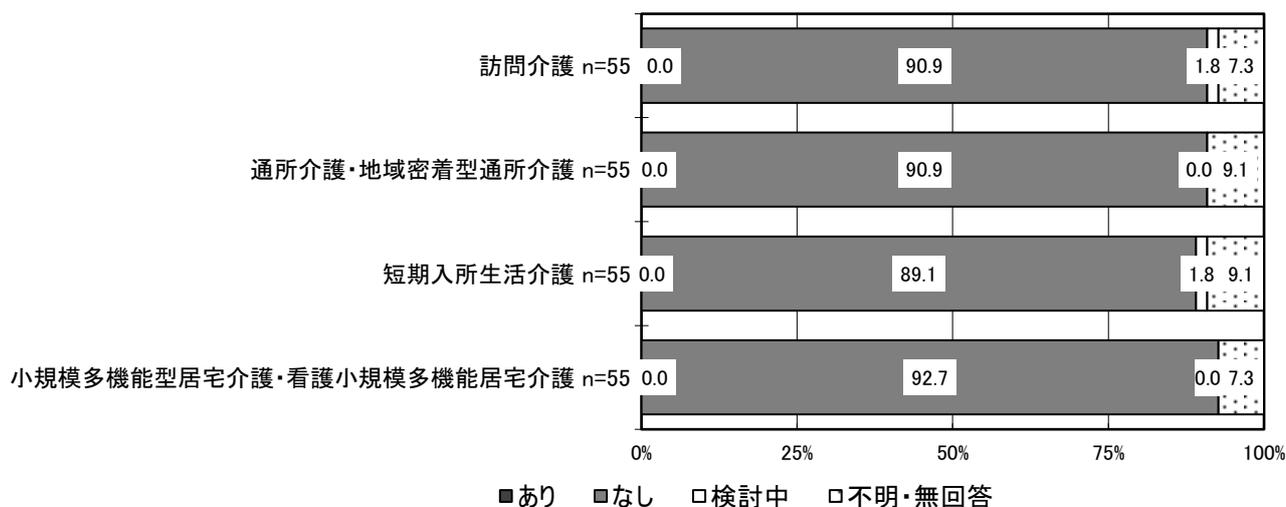
(3) 介護予防・日常生活支援総合事業（基準緩和型サービス）

全ての介護予防・日常生活支援総合事業において、「あり」が高くなっています。



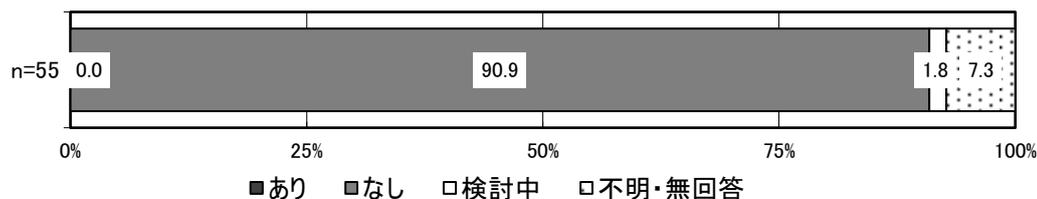
(4) 共生型サービス（同一の事業所で一体的に介護保険と障害福祉のサービスを提供するもの）

全ての共生型サービスにおいて、「あり」が高くなっています。



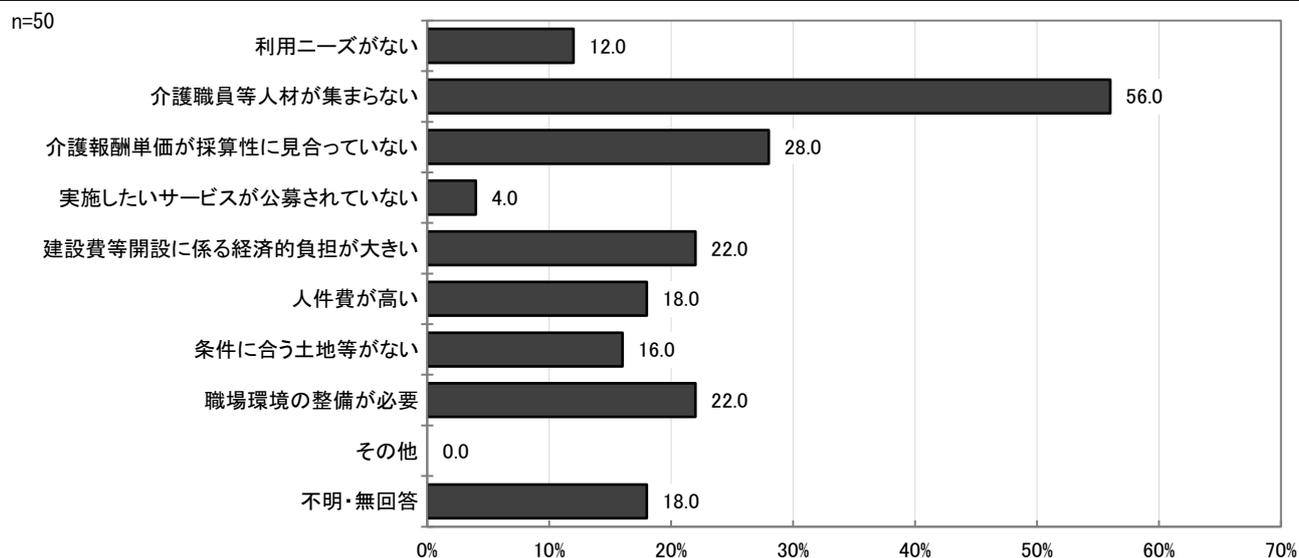
(5) 地域包括支援センター

地域包括支援センターにおいて、「あり」が高くなっています。



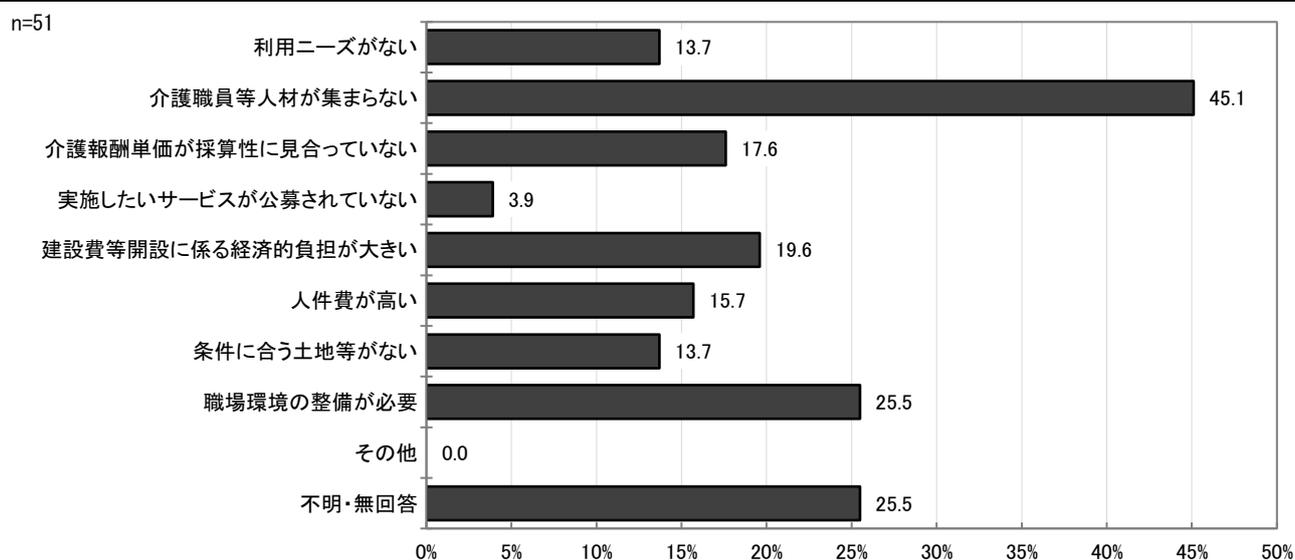
問4 問3（2）地域密着型サービスのうち、「2 参入意向なし」を選択した理由について、教えてください。【複数回答】

「介護職員等人材が集まらない」が56.0%で突出しています。「介護報酬単価が採算性に見合っていない」が28.0%、「建設費等解説に係る経済的負担が大きい」「職場環境の整備が必要」が22.0%で続いています。



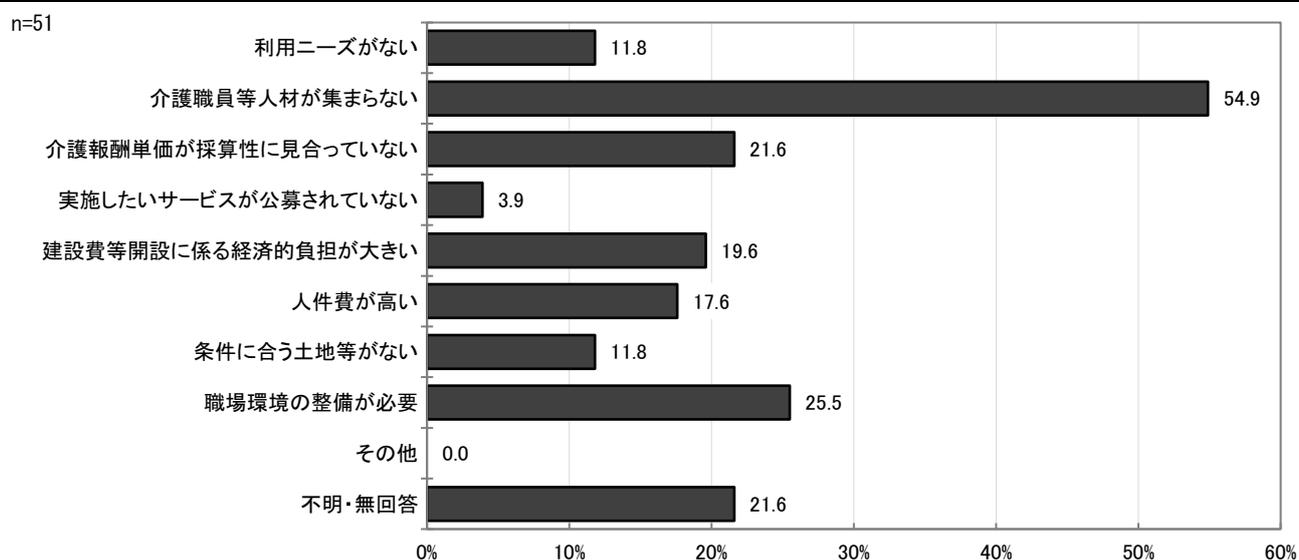
問5 問3（3）介護予防・日常生活支援総合事業のうち、訪問型サービス（基準緩和型）と通所型サービス（基準緩和型）について、「2 参入意向なし」を選択した理由について、教えてください。【複数回答】

「介護職員人材が集まらない」が45.1%で突出しています。「職場環境の整備が必要」が25.5%、「建設費等開設に係る経済的負担が大きい」が19.6%で続いています。



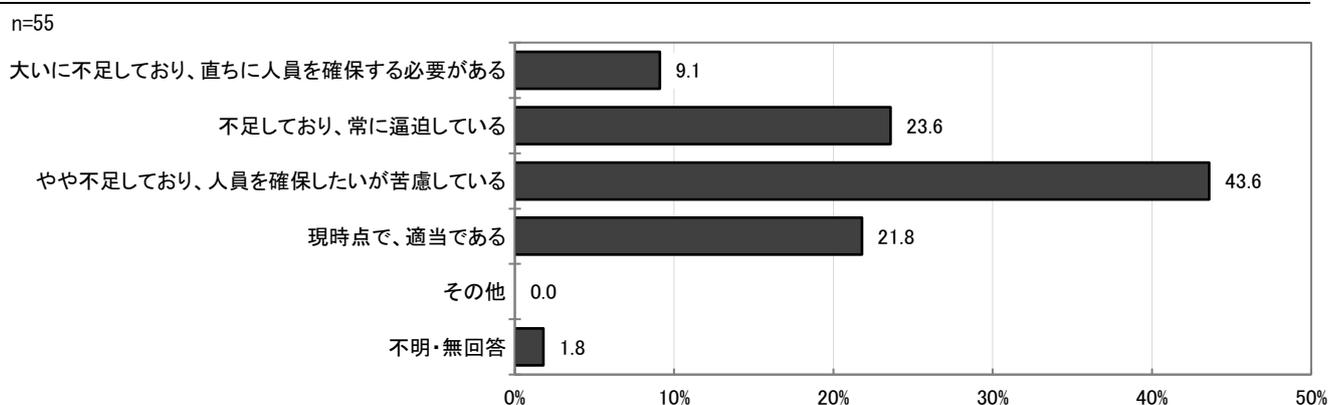
問6 問3(4) 共生型サービスについて、「2 参入意向なし」を選択した理由について、教えてください。【複数回答】

「介護職員等人材が集まらない」が54.9%で突出しています。「職場環境の整備が必要」が25.5%、「介護報酬単価が採算性に見合っていない」が21.6%が続いています。



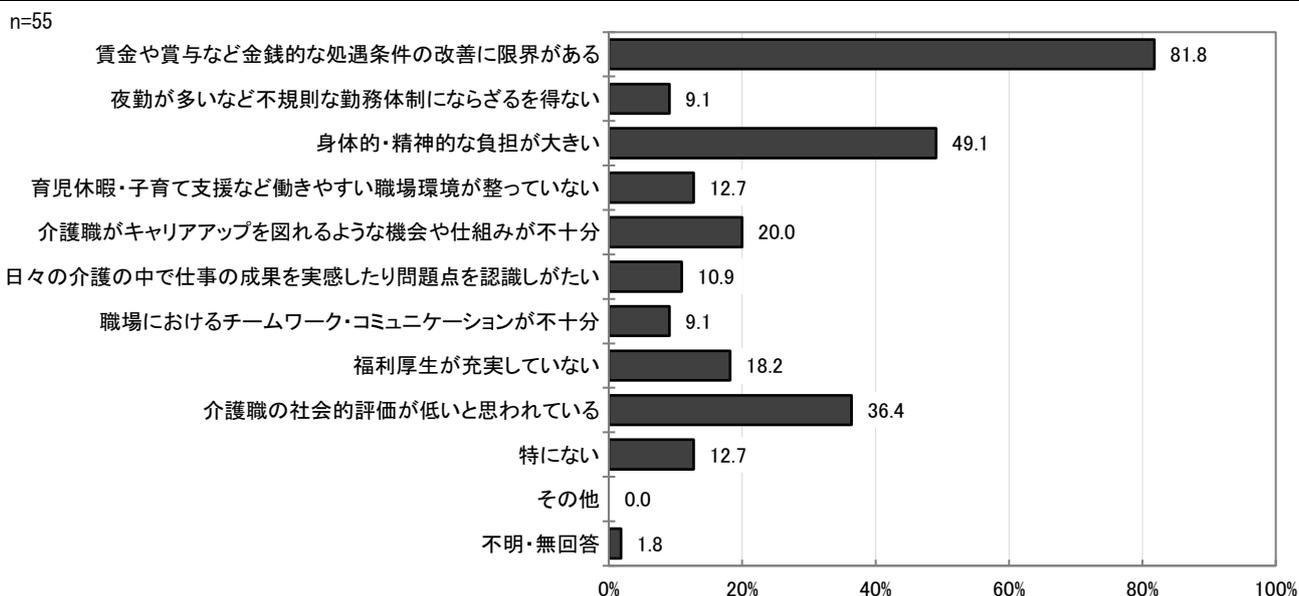
問7 貴事業所の職員の配置状況について、現在どのような状況ですか。【単数回答】

「やや不足しており、人員を確保したいが苦慮している」が43.6%で突出しています。「不足しており、常に逼迫している」が23.6%、「現時点で、適当である」が21.8%が続いています。



問8 職員の採用や離職の防止について、課題と感じていることはありますか。【複数回答】

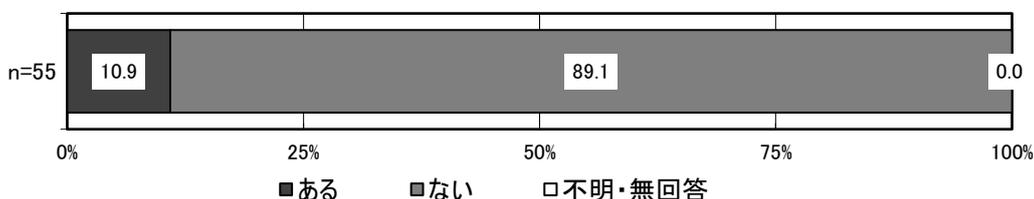
「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が81.8%で突出しています。「身体的・精神的な負担が大きい」が49.1%、「介護職の社会的評価が低いと思われる」が36.4%で続いています。



問9 貴事業所において、過去1年間のうち、外国人介護従事者の雇用実績はありますか。

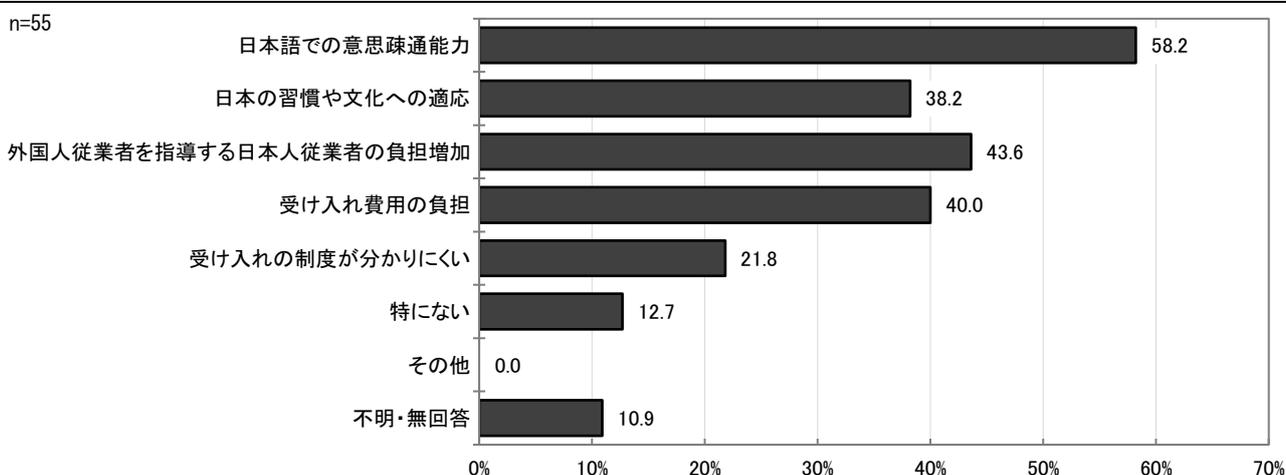
【単数回答】

「ない」が89.1%を占めています。



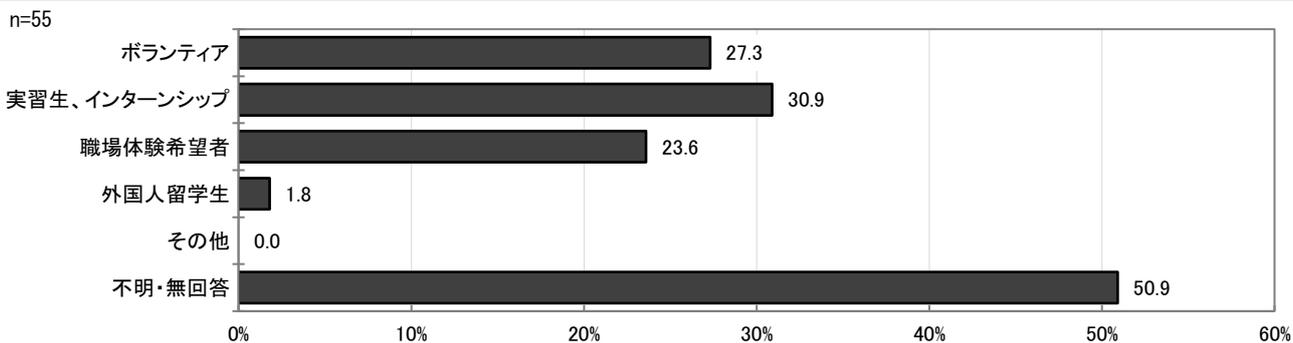
問10 外国人介護従事者を雇用するうえで、課題と感じていることはありますか。【複数回答】

「日本語の意思疎通能力」が58.2%で突出しています。「外国人従業者を指導する日本人従業者の負担増加」が43.6%、「受け入れ費用の負担」が40.0%で続いています。



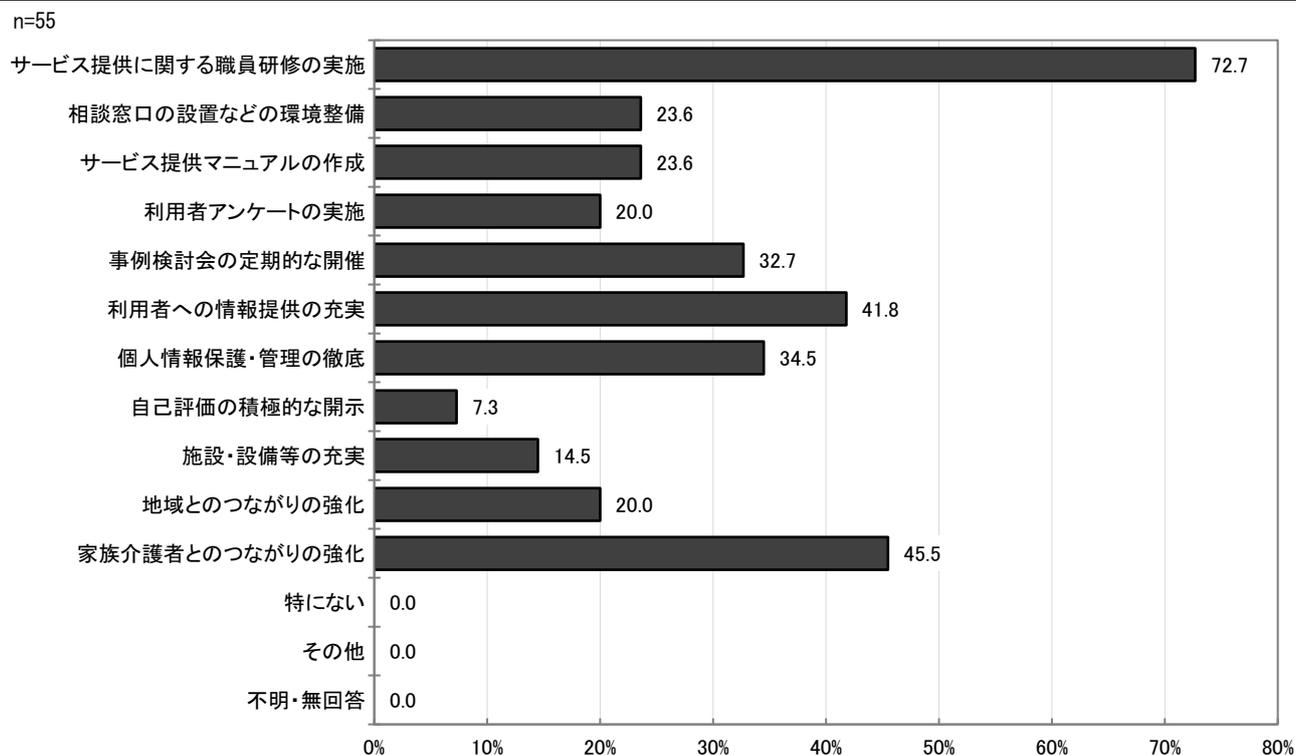
問 11 貴事業所では人材の受け入れを行っていますか。【複数回答】

「実習生、インターンシップ」が30.9%で突出しています。「ボランティア」が27.3%、「職場体験希望者」が23.6%が続いています。



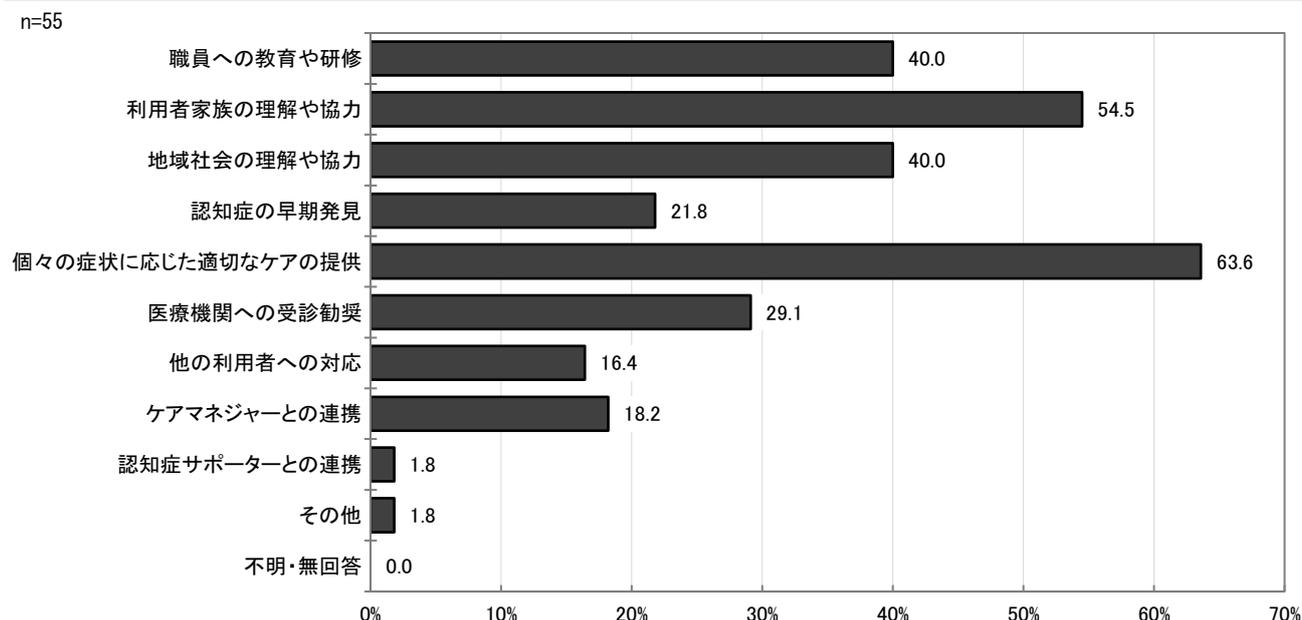
問 12 サービスの質の向上に向けて、特に取り組んでいることはありますか。【複数回答】

「サービス提供に関する職員研修の実施」が72.7%で突出しています。「家族介護者とのつながりの強化」が45.5%、「利用者への情報提供の充実」が41.8%が続いています。



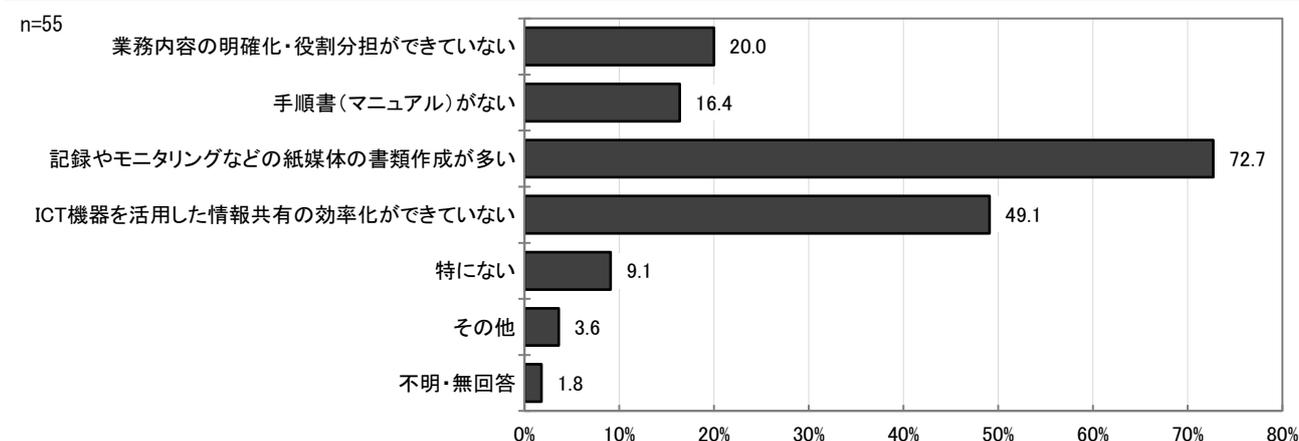
問 13 認知症のケア向上に向けて、課題と感じていることはありますか。【複数回答】

「個々の症状に応じた適切なケアの提供」が63.6%で突出しています。「利用者家族の理解や協力」が54.5%、「職員への教育や研修」「地域社会の理解や協力」が40.0%で続いています。



問 14 業務効率化について、課題と感じていることはありますか。【複数回答】

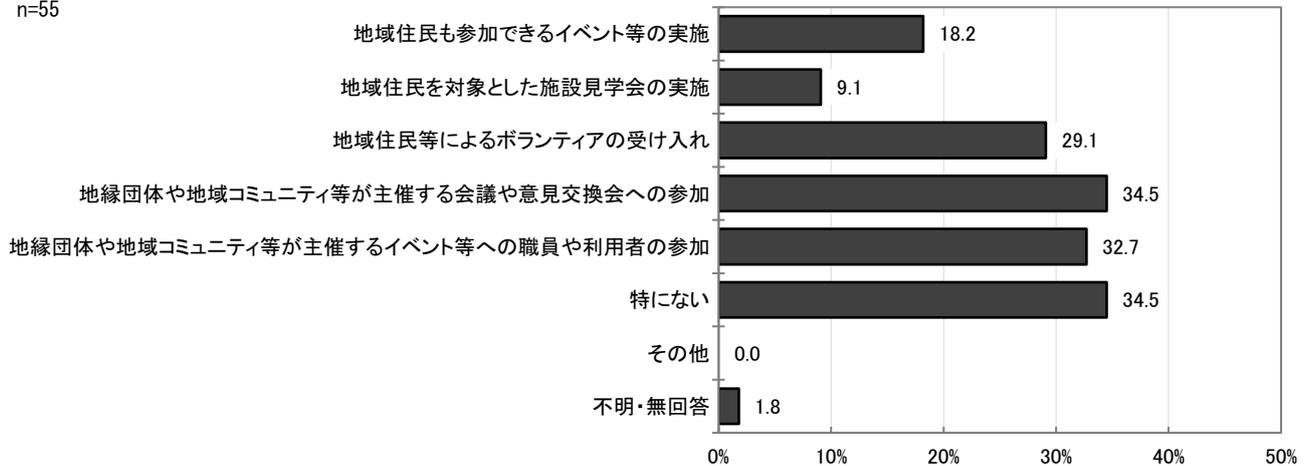
「記録やモニタリングなどの紙媒体の書類作成が多い」が72.7%で突出しています。「ICT 機器を活用した情報共有の効率化ができていない」が49.1%、「業務内容の明確化・役割分担ができていない」が20.0%で続いています。



問 15 貴事業所が、地域社会の一員として、特に取り組んでいることはありますか。【複数回答】

「地縁団体や地域コミュニティ等が主催する会議や意見交換会への参加」「特にない」が34.5%で突出しています。「地縁団体や地域コミュニティ等が主催するイベント等への職員や利用者の参加」が32.7%が続いています。

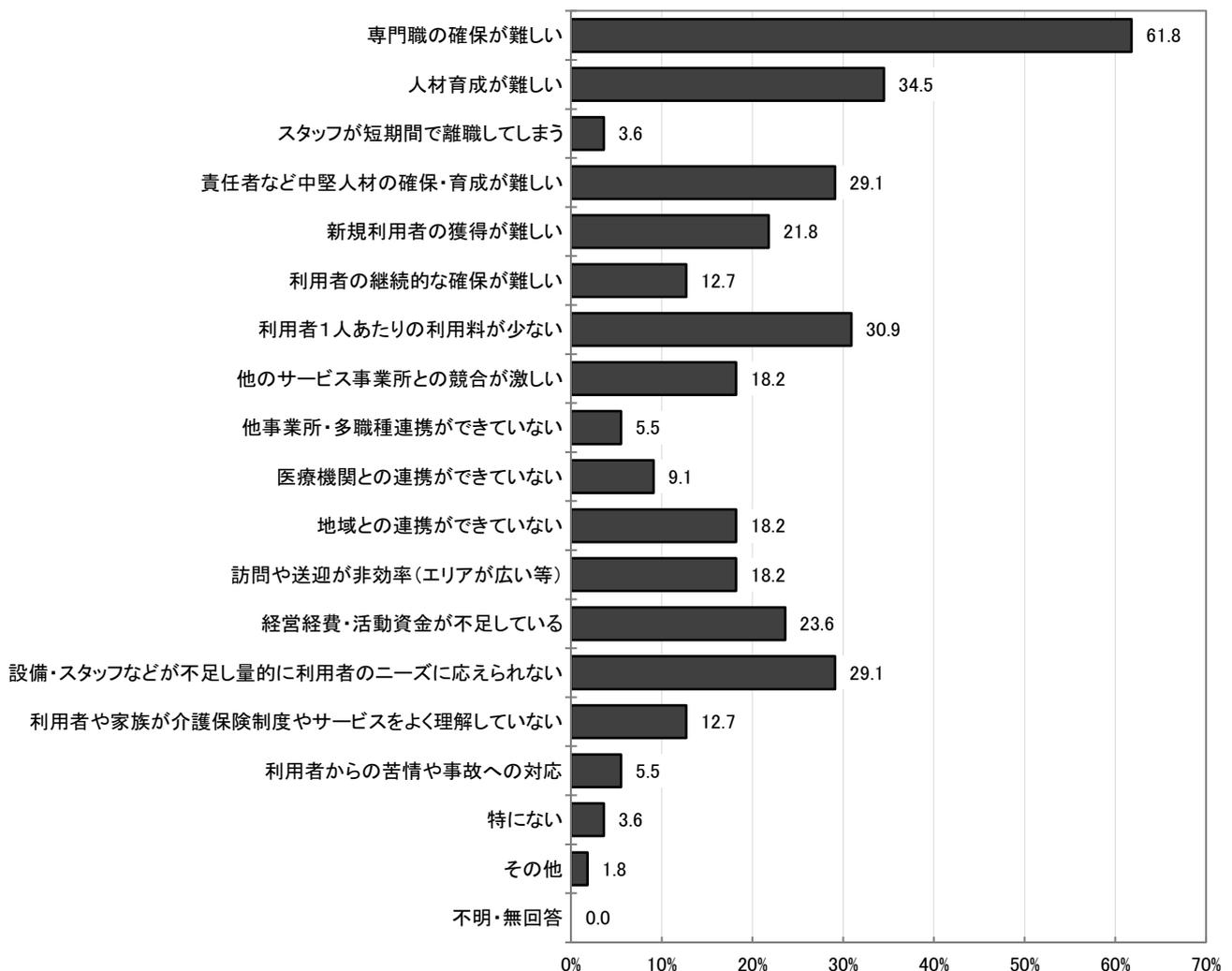
n=55



問 16 事業所運営に関して、課題と感じていることはありますか。【複数回答】

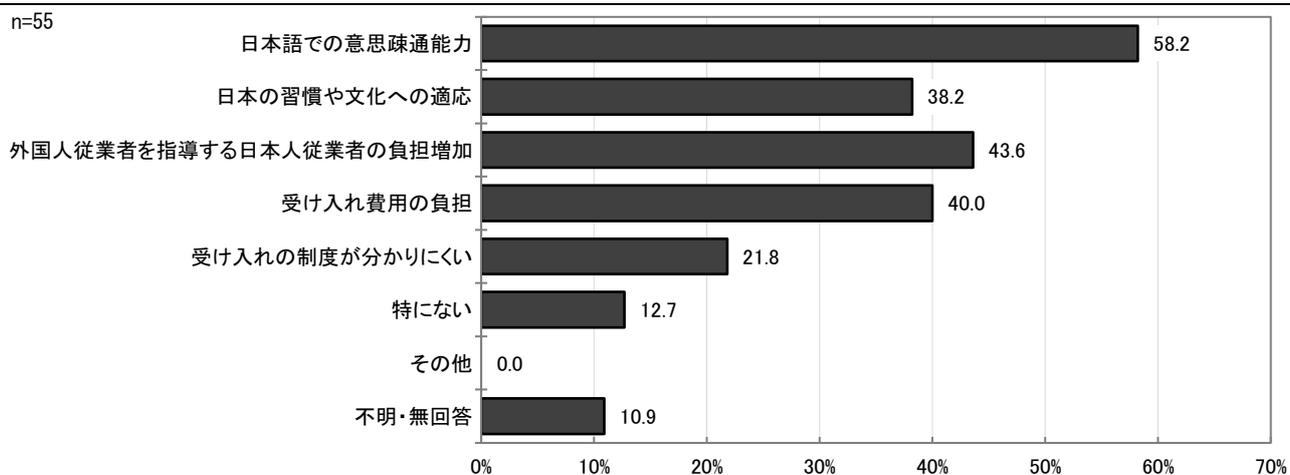
「主な介護者となっている家族・親族」が66.3%で突出しています。「調査対象者本人」が34.6%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.6%が続いています。

n=55



問 17 行政に対して求める支援はありますか。【複数回答】

「主な介護者となっている家族・親族」が 66.3% で突出しています。「調査対象者本人」が 34.6%、「主な介護者以外の家族・親族」が 3.6% で続いています。



III 意見交換会実施結果

本市で介護保険サービス事業を展開していく上で事業所としてめざす姿

| 人材の育成・確保 |
|-------------------------------------|
| 「チームワーク」で介助を行うためのコミュニケーションや研修などを実施。 |
| 適切な職員人員配置による十分な有給休暇の取得。 |

| サービスの質の向上 |
|---|
| 近くのコンビニのような利用のハードルの低い事業所。 |
| 適切な介護保険サービスを提供し、安心して暮らしていける手伝いをする。 |
| 既存の事業所を黒字化させて、潜在的なニーズに応えられるよう、新たな事業所を展開する。 |
| 本人、家族に対して、丁寧に説明し、納得するサービスを提案し、本人の望む生活、あるべき姿を実現する。 |
| 一人でも多くの在宅（一部施設入所含む）で生活したい方の自立支援を行う。 |
| 介護保険に頼らなくてもフレイル予防、シニアフィットネス等を自治体や地域資源で利用できる仕組みをつくる。 |
| 介護サービスの必要が少しずつ減っていけるよう、自立への声かけを行う。 |
| ADL、IADLを豊かにすることに特化したサービスを展開する。 |
| 福祉用具、住宅改修において（転倒など）リスクの少ない生活、安全な環境を整備する。 |

| その他 |
|------------------|
| 市と事業所との関係がいい事業所。 |

理想の事業展開を実現する上での課題・認知症等の困難を抱える人を含めた市民が住み続けるために必要なこと

| 人材の育成・確保 |
|-------------------------------------|
| 市内の人材が少ない。 |
| 人員が不足しており、未経験の人が来る。 |
| ヘルパーさんが少ない。ヘルパーさんのスキルを上げていかないといけない。 |
| 報酬が少ない。 |

| サービスの質の向上 |
|---|
| 本人、家族が合意できておらず、サービスを受けることができない又は過度に依頼する場合がある。 |

| 認知症への対応 |
|-------------------------|
| 地域住民や周りの人の認知症に対する理解が必要。 |
| 高齢者や認知症の方の居場所が必要。 |

| その他 |
|------------------------|
| 場所や店舗が不足している。 |
| ガソリン代の高騰等により経費が上がっている。 |
| 社会資源が不足している。 |
| 安全に出かけることのできる場所が少ない。 |

課題の解決に向けて事業所として取り組めること・課題の解決に向けて行政に求める支援

| 人材の育成・確保 |
|--------------------------------|
| 未経験者の応募に対して人材育成を重点的に実施する。 |
| 川西市独自の人材を育成するシステムを構築する。 |
| スキルアップ研修を実施する。 |
| 事業所内での対人援助技術のスキルアップを図る。 |
| 定期的に研修を行い、職員同士の関係性を良好にする。 |
| 事業所指導を行う人の研修を実施する。 |
| 資格の取得や更新に係る費用を援助する。 |
| 川西市役所内で介護スタッフの求人を掲示する。 |
| 介護職の報酬や単価を上げる。 |
| 介護職のイメージアップと財政的なバックアップを含む人材支援。 |
| ボランティアの導入。 |

| サービスの質の向上 |
|--|
| リハビリの提供に加え、基本チェックリスト*を用いたフレイルの判定結果や家族の意見を含めた生活相談を行う。 |
| 本人や家族とのコミュニケーションを図ることで共通の認識を育む。 |
| 相談しやすい窓口や柔軟な対応をこころがける。 |
| 土日や祝日、夜間に対応できる窓口を設置する。 |
| 支援における連携を強化し、一人ひとりの利用者に対応する時間を確保する。 |
| 寝たきりの状態にならないよう、健康なうちからリハビリ特化型デイサービスで運動を行う。 |
| 緊急の支援や対応を相談できるサービスを整備する。 |
| 地域で密なつながりを持ち、情報の共有を行えるシステム。 |

| 認知症への対応 |
|------------------------------------|
| 認知症サポーター養成講座を含めた認知症を理解する場を設定する。 |
| 認知症への対応の仕方について、学校等でも勉強会を開く。 |
| 認知症の程度に応じて在宅限界点を家族に伝え、近隣の住民の協力を仰ぐ。 |
| 市民一人ひとりが自分事、地域事として認知症を理解する。 |
| 家族の協力が必須。 |

| その他 |
|------------|
| ICTの活用。 |
| 自主点検等の簡素化。 |
| ボランティアの導入。 |

**認知症対策アクションプランに係る
聴き取り等**

I 聴き取りの概要

令和5（2023）年2月から4月にかけて、認知症の本人と家族からの聴き取り、地域の認知症支援に関わる関係者や機関からのアンケート等を実施しました。

令和5（2023）年4月から5月にかけて、それらのご意見と、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果を併せ、7つの日常生活圏域ごとに、市・地域包括支援センター・社会福祉協議会の担当職員で、認知症対策アクションプランとして検討すべき施策の協議を行いました。

| 聴き取り団体等 | 本人・家族 | 地区福祉委員会 | 民生委員・児童委員 | 老人をかかえる家族の会 | りんどうの会 | 認知症カフェネットワーク連絡会 | 合計 |
|---------|-------|---------|-----------|-------------|--------|-----------------|----------|
| 人数・団体数 | 16人 | 76人 | 161人 | 5人 | 5人 | 4団体 | 263人+4団体 |
| うち本人 | 9人 | | | | 1人 | | 10人 |

II 聴き取り実施結果

1. 本人・家族への聞き取り

本人のご意見・ご希望

| 早期受診 |
|--|
| 抵抗なく受診できるよう「健康診断」に盛り込む。 |
| 診断を受けた直後はすべてのことに混乱していて難しい説明は分からない。相談窓口 や手続きは分かりやすくしてほしい。 |

| 外出支援・通いの場 |
|---|
| 相談できる人（認知症サポーター等）やお店のわかりやすい印があるといい。 |
| 通いの場や趣味の活動の場（地域とつながる場）へ安心して参加し続けたい。 |
| 安心して外出するために、付き添ってくれる人、施錠のチェックをしてくれる人がいるといい。 |
| 趣味の活動に対する移手段が欲しい。 |
| GPS 端末等自分の居場所が分かるようなものがあるといい。 |

| 対応・接し方 |
|--|
| 認知症になっても変わりなく接して気にかけてくれる人間関係と環境があるといい。 |
| あいさつや近所づきあいを継続したい。 |
| 「認知症」と一括りにせず、個々に症状やできること等があることを知ってほしい。 |
| 買い物は自分で行きたい。 |
| 前もって認知症という病気について知る機会が必要。 |
| できるだけ働きたい。 |
| 家族としての役割を継続したい。 |

| その他 |
|-------------------------|
| 介護者の話を聞いてくれる人や場所があるといい。 |

家族のご意見・ご希望

| 早期発見・早期対応 |
|--|
| 定期的な健康診断の内容に認知症の検査項目があれば、抵抗なく受診できると思う。 |
| 家族が早めにかかりつけ医に相談や連携ができるといい。 |
| 認知症の診断を受けたことで、症状を「病気だから仕方がない」と思えた。 |

| 相談窓口 |
|-------------------------------|
| 土日、夜間も含めた相談できる窓口の設置と周知をいてほしい。 |
| 気軽に相談する場所や勉強会が必要だ。 |

| 日常生活の継続 |
|---|
| 地域の見守りやパトロールをすることで不審な人物が寄りつきにくい市にしてほしい。 |
| 道迷いの対策（GPS、今いる場所がわかりやすいような案内等）をしてほしい。 |
| 本人のやりたい、行きたい、話したいをかなえる環境と制度が欲しい。 |
| 選挙の投票等、安心して本人の役割を遂行できる環境にしてほしい。 |
| 近隣の人があいさつや声かけ、見守りをしてくれてありがたい。 |

| 通いの場 |
|---------------------------------------|
| 認知症本人が集まって活動できる場所を設置してほしい。 |
| 居場所の選択肢を増やしてほしい。デイサービス以外で楽しめるような交流の場所 |

| 介護者支援 |
|---------------------------|
| 介護者同士が集まる場や気分転換できる機会が欲しい。 |

| その他 |
|-------------------------------------|
| 専門職の認知症に対する理解不足と感じている。 |
| 認知症の基礎知識や対応方法、認知症施策をまとめた冊子やDVDがほしい。 |

2. 関係団体への聞き取り

老人をかかえる家族の会

■問題提起

| |
|---|
| 家族の介護負担が軽減できるような場の重要性。 |
| 包括のような専門職が話を聞くのではなく、同じ介護者の立場で愚痴のような話を語れる場や機会の重要性。 |
| 日常生活圏域は広すぎるので、もっと身近に介護について相談できる場が必要。 |
| 外出出来ない介護者への支援が必要。 |
| 介護についての情報や、介護で困ったときには相談できる場所があることなどの情報が市民に行き渡るような広報をしてほしい。 |
| (特に男性が燃え尽き症候群になりやすいため) 介護を終えた方を支える方法が必要 団体の会員数の減少、後継者不足により活動継続が困難。 |

■聞き取りを通して検討すべき認知症施策（案）

| 早期発見 |
|-----------------------|
| 認知症チェックリストの活用方法の再検討 |
| 対象者・方法について、現行方法から拡大する |

| 家族への支援 |
|---|
| 相談体制の検討 <ul style="list-style-type: none">・対象者：介護者全般とともに男性介護者など特化したもの・場所：身近な場所、通いやすい場所を会場の検討・形態：現行の集合・電話相談とともに SNS 活用の検討・相談や支援を実施している団体が継続できるための支援<ul style="list-style-type: none">・場所：通いやすい場所・支援者への対価（有償にする？）・後継者へつなぐ仕組み |

| 地域づくり |
|---|
| 認知症に関する情報や相談窓口が分かりやすくなるよう市民への周知・啓発を強化する |

認知症カフェネットワーク連絡会

■問題提起

| 場所・時間 |
|--------------------------------|
| 週1好きな時間にいける認知症カフェが、回覧板の回る地域で実施 |

| 内容 |
|--|
| 支援する人、される人ではなく参加者でその場を作るカフェ |
| 既存の地域の活動に認知症カフェが同化して居場所となる。 |
| 地域で活動しているグループ（歌演奏等）の発表の場となる。 |
| 健康相談、包括への相談の場として継続したい。 |
| どんなカフェなら当事者や家族になったときに来やすいか参加者にアンケートをしてみたい。 |

| その他 |
|---|
| 認知症に対する抵抗感や恐怖感がなくなり、だれもが自分事として受け入れられるようになってもらうきっかけの場となる。 |
| 他地域の認知症カフェを見学等で刺激を受け合い新たな発見をする。 |
| 知名度が低い。 |
| 既存の集いの場（例：コンビニの喫茶スペースで継続されている）等、歩いて行ける場所であまりの場安否確認ができる場となる。 |

■聞き取りを通して検討すべき認知症施策（案）

| 既存のカフェの継続（まちづくり） |
|---|
| 包括や社協の見守りや協力、意見 →ボランティアとしても当事者としても参加が継続できカフェを目指す |

| 場所や人材の確保（まちづくり） |
|--|
| 公的な機関が後継者となる場所の確保 |
| 商業施設の地域貢献や空公共施設（ex 北保育所、空家等）への働きかけ、協力養要請など |

| 認知症の正しい知識の普及啓発（まちづくり） |
|---|
| 「認知症になったら何もできなくなる」という誤った認知症理解を修正し、正しい理解を促す →できることがあるというを例示できるモデル事業、認知症当事者からの発信 一般市民も福祉関係者も対象とした講演会やセミナーの開催（年2.3回） |
| 認知症にならない「予防」ではなく、我が事として認知症を考えることが大切。 |

移動支援（本人・家族支援）

会場に行ける施策→送迎車や付き添い等

その他

認知症カフェを中心とした災害対策。包括が参加する認カフェで要援護者である高齢者（独居）の個別支援計画作成は待ったなしの状況と考える。1人2人からでも希望者から始めてほしい。

りんどうの会

■問題提起

| |
|---|
| 当事者の早期発見ができる仕組みを作ってほしい。早く相談できれば、体験談を話してあげられるので、見通しが立つことによって楽になる人もいる。 |
| 家族の介護負担が軽減できるようになってほしい。介護負担は虐待につながる可能性もある。 |
| 地域の偏見をなくすような活動が必要。特に、若年性認知症は理解してもらいにくく、本人は、認知症になりたくてなったわけではない。 |
| 寄り添ってくれる市民の存在はありがたいし、社会とつながっているだけで安心。 |
| 身近に若年性認知症の方の介護について相談できる場が必要。得に男性介護者への支援が必要 |
| 若年性認知症のことや、介護で困ったときには相談できる場所があることなどの情報が市民に行き渡るような広報をしてほしい。 |
| 若年性認知症対応の事業所がほしい。 |
| 仕事が出来ている人への支援が必要。診断後の見通しがたつような「ケアパス」がほしい。(若年性認知症の場合、資源が少ないので 阪神間共通でもよいかもしれない) |
| 団体の会員数の減少、後継者不足により活動継続が困難となっている。 |

■聞き取りを通して検討すべき認知症施策（案）

| 早期発見 |
|---|
| ①早期発見・早期治療の仕組みづくり |
| ②診断直後に疾患受容につながるような相談体制の構築 |
| 家族支援 |
| ①若年性認知症の方の相談体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：若年性認知症に特化したもの <li style="padding-left: 20px;">男性介護者に特化したもの ・場所：身近な場所、通いやすい場所を会場の検討 ・形態：場所・電話相談の検討 ・支援者への支援 |
| ②若年性認知症の方に特化したデイサービスなどの設立 |
| ③見通しが立つようなガイドの作成（ケアパス？） |
| 地域づくり |
| ①偏見をなくす広報活動 |
| ②若年性認知症理解のための広報活動 |
| ③企業への啓蒙（離職しなくてすむような環境づくり） |

■問題提起

| 認知症の早期発見 |
|---|
| ①相談できる医療機関の明確化と周知 ・かかりつけ医に相談しやすくなる ・専門機関に相談しやすくなる ・認知症診断が可能な病院の情報提示 |
| ②相談できる専門機関の明確化と周知 ・相談場所の周知が必要 ・身近に相談できる場所が必要 |
| ③認知症検診 ・特定健診に認知症診断を入れる ・定期認知症検診をする ・無料認知機能テストをする ・認知機能チェックリストを身近なところで受けられる ・認知症のことだけでは受診にはいかないもの。検診に組み合わせる（まわりが気づいていても受診につなげるのはむずかしいので検診に混ぜるとよい） |
| ④近所で見守りが出来る体制づくり ・認知症ケアに関する講習会や認知症サポーター養成講座、認知症の正しい理解が深まるよう出前講座などで理解者を増やす ・（認知症になる前から）日頃の近所のコミュニケーションを増やすことが必要 ・近所の目で見守られるよう近所付き合いが強化できる（自治会などにはいるなど） ・近所で交流できる機会やご近所のつながりが積極的にできるようにする |

認知症のご本人、その方を支える家族などへの支援

①本人・家族が相談できる居場所づくり

- ・身近な相談場所が必要
- ・家族が悩みを打ち明けられたり、ほっと出来る場をつくる
- ・身近な場所では近所の目が気になり行けないこともあるので遠くで集まれる場がほしい

②施設を整備する

- ・費用が安くは入れる施設を作る
- ・低所得者が認定を受けても利用できない（市が負担するなど）家族でなく、いかに負担をかけずに済むのかを考える。

③介護サービスを利用する

- ・介護サービスが受けやすくする
- ・ショートステイの利用ができるようにする
- ・老人性・若年性を分けた認知症患者の集いデイサービスを充実させる
- ・介護保険サービスをしっかり使うように周知する
- ・包括、ケアマネジャーを増やす若しくは川西市だけの独自のサポーター隊もあれば良い
- ・食事、排泄、入浴、日常生活全般に必要な場面に誰かが寄り添ってほしい時間帯に応じて対応できるシステムが必要

④認知症ケアを周知啓発する

- ・市民へ正しい認知症ケアの周知
- ・抱え込まないでいいことを周知する
- ・ユマニチュードを広める
- ・認知症対応マニュアルを配布する

⑤本人・家族を苦しめる認知症の偏見・差別をなくす

- ・市民の認知症への偏見をなくす広報活動をする
- ・子供の頃から認知症の教育、研修を行い正しい知識と見守りについて学ぶ事が必要
- ・お互い様といえるまちづくり

⑥地域での見守り

- ・同居の家族であっても 24 時間見守ってられないので地域の見守りや社会の手助けは必要

認知症になっても暮らせるまちづくり

①認知症に対する正しい知識の普及啓発

- ・認知症について市民が理解を深められる機会をつくる
- ・当事者の話を聞ける機会
- ・認知症の差別解消
- ・地域のイベント、行事の参加を促す。そこに認知症の人が役割を持って参加できるようにする
- ・若い世代に認知症の正しい理解をしてもらえるようにする
- ・認知症サポーター養成講座の開催
- ・物忘れ、認知の違いをイラスト4コママンガ等、チラシ（パンフ）作成を願いたい。各商店街、量販店にコーナーを作ってもらいたい
- ・必要とされる支援について住民の理解を得られるような啓発活動。
- ・学校における人権教育で認知症を正しく知り対応を考える機会を作る。
- ・一人生活の現状では“食”という大切なことに感心してもらいたい。

②近隣住民での見守り体制整備

- ・近所の顔見知りを増やす
- ・特に「迷惑な方」の対応に関し、地域の方の接し方に注意し指導・啓蒙が必要ではないかと思うので、情報収集のため、「認知症100番」を開設する
- ・地域で見守る意識を官民連携で取り組む
 - ①見守り②つながり③支えあいの具体的な活動部隊が必要。
- ・行政・パトカーパトロールなどで住みやすくする。

③集いの場・居場所の整備

- ・誰でも行ける場所が複数あり、イベントを企画する。子供も参加できるようにする
- ・認知症の人達が安心して暮らせるように集える場所（公民館よりもっと狭い地域、隣近所など）が出来れば良い。（公園などの形でよい、空き家などを利用するのも面白いかも）
- ・認知症カフェもあるが一緒に行く人が必要。近所の人や知人がいない人が行きやすい場所があると良い。
- ・ご本人とその家族が集える機会をつくる
- ・認知症カフェなどを積極的に利用し、本人だけでなく認知症を持つ家族、地域の人々との意見交換会を定期的に行う
- ・若年性認知症患者が働けるなら仕事施設の充実をさせる
- ・ベンチを増やし散歩しやすくする。誰でも休むことができると宣伝し子どもでも休める様にする。

④相談場所の明確化

- ・生活を維持するために必要な店舗等に認知症ご本人または家族共々、安心して入店できるようなマーク（目印）はできないか
- ・気になる人がいた時にどこに相談連絡すればいいのか窓口をみんなが認識できるようにする。誰でも気軽に相談できる窓口づくりにする
- ・ピクトグラムを取り入れ、お店等に認知症に対応できる人を配置している事がわかるようにする。

| その他 |
|--|
| 家族が日中管理できるようカメラを設置する |
| 「認知症を助け合うまち・川西市」「日本一早く認知症を気付く町・川西市」とかの思い切ったキャッチフレーズを掲げないと出来ない。 |
| 地域のまちづくりには専門家を交えて進めていく。 |

■聞き取りを通して検討すべき認知症施策（案）

| 認知症の早期発見 |
|--------------------|
| ①相談できる医療機関の明確化と周知 |
| ②相談できる専門機関の明確化と周知 |
| ③検診と組み合わせた認知症検診の実施 |

| 認知症のご本人、その方を支える家族などへの支援 |
|--|
| ①本人・家族が相談できる居場所への支援（行きやすい場所、一緒に行ってくれる人等） |
| ②若年性認知症が利用しやすいデイサービス、仕事につながるものをつくる |
| ③近隣での見守り体制を整備する |

| 認知症になっても暮らせるまちづくり |
|---|
| ①認知症への偏見をなくす広報活動（当事者の話を聞く機会） |
| ②認知症対応マニュアル、介護者教室の開催など、市民向け認知症ケアの周知啓発 |
| ③学校における人権教育での認知症サポーター養成講座 |
| ④認知症の人が役割を持って参加できるような地域のイベントや行事の開催 |
| ⑤認知症に対応できる人を配置（認知症サポート施設、認知症サポーター養成講座受講）している店舗や企業がわかるような仕組みをつくる |

| その他 |
|---------------------|
| 認知症にかかる全市的スローガンを掲げる |

地区福祉委員会

■問題提起

| 認知症の早期発見 |
|---|
| 認知症に対して気軽に受診や相談ができる医療機関、相談窓口（地域包括、医療機関、行政、警察等）の情報がほしい |
| 家族や地域住民が気軽に相談できる窓口 |
| 特定健診等に認知症の検査項目（認知症検診）を追加する |
| 認知症は誰にでも起こりうることを周知する必要がある |
| 認知症を疑ったら「専門機関への相談」「医療機関へ受診」という風土づくり |
| 認知症に関する学びの機会を増やす→本人、周囲共に早期に異変に気付く、住民同士の声かけにつながる |
| 認知症サポーター養成講座、認知症行方不明者 SOS ネットワーク訓練の参加者を増やす |
| 認知症チェックシートの普及 |
| 認知症への対応方法を記したものを周知する |
| 認知症になる前からの近隣とのつながり |
| 地域包括支援センター、民生委員、地区福祉委員、地域住民の連携を深める |
| 認知症予防→身近な地域での通いの場（社会参加、運動）を仲間と継続する |

| 認知症のご本人、その方を支える家族などへの支援 |
|--|
| 本人同士や家族同士の交流、情報提供、相談等の場を提供する |
| 本人や家族が周囲に隠さずに相談できる環境づくり、地域のつながり |
| 家族や本人が経験談を共有したり安らげる場所（認知症カフェ等）が必要 |
| 日常生活の困りごとを支援する仕組み→話し相手、散歩付添、ゴミ出し、掃除等 |
| キャラバンメイト、包括、民生委員の活用 |
| 認知症になってもできることを生かした社会参加の継続→地域にある居場所に参加して手伝う、ボランティア活動に参加 |
| 地域包括支援センターや支援スタッフの人員不足を解決する |
| 専門職と地域が繋がる仕組み作り |
| 高齢夫婦のみ世帯の増加 |
| 利用しやすい介護保険サービスの充実 |
| 認知症の偏見、差別をなくし、認知症を正しく理解し地域の受け入れを進める |

| 認知症になっても暮らせるまちづくり |
|--|
| 当事者や当事者家族が孤立することを避けるため地域の集いの場の活用が必要・認知症をオープンに話すことができる地域づくり |
| 認知症になっても楽しく過ごせる認知症カフェ等の居場所 |
| 認知症になっても当事者が得意分野を生かすことができる |
| 認知症になっても働ける企業を増やす |
| 地域のつながりや住民相互の声かけが重要 |
| 当事者、当事者家族、地域、専門職が参加できる集いの場づくり |
| 集いの場で居場所、見守り、支え合い、専門的サポートが一体的に実施できる仕組みづくりが必要 |
| 行政の地域が問題点を共有し一体となって取り組む必要がある |
| 地域福祉活動の基盤である「見守り」「つながり」「支えあい」の具体的な活動部隊が必要 |
| 認知症への偏見をなくし、助けてほしいときに声を上げやすいまちにする |
| 若い人への認知症の理解を深める |
| 施設入所後も地域とつながりを持てるようにする |
| 認知症を遅らせるための対応策やツールが地域に必要、それにはそれを考える地域毎の専門部会が必要 |
| 個人情報保護にも充分留意する必要がある |

| その他 |
|----------------------------|
| 個人情報保護のために支援者間の連携が希薄である |
| 受け皿となる地域福祉活動の基盤を強くする |
| 担い手不足と予算の確保 |
| 認知症を持つ方への尊厳ある対応が必要 |
| キャラバン・メイト養成研修を川西市で開催して欲しい。 |
| チームオレンジの仕組みがわかりにくい |

■聞き取りを通して検討すべき認知症施策（案）

| 認知症の早期発見 |
|---------------------------|
| 対応できる医療機関、相談機関の明確化と周知 |
| 健診と組み合わせた認知症検診の実施 |
| 認知症を自分事と捉えられるような普及啓発活動の実施 |

| 認知症のご本人、その方を支える家族などへの支援 |
|----------------------------|
| 本人、家族が集える居場所とその充実 |
| 日常生活の困りごとを支援する仕組み |
| 認知症本人のやりたいことやできることを支援する仕組み |
| 相談窓口の体制の強化 |
| 介護保険外のサービス（日常生活支援）の充実 |

| 認知症になっても暮らせるまちづくり |
|------------------------|
| 認知症に関する偏見をなくすような普及啓発活動 |
| 声かけ、見守り、支援ができる地域づくり |
| 本人の得意分野を活かせる居場所づくり |

地域包括支援センター

■問題提起

| 認知症の早期発見 |
|-------------------------------------|
| タイミングを逃さない受診支援と受診のきっかけ作りの必要性。 |
| 認知症の知識や早期受診の必要性や通いの場の情報が市民に伝わっていない。 |
| 認知症への無関心と偏見がある |
| 介護者向けの勉強会を家族で把握することが難しい。 |
| 何科を受診すればいいかわからない。まわりに知られたくない |
| 複合多問題ケースが増えており、当事者に適切な情報が入っていない。 |
| 認知症初期に必要な資源が十分でない。 |
| 認知症に特化した病院やクリニックがない。 |

| 認知症のご本人、その方を支える家族などへの支援 |
|---|
| 本人の支援者・家族の高齢化 |
| 地域での集まりの場への移動手段の不足。それに伴う行動範囲の減少や交流・趣味活動の減少。 |
| 運転免許証を返納してもその後のフォローや支援のつながりが無い。 |
| 道に迷っても尋ねられる人(認知症サポーターやキャラバン・メイトなど、認知症への知識・理解のある人)が近くに居る環境、地域づくりの必要性。 |
| 認知症になると支援策は介護保険サービスによる専門職の介入が中心となってしまう、利用開始時点から地域との関りが絶たれてしまう。一生懸命世話をされている家族だからこそ葛藤が大きくなり、悩みが深くなっており家族への心理的サポートが必要。 |
| ボランティアなどの地域資源をうまく使えていない。 |
| 支える家族の認知症の知識を得る方法の不足 |
| マイナンバーカードの様な複雑な申請や、基本的には付き添えない選挙投票の実施などが困難。 |
| 服薬管理・食事摂取の困難など体調に直結する困り事の発生。 |
| 認知症に関する情報を要約したようなものの必要性。 |
| 認知症に関する情報を要約したようなものの必要性。 |
| ご家族を支援する資源が整備できていない。 |

| 認知症になっても暮らせるまちづくり |
|---|
| 通いの場の閉館により多くの高齢者も集いの場が失われる。身近な地域に安心して利用できる集いの場が必要。 |
| 認知症の方の外に出たい意欲への対応方法が少ない。 |
| 全く地域との関係性ができていない人に、支えが必要になってから繋がりをつくろうとしても難しい |
| 資源があっても、本人や家族がつながっていない現状がある。地域住民がサポーターとして活動することで問題は軽減される可能性があるが、全てが奉仕の精神に依るのは限界があり継続性がない。組織立てて活動していくならば、何らかの運営費等の補助が必要。 |
| 小中高の学生など若い世代について経年的に認知症について学ぶ機会を増やす必要性がある。 |
| 認知症サポーター養成講座や徘徊模擬訓練を主に平日に行っていることため地域の一般市民の方で来られる方は少数である |
| 生活体制整備の組織化と利用しやすい土壌作りが必要 |
| 認知症の方の意見を第一に聞き取る必要性 |
| まちづくりをするのは住民であるので、この住民個々が認知症を自分事として考えて地域づくりを行う意識作りが必要 |
| 認知症の方がひとりで出かける場合、不審者に個人情報を開示してしまうことがある。 |
| 「川西行方不明者 SOS ネット」で、警察が受理してからタイムリーな情報が受け取れない事から登録者が十分な検索を行うことが困難になっている。 |

■聞き取りを通して検討すべき認知症施策（案）

| 認知症の早期発見 |
|--|
| 市立総合医療センターに認知症外来を設置し、専門医との連携、診断後の相談体制の充実を図る →診断直後から相談しやすい個室の相談カフェを設置、当事者や家族によるピア相談が無料で受けられる |
| 医療機関と地域包括支援センターの連携強化 |
| 精神科領域の訪問診療の体制拡充 |
| 健康診断（一般健診・特定健診・後期高齢者健診）で認知症の簡易検査を実施、専門医へ繋げる仕組みづくり→認知症が疑われる場合は専門医受診を促し、その費用を免除する |
| 免許更新時の認知症検査で認知症が疑われる場合、医師の診断、相談先の案内を行う仕組みづくり |
| 介護保険の申請をしたいが、病院まで一人で受診することが難しい方や、病院受診に対して抵抗がある方への受診支援→往診医の調整、介護保険申請時の主治医意見書の記載 |

| 認知症のご本人、その方を支える家族などへの支援 |
|--|
| ボランティア依頼の簡素化（サイトで完結） |
| 介護者向けの相談場所（サロン、家族の会等）、勉強会の拡充（徒歩圏内）と啓発（かわナビの利用） |
| 介護保険では補えない部分の支援の充実 |
| 日常生活は可能でも、書類の手続き等について困っている方が多いため、書類確認程度のボランティアの立ち上げ、健康マイレージのような形で活動に特典をつける |
| 地域の通いの場へ参加するための移動支援（例：ワンコインタクシーや巡回バス、ゴルフカートのような乗り物） |
| 家族が一元的に情報を得られる情報収集できるものを作成（例：市ホームページで認知症と検索すれば、認知症に関するあらゆる情報にアクセスできる等） |
| 家族の心理的サポートに関する事業介護者教室や家族の会に対する運営費用助成 |
| 認知症の本人とその家族の一体的支援本人とご家族と一緒に活動をするプログラム |
| みまもり登録者の賠償責任保険の加入 |
| 川西行方不明者 SOS ネットの有効的な利用（例：写真添付、検索依頼を家族が直接できる） |

| 認知症になっても暮らせるまちづくり |
|---|
| 認知症サポーター養成講座を含めた幅広い世代や対象への普及啓発の充実 |
| 相談できる場所の明確化（サポーター、キャラバン・メイト、認知症サポート商店街の目印とその周知） |
| 広報などで認知症の方の声を継続的に発信 |
| 図書館や公民館、児童館等に、認知症についての情報コーナーを設置 |
| 地域の見守りやパトロールの強化 |
| 近隣の散歩の付添等の支援の仕組み |
| 運転免許証を返納後の移動支援や通いの場の情報提供支援 |
| 地域活動をする新たな人材の確保 |
| 本人、家族支援ができる活動場所と運営費補助 |

■問題提起

| 認知症の早期発見 |
|--|
| 地域住民同士の見守り体制の構築とその気づきが専門職へとつながる仕組みづくりが必要 |
| 相談する場所がわからない（特に若年性認知症） |

| 認知症のご本人、その方を支える家族などへの支援 |
|-----------------------------------|
| 地域の居場所への移動手段がない |
| 地域ケア会議に生活支援コーディネーターも参加することが必要 |
| 地域で気になる高齢者がいても、本人や家族から支援拒否され対応が困難 |
| 若年性認知症の方や家族が、今後の生活の展望が見えづらい |

| 認知症になっても暮らせるまちづくり |
|---|
| 「認知症」に限らず、誰もが暮らし続けられる地域づくりが必要 |
| 元気なときから近隣住民との関係性を築くなど地域で一緒に備えることが重要 |
| 行方不明未然防止につながる見守りのネットワークの強化が必要 |
| キャラバン・メイトを含めた地域の活動者が高齢化している |
| 認知症になっても活躍できる地域づくりが必要 |
| 認知症を自分事として捉えることが必要 |
| 認知症サポーター養成講座の開催や啓発活動について住民主体で実施する意識を高める |

■聞き取りを通して検討すべき認知症施策（案）

| 認知症の早期発見 |
|---|
| 認知症チェックシートの活用（イベント等にてチェックされた方へドリンクプレゼント等） |
| 地区福祉委員会等、見守り活動への助成 |
| 認知症になるリスク軽減の重視、相談できる場所の啓発活動 |

| 認知症のご本人、その方を支える家族などへの支援 |
|---|
| 認知症であっても役割をもって参加できる基盤づくり（人材確保・移動手段・財源等） |
| 認知症診断費用の無償化 |
| 行政機関や相談機関が共有できるケアパスの作成（若年性認知症の対しては特化したもの） |
| 若年性認知症に特化したデイサービスの立ち上げ |

| 認知症になっても暮らせるまちづくり |
|--|
| 相談窓口の啓発 |
| 「支援が必要な方」から「共に生きる方」へ認知症のイメージを刷新する普及啓発の実施 |
| 当事者が活躍する場づくり（雇用も含む） |
| 居場所や通いの場、体操等の自主活動に対して直接的な運営支援（財源、場所、物資等） |
| 小中学生の認知症サポーター養成講座の継続的定期的な受講 |